TRIP!
TUAD

TRIP!

TUAD

CONTENTS

2 東北芸術工科大学 相関図

NOW FOR ART AND DESIGN.

10 世界が発した美系の言葉
12 学長挨拶
14 副学長対談
15 何故、今美系が必要か
16 世界を変えた美系年表
18 漫画「毎日の中に。」

22 大学設立の宣言
23 東北芸術工科大学だけの10の価値
30 ニュース「大学×社会」
36 東北芸術工科大学の卒業生

50 学部、学科、コース構成図

52 「コト」のデザイン
56 コミュニティデザイン学科
61 企画構想学科

66 「モノ」のデザイン
70 プロダクトデザイン学科
74 建築・環境デザイン学科
78 グラフィックデザイン学科
82 映像学科
86 作品

90 「知」の芸術
94 文化財保存修復学科 ※名称変更届出中
99 歴史遺産学科
104 文芸学科

110 「美」の芸術
114 美術科 総合美術コース
118 美術科 日本画コース
122 美術科 洋画コース
126 美術科 版画コース
130 美術科 彫刻コース
134 美術科 工芸コース
138 美術科 テキスタイルコース
142 作品

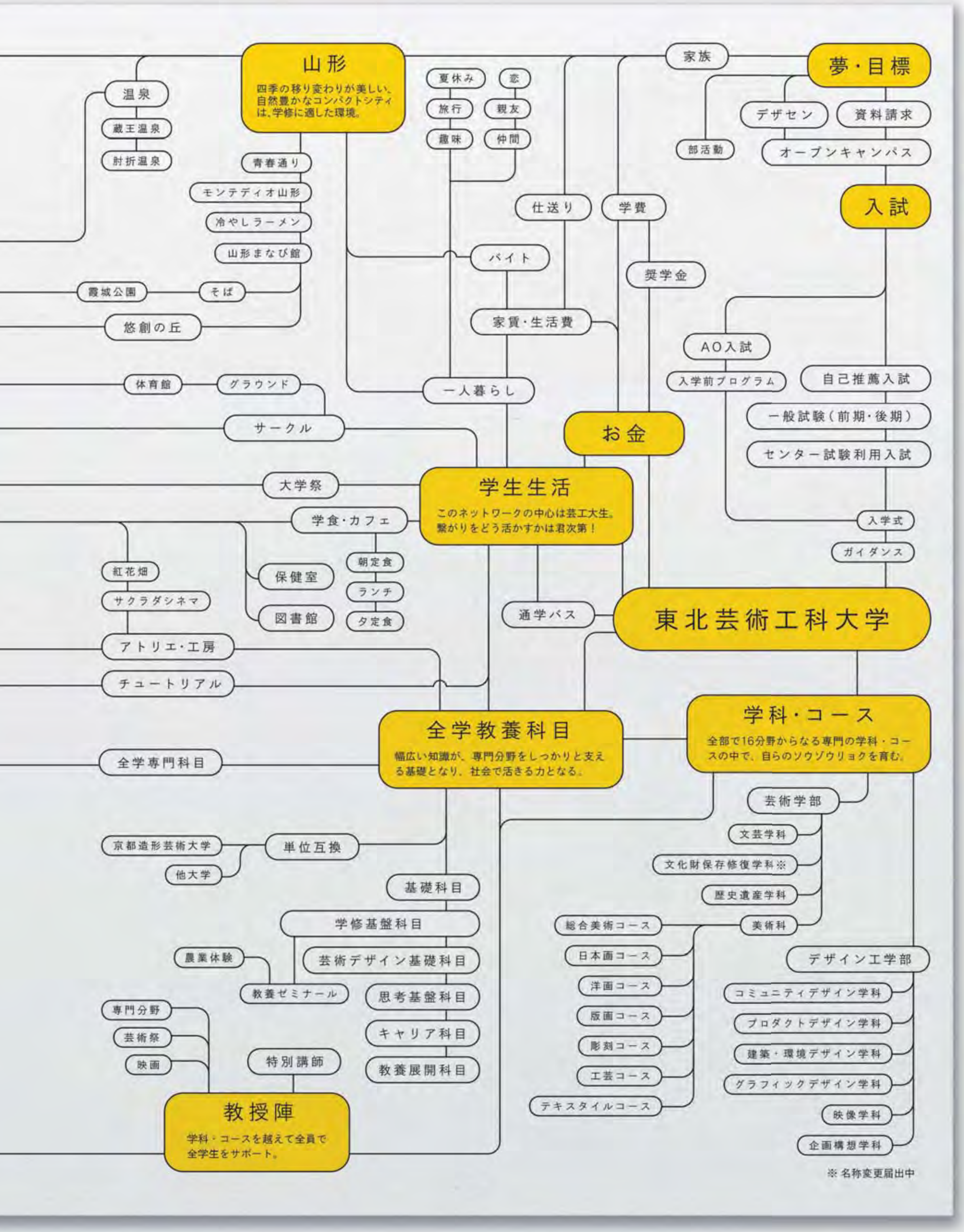
150 全学教養科目／全学専門科目
152 東北芸術工科大学の施設

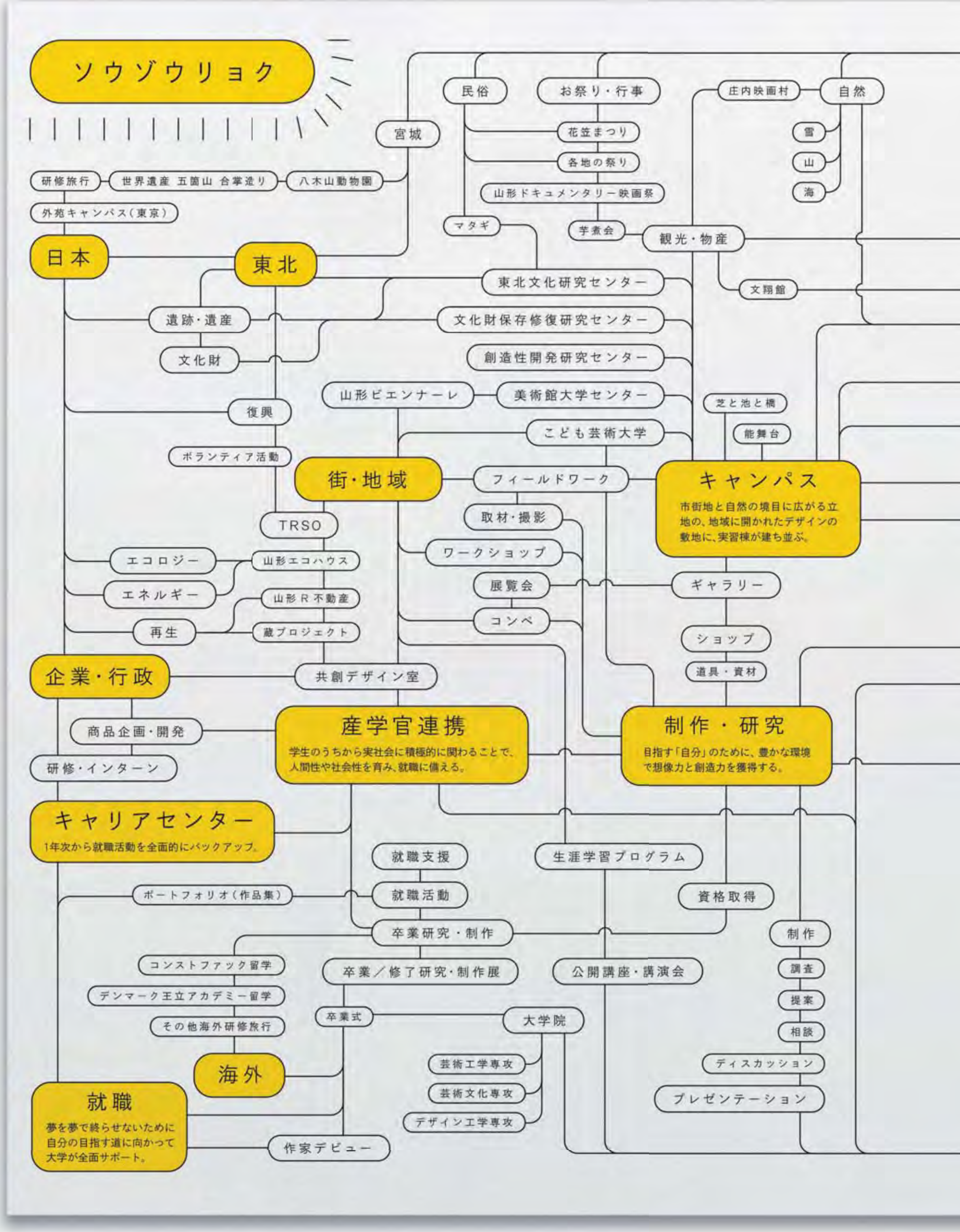
161 学生ライフ
162 学生スナップ
166 学生の一週間
170 学食
173 ショップ
174 海外留学・研修旅行
178 サークル
180 チュートリアル
182 イベントカレンダー
186 山形について

193 大学院
194 教員一覧

196 データ
197 オープンキャンパス
197 ２015年度入試概要
198 AO入試
198 入試問題集
198 アドミッションポリシー
198 入試の質問
199 学生出身高校一覧
201 学費／初年度納付金
201 パソコン教育と環境
201 学生支援体制
202 就職支援体制
202 卒業生の主な就職先
205 大学の主な事業と附置機関
207 東北芸術工科大学概要
207 交通アクセス

東北芸術工科大学 相関図 （社会をより良くするソウゾウの連鎖）




ソウゾウリョク
宮城
民俗
お祭り・行事
庄内映画村
自然
花笠まつり
各地の祭り
雪
山
海
山形ドキュメンタリー映画祭
研修旅行
世界遺産 五箇山 合掌造り
八木山動物園
外苑キャンパス（東京）
マタギ
芋煮会
観光・物産
日本
東北
東北文化研究センター
文翔館
遺跡・遺産
文化財保存修復研究センター
文化財
創造性開発研究センター
山形ビエンナーレ
美術館大学センター
芝と池と橋
復興
こども芸術大学
能舞台
ボランティア活動
街・地域
フィールドワーク
キャンパス
市街地と自然の境目に広がる立地の、地域に開かれたデザインの敷地に、実習棟が建ち並ぶ。
TRSO
取材・撮影
エコロジー
山形エコハウス
ワークショップ
展覧会
ギャラリー
エネルギー
山形R不動産
コンペ
再生
蔵プロジェクト
ショップ
道具・資材
企業・行政
共創デザイン室
商品企画・開発
産学官連携
学生のうちから実社会に積極的に関わることで、人間性や社会性を育み、就職に備える。
制作・研究
目指す「自分」のために、豊かな環境で想像力と創造力を獲得する。
研修・インターン
キャリアセンター
1年次から就職活動を全面的にバックアップ。
就職支援
生涯学習プログラム
ポートフォリオ（作品集）
就職活動
資格取得
卒業研究・制作
制作
コンストファック留学
卒業／修了研究・制作展
公開講座・講演会
調査
デンマーク王立アカデミー留学
提案
卒業式
大学院
その他海外研修旅行
相談
芸術工学専攻
ディスカッション
海外
芸術文化専攻
プレゼンテーション
就職
夢を夢で終らせないために自分の目指す道に向かって大学が全面サポート。
デザイン工学専攻
作家デビュー

文系、理系、だけじゃ足りない。
これからの世界には
枠を越えた美系の力が必要だ。

NOW
FOR
ART
AND
DESIGN.

世界が発した美系の言葉

より少ないことはより豊かなこと。

ミース・ファン・デル・ローエ

直観力と想像力を、抑え込んではならない。

フィンセント・ファン・ゴッホ

常識を疑え。

茂木健一郎

やる価値のあることは何であれ、初めは下手でも、やる価値がある。

ミケランジェロ

絵が上手な人よりも、他者を幸せにできる人を育てたい。

宮島達男副学長

わたしたちは、氷砂糖をほしいくらいもたないでも、きれいにすきとおった風をたべ、桃いろのうつくしい朝の日光をのむことができます。

『注文の多い料理店』宮沢賢治

大切なのは、疑問を持ち続けることだ。神聖な好奇心を失ってはならない。

アインシュタイン

仕事をしていて笑えるってすごくいい。

鈴木寿裕（卒業生／ポニーキャニオン）

今の仕事が未来をつくっていると思うと、ワクワクします。

小林悠（卒業生／キャノン）

どんな芸術家でも最初は素人だった。

ラルフ・ワルド・エマーソン

山形は四季のはっきりした豊かな自然があり、食べ物がおいしいことが純粋に素晴らしい。

竹内昌義（建築・環境デザイン学科教授）

マイナスの価値は、いくらでもプラスに変えられる。

馬場正尊（建築・環境デザイン学科准教授）

誰かに会ったり知らない町を見に行くだけで栄養になる。

中山ダイスケ（グラフィックデザイン学科教授）

楽しいことには、人を前向きに動かす力がある。

若尾義博（卒業生／バンダイナムコ）

いま正しい事も、数年後に間違っていることもある。逆にいま間違っていることも、数年後に正しくなることもある。

ライト兄弟

活力を与えたり、元気づけたり勇気づけるのが僕らの仕事。

山崎亮（コミュニティデザイン学科教授）

過去のものといえども真に価値あるものは常に新しさを含んでいる。

柳宗悦

僕は自然を描くのが大好き。でも、自然はなかなかその描き方を教えてくれない。だからそんな時は、まずその場に座ってみるんです。

松本哲男前学長

デザインとは、理想を実現するプロセス。

片上義則副学長

もともとアートやデザインは、人を幸せにしたり人と人とを繋ぐためにあるもの。

根岸吉太郎学長

一期一会

千利休

世界中の危機一つひとつに、歯止めの種を蒔いていきたい。

マエキタミヤコ客員教授

わが大学の前に道はなし。あるは、歴史的実験のみ―。

徳山詳直理事長

結果がわからなくても、まずやってみることです。結果は勝手に出てくるのですから。

ヘンリー・フォード

芸術におけるすべての回答は、偉大なる自然の中にすべて出ています。

アントニ・ガウディ

言葉とは、意味を考える道具なんです。

山川健一（文芸学科教授）

NOW FOR ART AND DESIGN.

芸工大で新しい自分に出会ってほしい。

これからの芸術とデザインのあり方。

学長
根岸吉太郎

芸術やデザインに対する認識は、時代によって変化して来ています。これまでは、形として見えるものを作ることが芸術・デザインの中心でした。しかし既に社会では、形に見えるものだけでなく、地域や日本、ひいては地球が抱える問題を新しい発想法で解決していくような、新しいデザインの形が求められています。それは芸術においても同じで、どこかに飾られるものだけが芸術ではなく、もっと生き方に関わってくるような、多様な形での芸術が今後注目されていくに違いありません。

実際に社会が複雑化している現代、私達の前には、今までのやり方では解決できない問題が数多く横たわっています。また震災以降、エネルギー問題といった、循環できる社会を実現するための課題が次々に見え始めてきました。そのために私達が生み出したいのは、あらゆる課題に対処できる、想像力と創造力を持った人です。芸工大では、学生自ら社会の必要性に耳を傾け、その声に対応できるよう、産学連携などの実践的な学びを大事にしています。そして教員は日々学生と向き合いながら、卒業後に活躍できるたくましい人を育て、社会へ送り出しています。

そんな中、東北芸術工科大学では、「みちのおくの芸術祭 山形ビエンナーレ2014」を山形の皆さんと共に開催することにしました。人口が減少している今、芸術やデザインを通して山形の魅力を発信することは、地域と大学を活気づけていくことにつながると考えたからです。市民と、今後も山形に在り続ける芸工大とが、芸術祭に向けた活動を共に続けていく──。私達はそこに大きな意義を見いだしています。

最後に一つ。スマートフォンのアプリなどで友人と頻繁にやりとりしている高校生は多いと思いますが、それだけでは人や社会とつながっているとは言えません。高校生の頃は、どうしても自分の周りで起きていることにだけ目が行きがちですが、大切なのは、その枠を飛び越えて「新しい何かに出会いたい」と強く思うこと。この機会に、本でも映画でも、気になる世の中の出来事でも何でもいいので、少しずつ範囲を広げながら、自分にとって大事な「何か」を探してみてください。

2009年モントリオール世界映画祭の最優秀監督賞を受賞した学長、根岸吉太郎教授の代表作の一つ『ヴィヨンの妻～桜桃とタンポポ～』

根岸吉太郎

ねぎしきちたろう／1950年東京都生まれ。早稲田大学第一文学部演劇学科修了後、日活に入社。2009年、『ヴィヨンの妻 〜桜桃とタンポポ〜』でモントリオール世界映画祭 最優秀監督賞受賞。2010年には紫綬褒章を受章。

撮影協力：表千家茶道教授 佐藤宗遙
撮影場所：山形市 茶室 宝紅庵

鍵は、芸術思考とデザイン思考。世の中の問題は美系が解決。

片上　最近、モノに限らず、ビジネスの企画開発や人と地域の関わりといったものもデザインの対象になってきています。生活を取り巻くものやことが抱える問題を解決していく時、東北芸術工科大学など「美」系で学ぶ芸術やデザイン的な物の考え方、「芸術思考・デザイン思考」は、非常に有効な技術になりつつありますね。

宮島　芸術的に物事を考える有用性は、見えないものを可視化していく力なんです。例えば算数なら図形を示すことで理解しやすくなったり、生物なら構造を絵で書いてあげることで一発で解るようになったり。

片上　やはり問題を発見、解決していく上で、感じる力、表現する力を発揮するのは非常に大事ですね。芸術やデザインを学んだ人は多様な表現能力を身に付けますから、それが問題解決能力に結びつくと思います。

宮島　芸術思考・デザイン思考をしっかり身に付けた学生達が、世の中の問題を解決して少しでも豊かな社会を作っていってくれたら…。いつもそんな気持ちでいっぱいです。

片上　芸大や美大で学ぶ問題解決の特徴は、ソウゾウ的問題解決だと思うんです。答えの見えない課題に取り組んで、自ら動いて最も良いと思える解決方法、最善解を提案していくという。

宮島　この場所から、想像力（Imagination）と創造力（Creativity）の二つを併せ持った人材を世に送り出していくことが、芸術立国を掲げる東北芸術工科大学の使命と言えますね。

片上　そう言えば以前、新入生に「大学は自分を変える所だ」って話をしたんですが、その言葉が随分と響いたみたいなんです。やはり皆、大学に入って変わりたいっていう願望があるんだと思います。

宮島　絶対そうだと思いますよ。僕ら教員と大学の力で、一人ひとりを、それぞれが持っている輝き方で、輝かせてあげたいですね。

副学長
片上義則
かたがみよしのり／1951年生まれ、広島県出身。武蔵野美術大学卒業後、(株)東芝に入社。2000年、東芝デザインセンター家電機器グループ部長に就任し、三年連続でグッドデザイン賞金賞を受賞。同センター長などを経て現在に至る。

副学長
宮島達男
みやじまたつお／1957年生まれ、東京都出身。東京藝術大学修士課程修了。ヴェネツィア・ビエンナーレ・アペルト部門で招待され、国際的に注目を集める。以来、「HOTO」（2008）など、デジカルカウンターを使った作品を数多く発表。

茂木さんもハンスさんも、声高らかに後押し。

山形の風土が導く、制作へのピュアな姿勢と高い作品クオリティ。

今は世界基準でアートを捉える時代。先進国や都市部の価値観だけを重視するのではなく、自然や伝統文化に根をもつ価値の再発見を行うことも重要なのです。東北芸術工科大学の卒展でいつも感じるのは、学生の確かな技術力と、集中力の高さと、社会で通用する基準の「考え方」。東北から次代を創る「つわもの」が出現し始めていることが、僕には実感としてはっきりと感じられるのです。

クリエイティブ
ディレクター

後藤繁雄

ごとうしげお／1954年生まれ。 坂本龍一、篠山紀信、奈良美智、蜷川実花らの写真集、アートブックを数多く制作。また、アーティスト、著名人へのインタビュアー、ライターとして様々な媒体にかかわるなど幅広く活動を展開している。

強く求められている、その先の要望を想像し解決策を創造すること。

どの業種においても、これからはいかに独自性を発揮し、新しいことに挑戦できるかがカギとなるでしょう。大切なのは、顧客の具体的な要望やその先の潜在的な要望を探り、最適なアプローチで応え、新しい価値を提供していく、想像力と創造力を身に付けること。それはまさに、東北芸術工科大学で展開する教育の核心そのもの。この二つの力は、今、社会の中で強く求められています。

三越伊勢丹宣伝部長

早川徹

はやかわとおる／1958年生まれ。(株)三越伊勢丹ホールディングス執行役員営業本部宣伝部長。1981年株式会社伊勢丹に入社。2011年 株式会社三越伊勢丹 営業本部宣伝部長を務め、2012年 執行役員に就任。2013年4月より現職に至る。

社会のあらゆる場面で発揮してほしい、想像し、創造する力。

才能に恵まれるチャンスは誰にでもありますが、良い作品を作るだけでは何も起きません。重要なのは、人脈を拡げ、サポートを受けながら、自信を持って自分の作品を外に押し出していくこと。アートには、社会に生きる人々の絆を強める力があります。そして、複雑化するこの時代に想像し創造することは、込み入った環境の中で生き延びていけるだけの力をその人に授けてくれるのです。

芸術経済学者

ハンス・アビング

ハンス・アビング／1946年生まれ。 アムステルダム大学名誉教授としてアーティストを鼓舞する研究や文化政策提言を行うと共に、アーティストとしても精力的に活動。 2009年の日本講演ツアーの際、本学でも講演を開催。

変動する社会では、視野を広げ、常識を疑える人が必要。

大きく流動する社会で求められているのは、常識を疑うことのできる、想像力と創造力を持った人材です。かつて非常識な存在だったインターネットが今や常識であるように、今までにないものを生み出す二つのソウゾウ性を養うことは、社会をより素晴らしいものに変えていく力へと繋がっています。だからこそ未来を担う若者には、広い視野と高いビジョンを持ち続けてほしいのです。

脳科学者

茂木健一郎

もぎけんいちろう／1962年生まれ。 専門は脳科学、認知科学。 感覚を構成する独特の質感「クオリア」をキーワードとした脳と心の関係の研究をはじめ、閃いた瞬間に脳が活性化される「アハ体験」の紹介など、脳に関する情報を広く提供する。

世界を変えた美系年表

ルネサンス運動から、東北ルネサンスへ。

写真：Wikipediaより

1400〜

- 1455年頃　ヨハネス・グーテンベルク／金属活字を用いた活版印刷技術の発明（ドイツ）
- 1500年頃　ルネサンス運動（イタリアほか）
- 1501年頃　ミケランジェロ／ダビデ像（イタリア）
- 1505年　レオナルド・ダ・ヴィンチ／モナリザ（イタリア）
- 1522年　マゼラン船隊が世界一周（ポルトガル）
- 1585年頃　千利休／わび茶を完成（日本）

1600

- 1610年　ガリレオ・ガリレイ／地動説を提唱（イタリア）
- 1610年頃　有田焼の始まり（日本）
- 1615年頃　桂離宮完成（日本）／回遊式日本庭園、数寄屋風の傑作（日本）
- 1617年　日光東照宮完成（日本）
- 1630年頃　俵屋宗達／風神雷神図屏風（日本）
- 1665年頃　アイザック・ニュートン／万有引力の法則（イングランド）
- 1689年　松尾芭蕉／奥の細道（日本）

1700

- 1760年　イギリスの産業革命／工業化されたモノづくりが開始
- 1786年　アマデウス・モーツァルト／フィガロの結婚（ウィーン）
- 1790年頃　喜多川歌麿／美人大首絵（日本）浮世絵

1800

- 1832年　歌川広重／東海道五十三次（日本）浮世絵
- 1851年　第1回国際博覧会がロンドンで開催（イギリス）
- 1861年頃　ウィリアム・モリス／アーツ・アンド・クラフツ運動（イギリス）モダンデザインの父
- 1867年　明治維新（日本）文明開化
- 1873年　リーバイ・ストラウス社／ジーンズの原型を発表（アメリカ）
- 1879年　トーマス・エジソン／白熱電球を発明（アメリカ）
- 1882年　アントニ・ガウディ／サグラダ・ファミリア（スペイン）未完の傑作
- 1885年　カール・ベンツ／ゴットリープ・ダイムラー／ガソリン式自動車の発明（ドイツ）
- 1888年　フィンセント・ファン・ゴッホ／ひまわり（フランス）
- 1889年　ギュスターヴ・エッフェル／エッフェル塔（フランス）
- 1896年　アルフォンス・マリア・ミュシャ／装飾パネル連作『四季』（チェコスロバキア）アール・ヌーヴォー

海外の建築家にも影響を与えた日本庭園の傑作、桂離宮。

名所を描いた歌川広重の浮世絵木版画シリーズは西洋でも話題に。

フィレンツェで花開き、全欧州に影響を与えたルネッサンス運動。

500以上の彫刻を持つ装飾技術の結集、日光東照宮の陽明門。

19世紀に美術工芸運動を主導したモダンデザインの父・モリス。

王家の谷で、3000年の時を経て発掘されたツタンカーメン王の墓。

世界で初めて印刷業・出版業を創設したドイツのグーテンベルク。

世界で最も有名な油彩画として知られる、モナ・リザ。

マゼラン率いる艦隊が、初めて世界一周。地球が丸いことを実証。

ガウディによる未完の最高傑作、サグラダ・ファミリア。

万博のために建造されたエッフェル塔は、今もパリのシンボル。

1900 / 1950 / 2000

- 1901年 ノーベル賞が設立（スウェーデン）
- 1922年 ハワード・カーター／エジプト王家の谷で「ツタンカーメン王墓」を発見・発掘（エジプト）
- 1926年 柳宗悦／民芸運動（日本）「用の美」日本独自の運動
- 1928年 ウォルト・ディズニー「蒸気船ウィリー」（アメリカ）ミッキーマウス誕生
- 1931年 ル・コルビュジエ／サヴォア邸（フランス）近代建築のマイルストーン
- 1931年 ロバート・キャパ／ちょっとピンぼけ（アメリカ）報道写真家
- 1938年 パブロ・ピカソ／ゲルニカ（フランス／スペイン）
- 1938年 フォルクスワーゲンタイプ1「ビートル」（ドイツ）近代乗用車のアノニマス
- 1947年 アンネ・フランク／アンネの日記出版（オランダ）
- 1950年 チャールズ・イームズ／シェル（プラスチック）チェア（アメリカ）
- 1954年 柳宗理／天童木工バタフライスツール（日本）山形の木工技術が世界に
- 1954年 黒澤明／七人の侍（日本）
- 1961年 アンディ・ウォーホル／キャンベルのスープ缶（アメリカ）ポップアートのファクトリー制作
- 1963年 手塚治虫テレビアニメ鉄腕アトム（日本）
- 1963年 中川李枝子（作）＋山脇百合子（絵）／絵本ぐりとぐら（日本）
- 1964年 亀倉雄策／東京オリンピック公式ポスター（日本）
- 1964年 国鉄（JR東海）／東海道新幹線開業（日本）
- 1969年 NASAのアポロ11号が月面着陸（アメリカ）
- 1970年 岡本太郎／太陽の塔（日本）日本万国博覧会
- 1977年 京都造形芸術大学／京都芸術短期大学 開学（日本）東北芸術工科大学の姉妹校
- 1983年 任天堂／ファミリーコンピュータ発売（日本）
- 1985年 NTT／日本で携帯電話が発売（日本）
- 1988年 商用向けにインターネットを開放（アメリカ）
- 1984年 宮崎駿／風の谷のナウシカ（スタジオジブリ）（日本）
- 1992年 **東北芸術工科大学開学／東北ルネサンス（日本）**
- 1993年 「法隆寺地域の仏教建造物」「姫路城」「屋久島」「白神山地」が国内初の世界遺産登録（日本）
- 1997年 現・高校3年生が誕生
- 1998年 アップル／iMac（アメリカ）
- 2005年 こども芸術大学／こども芸術大学開学（日本）
- 2005年 村上隆／お花（日本）ルイ・ヴィトンとのコラボレート商品にも使用
- 2007年 アップル／iPhone（アメリカ）
- 2010年 **東北芸術工科大学／外苑キャンパス開設（日本）**
- 2010年 小山薫堂／くまモン（日本）ゆるキャラの全国区化
- 2014年 山形ビエンナーレ開催（日本）

優れた操作性とデザインで世界の情報が手のひらに広がるiPhone。

アメリカのアポロ11号が、史上初の有人月面着陸を達成。

シンプルで力強い表現が話題を呼んだ東京オリンピックポスター。

柳宗理のデザインと山形の天童木工の木工技術が融合したスツール。

東北唯一の芸術系大学として開学した、東北芸術工科大学。

東北芸術工科大学の姉妹校である京都造形大学が一足先に開学。

20世紀のデザインに影響を与えたイームズのプラスチック製チェア。

芸術家との交流も深く20世紀最高の報道写真家と評されたキャパ。

小山薫堂学科長が手掛けた、ゆるキャラの代表的存在・くまモン。

半透明のキャンディカラーで人気を博したアップル社のiMac。

世界最多の生産台数を誇る、フォルクスワーゲン社の小型自動車。

東京ー大阪間を結ぶ世界初の高速鉄道、東海道新幹線が開業。

世界的画家・彫刻家として精力的に制作活動を行ったピカソ。

毎日の中に。

0 普通の一日 皆さんの日常に潜んでいる「いいな」「好きだな」の気持ち。それは全てソウゾウリョクに繋がっています。

1 茶碗と箸と箸置き 好きな柄の茶碗やお気に入りの箸で食べると、料理がより美味しく感じられるから不思議。工芸は食卓を楽しく豊かに演出してくれます。（工芸）

2 文化財と記事 『数百年前に描かれた絵画作品復元』の記事。そこには、文化財の保存修復に力を入れる人と、それを取材し、文章を書いて読み手に伝える文芸の分野に携わる人がいます。（文化財保存修復／文芸）

3 バス 大きな乗り物もプロダクト作品。車体のデザインはもちろん、手すりや降車ボタンの位置、イスの素材など、皆が気持ちよく乗れるアイデアが詰まっています。（プロダクトデザイン）

4 街の風景 通学途中、なんとなく好きで窓から眺める、公園の並木や河川敷の散歩道がある風景。実はそんな街の景色も、建物と同じように誰かの手でデザインされています。（建築・環境デザイン）

5 お店の外観 良いイメージを抱かせて、通る人を惹きつけることが大切なポイントに。例えば看板は木を彫ったり金属を加工するなど、お店や企業ごとに様々な工夫が凝らされています。（彫刻／工芸）

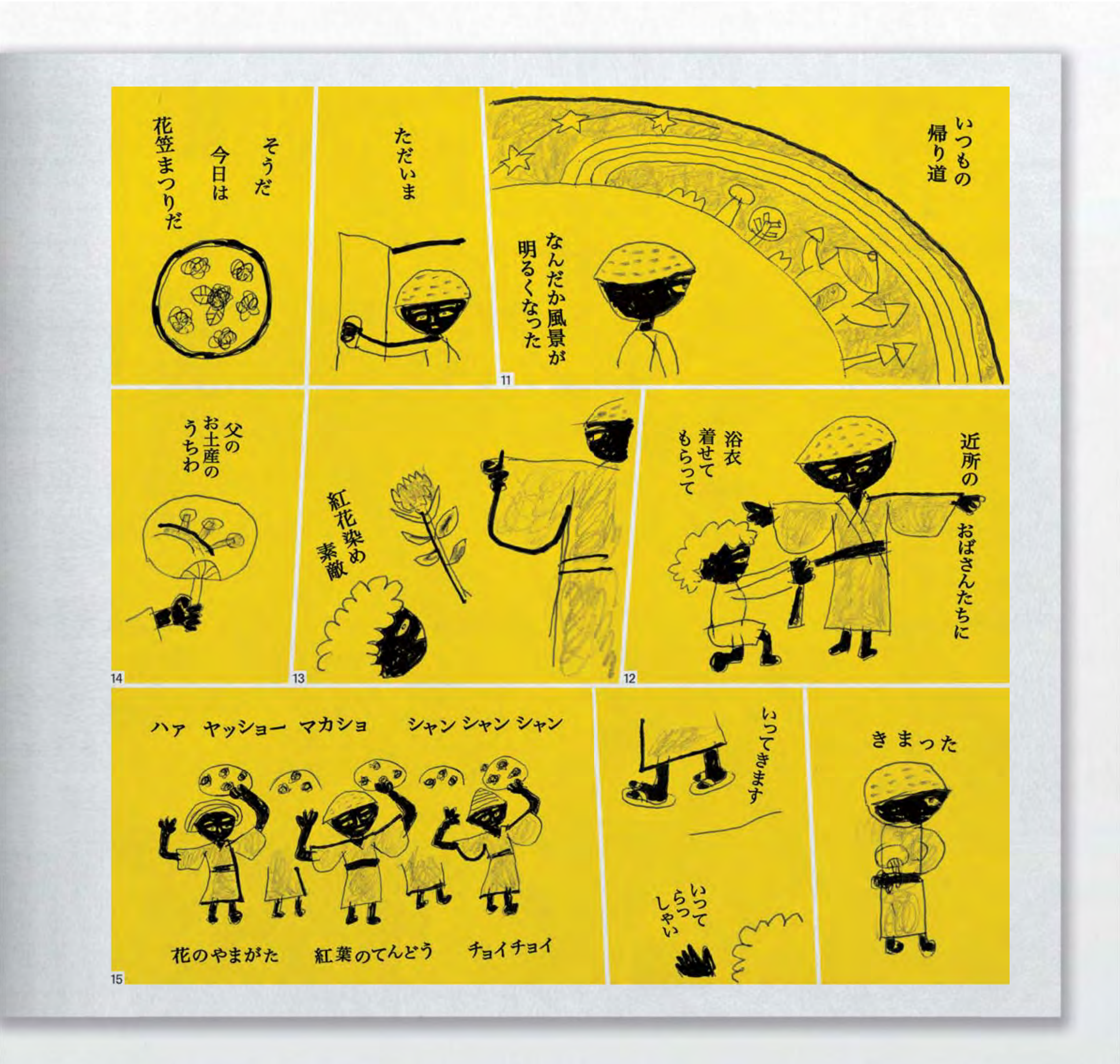
6 文房具 授業を楽しくしてくれる文房具たち。気に入っているペンや、小学生の時から変わらない消しゴム。そのモノ一つひとつに、心地よく使ってもらうためのアイデアが詰まっています。(プロダクトデザイン/グラフィックデザイン)

7 学園祭 「どんなイベント内容にしたら喜んでもらえるか?」と皆で相談する。それもひとつのデザイン。試行錯誤しながら楽しい時間を創り出す企画には、人を幸せにするパワーがあります。(企画構想)

8 教科科目 化学や社会科、国語自分の得意な教科科目が、社会で活きる学びの分野へ結びつきます。化学は修復の素材分析に役立ちますし、社会科は地域活性化、日本語の表現は小説や雑誌制作へ。(文化財保存修復/文芸/歴史遺産/コミュニティデザイン/他)

9 絵画 廊下の壁にかけられている一枚の絵。誰が描いた絵かわからないけど、使ってる色や線の太さが何となく好き。そんな風に、アートは見る人に「気づき」を与えてくれるもの。(日本画/洋画/版画)

10 スポーツドリンク 例えばスポーツドリンクを買いたい時、元気になれそうな名前のものや水分補給できそうなパッケージのものを選ぶはず。その企画やデザインひとつで、人の選択は変わってくるのです。(グラフィックデザイン/企画構想)



11 壁画 家に帰る途中、幼稚園の前で見つけた大きくてカラフルな壁画。いつもと同じ帰り道でも、そこにひとつのアートが出現しただけで、街の景色は明るく一変。通る人の気持ちまでワクワクさせる力があります。（日本画／洋画）

12 地域の活動 例えば浴衣を着たい時、着付けができる近所のおばさんにお願いして着せてもらう。そんな風に地域の繋がりを活かして、皆が楽しくイキイキする方法を考えてみることもデザインのひとつ。（コミュニティデザイン）

13 紅花染め 紅やピンク、オレンジ、黄色など、ひとつの花から沢山の色が生まれる紅花染めは山形の宝物。地域の素材を生かした自然の色は、世界の様々な文化に存在しています。（テキスタイル）

14 和紙のうちわ お父さんが出張先で買ってきた、和柄と色のグラデーションが綺麗な版画のうちわ。そこに素敵な絵や色が描かれているだけで、夏の過ごし方をちょっと小粋に変えられます。（版画）

15 花笠まつり 毎年楽しみな地元の夏祭り。参加することは地域に伝わる歌や踊りなどの民俗を、未来に受け継ぐことに繋がります。だから、皆が気軽に参加できる雰囲気づくりが大切に。（歴史遺産／グラフィックデザイン）

イラストレーター：伊藤明子（グラフィックデザイン学科卒業生）

16 舞台と踊る人 舞台を装飾したり、踊る人が引き立つ衣装を考えたりすることも、そのイベントを盛り上げるための方法のひとつ。たくさんの市民や観光客が皆で楽しめる演出をすることで、地域はもっと元気になります。（総合美術／コミュニティデザイン）

17 玉こんにゃく 山形名産の玉こんにゃく。実は戦後の米粉が不足していた頃、団子の代わりとして作られたのが始まりと言われているように、郷土料理には、その地域の時代背景や風土が深く関わっています。（歴史遺産）

18 映画 豊かな映像と音楽で、観る人の感情を豊かに引き出す映画。たとえ作品の長さは二時間でも、実際は沢山のスタッフが何ケ月も何年もかけて一本の作品を作り上げているのです。（映像）

19 ブログ その日行ったお祭りや食べた料理など、自分の一日の記録として書いたブログ。知らない町に住む誰かに「私も行ってみよう、食べてみよう」という想いを生み出しているかもしれません。（文芸）

20 自分の家 いつものように夜が来て、いつも通り朝を迎える。そんな当たり前の日常を安心して過ごせるのは、家族と暮らせる家があるから。そんな風に視点を変えてみると、新しい何かに出会えるかも。（建築・環境デザイン）

大学設立の宣言
この大学は、悠久の大河最上川をつつんで、
蔵王連峰、出羽三山、朝日連峰に囲まれる
日本文化の源流、縄文の奥深い土壌の中から生まれた。
産業革命に始まる近代文明は、二十世紀末の今日に至って、
人類自らを存亡の危機に立たせている。
科学技術と経済理論によって支配された現代社会は、
それ故に、人類史を貫いてきた精神の尊厳、
人間であることの意味を、根底から問われるに至った。
目前に迫った新しい世紀は、戦争と平和、南北問題、
更には体制崩壊の問題を基軸とする新しい世界調和への展望、
そして何よりも、この母なる大地ー地球ーをいかにして守るか、
これら人類生存条件の解決こそ最大の課題ではなかろうか。
この大学は、芸術的創造と、人類の良心によって
科学技術を運用する新しい世界観の確立を目指して、
その課題に応えたい。
我が大学の前に道はなし。
あるは、歴史的実験のみー
一九九二年 春　徳山詳直
TOHOKU UNIVERSITY OF ART AND DESIGN

東北芸術工科大学だけの10の価値

その1
入学後のステップアップ

その2
確かな就職支援

その3
優れた教授陣

その4
教科でも実技でも、広く開かれた入試

その5
豊かな学習環境と新しい施設

その6
産学官連携プロジェクト

その7
16学科コースをこえた交流

その8
学びを深める附置機関

その9
首都圏美大との差は大きい、芸工大の学費

その10
東北だけ、山形だけの風土

東北芸術工科大学だけの10の価値

その1

入学後のステップアップ

社会で必要とされる、考え抜く力、達成する力、表現する力を、「ソウゾウリョク」を育む演習で修練。また、「芸術思考」「デザイン思考」という考え方を基に、芸術やデザインと社会との関係性を実感しながら、自らの将来像を描ける教育プログラムを展開しています。問題発見・解決能力を習得する事で、東北の幅広い企業や首都圏の大手企業への就職、作家デビューなど、皆さんの夢に大きく近づく事ができるのです。

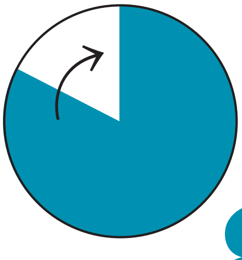
大学生活をスムーズに導く教養科目

高校と違う大学の環境に馴染んで学習できるかという不安は、皆さんが抱くもの。芸工大では語学などの一般的な教養科目に加えて、学生生活や学習方法を円滑に身につけるための大学入門科目を開講しています。畑で野菜を苗から育てて収穫することで、生命の成長や大地の息吹を体験する取組みも実施。就職に向けたキャリア科目も開講し、社会人としての姿を身に付けていきます。

その2

確かな就職支援

社会で幅広く活躍でき、自身で目指す将来へと進めるように、就職活動に向けたプログラムを1年次より開始。キャリアセンターのスタッフが、学生を力強く、丁寧に支援します。



※就職率＝
就職者数／就職希望者数×100です。

就職を全面サポートするキャリアセンター

「キャリアセンター」が、履歴書や面接なども細かくアドバイスしながら、4年後、社会へ大きく羽ばたけるようにバックアップ。就職率は86%を達成しています。また、「社会で働くことの価値観」と「社会で働く人生の設計力」という考え方も同時に養成。卒業生を講師に招いて「自分の働き方をつくる」方法や「芸術を社会でどう活かすか」など卒業後の生き方を導きます。

その3

優れた教授陣

それぞれの学科やコースで学生を指導する教授陣は、その分野のプロ。

映画監督の根岸学長を始め、脚本家の小山教授や建築家の竹内教授、修復家の藤原教授、小説家の山川教授など、自らも深く社会と関わりを持ちながら多くのプロジェクトを実施。そこで得る今の情報や人脈が、学生の学びの場へと還元されます。そして、この教授陣と学生との距離が近く、接する機会が多いことも、芸工大の大きな特長です。

その4

教科でも実技でも、広く開かれた入試

学ぶ姿勢を体験授業などで評価するのが芸工大の「ＡＯ入試」。また得意な教科科目やセンター試験を利用しての受験も可能。広く開かれているのは、社会で求められている力を育む自信があるからです。

熱意を見るＡＯ入試

デザインや芸術は、想いや情報を相手に「伝える」ことが基本。ワークショップや面接で、学びたい意欲と目的などを多面的に評価します。合格後、入学準備プログラムも設定しています。

その5

豊かな学習環境と新しい施設

芸工大は、施設や設備を良い状態に更新を続けています。数年前に日本画や洋画のアトリエを一新したほか、プロダクトデザイン学科や建築・環境デザイン学科も開放的な演習室に改修。映像学科には映画館と遜色無い試写室を設けたほか、グラフィックデザイン学科の演習室はデザイン事務所のようなオシャレなインテリアに。工芸コースの登り窯や大きなアトリエも、広大なキャンパスを持つ芸工大だからこその施設です。

施設の利用時間は1日13時間

授業期間中は朝8時から夜9時まで、思う存分大学のアトリエや施設の利用が可能です。自らの、学びたい、制作したい、という強い動機に応えられる環境が、芸工大には整っています。

【授業期間】平日：8時～21時／土曜日：8時～17時／日曜日：閉館【夏期／春期休業期間】平日：8時～17時／土曜日：8時～17時／日曜日：閉館

画材店　彩画堂

文具から画材、日用品まで、芸工大ライフに必要なアイテムが揃う学内ショップ。画材などは割安で購入が可能。画材選びなどで悩んだ時は、スタッフからアドバイスもらえます。

東北芸術工科大学だけの 10の価値

センター試験や教科科目でも

面接と実技の組み合わせだけでなく、教科科目だけでも受験できる「自己推薦入試」や、得意な教科科目で挑戦する「一般入試」や「センター試験利用入試」という入試方法もあります。

主な入試制度

AO入学試験

面接＋課題

●「東北芸術工科大学で学びたい！」という強い意志と目的意識を持った方を求める入試。 ●ミニ講義や体験授業への参加・面接などにより、多角的な評価で選考。 ●受験時点での実力だけでなく、これまでの取り組みや活動も評価。 ●合格の場合、入学辞退は不可。

自己推薦入試

小論文／実技型　教科科目型

●出願条件は、以下のどちらか。「調査書の評定平均値が3.3以上、または各教科の評定平均値で4.0以上の教科が1つ以上あること」「AO入試に出願したもの」●【A 小論文／実技型】小論文又は実技系試験＋人物評価（出願書類と面接試験）の総合評価で判定。【B 教科科目型】教科1科目＋人物評価（出願書類のみで面接試験なし）で判定。 いずれも第三志望の学科・コースまで併願可能で、A、B両試験への同時出願も可能。

一般入学試験（前期）

複数学科併願 ○　他大学併願 ○

以下の2つの受験パターンから選択
（学科・コースにより異なる）
A. 得意な教科2科目
B. 得意な教科1科目＋小論文／実技試験

詳細は 197 ページに記載

その6 産学官連携プロジェクト

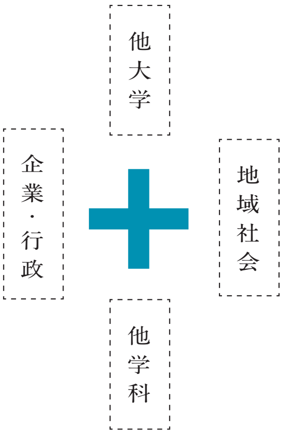
企業の方から学ぶ機会や、地域の方と共に活動する機会が沢山あり、授業を通じて社会で活きる様々な力を得られるのも、芸工大ならでは。

地域企業との連携で課題の解決策やデザインを提案・実施する「産学官連携」に積極的に取組んでいます。お祭りを盛り上げたり、被災文化財を修復したり、新商品を企画販売するなど、社会とのプロジェクトへ実際に参加。この経験は、後の就職にも大きく役立ちます。

その7 16学科コースをこえた交流

他学科の専門的な授業も履修が可能。自由に参加できる課外活動も盛ん。

他学科の教授や学生へ話を聞きに行ったり、共に活動する機会も少なくありません。地域と関わったイベントやワークショップなどの課外活動や、グループ展として学外の方に作品発表が可能なギャラリーも併設しています。大人のための「生涯学習」などもあり、幅広い年齢層の、多くの人と触れ合える学生生活は、自らの可能性を広げることでしょう。



その8

学びを深める附置機関

芸工大には、多くの大学附置機関や研究センターがあり、学科コースでの専門的な学びを支えています。特に芸術学部では、社会と芸術を結ぶ幅広い活動を展開している「美術館大学センター」が、デザイン工学部では、地域企業などとの産学官連携をサポートする「共創デザイン室」が様々な機会や環境を提供しています。

東北文化研究センター
大学の建学の理念を支える。歴史遺産学科と主に連携

美術館大学センター
東北の風土に根ざした草の根的な芸術運動を展開

文化財保存修復研究センター
東北の文化財を守る中核。文化財保存修復学科と主に連携

共創デザイン室
地域企業や自治体などをデザイン力・企画力でサポートする連携窓口

こども芸術大学／こども芸術教育研究センター
こどもとお母さんのための幼稚園と並ぶ教育機関

東北復興支援機構 TRSO
東日本大震災後の「新しい社会・東北」を創造するプロジェクト室

その他、文明哲学研究所や東アジア芸術文化研究所、創造性開発研究センターがあります。

その9

首都圏美大との差は大きい、芸工大の学費

芸術系大学は授業料が割高ですが、芸工大は首都圏の美大の平均と比べて年間約40万円も安価に設定。また学食や市内を走る通学バスなど、お財布に優しく毎日の暮らしを過ごせる環境が整っています。

-40 万円

その10

東北だけ、山形だけの風土

4年間の授業料は160万円の差

芸工大の初年度の学費は両学部平均146万円なのに対し、首都圏私立美大の平均は約186万円。芸工大は公設民営ということで施設整備費が不要で、実習費も設定していません。

他の芸術系私立大学との学費比較
（初年度にかかる入学金と授業料）

東北芸術工科大学（両学部平均）※1	1,460,000円
首都圏主要私立3美大平均 ※2	1,860,000円
私立大学 芸術系全国平均 ※3	1,678,242円

※1：別途、表の通り保護者会費・学生会費（16,000円）と学研災保険料4年分（4,660円）がかかります。／※2：2013年4月、東北芸術工科大学調べ。別途、実習費や校友会費などがかかります。／※3：文部科学省平成24年度私立大学等入学者に係る初年度学生納付金平均額の調査結果より抜粋。

奨学金と奨励賞

経済的援助を必要とする学生を「日本学生支援機構奨学金」のほか、各種団体による多様な奨学金制度でサポート。例えば日本学生支援機構奨学金の場合、在学生の約半数、1141名（平成25年1月現在）が受給しています。さらに功績のあった学生に奨励金の授与を行う「学長奨励賞制度」もあります。

学生食堂

学食は朝7時半から夜7時までオープンしており、殆どのメニューが400円以下。リーズナブルだけどボリューム満点のメニューで、朝・昼・晩の3食をしっかり応援します。

通学バス

講義の時間に合わせて山形駅前付近と大学を結ぶ通学バスを運行。仙台―山形駅間の高速バス、大学前を経由する仙台―上山間の高速バスを利用して、仙台から通学も可能です。

アパートの家賃

山形は家賃相場が安く、ワンルームのアパートが3~5万円程度。芸工大周辺には学生向けアパートが沢山あり、徒歩や自転車で通学できるため、交通費もかかりません。

縄文の文化が色濃く残り、豊かな自然に囲まれた山形。

マタギをはじめとする東北の民俗や、ドキュメンタリー映画祭の開催、表情豊かな四季、社会と直結した活動がしやすい都市規模など、山形でなければ得ることができない学びの環境が、芸工大の周りに広がっています。

東北芸術工科大学だけの10の価値

×温泉街

アートプロジェクト「ひじおりの灯」

「ひじおりの灯」は、肘折地区と芸工大が協力して毎年8月に開催しているアートプロジェクト。雪の残る春に学生が温泉街に滞在しながら、30～40個の灯ろう絵を月山和紙に制作し、盛夏に温泉街に飾ります。肘折カルデラや月山の壮大な景観、生命力溢れる動植物の造形、人々の暮らしなど、様々な「肘折物語」が、この夏も八角形の灯ろうに描かれました。

TUAD NEWS

オフィスのランチタイムを明るく

美術科洋画コースは、NPO法人東北の造形作家を支援する会（SOAT）の依頼で、エスパル仙台店の社員食堂と談話室に飾る壁画を制作しました。瑞々しい緑が印象的な「サラダの森」、見るだけで心が華やぐ「フルーツの池」、落ち着きとインスピレーションが同居する「白樺の林」の３つの作品を描き、利用者からは絵画があることで明るい雰囲気に変わったと好評です。

子どもの夢をはぐくむ街

プロダクトデザイン学科と建築・環境デザイン学科では、横浜市のリスト株式会社との産学連携として、「こどもの夢をはぐくむ街」プロジェクトを実施しています。建築・環境デザイン学科では、販売される住宅のモデルハウスを設計。プロダクトデザイン学科では、住宅内部に備え付けるインテリアや家具をデザインしました。2014年6月から分譲開始予定です。

クラフトフェア2013
―テトテノマルシェ―

美術科工芸コースとテキスタイルコースの在学生と卒業生、教員による展覧会「素材の展望2013」を11月9日～16日に本館7階ギャラリーで開催。4回目の今回は、卒業生や教員が生み出した様々な工芸作品、約100点を展示したほか、約300点の手作り食器の展示販売「クラフトフェア2013―テトテノマルシェ―」も初めて開催しました。

廃校を舞台に一日限りの音楽祭

2013年11月、「月山青春音楽祭2013」を山形県の旧西山小学校で開催しました。“日本に音楽文化を根付かせたい”寺岡呼人氏の熱い思いから生まれた世代を越えたこのイベントは、今回で2回目。企画構想学科の3年生が中心となって平原綾香とKANのライブ、レコード展などを企画・運営し、1日限りの音楽祭は感動と共に幕を閉じました。

×遺跡

国内最大規模？
「日向洞窟」の発掘調査

歴史遺産学科の長井謙治講師を団長に、歴史遺産学科の学生を含む23名の日向洞窟発掘調査団を組織し、2013年8月～9月に山形県高畠町の「国指定史跡日向洞窟」の発掘調査を行いました。調査の結果、国内の洞窟遺跡群の中でも最大規模の遺跡である可能性がある事が分かり、今後、炭素を用いた年代測定などで科学的な検証を進める予定です。

×佐藤浩市

佐藤浩市客員教授の特別講義

文芸学科客員教授として就任した日本を代表する俳優佐藤浩市氏による特別講義を2013年1月に開催しました。映画監督で学長の根岸吉太郎教授と作家で文芸学科長の山川健一教授との対談の中で、映画人を志したきっかけや、映画の撮影で何度も足を運んだ山形・東北への思い、“表現”“芸術”の核についてなど、表現全般や映画への熱い思いを語りました。

TUAD NEWS

所蔵作品を保存修復

宮城県美術館から文化財保存修復研究センターへの依頼を請け、ダニ・カラヴァンの作品「マアヤン」の保存修復を文化財保存修復学科の藤原教授と学生が手がけました。作品には多数の亀裂や欠損などが見られたため、主な処置はそれらの修復と洗浄。学生たちは現場での体験を通して、作品の持つ情報を最大限に残しつつ直す「保存修復」の定義を再確認しました。

×美術館

×高畠町

人と自然と文化の繋がりを紐解く

高畠町に古くから伝わり生活に密着してきた高畠石。2010年に最後の職人が引退して以来、採掘は行われていません。歴史遺産学科の北野准教授は、一昨年から「高畠まちあるき」を主催し、月に一度、学生と共に高畠町で高畠石の実態を調査。一軒一軒歩いて訪ねながら、高畠石を使用している遺構や石造物を探し記録、地域住民に聞き書きを行っています。

×芸術祭

山形ビエンナーレ 2014 を開催

東北の魅力をアートの力で掘り起こし、全国へ発信する「みちのおくの芸術祭 山形ビエンナーレ 2014」を、芸工大が中心となって開催します。期間は2014年9月20日から10月19日までを予定。山形の歴史・文化の象徴として県民に親しまれる文翔館を主会場に、国内外からお招きするアーティストと地域の皆様とで共に創り上げる芸術祭を目指しています。

×家族

キッズアートキャンプ山形

福島県のご家族54名を芸工大へご招待し、楽しい時間を過ごす夏のアート林間学校「キッズアートキャンプ山形2013 木を書いて森をつくろう」を2013年8月3日、4日に開校。書家の華雪さんを講師にお招きし、自らの気持ちを書で表現するワークショップを楽しみました。この活動には多くの在学生や卒業生がボランティアとして参加しています。

TUAD NEWS

×医療

山形献血ルームのインテリアデザイン

赤十字血液センターからの依頼を受け、プロダクトデザイン学科の早野由美恵准教授が学生と共にデザインを担当し、山形市内に移転オープンしました。インテリアデザインしたコンセプトは、山形の雄大な自然と、歴史の中で育まれてきた技術や和。献血ルームとしては珍しく、癒されるような空間に仕上がっています。またロゴマークも学生がデザインしたものです。

×温泉旅館

老舗旅館のリノベーション

湯野浜温泉「亀や」の改修の一つとして、建築・環境デザイン学科の学生が設計した特別な客室が「クラウドルーム（雲の部屋）」。コンセプトは“日常から解放される、雲の上にいるような空間”です。ベッドから壁面、天井までがひと続きの緩やかな木の曲面で包まれ、特注の白いクッションを幾つも設置。ロゴマークはグラフィックデザイン学科の学生が担当しました。

×お祭り

若者で盛上げる！
日本一 さくらんぼ祭り

山形県「文翔館」と七日町大通りで2013年6月に開催された第二回「日本一 さくらんぼ祭り」に、芸工大の在学生が多数関わりました。お祭りの目的は、山形から“元気”を発信し、東北の復興に繋げること。学生が制作したお神輿を担いで行脚したほか、オリジナルダンスの披露やグッズコンテストなど、「さくらんぼ」にちなんだ多くのイベントが行われました。

山形を学生独自の視点で映像化

山形県の情報をタイムリーに発信するため開設されたインターネット放送局「やまがたChannel」。若者にも行政の情報を伝えるため、2010年から前田哲准教授の監修のもと、官学連携プロジェクトとして実施しています。映像学科2年の学生を中心にユーモア溢れる短編動画を制作。山形の魅力を独自の目線で捉え、山形県のHPから世界に発信しています。

×山形県

RADUATES

東北芸術工科大学の卒業生

いろんなモノやコトと連鎖しながら
培ってきたソウゾウリョク。
そのチカラは、ジャンルを問わず
多方面で活かされています。
卒業後、先輩たちはどんな未来を切り開き、
社会や地域をどう元気づけているのでしょう。

FOOD COORDINATOR

1

山﨑慎也／フードコーディネーター
1999 年度 映像学科卒業
有限会社石森スタジオ

1975 年岩手県生まれ。岩手県立宮古高等学校出身。美術科彫刻コースに入学後、映像学科に転科。現在は石森スタジオにて、主に各メーカーの広告に掲載する料理のスタイリングなどを担当。

※卒業学科・コースは、現在の学科コース構成で相当する名称としています。所属、役職などは取材時のものです。

G

PHOTOGRAPHER

2

中川恵／フォトグラファー
2009 年度 映像学科卒業
有限会社石森スタジオ

1987 年山形県生まれ。山形県立上山明新館高等学校出身。現在は石森スタジオにて、料理写真を撮影している。

カメラマンとして入社し、現在は料理をより美味しく見せる演出を行うフードスタイリストとして活躍する山﨑さん。「主に広告写真の仕事をしているので、作品を街で見かけたり、周囲で話題になることは嬉しいです」。手がけた仕事の高い評価が次の仕事へと繋がっているのが、山﨑さんと、勤める石森スタジオの強み。「言われたことだけなら誰でもできます。だから撮影現場では常に想像力を働かせ、それ以上を提案するようにしています。積極的に〝こんな見せ方もできますよ〟と相手に伝えて〝その方が美味しそう！〟と採用された時が一番嬉しいですね」。今日の山﨑さんの活躍の裏には、実力主義の現場での毎日の鍛錬があるのです。「大学時代はとにかく好きなことを沢山やるのがいいと思います」。

ARCHITECT

3

菊池佳晴／建築家
1999 年度 建築・環境デザイン学科卒業
菊池佳晴建築設計事務所

1977 年宮城県生まれ。宮城県泉館山高等学校出身。山形・仙台の設計事務所勤務を経て、2011 年菊池佳晴建築設計事務所を設立。2013 年には設計を担当した写真スタジオがグッドデザイン賞を受賞。

仙台を拠点に、東北各地の住宅や店舗などの設計を行う菊池佳晴建築設計事務所。代表を務める菊池さんは、一級建築士として新しい空間を生み出し続けています。「いつも大切にしていることは、自分が〝心地良い〟と感じた時、その要素が何処にあるのかを客観的に探ること。それは天井の高さや光の入り方、素材感など無意識に感じていることを意識化することです。そうやって五感で得た〝心地良い〟という感覚を、常に空間づくりに活かしています」。また、建物だけでなく家具や照明器具なども提案するという菊池さん。「一番の理想は、手に触れるもの全てをデザインすることなんです。お客様は一人ひとり価値観が違います。だからこそ僕も自分の型を作らずに、一緒に楽しみながら、ニーズに合ったデザインをしていきたいと思っています」。

菊池さんが手掛けた仙台市内の写真スタジオ「STEP PHOTO STUDIO」が、2013年度グッドデザイン賞を受賞。

※卒業学科・コースは、現在の学科コース構成で相当する名称としています。所属、役職などは取材時のものです。

CLAY MODELER

福井純一／クレイモデラー
2006 年度 美術科彫刻コース卒業
日産自動車株式会社

1983 年北海道生まれ。北海道札幌藻岩高等学校出身。入社後、大学で身に付けた彫刻の技術を活かして、クレイ（粘土）を用いたクルマの立体モデル製作を行っている。

4

福井さんの仕事は、デザイナーが描いた絵を、粘土で立体にすること。「デザインが決定するまでは、とにかく粘土を盛ったり削ったりの繰り返しですね」。二次元のデザインスケッチを立体化するのに必要なのは想像力と創造力。福井さんは、芸工大で彫刻を学んだことでその両方が身についたと実感しています。クルマのデザイン開発は期間も長く、企画から世の中に出るまでにかかる年月は3～4年。「今後、自分が手がけたクルマがいろいろと発表されます。自分で自信が持てるもの、自分にしかできないものをつくり続けたいですね」。目指すのは〝名車〟と呼ばれるようなクルマを手がけること。「自分の手がけたクルマが、世界中のどこに行っても走っている。それが実現できたら凄く嬉しいですね」。

モデリングスタジオと呼ばれる白い空間で、福井さんは上司や仲間と共に車のクレイモデルを作成している。

PRODUCT DESIGNER

5

黒沼宏美／プロダクトデザイナー
2007 年度 プロダクトデザイン学科卒業
株式会社トンボ鉛筆

1985 年埼玉県生まれ。さいたま市立浦和南高等学校出身。消しゴム、スティックのりといったヒット商品を生み出している大手文具メーカー・トンボ鉛筆で、文房具などのデザインを担当。

6

DESIGNER

盛内美里／デザイナー
2010 年度 グラフィックデザイン学科卒業
株式会社 AOI Pro.

1988 年宮城県生まれ。宮城県泉高等学校出身。入社後、主に大手企業の WEB デザインを手掛けている。

※卒業学科・コースは、現在の学科コース構成で相当する名称としています。所属、役職などは取材時のものです。

トンボ鉛筆に入社し、商品企画部で文房具などのプロダクトデザインを担当する黒沼さん。在学中は卒業制作として、風で浮遊する立体凧の造形研究に取り組みました。当時から貫いているのが、〝まずは手を動かして作ってみること〟。「〝こうすれば使いやすいかも〟と頭の中だけで考えても、実際に自分の手で形やディテールを確認しないとわからない部分もあるし、作っていく中で生まれた発見が一番確かな気がします。使っている子ども達が〝楽しい〟と感じてくれる文房具、そして『MONO消しゴム』みたいに永く愛用されるような商品を生み出したいですね」。また、幼児用文房具のアイデアも考えている黒沼さん。「子ども達が生まれて初めて触る文房具が自分の手掛けたものだったらと思うと、すごく嬉しいんじゃないかなと思うので」。

上／誰もが上手に使える人間工学（エルゴノミクス）形状の修正テープ「モノエルゴ」は、レッドドット・デザイン賞2013を受賞。

下／子どもから大人まで、生活の中で毎日使う文具だからこそ施されている、思わず手に取ってみたくなる機能的なデザイン。

テレビCMやデジタルコンテンツの企画・制作などを手掛けるAOI Pro.(アオイプロ)。盛内さんは現在、主にWEBサイトのデザインをしています。これまで、スバル『フォレスター』の走行性能を実証するスペシャルサイトのWEBデザイン・更新業務などに携わってきました。そんな盛内さんが大切にしているのは、人と上手に付き合う力。「例えばデザインデータを渡す時は、相手が円滑に作業を進められるよう、どこをどう修正したかがひと目で分かるようにしています」。その盛内さんの優しさはサイトの中にも。「読みやすい文字の配置にしたり、気の利いたデザインのバナーにするなど、見る人への気遣いを実際に形にできるところ、それがWEBデザインの魅力だと思っています」。

上／SUBARU「FORESTERLIVE」車の性能を実証するため、一年間世界中を旅する様子を紹介し続けたスバルのサイト。盛内さんはデザインと更新業務に携わった。

下／サントリー酒類「自家製フルーツブランデーはじめましょ」同じく盛内さんがデザイナーとして携わった、若者や女性のブランデーに対するイメージを変えるため新しい飲み方を提案したサントリーのサイト。

CONSULTANT

鈴木芽久美／コンサルタント
2010 年度 大学院環境デザイン領域修了
株式会社リビタ

7

1986 年山形県生まれ。山形県立山形工業高校出身。建物のリノベーションやシェア型賃貸住宅「シェアプレイス」の企画・運営に携わる。

リノベーションを数多く手掛ける株式会社リビタで活躍中の鈴木さん。「古い建物が新しく生まれ変わる。そこには大きな感動があります。どんなコミュニティが生まれるのか、どういう交流が行われるのか、実際に携わって様々な変化を見られるのは楽しいし、やりがいも大きいです」。そんな鈴木さんが目指すのは、人との繋がりを大切に、より良いコミュニティづくりに貢献すること。プロジェクト毎にコンセプトを企画したり、モデルルームのインテリアデザインのプランを一日で仕上げたりと、忙しくも充実した毎日を送っています。

CURATOR

渡邉淑恵／学芸員
2004 年度 大学院保存修復領域修了
NPO 法人西沼田サポーターズ・ネットワーク

8

1980 年山形県生まれ。山形県立山形北高等学校出身。天童市西沼田遺跡公園の管理 NPO の学芸員として企画から運営管理までを担当。

歴史遺産学科と大学院で数々の現場を体験しながら、木製出土品の発掘や保存方法を学んだ渡邉さん。現在は、西沼田遺跡公園の管理を行うNPO法人西沼田サポーターズ・ネットワークに所属。学芸員として、スタッフや会員と共に施設の運営や事業企画に取り組んでいます。「体験学習に来てくれた子ども達にいつも話すのは、昔の人達は暮らしに必要な素晴らしい知恵や役割を持って生きていたということ。最近は個々の時代と言われていますが、皆と協力しながら生きていく大切さは昔も今も変わらないと私は思っています」。

※卒業学科・コースは、現在の学科コース構成で相当する名称としています。所属、役職などは取材時のものです。

CERAMIC ARTIST

長瀬渉／ 陶芸家
2001 年度 大学院工芸領域修了
モンネポルト

9

1977 年山形県生まれ。日本大学山形高校出身。長崎へ移住し陶芸ギャラリーを運営。作品制作の傍ら、ワークショップやライブも企画。

日常食器として４００年以上親しまれる波佐見焼の里で、工芸作家としてギャラリー『モンネポルト』を営む長瀬さん。同じ敷地内には、仲間に声をかけて立ち上げたカフェや生活雑貨店なども並び、観光客や地元の人達が集う新たなコミュニティスペースとなっています。さらに陶芸のワークショップやライブの企画など前例のないことに取り組み、地域の人と人、町と町とを繋ぐ役割も。「風情があってロケーションにも恵まれている波佐見は、歩くだけではもったいない町。もっと若い人が定着するような、魅力的な町にしていきたいですね」。

PRODUCT DEVELOPER

板垣裕香／製品開発・企画広報
2011 年度 グラフィックデザイン学科卒業
山形食品株式会社

10

1988 年山形県生まれ。山形県立鶴岡中央高校出身。企業 HP やパンフレットの編集、商品の広報業務など幅広い業務に取り組む。

板垣さんが勤めるのは、サン&リブのジュース『山形代表』で知られる山形食品株式会社。ホームページの編集や更新、ブログ公開のほか、広告など印刷物関係の業務を担当しています。さらに、山形食品が主催するサン&リブコンサートでは、イベント会社を通さずに企画から全て自社で行うことを経験。「芸工大では技術的なこと以上に、ものを作る上での考え方や体験といった根っこの部分を学べたと実感しています」。山形の人が他県の人や知り合いに自慢できるようなジュースを作りたい。そんな想いを胸に、板垣さんは今日も仕事に励んでいます。

STAFF OF CULTURAL PROGRAM 12

菅野有風子／文化事業調整員／（公財）山形県生涯学習文化財団

山形市にあるルネサンス様式の重要文化財『文翔館』。現在は郷土館として一般開放されています。ここで働く菅野さんは、主に事業として行うイベントなどの企画運営を担当。その傍らで、収蔵物の管理や企画展示品の陳列作業にも携わり、優れた価値を人々に「残したい」と感じてもらえるように、“見てもらう”ことの大切さを実感しています。　宮城県仙台第一高校／文化財保存修復学科卒業

GRAPHIC DESIGNER 11

髙谷廉／グラフィックデザイナー／ AD & D

世界的な広告賞を受賞するグラフィックデザイナー兼アートディレクターの髙谷さん。大学では“多面的にものを捉える力”を養ったそう。「視覚的な装飾ではなく、発せられるメッセージで心がどう動くか、社会に何を届けられるか、その後のストーリーも含めて“デザイン”です。デザインの可能性を信じて、教育現場にも関わってみたいです」。　仙台市立仙台高校／美術科彫刻コース卒業

PRODUCT DESIGNER 14

川瀬和幸／プロダクトデザイナー／ KEN OKUYAMA DESIGN

川瀬さんは地元企業の製品デザインに携わるほか、最近では海外からの家具デザインの依頼も増えているとか。日頃デザインする上で重視しているのが、日本ならではの丁寧さや美しさ。「日本だからこそ実現できる技を活かしてモノづくりをしています。山形からデザインを提案していけることは、凄く良いことだと思っています」。滋賀県立長浜北星高校／大学院プロダクトデザイン領域修了

RESEARCHER 13

渡辺和行／調査研究員／（公財）山形県埋蔵文化財センター

県内の遺跡発掘調査や成果報告を行う渡辺さん。発掘はやり直しが許されないため、現場では幅広い知識による的確で臨機応変な判断が求められます。「木製品や金属が出土すれば保存科学の知識が必要ですし、関連する遺物は考古学の考え方が必要になります。その分野同士の繋がりに気付いたのは大学時代でした。広く学んだ経験は今も活きています」。　福島県立川俣高校／歴史遺産学科

※卒業学科・コースは、現在の学科コース構成で相当する名称としています。所属、役職などは取材時のものです。

TEACHER

16

武田亮／美術教諭／山形県立南陽高校

教員の仕事にやり甲斐を感じている武田さんは、在学中は教職課程の課外活動に参加し、学生代表を務めるなど積極的に経験を積みました。そこで得たことが、専門の彫刻以外を指導する局面で活きているそうです。「自然教室など、生徒との学外での活動が、今も教育に対する興味や、工夫を凝らして相手に伝える力を養うことに繋がっています」。　山形県立山形工業高校／美術科彫刻コース卒業

DIRECTOR

15

森田雄／映像ディレクター／（株）NAKED

2012年末に話題となった、東京駅のプロジェクションマッピング『TOKYO HIKARI VISION』の映像制作に携わった森田さん。「何を見て、どんな視点で考え、どう糧にして“0”を“1”にするか。その瞬間が一番大変で、大事なポイントだと捉えています」。映像を様々な視点で見つめ楽しむ森田さんの想像力から、今日も新たなアイデアが生み出されています。　山形県立長井高校／映像学科卒業

COORDINATOR

18

左治木悠子／コーディネーター（営業支援）／金剛（株）

左治木さんは、主に文化財を扱う美術館・博物館の収蔵庫や展示台の設計に関して、打合せから仕様決定まで、各部署を結ぶ業務全般のコーディネートを担当しています。要望を聞く力と同時に提案力も必要となるこの仕事。大学時代に繰り返した数々のプレゼンで鍛えられた「自分の考えをまとめて人に伝える力」は、今も現場で活かされています。　東京都立国立高校／文化財保存修復学科卒業

DESIGNER

17

有賀達馬／カーデザイナー／富士重工業（株）「スバル」

自動車のボディやホイールのデザインを担当している有賀さん。仕事でいつも大切にしているのは、未来のお客様を想定したデザインと、そこに到達するストーリー。「手を動かすだけではデザインは生まれません。感覚だけではなく理論立てが大事です。産学連携プロジェクトなどで、在学中に積んだ一連の経験が今の仕事に活かされています」。　札幌手稲高校／プロダクトデザイン学科卒業

21

CG DESIGNER

（株）バンダイナムコゲームスで、レースゲームのフィールド作成を担当する若尾義博さん。世界中のサーキットに足を運び、計測や撮影を繰り返しながらゲームの世界を生み出してきました。大学で懸命にCGを作った経験が集中力を養ったと言います。
東京都立松が谷高校/映像学科卒業

20

CIVIL SERVANT

大江町教育委員会教育文化課に所属する庄司光幸さんと菊地泰子さん。庄司さんは地域活性行事の企画や運営を担当。菊地さんは左沢楯山城の保存方法や活用計画など、歴史文化財に関する調査を手掛けています。
（庄司さん）プロダクトデザイン学科卒業
（菊池さん）大学院歴史文化領域修了

19

BANK CLERK

山形銀行鈴川支店の得意先課で、顧客の意向に沿った商品の提案を行う木村恵理さん。「お客様に心を開いてもらえるように、まずは私から心を開いてお話するよう心掛けています」。大学で培ったコミュニケーション能力は、今も仕事で活かされています。
山形県立山形西高校/企画構想学科卒業

24

FURNITURE DESIGNER

山形市で家具デザイナーの相田広源さんが経営するティンバーコートでは、デザイン性の高いテーブルやイスなど、一人ひとりに合った高品質のオリジナル家具を受注生産しています。「お客様の顔を見てものづくりできることが、何より嬉しいです」。
山形中央高校/プロダクトデザイン学科卒業

23

PRODUCT DESIGNER

産学連携プロジェクトをきっかけに山形カシオへ入社した伊澤和宏さん。自社製品の本体デザインの他、パッケージやロゴのデザイン、取扱説明書からPVのディレクションまで、幅広く担当。山形のものづくりを世界に発信すべく活動しています。
東北学院高校/プロダクトデザイン学科卒業

22

ARTIST

妖怪や精霊、悪魔、神話に登場する神などをテーマに制作を行う画家として注目されている金子富之さん。「自分の中から噴出してくる感覚やビジョンを、それに適した妖怪や精霊や神様を媒体にして、常識にとらわれず様々な画風で表現しています」。
秀明英光高校/芸術工学研究科博士課程修了

27

ADVISOR

芸工大と山形県デザインネットワーク、山形県工業技術センターが連携した「やまがたデザイン相談窓口“D－Link”」。月本久美子さんと大場智博さんは、日々寄せられるものづくりの相談に親身に対応しています。
（月本さん）映像学科卒業（大場さん）プロダクトデザイン学科卒業

26

ANIMATOR

「絵を描くことが職業になっている、それだけですばらしいと感じています」と語る佐藤詩穂さんは、スタジオジブリで背景作画を手がける美術部スタッフ。普段から縁石に落ちている落ち葉の具合など、街の風景を細かく観るようにしています。
札幌大谷高校/美術科日本画コース卒業

25

ART DIRECTOR

（株）クリエイターズグループMACのアートディレクターである森健太郎さん。洋画で養ったデッサン力は、現在も画面を構成する力として活きています。「大学では作品づくりだけで終わらせず、それをどう伝えるかまで見つめて欲しいですね」。
宮城県白石高校/美術科洋画コース卒業

※卒業学科・コースは、現在の学科コース構成で相当する名称としています。所属、役職などは取材時のものです。

30

STORE STAFF

アウトドア総合ブランド「モンベル」で販売スタッフとして働く甚野清英さんは、接客、商品管理、ディスプレイなどを担当。在学中に培ったフィールドワークの手法が、お客様とのコミュニケーションを通して商品を提案する仕事に活かされています。

福島県立福島西高校/歴史遺産学科卒業

29

PRODUCT DESIGNER

ソニー（株）でオーディオ関連の製品デザインを担当する鈴木匠さん。仕事する上で大切にしているのは、使う人の感覚を見失わないよう自然体でいること、そして自分自身が欲しいと思えるモノづくり。日常のなかに様々なアイデアを発見しています。

山形県立東根工業高校/プロダクトデザイン学科卒業

28

MANAGER

（株）天童木工に就職し、布地などの発注・管理を担当する鴨田康介さんは、日々手にする素材の数々に刺激を受けています。「人の暮らしを支えるのがものづくり。受験生の皆さんにも様々な素材に触れ、貪欲に挑戦してほしいですね」。

山形県立左沢高校/美術科工芸コース卒業

33

CURATOR

鶴岡に芸術文化を広める「鶴岡アートフォーラム」で、学芸員として様々な展覧会やワークショップを企画・実施している平井鉄寛さん。市民の方々が芸術に触れられる機会をつくり出し、芸術の楽しさを伝えることで地域に貢献しています。

仙台向山高校/文化財保存修復学科卒業

32

LANDSCAPE DESIGNER

環境不動産のコンサルティングや都市の環境デザインを行うCSRデザイン＆ランドスケープ（株）。工藤まいさんは、在学中に養った“自由に考える”実践力で、ランドスケープの設計を主に、ビルの緑化計画や日々変化する植栽の管理を行っています。

山形城北女子高校/建築・環境デザイン学科卒業

31

RESEARCH ASSISTANT

コニシ（株）浦和研究所で、合成接着剤のトップブランド『ボンド』※の研究開発補助を務める坂戸千鶴さん。研究員と共に、接着剤の粘度やpHの測定、性能の評価などを行うほか、顔料を使った調色にも挑戦中です。

千葉県立佐原高校/文化財保存修復学科卒業

※『ボンド』は、合成接着剤をはじめとするコニシ株式会社の製品ブランドです。

36

PRODUCER

（株）ポニーキャニオンで、DVD販売までに関する全プロデュース業務を担う鈴木寿裕さん。「視聴者の“薬”になる作品は難しいかもしれないけど、せめて“毒”になれたら嬉しいな」。そんな人生のスパイスになる作品づくりを目指しています。

宮城県石巻工業高校/映像学科卒業

35

PRODUCER

杉山敬太郎さんは、インターネットショッピングモール『楽天市場』で、オークションサービスを提供するプロデューサー。芸工大で学んだ、特定の分野でしか表現できないものを突き詰めることの大切さが、今も仕事の一つひとつに活かされています。

宮城県利府高校/文化財保存修復学科卒業

34

GRAPHIC DESIGNER

卒業後、（株）ビーアールジーを設立し、CDジャケットやツアーパンフなどミュージシャンのグラフィックデザインを手掛けている乗上拓摩さん。今までの歩みを振り返り、全力で好きなことをやり続けることの大切さを改めて実感しています。

岩手県立福岡高校/グラフィックデザイン学科卒業

2015年度 東北芸術工科大学 学部、学科、コース構成図

ACADEMIC STRUCTURE

デザイン工学部

「コト」のデザイン

P52

課題を抱えている地域や企業へ出向き、教員と共にあらゆる視点で解決策を提案していく、それが「コトのデザイン」です。実例への挑戦を通して、高い実践力とコミュニケーション能力を育みます。

企画構想学科

エンターテイメントコンテンツ企画／商品開発・ブランド戦略／広告・広報・マーケティング／地域社会・環境プロデュース

コミュニティデザイン学科

ワークショップ／コミュニケーション／地域プロデュース&コーディネート／行政計画

「モノ」のデザイン

P66

企業と取り組む産学連携、そして各分野をリードする教員により育まれる高い社会性。世の中をより良く変えるデザイン力に繋がっているだけでなく、地元や大手企業への就職をも可能にしています。

建築・環境デザイン学科

建築／インテリア／環境／ランドスケイプ
ライフスタイル／エネルギー

プロダクトデザイン学科

製品デザイン／インテリア・家具デザイン
モビリティ／生活雑貨

映像学科

アニメーション／映画・CM／コンピューターグラフィックス／写真

グラフィックデザイン学科

グラフィックデザイン／広告／エディトリアル／WEB／イラストレーション

カリキュラム表の見方

●選択:[選択科目] 自らの意思で自由に選択できる科目です。●選択必修:[選択必修科目] 専門科目で、所定の科目数か単位数に至るように履修しなければなりません。●必修:[必修科目] 卒業要件として必ず履修しなければならない科目です。履修できる科目が各年次で指定されます。●履修年:（1～4年次)とある場合1～4年次の任意の年次で履修可能です。（1年次)とある場合は､1年次にしか履修ができません。

「知」の芸術

本物の現場、社会と隣り合わせで学習し表現できる環境は、その土地の文化やモノの魅力を知る上でとても大きな魅力となります。また、芸工大に附随する研究センターと連携した学びも特長です。

P90

文芸学科
ライティング／編集
雑誌制作／出版企画

歴史遺産学科
歴史／考古／民俗・人類
調査·発掘／聞き書き

文化財保存修復学科
絵画修復／立体作品修復／保存科学

「美」の芸術

豊かな自然に包まれ、現代をリードする教授陣により着実に培われていく表現力。作家としてはもちろん、あらゆる分野で活躍していける社会性を育成します。それが「99%のためのアート教育」です。

P110

美術科　洋画コース

美術科　日本画コース

美術科　総合美術コース
アートワークショップ／アートエデュケーション

美術科　工芸コース
陶芸／漆芸／金工

美術科　彫刻コース
木彫／石彫／金属彫刻

美術科　版画コース
木版画／銅版画／スクリーンプリント

美術科 テキスタイルコース
染色

一般教養
全学教養科目
全学専門科目

大学院
芸術教学研究科 博士後期課程
芸術教学研究科 修士課程

DESIGN OF “KOTO”

「コト」のデザイン

コミュニティデザイン学科

企画構想学科

コミュニティデザイン学科と企画構想学科。コトのデザインのプロがリードする両学科。

小山薫堂 × 山崎亮

山崎　コミュニティデザインは、地域住民の主体性をどう引き出していくかが最大の主眼です。住民が動きだし、コミュニティをつくって何か新しいことを始める、というところまで持っていくのが僕らの仕事。僕らが抜けた時に活動が止まらないよう、住民の方の話を聞きながら進めます。こちらが中心でアイデアを出してしまうと住民がお客さんになってしまうので、そうならないように。

小山　企画を構想する上で僕が一番理想だと思うのは、実は山崎さんがやられているようなこと。僕の会社で熊本県の仕事『くまモン』を請けた時、最初に「僕は何もしませんよ」と言ったんです。ただ皆さんが動くための種は差し上げます、と。『くまモン』も最初は僕が作ったものの、その後の展開は皆さんが考えて、人気が出ました。

山崎　へえ。もっとこう提案をバーンと立ち上げてグイグイ進めていくイメージを持っていました。

小山　企業が困っていて考えられるスタッフもいない場合はそういう時もあります。でも基本的には企画の種を渡して育ててもらう考え方です。

山崎　我々の場合は、企業ではなく行政に関わってやっています。どういう風にゴールしたいのかを相手から引き出し、やり方を練習しながらチームを作っていくという、間接的な関わり方をしていますね。

小山　両学科が連携して、魅力溢れるプロジェクトを進めていける気がしてきました。企画構想学科の場合は、先に（アイデアの）種を私たちが作って相手に「育ててください」と渡すことが多いです。そこが両学科の違いと言えるでしょうね。それから、実は学生にこういう仕事に就いてほしい、というのがないんです。きっと山崎さんは、地域のためになる人間を育てたいと思っていらっしゃると思うんですが。

山崎　そうですね。ふるさとを元気にしたい、と。

小山　そこがすごく明快。僕の場合は違っていて、自分の人生を楽しく生きられる人になってほしい、というのが一番なんです。誰かの幸せを作ることに喜びを感じられるような人間になってほしい。企画構想学科では、人間力と精神論、そして少しだけ発想するコツを教えられたらいいなと思っています。これはありとあらゆる職業に通じるのかな、と。

小山薫堂／企画構想学科教授

山崎亮／コミュニティデザイン学科教授

山崎　僕は、学生には育ててもらった場所を元気にしていくことに対する問題意識を持っていてほしいですね。各地域で「若い人がいれば…」という話を必ずされるので。それと、今考えているのは、コミュニティデザイン学科で2年生になったら、全員が個人事業主として起業する、ということ。卒業の時には廃業届けを出して企業に就職するか、そのままいくか、どっちか。そんな学科でもいいのかなと。

小山　本当にそうしたら、就職率100％じゃないですか！

山崎　相当の覚悟が必要ですけどね（笑）。税金や収支も理解して事業を立ち上げ、本気で取り組んで、実績を作る経験を大学でしてもらう。起業するなら、故郷のためになるコミュニティビジネスを自分たちで考え、それに必要なものを4年間かけて探っていきたいなと思っています。

小山薫堂

こやまくんどう／放送作家、（株）オレンジ・アンド・パートナーズ代表取締役社長、N35inc代表。現在、「世界遺産」の構成に携わる一方、エッセイ執筆や商品開発、ラジオパーソナリティなど様々なメディアでライフスタイルを提案。

山崎亮

やまざきりょう／ランドスケープデザイナー、コミュニティデザイナー、株式会社studio-L代表。公共空間のデザインをはじめ、完成した公共空間を使いこなすためのプログラムデザインやプロジェクトマネジメントに携わる。

「コト」をデザインする芸工大だけの２学科

コミュニティデザイン学科

課題や悩みを持つ相手と、一緒に考え、活動をサポートすることで解決に導く。

【ヒアリング】地域にどんな人が、どんな思いを持っているかを知ることが、コミュニティデザインの第一歩。1時間じっくり話を聞くことで、信頼関係も構築します。

▼

【ワークショップ】「批判しない」「みんなが意見を言う」「アイデア便乗歓迎」などルールを決め、楽しく真剣に話し合いができるように場をつくり、アイデアを創出します。

▼ ▲

【チームビルディング】アイデアづくりと同時に、地域の人が地域の課題を解決できるチームづくりをサポートします。また簡単なゲームを通して仲間意識を高めます。

▼

【初動支援・継続支援】アイデアができたら試しにやってみる！地域の人と一緒に実験的に活動をスタートさせます。また活動が継続できる仕組みづくりも提案します。

企画構想学科

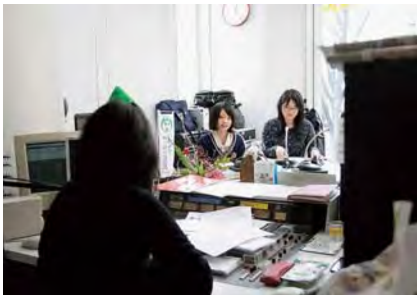
課題や悩みを持つ相手に、自らアイデアと企画を考え実践することで解決に導く。

【企画会議】企業や自治体の要望を受けて、その解決のためにどんな事ができるのか、数名のグループでアイデアを出し合い、様々な人の意見を聞きながら、企画をまとめます。

▼ ▲

【マーケティング調査】企画がまとまったら、その実施に何が必要なのか、人やお金、時間、会場など様々な要素を詰めていきます。 企画のアイデアを実現する重要な段階。

▼



【広報・広告】実施する企画を多くの人に知ってもらうために、WEBサイトの運営や新聞、雑誌などの媒体へ情報提供を行う方法などもアイデアを出し合い検討します。

▼

【実践・プロデュース】課題解決に向けて段取り、行動します。 月山青春音楽祭ではイベントの運営までを担当。 アイデアを実現に結びつけ、大きな達成感も得られました。

目指せる代表的な職業

例えば下記のような職業が、コトのデザインの分野で学ぶ専門性を活かして、目指せる代表的なもの。もちろん、この一覧に無い職業にも就くことが可能です。

公務員、団体職員

市民や県民の暮らしを想像し、より良い社会を創造していくことが目的。地域の問題を発見し、解決していく能力が求められています。

旅行、観光、ブライダル

旅行者や新郎新婦が思い出に残る楽しい時間を過ごせるようプロデュースする職業。相手の気持ちを十分に理解した提案が必要です。

広告代理店、マスメディア

社会への影響力が特に強い分野。テレビやHPなどで、より多くの人にニュースやイベント、製品などの情報・広告を発信します。

ホームページ・雑誌編集

企業や自治体のホームページや、雑誌など書籍の制作・編集。視覚的な美しさだけでなく、情報の価値を見極め、適切に纏める力も問われます。

商品開発、商業施設

コミュニケーション能力はもちろん、顧客のニーズに応え、満足いく商品提案と、時間と空間の創出も重要。最新トレンドを予測する情報収集も必要です。

NPO（まちづくり、環境、自然、エコ）

世の中の問題に向き合い、解決策を考え実行することで社会に貢献するNPOの仕事。環境や私たちの暮しをより良く変えていく大切な存在です。

福祉関係

高齢者や障害者、福祉施設などが抱える問題を、相手を思いやる力で副次的に解決。自ら考え行動する力を活かして、手助けしていきます。

企画・イベントプランナー

多くの人や社会を幸せにするため、アイデアを考え実現していく仕事。その根本にあるのは、「誰かを喜ばせたい」というワクワクした気持ちです。

コミュニティデザイナー

地域が抱える問題の本質を発見し、住民を主役に、解決策を共に考え活動をサポートするのが役割。社会をより良く変えていく魅力があります。

地域コーディネーター

地域の資源や価値を活用した新しいツーリズム（観光）やまちづくりの分野で、期待が寄せられている職業の一つです。

起業家

専門性と、想像力と創造力を活かし、会社の設立も視野に。コミュニティデザイン学科では学生一人ひとりが会社として自立し、学びます。

学芸員、プログラムコーディネーター

作品や作家の魅力を読み取り、多くの人に伝えるのが使命。美術館や博物館などが活躍の場です。

COMMUNITY DESIGN

コミュニティデザイン学科

「歌ってまちを元気にしよう!」という市民アイデアの社会実験。盛り上がって部屋を飛び出し、歌いながら商店街を練り歩いてみたら、まちの人が応援してくれました。(群馬県富岡市)

アイデアを出しやすい場作りもコミュニティデザインの一つ。イラスト入りのカードやカラフルなマーカーペンなどで、どうしたら誰でも参加しやすいワークショップになるかなど、基礎から学修。

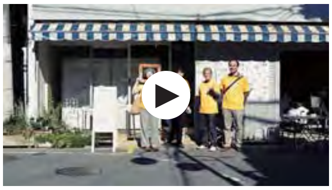
立川こども未来センターでは、施設の中で市民が様々なプログラムを実行するお手伝い。 アイデアが上手く出せるようにオリジナルのツールを使ってワークショップをしました。

中山間離島など過疎地で活躍する集落支援員の基本は、地域の小さな声を拾うこと。 道端で休憩しているおばあちゃんと雑談しながら、地域自立の足掛かりを探します。

地域の魅力や価値を引き出し、人と人とをつなぐことで課題解決に貢献する。それがコミュニティデザイナーの仕事です。主役は地域で暮らす人たち。コミュニティデザイナーは、地域支援のスペシャリストとして、様々なデザイン手法を駆使し、課題解決できるチーム＝コミュニティをつくります。

取組む分野は人がつながるための場としてのワークショップやチームビルディングから、地域の想いを表現する冊子や映像の制作、商品開発まで多岐に渡ります。「見えないデザイン」から「見えるデザイン」までを扱う、国内初の学科です。学科長にはstudio-Lの山崎亮を迎え、専任教員はすべてstudio-Lの現役スタッフが担当。また学科の学生は、公務員講座の受講料が免除されることも特長です。今、一番地域に必要とされる人を輩出していきます。合言葉は「ふるさとを元気にするデザインを学ぼう！」です。

ON AIR TUAD TRIP!



http://www.tuad.ac.jp/trip

上記URLで全学科コースの学生を追ったムービーを公開しています。 スマートフォンもOK!

地域の価値を引き出し、人と人をつなぐ。

地域プロデュース&コーディネート：子どもとアートが出会う瞬間！住民が持っている知識やスキル、興味を引き出し、組み合わせると公共空間が輝きます。

コミュニケーションデザイン：特産品のパッケージデザインから、食育ワークショップのツールまで。 美しく想いが表現されたモノは人々の心に届きます。

ワークショップデザイン：リラックスできるように場の空気をつくるのもワークショップデザインのひとつ。老若男女が「地元クイズ」で盛り上がります。

14 間伐・竹炭づくりで、竹の里山を復活させよう。炭焼きクラブ「鎮竹林」。

今、竹林がたいへんなことになっています。放置竹林です。手の入っていない竹林は、その生命力があだとなってどんどん増殖し、光をさえぎり他の植物の成長を止めてしまいます。また竹は根が浅く、大雨になると土砂崩れをおこしやすく、流れ出した土が海をにごらせるという被害にもつながっているそうです。そこで、竹林を広葉樹の森に変えたり、持続的に手入れが可能な竹林は、間伐をし、竹の恵みを活かす活動が必要となっています。

海土町には、いち早く放置竹林の問題に取り組んでいる人たちがいます。炭焼きクラブ「鎮竹林」です。彼らは、竹林の間伐を行い、間伐した竹で炭をつくっています。また今後は、間伐した竹を海に沈めて漁礁にしたり、竹炭を商品化するなども考えているそうです。手入れした竹林では、質のよいタケノコも取れるようになりますから、一石二鳥にも三鳥にもなる活動です。

困りものの竹林から、竹炭やタケノコ、漁礁づくりなどの竹の恵みが享受できる「里山としての竹林」に変えていく。炭焼きクラブ「鎮竹林」と一緒に、竹の里山モデル地区をつくりませんか？

行政計画：無味乾燥な行政計画をもっと住民に引き寄せたい！そんな思いから１人から始められるまちづくりのアイデア冊子が生まれました。

学べる分野

ワークショップデザイン

地域の人が課題を解決する最初の一歩は、話し合いの場。楽しみながら参加でき、どんな人でも発言できる場のつくり方を学びます。話し合いを進めながら、アイデア実行の担い手も生み出すワークショップです。

コミュニケーションデザイン

地域の想いを伝えるためにはカタチが必要。編集、WEBや映像制作などのスキルを基本にしながら、観光ツアーや特産品といった商品開発まで、地域の内外をつなぐコミュニケーションデザインを学びます。

地域プロデュース&コーディネート

地域で活動するコミュニティを継続的に支援し、賑わい創出や課題解決に導くことも大切な役割。地域の人の魅力を引き出し、アートや福祉の分野などでも必要とされます。新たな価値を生み出す力を培います。

行政計画

市民と共に動く「協働」は、今の行政にとって欠かせない視点です。円滑に協働を生み出すための行政計画づくりの方法や、建物などのハード整備の計画など、行政ならではの計画手法を学びます。

「瀬戸内国際芸術祭」へ地元の島民が参加したい。

▼

「一緒にアートしよう！」。島民350人が醤油で作品づくり。

まず、島の魅力と課題についての島民へのヒアリングと、作品の素材を探すフィールドワークを行いました。 その結果、小豆島の特産品である「醤油」に島独自の文化があらわれていること、さらに醤油産業には様々な廃棄物があることがわかり、醤油にまつわる「島で余っているもの」を使った制作という方向性を定めました。

次に、作品構想のために、島民を集めて話し合いの場を持ちました。 そのなかで、濃度の異なる醤油を詰めた「たれ瓶」約8万個を使った作品づくりが決定しました。 制作過程では、幼稚園や老人介護施設などで醤油詰めワークショップを行い、約350人の島民がかかわるアート作品の支援をしました。

まちの高齢化と、商店街の空き店舗に悩んでいます。

▼

住民と新たに地域に来た若者で、まちを元気にするアイデアを実行！

昭和の時代は多くの人で賑わった大分県豊後高田市の商店街。現在は空き店舗や空き地が目立ち住民の6割が65歳以上という高齢化に悩んでいます。さらにまちに関心を持つ住民が少ないという悩みもあります。 そこで未来の商店街を考える会議を開き、集まった住民で考えたアイデアを空き店舗を使って実現しました。

今年度は市外から若者を呼び、共にまちを元気にする活動を実施。 地域の人やまちを訪れる観光客が商店街を楽しめる企画を展開。 若者は空き店舗を改装して商店街での起業を目指しています。 従来のモノやサービスを売る商売ではなく、まちのニーズを担い課題を解決する商いを考え、住民の方に支えられながら試行錯誤中です。

職員一丸で、地域と共に生きる病院にしたい。

▼

病気でない人でも立ち寄れる「また来てね」と言える病院に！

兵庫県明石市の病院の移転計画を支援。病院の機能に「公民館的なスペース」を付加するため、敷地内に市民が集まれるスペースを設け、カフェや保育園、健康相談ができる「まちの保健室」などをつくる予定。 また、病院と地域の農業者を連携し、地産地消で健康に配慮したレストランや、園芸療法などのプログラムも検討中です。

同時に、病院内のスタッフを対象にワークショップを開催し、「学び・働き続けられる職場づくり」「院内のコミュニケーション活性化」「医療の質向上と医療安全」「地域連携と在宅」などのテーマについて、活発な話し合いを行っています。 スタッフが一丸となって、これからの新しい病院づくりが進行中です。

全く新しい美術館を、東北で地域の人とつくりたい。

▼

地域の人と、アートの力で、障がいを越えた多様な社会をつくる！

福島県猪苗代町にある古い酒蔵を改装して「はじまりの美術館」をつくるプロジェクトにを支援。 アール・ブリュット（"生の芸術"）分野の作品展示や企画を実施する予定です。 運営は郡山市の精神的・知的障がいを抱える人の支援団体。 施設の利用者が生み出す作品の展示などを通じて、障がいに対する社会の理解を深めます。

猪苗代町は高齢化と少子化、商店街の空洞化という課題を抱えています。 この美術館を地域の人と共に創ることで、課題を一緒に解決できるように、2014年6月のオープンに向けて住民とのワークショップを進めています。 ほっとする場所、誰かに会うために行く場所、という住民の希望が叶うように取り組んでいます。

4年間の主な授業

全学教養科目 / 全学専門科目　全ての学生共通の全学教養科目と全学専門科目は151ページに掲載。

CURRICULUM

1年

社会課題を発見し解決するソーシャルデザインの基本的な概念を学びます。実際に手を動かし「見えるデザイン」と「見えないデザイン」の両方のデザインに接することで、デザイン思考の本質を理解します。その上で、人と人をつなげ課題を解決するコミュニティデザインとは何かを学びます。

コミュニティデザイン基礎演習／ヒアリングやテーブルワークショップ、チームビルディングなどコミュニティデザインの基本的な技術を学習。人の心の動きに敏感になれる感性を磨きます。

コミュニティデザイン事例研究／コミュニティデザインの先進地から講師を招き、現場の声を聞き、課題の捉え方から解決方法、成功の要因などを分析研究します。夏の集中講義として開催。

2年

2〜4年の演習を地域別スタジオ制にし、一緒に学びます。ヒアリングやワークショップを実施し、課題解決に向けて動き始めます。実際の現場で必要になるチラシの制作や、ムービーや写真での映像記録、空き家改修のノウハウなど、目に見えるデザインの技術も同時に学び、現場に活かします。

編集基礎／ワークショップの内容をまとめたニュースレターや冊子づくりなど、コミュニティデザインの現場で必要な紙媒体の編集方法を学修。効果的な写真の撮り方、文章の書き方も学びます。

コミュニティデザイン実習／夏休みや春休みを活用し、行政やNPO、企業などにインターンシップすることで、卒業後の進路決定に役立てます。自ら仕事を見つけ働けるスキルを身につけます。

3年

マネジメント感覚を磨くことを目的に全員がコミュニティデザイナーとして起業します。自分の活動対象とする地域を設定してプロジェクトを立ち上げ、卒業研究に向けて動き始めます。また、卒業後の進路を見据えたインターンシップも体験し、社会的実践力を身に付けます。

商品開発論／地域資源を活かした観光ツアーやプロダクトの製作過程に、いかに住民を巻き込み、地域の課題を解決し、誇りを醸成するか。コミュニティデザイン流の商品開発方法を学びます。

行政計画論／住民とともに地域づくりの一翼を担うのが行政です。行政計画や行政・住民の協働の仕組みづくりなど、コミュニティデザインの視点を織り交ぜた計画・施策づくりを学びます。

4年

4年次は、各自が設定した地域で、コミュニティデザインのスキルを活かしたプロジェクトを主体的に実施し、卒業研究とします。教員の指導を受けながら、課題の分析や地域との関わり、調査を通して、課題解決に結びつけます。実際の社会でも通用するコミュニティデザイナーを目指します。

卒業研究／3年次終了までに各自フィールドを設定。4年次の1年間を十分活用し、コミュニティデザインの手法を用いて課題解決に取り組みます。

資格取得

【卒業時取得可能資格】
学芸員

※掲載している内容は開講予定の授業の一部です。

身につける10の力

10 POWERS

コミュニティデザイナーとしての独立に必要な力を基礎から学修。地域の人が課題を解決できる「コミュニティをデザインする」スキルに加え、ツール製作や事業のマネジメント方法も身に付けます。

1 話す
司会や講座などを担当できる

2 書く
議事録や記事、報告書など適切な文章で書ける

3 描く
図面やスケッチ、イラストなどを描ける

4 調べる
適切な事例や地域の資源を見つけ出せる

5 引き出す
対話から相手の想い、意見を引き出せる

6 創る
情報を統合してビジョンや企画を生み出せる

7 作る
WEBや冊子、家具などをデザインしたり組立てられる

8 組織化する
自律的なコミュニティを組織化できる

9 まとめる
事象を構造化して報告書などにまとめられる

10 数える
スケジュールや予算の管理ができる

PROJECT DESIGN

企画構想学科

「くまモン」は企画構想学科の小山薫堂教授が発案者。山形での「くまもとから元気をプロジェクト」の企画から実施まで、実際に学生が担当。こども芸術大学で子どもたちと一緒にくまモン体操を踊りました。

企画の実現の前に欠かせない、依頼者や関係者へのプレゼンテーション。パワーポイントなど発表に用いる効果的な資料の制作方法や、話し方なども基礎から学びます。

実地調査や社会動向の確認をしっかり行なう事で、確かな裏付けの有る企画に結びつきます。

小山薫堂教授と寺岡呼人氏による対談イベントなども企画し実践。第一線で活躍する方と関わりながら学べる環境は、芸工大ならでは。

日常の当たり前を見直し、新たな価値を生み出していく面白さ。企画構想学科では、広告や広報、映像やホームページといったコンテンツ企画、企業や商品のブランド戦略など、あらゆる分野で周りの人や地域、社会を今よりもっと幸せにするための「企画力」と「実践力」を学びます。魅力の引き出し方や時代を見極める感性を実例から習得すると共に、地方企業や自治体と連携したプロジェクトを実際に企画・運営。アイデアを相手に伝え、共感を得るためのプレゼンテーション能力も磨きます。指導にあたるのは、学科長である小山薫堂教授をはじめ、元大手広告代理店のプランナーなど、第一線で活躍する教員達。実社会を舞台に身に付ける、諸問題を解決へと導き実行する力は、職種を問わず即戦力として求められるものです。活躍の場は幅広い企業や地方自治体など、可能性は計り知れません。

ON AIR TUAD TRIP!

http://www.tuad.ac.jp/trip

上記URLで全学科コースの学生を追ったムービーを公開しています。スマートフォンもOK!

企画の力で社会を
今よりもっと幸せにする。

調査や企画会議でアイデアがまとまったら、資料を制作し、企業の担当者へプレゼンテーション。 社会と直結したリアルな課題を通じて、実践力を高めていきます。

企画立案に向けて、グループでアイデアを出し合い、あらゆる可能性を探ります。 他には無い新しい企画にするための、大切な企画の「種」の共有です。

情報窓口や広報担当など、大きなイベント企画の実現には、沢山の人の協力が必要不可欠。 他学年の学生や他学科と協力する機会も少なくありません。

新しい商品企画の立案の場合は、実際に工場や企業に出向いて現場で調査を行う事も。その他、マーケティングの手法なども基礎から学んでいきます。

学べる分野

エンタテインメントコンテンツ企画

テレビやラジオ、SNSやホームページなど、現代はまさにコンテンツの時代。実際の放送やWEBでの公開を目標に見据えた具体的な課題を設定し、企画・構成から制作までの一連の流れを習得します。

商品開発・ブランド戦略

企業の存在や商品の販売にとって重要な意味を持つ、ブランド力。特産品を生かした商品開発に地元企業と取り組んだり、海外ブランドの見本市の出展に協力するなど、実践的に経験を高めます。

広告・広報・マーケティング

マスメディアやインターネット、口コミなど幅広い分野を視野に、情報を効果的に伝える広告や告知方法を実践的に習得。記者へ情報提供を行い記事として掲載してもらう、広報活動も経験します。

地域社会・環境プロデュース

少子高齢化が進む中で求められている、社会を動かす企画術。廃校を利用した音楽祭を開催するなど、地域社会と企画の力を組み合わせることで、地域が抱える問題を解決していく方法を学びます。

企画構想学科の様々な取組み

純米吟醸酒 つや姫なんどでも 商品開発

×東の麓酒造（有）「若い人へ日本酒の美味しさを伝えたい」

企画構想学科の学生が商品コンセプトから販売戦略を企画し、グラフィックデザイン学科の学生がラベルデザインを担当。 冷めても美味しい、食べ飽きない、原料となるお米「つや姫」の特質を生かし、「何度、何℃」でも美味しく飲めるお酒ができました。 この商品は、「山形エクセレントデザイン 2013」で大賞を受賞しています。

くまモンの山形を巡る１日をプロデュース

×くまもとから元気をプロジェクト

1～2年生対象の授業で 15 チームが企画を出し合い、くまモンが山形で過ごす１日の行動を企画・プロデュース。 くまモンが巡る山形の名所の殆どが、「山形の魅力を伝える」を核に学生が提案した場所です。 中でも、こども芸術大学でのオリジナル絵本でのサプライズイベントは、絵本制作や運営も学生が行ないました。

金谷ホテルへの研修旅行

×日光金谷ホテル「若い視点でお客様が喜ぶアイデアを」

例年１年生全員で３月に、100年以上の歴史を持つ日光金谷ホテルへ研修旅行に出かけています。 ホテルに宿泊して一流の「おもてなし」を体感した後、企画を考え、ホテルに提案する課題に取組みます。 実際に取り入れたいと言われた企画も過去にあり、終止笑顔が絶えず大いに盛り上がります。

ローカル線を高校生の力で元気に

×フラワー長井線

フラワー長井線及び沿線地域が元気になる長期計画を立てるため、学生有志で「フラワー長井線沿線を元気にする会」を発足しました。 利用者の8割が高校生である点に着目し、「高校生がより元気になれば、地域も元気になる」との思いでスタート。 沿線の高校生と共に企画を考え、実施し、現在3年目に至っています。

山形スマートドライバー

×山形県交通安全管理者協議会「山形の交通事故を減らしたい」

思いやり・ゆずり合いの意識など、ドライバー同士のコミュニケーションの力で交通事故を減らそうという交通事故防止の新しい運動。 小山薫堂教授が発起人で、山形県では交通安全標語「メッセージアワード」の開催やイベントの企画など、企画構想学科が連携して展開しています。

月山青春音楽祭2013 の企画運営

×西川町「日本に音楽文化を根付かせたい」

2013年11月、「月山青春音楽祭2013」を山形県西川町の旧西山小学校で開催しました。 ミュージシャンの寺岡呼人氏の一言から始まったこのイベントは、今回で２回目。 3年生が中心となり、平原綾香氏、KAN氏のライブ、レコード展などを企画し運営。 １日限りの音楽祭は大きな感動を生みました。

4年間のカリキュラム

全学教養科目 / 全学専門科目　全ての学生共通の全学教養科目と全学専門科目は 151 ページに掲載。

CURRICULUM

1年

企業からの課題に対し、チームでのアイデア出しを経験。アイデア発想に必要な基礎知識を身に付けることで、解決へと導いていきます。また、企画書の基本的な書き方や、アイデアを企画書に落とし込む方法、パワーポイントの使い方も習得。特別講師をお招きして、広告制作体験や、フォトショップを使ったWEBサイトの制作技術なども学びます。

企画書表現演習／数人でチームを作り、アイデア発想演習で身に付けた発想方法を活かしながら、アイデアを企画書に落とし込んでいく方法を学びます。（必修）

アイデア発想演習／アイデアを発想する技法やツール、ヒントなどを体験しながら、社会と繋がった「実践的テーマの課題」に取り組み、アイデア発想力を高めていきます。（必修）

場所文化研究／地域文化を研究していくのにふさわしい特別講師を数名お招きし、学生が一人の生活者として地域・文化などについて多面的に考える機会を作っていきます。（選択）

【選択科目（1～4年次）】メディア概論／コンテンツ文化史／企画表現論／インターネットビジネス論【必修科目（1年次）】人間力研究／企画構想論1

広告制作演習／実際に広告を制作しながら、企画の課題発見から表現、開発までの過程を体験し、企画を形にしていくことの意義や必要な視点を学びます。（必修）

WEB企画制作演習1・2／Illustrator やPhotoshopを扱いながらデジタル表現の基礎として、レイアウトや色彩などを習得。 また、実際にHPを制作し、その基礎技術も学びます。（必修）

広告ビジネス基礎／コミュニケーション産業の広告に焦点を当て、広告制作、マーケティング、メディア、プロモーション分野等での企画とブランディングの基本知識を学びます。（選択）

2年

単にアイデアを伝えるのではなく、裏付けとなるストーリー理論を加えるなど、相手を納得させる企画書の作成やプレゼンテーションの仕方を学習。また、特別講師をお招きし、インターネットやパソコン、スマートフォンのアプリ開発に必要な技術も習得。企業や自治体のサービスや商品に付加価値をつけ、広告PRし、実際に売るまでの流れを実践します。

【選択科目（2～4年次）】マーケティング基礎／企画構成研究／ロジカルライティング／インターンシップ／言語表現研究／都市人物研究／プロモーションディレクション／コピーライティング／ベンチャービジネス基礎【必修科目（2年次）】プレゼンテーション基礎演習1・2／企画構想論2／ベンチャービジネス基礎／プランニング基礎演習1・2

コンテンツ制作演習1・2／パソコンやスマートフォンのアプリ市場を認識し、「アプリ開発技術」を、実際にアプリの企画から制作までを通しながら学びます。（必修）

ブランドデザイン／実在するブランドを例に取り上げながら、ブランドを生む過程を学びます。 また、忘れ去られようとしているブランドに注目して、再生プロセスを学びます。（選択）

3年

自ら課題を発見し、企画を立て発表できるように個人の能力を磨くと共に、学年全体での企画提案から実現までを通して、グループで企画を実践する力を習得。演習では教員の専門ごとコースに分かれ、新しい切り口での商品開発や、新聞やテレビといったメディアに掲載される流れなどを体験。自治体や観光協会と連携した実践的なプロジェクトにも関わります。

【選択科目（3～4年次）】ベンチャービジネス実践／現代企業研究／ソーシャルデザイン論【必修科目（3年次）】キャリアデザイン演習／自己表現研究1・2／企画書構成演習

プランニングプレゼンテーション1・2／チーム作業の集大成となる音楽イベントなどの企画から開催を通じ、ブランドやサービスの企画、プレゼンテーション、実現までの理論と方法を学びます。（必修）

プロデュース演習1・2／ゼミに分かれ、専任の教員による少人数での個別指導。 具体的なテーマにゼミでのチームとして取り組み、プロジェクトの企画から実現までを経験します。（必修）

4年

ゴールは、個人で企画をプレゼンテーションし実践、プロデュースすること。積極的に他学科や企業、社会との接点を作り、課題を発見する力も試されます。インターンシップではオレンジ&パートナーズなどに出向き、実際の仕事を経験。お互いが幸せになる企画を生み出す力を発揮しながら、各自が企画のテーマを立てて、卒業研究に取り組みます。

資格取得

【卒業時取得可能資格】
学芸員

卒業研究／4年間の集大成として、実際の社会の中にある課題を発見し、企画を立案。 アイデアの発想から、実施や販売までを各自が実践できる技術を身につけます。（必修）

幸せデザイン研究／ゼミに分かれ、専任教員による個別指導を行います。 各自が具体的なテーマに取組み、プロジェクトの実現までを経験します。（必修）

※2013年度のもので、2015年度開講科目とは異なる場合が有ります。

DESIGN OF "MONO"

「モノ」のデザイン

プロダクトデザイン学科

建築・環境デザイン学科

グラフィックデザイン学科

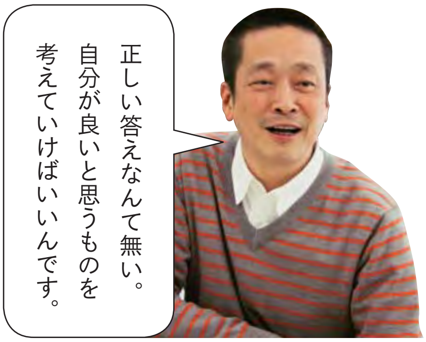
映像学科

この学科で展開するリアルな学びが社会をより良く変える創造力を生み出す。

竹内昌義 × 中山ダイスケ

竹内　建築・環境デザイン学科は名前の通り、自然豊かな山形で景観のランドスケイプデザインから建築までをやろう！という学科です。建物を再生するリノベーションをしたりインテリアをデザインしたり、脱原発などのエネルギー施策を考えることもその一部。それからエコハウスの建設にも取り組んでいます。

中山　グラフィックデザイン学科では、グラフィックを「視覚的にモノを伝えるためのもう一つの言語」と捉えています。だから僕としてはデザイナーを育てるというより、子どもにモノを伝えるのが凄く上手なお母さんとか、販売の現場で自分達が思っていることをちゃんと伝えられる営業マンとか、そういう人を育てられたらな、と思ってるんです。



竹内昌義／建築・環境デザイン学科教授（学科長）

竹内　グラフィックって、本当は人に情報を伝えるための手段なんでしょうね。言葉とか仕草じゃなくて、何か目に見えるものがあって初めて伝わるという感じがしますね。

中山　高校生にもよく言うんですけど、「絵が好き、イラストが好き」という延長線上にデザインは無いんですよ。グラフィックデザインに向いているのは、絵を描いてそれを友達の誕生日にプレゼントするような、「皆に見てもらいたい、皆を楽しませたい」という外向きの感覚を持っている人なんです。

中山ダイスケ／グラフィックデザイン学科教授（学科長）

竹内　建築の場合は、「構造って難しそう」と尻込みしちゃう人が多いんですけど、人間の目が持っている構造に対する感覚って実は結構優れてて、真っ直ぐモノが立っているかどうかは見れば大体分かるんですよ。だから模型を作っていれば自然に習得できるし、実寸大で建築物を作るような実習も大切にしています。

中山　その「実寸大」って、建築を勉強する上でアドバンテージですよね。実際に建てるって他の大学ではなかなか無いですよ。架空じゃないというのは凄く大事で、うちの学科では授業の殆どに企業などの発注者がいて、実際に発売するためのパッケージをデザインしたり、世界中に貼られる映画祭のポスターを作ったり、とにかく架空の課題はしないようにしてるんです。

左：建築・環境デザイン学科が設計に関わり、大学敷地に建つ山形エコハウス。／右：グラフィックデザイン学科の学生がイラストなどのデザインをした山形県のトラック

竹内　うちの学科も同じ。大学での建築の勉強って架空のことをやりがちだけど、僕はそれではこれからの世の中うまくいかないと思うんです。実際に発注者や必要とする人がいる状況を経験することで、社会に出た時、相手が何をしてほしいかを考えられるようになりますしね。

中山　ここで勉強したことは、どんな職種にも、どんな生き方にも役立つはずなんです。僕らは社会に出るための方法を教える立場ですから、僕は社会に出て何かを伝えたいと思っている人を待っています。

竹内　僕は、今ある技術やモノを上手に使えば「心地良くてエネルギーも使わない」という未来に変わると思う。だから未来を明るく生きていく希望を持った人に来てほしいかな。

中山ダイスケ

なかやまだいすけ／1968年、香川県生まれ。（株）daicon代表取締役。コミュニケーションをテーマに、平面から立体まで様々な作品を手掛ける。また店舗のアートディレクションや商品開発、コンセプト提案など幅広く活躍中。

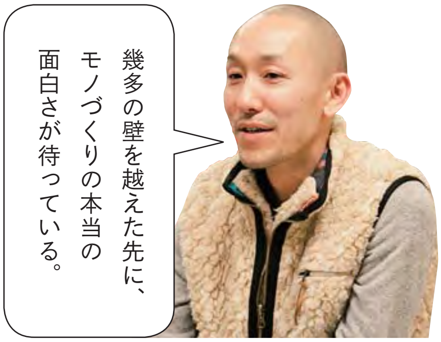
竹内昌義

たけうちまさよし／1962年、神奈川県生まれ。建築設計事務所「みかんぐみ」のメンバー。専門は建築・家具・都市デザインと空間の造形に関すること。エコを含めた新しい暮らしの在り方について積極的に提案を行っている。

身の回りのモノやいつも感じている感覚が豊かな発想力と表現力に結びつく。

エマニュエル・ムホー × 岩井天志

エマニュエル・ムホー／プロダクトデザイン学科准教授



岩井天志／映像学科准教授

岩井　私はアニメーションが専攻ですが、他に映像ディレクターやクリエイティブディレクターとしても、活動しています。今年は大学主催で山形ビエンナーレが行われますが、音楽部門のディレクションを担当することになりました。

エマニュエル　私は主に建築やインテリア、プロダクトデザインを手掛けています。全てに共通するのは、「空間を色で仕切る」というコンセプト。色は仕上げ的な要素で使われることが多いですが、私は三次元空間を形作るための要素として扱っています。

岩井　実は、昨年から学生と一緒に東北をテーマにしたアニメーション制作にも取り組んでいるんです。僕自身は縄文を切り口に掘り下げてみたんですが、学生が拾ってくる題材は自分の住む町にまつわる民話やおじいちゃんおばあちゃんから聞いた話、様々なものが元になっていて興味深かったですね。

エマニュエル　そうやって身近なものに目を向けるのって大切ですよね。私は、初めて東京の街を見た時に心を動かされたことがきっかけで日本に住むようになったんです。建物や看板、自動販売機、とにかく街中にカラフルで美しい色が溢れていて。ゼミでも、自分の今いる場所や見ているモノを常に意識してほしいと伝え続けています。

岩井　アニメーションでも、日常的に感じている感覚をきちんと作品に落とし込めるかどうかが重要で、一番難しいところだと思います。例えば匂いや手触り、空気の湿度や風の温度…。そういう感覚を研ぎ澄まして磨いていける環境が山形にはあるから、毎日を大切に過ごしてほしいな。

エマニュエル　そうですね。でも学生を見ていると、何故かあまり色を使いたがらないのがちょっと残念。だから沢山の色に触れて、色に慣れることを目的に、「100色」という課題を展開しています。山形の豊かな緑や青空のもとで自分の好きな色、使いたい色を進んで見つけてほしいと思ってます。

左：エマニュエル准教授による「巣鴨信用金庫 志村支店」／右：岩井准教授が学生と共に展開する「TOHOKU ANIMATION LAB.」

岩井　私は皆にモノづくりにおける『ゾーン』を味わってほしいですね。作品制作ってマラソンのようなもので、自分との長い戦いになるんだけど、そこを乗り越えた時、必ず『ゾーン』に到達できる。そこを体験すれば人間的にもタフになるし、途端にモノづくりが面白くなるんです。アドレナリンが出てハマっちゃう。

エマニュエル　それから、一つひとつの課題に対して、想像しアイデアを出していくプロセスも凄く大事。それを何度も繰り返していくことで、自分らしさを発見して、形づくることができると思いますね。

岩井　映像のことは入ってからじっくりと学べるわけだから、とにかく明るくて元気で、人と何かを作るのが苦にならない人なら、きっと大丈夫。

エマニュエル　そうそう。それから根本的なことだけど、何よりデザインが好きな人に来てほしいです！

エマニュエル・ムホー

エマニュエル・ムホー／1971年、フランス生まれ。1996年より東京在住。2003年エマニュエル一級建築士設計事務所設立。「色切／shikiri」＝「空間を色で仕切る」というコンセプトで建築、インテリア、プロダクトデザインまで広く手掛ける。

岩井天志

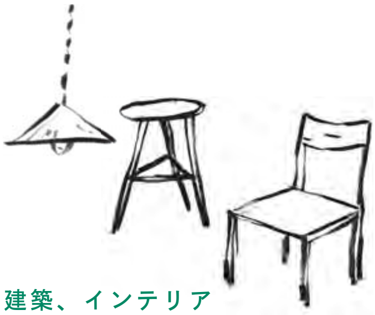
いわいてんし／1971年、鳥取県生まれ。多摩美術大学卒業。アニメーションディレクター、映像ディレクター。TVやCM、フェスティバルのディレクションを行う。主な仕事に明治製菓企業CM、日本テレビ『COOOOL TV』等がある。

目指せる代表的な職業

例えば下記のような職業が、モノのデザインの分野で学ぶ専門性を活かして、目指せる代表的なもの。もちろん、この一覧に無い職業にも就くことが可能です。

デザイン・製品開発

世代を超えて親しまれるデザインや製品を生み出すことは、私たちの生活を生み出すこと。自由な発想で新しいモノを創造していく力も必要です。



建築、インテリア

生活に直結する住宅や商業施設。古い建物の再活用も視野に、環境や風土、用途を踏まえながら、一人ひとりが豊かに過ごせる空間を作り出します。

広告代理店、マスメディア

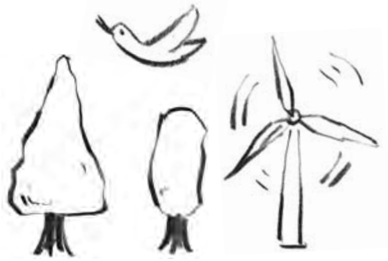
社会への影響力が特に強い分野。テレビやHPなどで、より多くの人にニュースやイベント、製品などの情報・広告を発信します。

ホームページ・雑誌編集

企業や自治体のホームページや、雑誌など書籍の制作・編集。視覚的な美しさだけでなく、情報の価値を見極め、適切に纏める力も問われます。

販売、商業施設

コミュニケーション能力はもちろん、顧客のニーズに応え、満足いく時間と空間の創出も重要。最新トレンドを予測する情報収集も必要です。



環境、自然

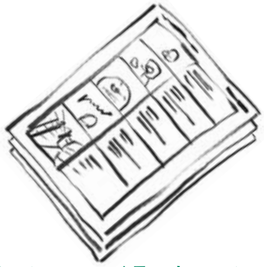
企業や自治体などで自然エネルギーを利用した新しい暮らしの提案や、森林の保護・再生に尽力。地球を守り次世代へ繋ぐための中核を担います。

公務員（デザイン系）

企業のモノづくりをデザイン面で助けたり、産業振興に関わるイベントの企画・実施など、地域の活性化に貢献する分野も、公務員の一つの業務。

制作プロダクション（映画、写真、音楽）

視聴する人に喜びや感動を与える仕事。制作技術から、チームでアイデアを形にする創造力、告知・PR活動の提案力なども必要とされます。



アニメーション、イラストレーション

描画力を発揮し、写真や文字では生み出せない視覚的な世界を描き出します。伝えたい情報を理解し、形にする柔軟性と独自の表現力が必要です。

旅行、観光、ブライダル

旅行者や新郎新婦が思い出に残る楽しい時間を過ごせるようプロデュースする職業。相手の気持ちを十分に理解した提案が必要です。

学芸員

作品や作家の魅力を読み取り、多くの人に伝えるのが使命。美術館や博物館などが活躍の場です。

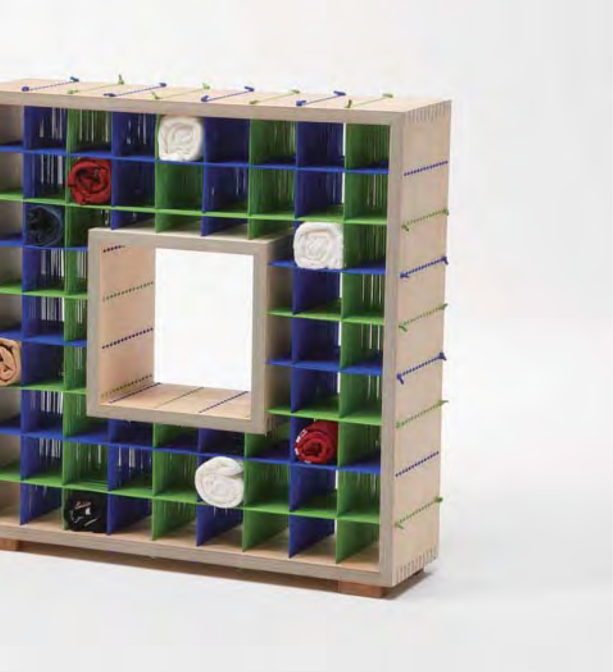
学校教員（学科によって取得可能資格が異なります）

生徒の思いを想像し、個性を尊重しながら、将来必要な知識や人間性を育む教員。個々と日々向き合い、共に成長できる、やりがいのある分野です。

PRODUCT DESIGN

プロダクトデザイン学科

多彩な色を用いた建築やインテリアで評価が高いエマニュエル准教授の課題では、100色を用いたバリエーション展開に挑戦。



松井大輝「Himalaya Roof」H1700×W4400×D4400mm ヒマラヤのように世界中の人々の屋根となって欲しいという想いを込めた、新しいアウトドアタープ（テント）。

"皆の暮らしをもっと楽しく快適にできるモノづくりをしてみたい"。そう考えたことはありませんか。家電や自動車、家具、インテリア雑貨、照明、文房具など、私たちの周りにある様々なものを通して、新しい生活スタイルを生み出すデザインを学ぶ場所、それがプロダクトデザイン学科です。

大切なのは、共感してもらえるモノをデザインすること。どんな形にしたら使いやすいか、どんな機能を持たせたら使う人に優しいかなど、そのモノの意味や目的をきちんと理解できるように、基礎から丁寧に学習していきます。また企業の開発担当者をお招きした演習の機会も豊富で、社会で広く求められる発想力や提案力、問題解決能力をしっかり育んでいけるのも大きな魅力です。これらの力は将来あらゆる場面で活かされるもの。大手メーカーでの製品開発や地元産業への貢献など活躍の場が揃っています。

ON AIR TUAD TRIP!

http://www.tuad.ac.jp/trip

上記URLで全学科コースの学生を追ったムービーを公開しています。 スマートフォンもOK!

梅村卓実「木製振子時計 gismo」
H1090×W736×D200mm 覗くというコンセプトで、機構の美しさや楽しさを強調する作品。 歯車一枚まで手作り。 動きの変化で感覚的に時を伝える第二の文字盤を搭載。

薄い木の板を重ねて曲面を造る成形合板。専用のプレスマシンは、天童木工の職人をお招きして基礎から指導が受けられます。

渡部顕治「×の棚」
H1000×W1000×D300mm 交差した線や線が作り出す面の美しさと、高い機能性を目指した「紐家具」の新たな提案。

学べる分野

製品デザイン

文具や雑貨、衣類、家電、自動車など暮らしに直結する幅広い「モノ」のデザインに取り組みます。ユーザーや市場の調査、アイデアの出し方、コンセプト立案、デザインスケッチからモデル制作まで、製品化に至る流れを段階的に学習。使う人の喜びを想像しながら、製品のあるべき姿を追求します。

家具・インテリアデザイン

生活空間に寄り添う家具、店舗などのインテリアやディスプレイ。簡単な図面や3DCGなどを用いて、立案からデザイン提案までの方法と技術を習得。また成形合板の技術者を招き本格的な家具制作にも挑戦。デザインした家具が製品化されるなど、企業と連携したプロジェクトにも積極的に参加します。

実験的なアプローチ

人々を豊かにするデザインは、小さな好奇心や閃きから生まれるもの。プロダクトやインテリアの枠を超えた自由な発想と感性で、新たなデザインの方向性を探求する視点を大切にしています。目指すは、独創的な視点と解決すべきテーマを発見する力を持った、未来を牽引できるデザイナーです。

◀ プロダクトデザイン学科の作品は86ページに掲載

人や社会をより良く変えていく面白さと喜びが有る。

子どもが座って遊べる椅子づくり

こども芸術大学の子どもたちのために、成形合板製の遊べる椅子を制作。実際に子どもたちと一緒に遊びながら、椅子のデザインや遊びの可能性を探ると同時に、成形合板の技術も習得。約40脚の椅子をプレゼントしました。（藤田寿人 講師）

ユニバーサルなデザインを学ぶ

山形の聾学校、盲学校に通う生徒へ生活支援のデザインを提案。授業への参加や補聴器体験などを通して、視・聴・触覚を最大限に活かした物をデザインし、子ども達に使ってもらうことで、課題解決の気づきを得ます。（柚木泰彦 准教授）

産学共創プロジェクトでデザインを実践

家電や生活雑貨、レジャー用品、自動車など様々な企業の開発者やデザイナーを講師に、徹底した指導とサポートで進める実践型の科目。プロジェクトを通してユーザーや社会、環境を体験し、デザイン開発を理解します。（上原勲 教授）

左：2013年度に改修を行なったプロダクトデザイン学科の演習室。 ガラス張りの開放的で清潔な空間に、有名なデザイナーズチェアが並び、モノのデザインを学修するには最適な環境です。 右：木工室には家具製作に必要な工作機械が充実。 各自で課題作品を持ち寄る講評会では、コンセプトやデザイン上のポイントなどを説明します。

4年間のカリキュラム

全学教養科目 / 全学専門科目　全ての学生共通の全学教養科目と全学専門科目は151ページに掲載。

CURRICULUM

1年

仲間と話し合いながら主体的に考える力とコミュニケーション力、デザイン観を養います。前期よりプロダクトデザインの基礎と、大学生としての学びの姿勢を身に付けます。また1年次から、夏・春休みの特別演習として、ペーパープロダクトや電子回路、色彩感性などの専門的な知識を得るワークショップを開講。積極的に幅広い経験を得ていきます。

素材・造形1／木材、金属、プラスティックなどの素材に触れ、その特性を活かした造形演習を重ねることで、思い描いたデザインを具体的な形にできる力を体得します。（必修）

コンピュータ演習／パソコンの様々なソフトを活用して、作品集（ポートフォリオ）の作成や、デザイン提案をプレゼンテーションする際の表現伝達の基本的な技術を学びます。（必修）

デッサン・スケッチ／頭に浮かんだアイデアを素早く的確に表現して他者に効果的に伝える技術、自らアイデアを確認してデザインを展開していくための基礎を徹底習得します。（必修）

【選択科目（1～4年次）】プロダクトデザイン論1／プロダクトデザイン入門／材料加工技術論／インタフェースデザイン論／応用人間工学／絵画・デッサン／教育美術史【必修科目（1年次）】表現伝達演習1／思考・構想演習2／素材・造形2

プロフェッショナルワークショップ1／製品と人を結ぶセンサーの知識と技術を学修。プログラムを用いて身に付けるものや楽器などの作品を制作し、今後の制作に活かします。

プロフェッショナルワークショップ2／第一線で活躍するプロのデザイナーによる実践的な課題を通して、デザイン技術の向上はもちろん、1年次より自身の就業観を育む絶好のチャンスです。（選択）

思考・構想演習1／デザイン思考の基本である「調べて、考えて、創って、伝える」の各プロセスを理解、習得。また、デザイン提案を論理的に行う思考力を身につけます。（必修）

2年

前期は製品、家具、インテリアなどの分野を一通り体験します。また素材の理解やスケッチ力、PCのスキル、発想力などの基礎を固めます。後期は製品デザインと家具・インテリアデザインの更に専門的な授業が開始。また展示ブースを大手のイベントプロモーション企業「(株)博展」と共にデザインする産学連携プロジェクトへの参加も可能です。

【選択科目（2～4年次）】インテリアデザイン特講／インテリアデザイン論／プロダクトデザイン論2／プロフェッショナルワークショップ3～6／インターンシップ【必修科目（2年次）】プロダクトデザイン演習2・3／表現伝達演習2

思考・構想演習3／1年次の思考・構想演習で培った力を基にテーマを設定し、素材や機構、ユーザの心理などの側面からデザインの本質を探求し、発表までの一連を学びます。（必修）

プロダクトデザイン演習1／生活に新たな価値を加えるデザインから社会的な要求に応えるデザインまで幅広く課題を取り上げ、製品や家具、インテリアデザインの基礎を培います。（必修）

3年

産学共創プロジェクトでの実践が中心。地域企業から世界的な大手企業まで、幅広くデザイン演習を経験します。盲・聾学校と連携した取り組みも実施。デザインの展示会に出展し、スタッフとして外部評価を直接聞きく機会は、社会性や就業観を身に付ける機会です。また就職活動に向けて、ポートフォリオ(作品集)の制作指導も本格化します。

プロダクトデザイン演習5／盲学校などに通う生徒の学習や、生活支援のデザインを出発点に、世代を超えて幅広く共感を呼ぶユニバーサルな視点からプロダクトやインテリアの専門知識を学びます。（必修）

プロダクトデザイン演習4／（株）天童木工と秋田木工（株）から成形合板や曲げ木の技術指導員をお招きし、家具やインテリアの既成概念を破る新しいデザインを創造します。（必修）

生産システム特別調査演習／［工場見学］東北を拠点に、世界を相手に独自性の高いモノづくりを行なう先進企業を訪ね、製造現場を見学します。社長や製造部長との対話も刺激的です。（選択）

4年

デザインの使命と真剣に向き合い、主体性と意欲、自律性をもって最終学年の学修を進めます。卒業研究では毎週合同発表を開催。例えば、家具をデザインする学生には、家具の専門家+ユニバーサルデザインの専門家など、全教員で全学生を見る全体指導と、教員の専門に合わせた個別指導の組み合わせで、学生の力を最大限に発揮する体制が特長です。

資格取得

【卒業時取得可能資格】小学校教諭一種免許（中学校教諭一種免許取得者が、指定の通信科目を受講することで取得できます）、中学校教諭一種免許（美術）、高等学校教諭一種免許（美術）、学芸員【受験資格の取得】インテリアプランナー、商業施設士、商業施設士補

卒業研究／4年間の集大成として、一人ひとりの学生が専門性を体得した成果をまとめ、社会に広く強く発信します。学生主体の展示計画と実行も大きな特徴です。（必修）

プロダクトデザイン研究／「デザインの世界に踏込む第一歩」であり「生涯にわたるデザイン研究の第一章」。実験デザインの精神で社会を変革すべく、デザインの可能性を追究します。（必修）

※2013年度のもので、2015年度開講科目とは異なる場合が有ります。

D ENVIRONMENTAL DESIGN

建築・環境デザイン学科

被災した気仙沼大沢地区の高台移転に伴い、学科が協力して建設したコミュニティハウス「大沢カフェ」。学生が設計から施工まで積極的に携わり、2013年末にオープンしました。

山形市内に建つ「ギャラリー回遊」は在学生が設計に参加。また、新しい建物の設計だけでなく、これから必要とされる古い建物の再活用「リノベーション」についても学修します。

毎日過ごす家や学校、公園。インテリアや街並みにも、デザインの力は息づいています。建築・環境デザイン学科では、部屋の内装などのインテリアから、住宅や公共施設、都市、さらには壮大な地球環境やエネルギー施策まで、様々なスケールで私たちを取り巻く空間のデザインを学びます。豊かな自然、歴史や都市の規模など、東北はこの分野を学ぶには絶好の環境。震災復興に伴う集落の高台移転やエコハウスの建設などを通じて、実際の街づくりや住宅の提案へ積極的に参画する取組みや、エネルギーを自給自足して持続可能な未来の街のあり方を提案する「エコタウンプロジェクト」など、未来を意識した学びが日々展開されています。ここで得られる人と社会、自然の関係を結び直していける応用力や実践力は、将来、社会で広く活躍できる人材へと導いてくれることでしょう。

ON AIR TUAD TRIP!

http://www.tuad.ac.jp/trip

上記URLで全学科コースの学生を追ったムービーを公開しています。スマートフォンもOK!

ARCHITECTURE AN

芸工大は都市と里山の境界に位置しており、大学から数分歩けば、豊かな森へ踏み入ることも可能。フィールドワークを通じて、豊かな自然と人とが共存する未来の姿を考察します。

大学敷地内の環境に優しい高性能住宅「エコハウス」は、学生も設計に参加。少ないエネルギーでもとても快適。本物の教材で、豊かに暮らせるインテリアデザインを学びます。

学べる分野

建築

建築に必要な設計やデザイン、施工方法などを基礎から段階的に学習します。一般的な住宅から始まり、小学校や美術館、集合住宅まで、学年にあわせて様々な規模や目的を持つ建築に挑戦します。

インテリア

建築で一番私たちの近い位置にあるインテリア。光や温度、肌触り、機能性や素材など、ライフスタイルと直結する空間のデザイン手法を学びます。インテリアプランナーの受験資格も取得可能です。

環境

地球規模の環境や生態系の保全を見据え、自然エネルギーを利用した新しい暮らし方や森林の再生などについて、具体例と展望を学習。自然と共存する私たちの将来像を提案できる力を身に付けます。

ランドスケイプ

その土地の風景は、気候風土、水や土や植物と人間活動の結果の表れです。広い視野をもって地域全体の性質を正しく理解し、人々が気持ちよく住める街と緑の調和を育むデザイン力を養います。

◀ 建築・環境デザイン学科の作品は 87 ページに掲載

人にも地球にも優しい、
新しいライフスタイルを考える。

震災復興に向けたまちづくり支援

高台移転が決まった気仙沼市大沢地区の街づくりを学科がお手伝いしています。その避難生活が続く地元の方々を結ぶ目的で、高断熱のエコハウス仕様による集会所の設計から建設までを学生が中心となって行ないました。（竹内昌義 教授）

古いアパートをデザインの力で再生

古い建物の利活用を提案するプロジェクト「山形R不動産」では、不動産会社と連携し、実際の物件をリノベーションしています。2013年も集合住宅の数室をデザインし、素敵なインテリアに仕上がった部屋が完成。賃貸されています。（馬場正尊 准教授）

「無印良品の家」と未来の家を考える

これからの日本の住まいを研究し、未来の暮らし方を無印良品の家と提案する「未来の家プロジェクト」が進行中。学科の大きな演習室に原寸大の住宅のフレームを組み、家具を置き、理想のライフスタイルを考察しながら住宅を開発中です。（西澤高男 准教授）

建築家はもちろん、各分野で活躍する教授陣による直接的な指導が学科の魅力の一つ。 プロの目線による実践的な授業展開に加え、2013年に演習室全体をリノベーションし、よりアクティブに空間を活かした演習が行なえるようになりました。

4年間のカリキュラム

全学教養科目 / 全学専門科目　全ての学生共通の全学教養科目と全学専門科目は151ページに掲載。

CURRICULUM

1年

建築分野は皆にとって初めての学問のため、最初は自然観察や素描、製図の基礎としてPCの基礎を学びます。また身体測定などで人体のスケールを理解します。空間体験としては、段ボールで椅子を制作。そして実際に自然の中で石や木に触れ、ものの重さを感じ、材料の性質を知ります。インテリアの授業では、実際に自分で空間を作ることに挑戦します。

CAD演習／図面作成やプレゼンテーションに必要な操作とCADソフトによる図面作成技術、立体表現の手法、簡単なアニメによるプレゼンテーション技術を修得します。（必修）

インテリア基礎演習／［自分の部屋をデザインする］自分の部屋を計測し大きさを把握して図面化。その部屋を自分ならどうデザインするか、コンセプトを立ててデザインに挑戦。（必修）

建築・環境基礎演習／建築や環境デザインの原点「人の体」の大きさの理解と、それを支える基本のかたち「椅子」の制作を通じて、平面と立体による表現方法を体感します。（必修）

【必修科目（1年次）】図学製図演習／建築・環境施工演習／建築構法／建築環境概論／都市計画／西洋建築史／デジタル表現演習／風土形成論

※ツリーハウス、ヤマガタ蔵プロジェクト、チームECOのほか、全学年の学生が参加できる共通プロジェクトが多数。実際に場所や空間をつくり出します。

ツリーハウス／山形県金山町でツリーハウス（立ち木にぶら下がった家）を、地元材木を利用して作り、子供たちと交流することで、実践を通して空間を作る喜びを学びます。（全学年共通）

ヤマガタ蔵プロジェクト／山形市中心部の古い蔵を新しい視点で捉え直し、再生して街の活性化に繋げる取組み。市民の方も巻き込んで、蔵を中心に様々なイベントを開催しています。（全学年共通）

チームECO／大学生にできるエコ活動として、文翔館でのキャンドルスケープをはじめ、様々な場所でキャンドルナイトを開催し、環境について考え行動する課外活動です。（全学年共通）

2年

様々な空間を作る演習で基礎力を高めます。店舗のインテリアデザインや一般の住宅「家」、住まい方などの提案を行うとともに、エコハウスを題材に、未来の建築も考えていきます。またランドスケイプでは、環境的な風景がどのように地域にできているのかを観察。手とペンで図面を描ける力、住宅の理解とその発展系など、徐々に力を付けていきます。

【選択科目（2年次）】建築設備／建築構造力学／建築構造力学演習／構法デザイン／風景の計画／地域づくりの実践／都市空間デザイン／日本建築史／建築と歴史と自然／インテリア設計論／建築デザイン論／生態学基礎／職業指導【選択科目（2～4年次）】インターンシップ【必修科目（2年次）】建築設計論／エコロジカル建築論／エコロジカル地域論／サステイナブルコミュニティ

環境計画演習1・2／［フィールドワーク入門］大学敷地内の農地と住居、庭の用水池に水を引く堰を対象に、観察や記録、分析を試み、図面作成などの実測調査を行ないます。（必修）

建築設計演習1・2／実際の設計製図で使用する道具に慣れるため、木造住宅の図面制作を練習した後、木造軸組建築の設計を通じて構造の仕組みと空間デザインを学びます。（必修）

3年

3年次は、建築、ランドスケイプ、インテリアの3コースに分かれます。インテリアではリノベーション、環境ではエネルギーなど、社会で必要とされる建築を学びます。更に空間を図面と模型で提案できる力を習得。後期は小学校や温泉、公園など、具体的なテーマを基にデザインする演習から、自らコンセプトを決めたデザインへと発展させます。

【選択科目（3年次）】建築計画／建築材料／建築施工／建築法規／生態空間デザイン／ポストモータリゼーション／リノベーション建築論【選択科目（3～4年次）】測量学／測量演習【必修科目（3年次）】建築・環境デザイン研究1

環境計画演習3～6／［ランドスケイプ総合演習］地域の環境のつながりを読みとり、環境条件に相応しい暮しや空間、文化、産業などを考え、統合されたランドスケイプを提案します。（選択必修）

建築設計演習3～6／［エコハウス設計］将来、エコハウスの設計を希望する人が対象の実践授業。断熱材や暖房器具を選定し、構造を考え、シンプルな住宅をデザインします。（選択必修）

4年

4年次では、デザインすべきテーマや問いを発見することも各自に任せられます。社会の様々な問題のどこに注目し、どこを解決するのかがテーマ。着目の出発点が大切です。社会と密接に結びついたデザインや研究を展開しながら、卒業論文／制作へと展開します。震災復興プロジェクトや企業との産学連携でも、中心的な役割を担います。

資格取得

【卒業時取得可能資格】高等学校教諭一種免許（工業）、学芸員、測量士補、商業施設士補【受験資格の取得】一級建築士、二級建築士、木造建築士、インテリアプランナー、土地区画整理士、施工管理技士、商業施設士

卒業研究／集大成の研究、制作として、論文か作品のどちらかで自身のテーマに取組みます。どのような問題意識で、どのように解決したのか、独創性が問われます。（必修）

建築・環境デザイン研究2／後期の卒業研究につながる必要な知識の修得、データの収集を行います。隔週でレポート提出と対話を繰り返し、研究報告として夏休み前に発表・審査を行います。

※2013年度のもので、2015年度開講科目とは異なる場合が有ります。

GRAPHIC DESIGN

グラフィックデザイン学科

グラフィックデザイン学科のMac室。Illustratorなどデザインソフトも基礎から実践的に学びます。

「平野啓一郎著『私とは何か　個人から分人へ』をヴィジュアルから考える」茅原ゆきの

香りが漂ってきそうなお菓子のパッケージ、賑やかな音楽まで感じ取れるイベントのポスター…。ここでは、私たちが持っている五感全てを活かしたデザインをテーマにグラフィックデザインを学んでいきます。企業と連携して商品パッケージやロゴ、WEBのデザインに取り組んだり、地元山形を中心に、地域と協同でアートプロジェクトやイベントの企画運営に携われるのもこの学科の大きな特長。国や世代、障害を越えて相手に伝えるために必要な、情報を集め、組み合わせ、編集する技術を基礎から丁寧に習得します。また、グループ制作でお互いの発想を共有することで、いろんな角度から物事を考え、表現する能力も培っていきます。デザインは、「作り方」ではなく「考え方」から始まるもの。自由な発想で世界を見つめ、新しい社会を切り拓いてみませんか。

ON AIR TUAD TRIP!

http://www.tuad.ac.jp/trip

上記URLで全学科コースの学生を追ったムービーを公開しています。 スマートフォンもOK!

「コノキ -art therapy kit-」小野木梓

マーカーや色鉛筆などで情報を視覚的に描くイラストレーション。実際に学生が描いた絵本が出版されることも。

情報を分かりやすく伝える編集にも挑戦。街で取材した情報をもとに、リーフレットをデザインしたり、自らの作品集の編集も行ないます。

学べる分野

グラフィックデザイン

情報デザインを広く捉え、ポスターやロゴ、パッケージやブランディングなどを学習。紙やWEB、イベントや展示などデザインの可能性に挑戦。

広告

写真やことばの配置、配色といった基礎を習得しつつ、様々な表現を組み合わせる広告表現を知り、多くの人々に伝える技術を探ります。

エディトリアル

本や雑誌の読み易さを左右する編集（エディトリアル）デザインを学習。情報を的確に伝えるために整理し、魅力的に編集する力を習得します。

WEB

急加速するWEBの新しい活用方法を探求。手軽にアクセスできるメディアだからこそ、相手へ誠実に情報を伝えるデザインが大切です。

イラストレーション

情報を視覚で分り易く伝え、イメージで内容へ導く表現の一つ。描きながら広告や編集デザインへの応用を学び、オリジナル絵本も制作します。

◀ グラフィックデザイン学科の作品は88ページに掲載

個性豊かで新しい、情報伝達の姿をデザインする。

五感を使ったコミュニケーションデザイン

五感を活用して感受する「共通感覚」をテーマに、感覚的なイメージを他者に伝える表現を学びます。実際に良い香りを嗅いだり、美味しいものを味わって、それを的確に色彩やグラフィックに表現する技術を養います。（中山ダイスケ 教授）

製本ワークショップ

専門家を講師に、ハードカバーを製本するワークショップを開催しています。背と表紙を張り合わせ装丁し、1冊の本が仕上がるまでを理解。オリジナル絵本だけでなく、自身の作品集（ポートフォリオ）にも活かせる技術です。（大竹左紀斗 准教授）

感じるデザインを学ぶ「あそびの縁日」

学生が感じた身体感覚を作品化したものを基に、3～5歳児を対象に、考える力や身体・感覚機能の成長の助けになる遊びをデザインし提案。実際にこども芸術大学でこどもと遊び、その反応や作品との触れ方を観察します。（澤口俊輔 准教授）

2012年度にリノベーションを行ない、デザインスタジオの様な明るく開放的な空間が、創作意欲をかき立てるグラフィックデザイン学科の演習室。 殆どの壁面がホワイトボードで、アイデアを自由に書いたり作品を貼ったりすることが可能。 大勢の仲間と共に情報のデザインの新しい姿を探求するには最高の環境です。

4年間のカリキュラム

全学教養科目 / 全学専門科目　全ての学生共通の全学教養科目と全学専門科目は151ページに掲載。

CURRICULUM

1年

「感覚をやしなう」 感覚を伝えるためにデザインがある、というコンセプトで、食べ、触り、走り、嗅ぐ、という授業を展開。自分の感覚を体験し皆と共有します。また、こども芸術大学で行うあそびの縁日では、学生が想定した子どもの遊びを子どもがどう受け取って遊んでくれるか、表現する側とのギャップを知り、伝える難しさを実体験します。

デジタル表現演習1／すべてのデジタル表現の基礎となるIllustratorとPhotoshopの扱いを通して、パソコンでの表現方法やソフトの使い分け、適切なデータ作成の基本を学びます。（必修）

コミュニケーションデザイン基礎2／[構成・造形]発想を視覚化する技術を磨くため、色や形による画面構成に取組みます。視覚伝達デザインの基礎を身につけます。（必修）

コミュニケーションデザイン基礎1／[身体]身体の動きや、嗅覚や味覚など五感を通じて感覚を他者に伝える表現を学修。デザインの基本である感覚や感情を伝え合うことを体験します。（必修）

【選択科目（1～4年次）】教育美術史／生活とグラフィックデザイン【選択科目（1年次）】デジタル表現演習2【必修科目（1年次）】コミュニケーションデザイン基礎3

絵画・デッサン／植物や静物、風景、人物等を、鉛筆や簡単な彩色用具を用いて、対象物を3次元的に観察・把握し、デッサンの基本的な観察力や表現力を身に付けます。（選択）

コミュニケーションデザイン応用2／[本の解体]既成概念を様々な視野から考え直し、新しい意味や価値を平面や立体構成で作品化。「本」を自分なりに解体し、構築する課題です。（必修）

コミュニケーションデザイン応用1／[遊びの縁日]世代を超えた「伝える」デザインを実践。こども芸術大学の子供向けに遊びをデザインし、作者の意図と受け手側の差を体感します。（必修）

2年

「技術をまなぶ」 写真、イラストレーション、タイポグラフィ、編集、ポスター制作など基本的な技術を習得。写真の合成やデジタル処理、文字組を学ぶほか、MacのPhotoshopやIllustrator、デジタルカメラなどの機材にも触れます。またそれらの技術を総合的に生かした進級課題を制作。自らテーマを決め、情報伝達に結びつくデザインに挑戦します。

【選択科目（2～4年次）】コミュニケーションデザイン／インターンシップ【必修科目（2年次）】フォトグラフ／コミュニケーションデザイン実践／タイポグラフィ／エディトリアルデザイン／ビジュアルデザイン基礎

夏休み課題「旅箱」／夏期休暇を用いて、旅での経験を視覚的に表現する課題。旅先での感情の変化や拾った物などを小さな箱の中で構成し、旅の記憶を作品にまとめます。（必修）

イラストレーション／伝える情報を交えた表現としてイラストレーションを描く技術を習得。その歴史を参照しつつ、広告や紙面の編集などを意識しながら実践的に学びます。（必修）

3年

「専門性をたかめる」 実際の社会での事例や想定を基に、教員の専門分野に分かれます。エディトリアル、パッケージ、WEB、エデュケーション(ワークショップ)、ブランディング、絵本、広告、コミュニケーションの中から4つを選択。加えて山形国際ドキュメンタリー映画祭のポスターや本の装丁、ポートフォリオ(作品集)の制作にも取組みます。

【選択科目（3～4年次）】近代モダニズムとグラフィックデザイン／最新メディアとグラフィックデザイン／文字とグラフィックデザイン【選択必修科目（3年次）】ビジュアルデザイン応用1～4・6～8／ビジュアルデザイン実践2

ビジュアルデザイン応用5／[絵本]物語りの創作からページの割り振り方、イラスト、製本まで、絵本制作の一連を学びます。自治体の依頼で制作した絵本が出版された例も。（必修）

ビジュアルデザイン実践1／ドキュメンタリーの国際的な映画祭「山形国際ドキュメンタリー映画祭」のポスターをデザインします。採用案は世界中の映画館に掲示されます。（必修）

4年

「研究をふかめる」 3年次に専門を幾つか学んだ上でゼミに分かれ、更に自分の専門を深めながら、4年間の集大成として卒業制作に取り組みます。産学連携として、実際の商品製作やアートブックフェア、各種コンペへの出品など、対外的な活動も広げます。社会に出て行く機会を推奨し、卒業制作も実際に社会で通用する品質に仕上げます。

資格取得

【卒業時取得可能資格】小学校教諭一種免許（中学校教諭一種免許取得者が、指定の通信科目を受講することで取得できます）、中学校教諭一種免許（美術）、高等学校教諭一種免許（美術）、学芸員

卒業研究／「感じる」デザインやイラストの可能性を考え自由にテーマを設定。教員との話し合いや調査などを通してデザインを検討し、高質の作品に仕上げます。（必修）

グラフィックデザイン研究／これまで学んだことを更に発展させ、自身の個性を再認識し、独自のデザインを展開する力と、効果的なプレゼンテーション能力を身につけます。（必修）

※2013年度のもので、2015年度開講科目とは異なる場合が有ります。

FILM AND MEDIA

映像学科

映画監督として活躍する教授陣の強みを活かし、実際に映画の撮影で用いられている、庄内映画村オープンセットで卒業制作の映画撮影に取組む学生。

多くの人々に感動を伝える物語や情景を映像に収める。映像学科では、心豊かな暮らしに欠かせないアニメーションや映画、CG、写真といった多くの映像メディアを1年次から横断的に学んでいきます。カメラやマイク、編集ソフトの使用方法から、シナリオ制作や編集の進め方、試写会まで、プロ仕様の機材と施設を用いて基礎から習得します。さらに、アニメーション制作用のスタジオや音楽の収録室、3DCG制作用のコンピュータ室、写真現像室など各分野の設備も充実しています。また、山形県の紹介ビデオの制作など社会と直接繋がったプロジェクトに取り組めるのも大きな魅力。山形の美しい自然の下、作品とじっくり向き合うことで得られる独自の表現方法と粘り強さ、そして豊かな感受性は、将来世界中に感動を広げる映像を作り出していく上で欠かせない大切な力となるでしょう。

ON AIR TUAD TRIP!

http://www.tuad.ac.jp/trip

上記URLで全学科コースの学生を追ったムービーを公開しています。 スマートフォンもOK!

被写体を少しずつ動かした連続写真のコマ撮りや、イラストを重ねて動きを確認しながらアニメ制作を行なえるスタジオも利用可能。

卒業制作の一つ「DANCHILDREN」の一コマ。CGなどを用いたアニメーション制作も学ぶことができます。

地域と連携した取組みも盛んで、天童木工など地元の企業CMの制作に関わる機会もあり、社会性を高めていきます。

学べる分野

アニメーション

アニメ専用の平面と立体のコマ撮影室や作画ブースを備えたスタジオ、Macが並ぶ動画編集室など充実した環境で、キャラクターや背景、シナリオを組み合わせ、独自の世界をゼロから生み出します。

映画・CM

カメラや音声、照明、出演者、編集など、多くの人との共同作業が欠かせない映画やCM、プロモーションビデオの制作方法を習得。現役の映画監督の指導のもと、グループで実践的に取り組みます。

コンピュータグラフィックス

実写では撮影できない、手では描けない、映像の創出を可能にするCG。プロ現場と同じコンピュータソフトの使用法を学びながら、モデリングからレンダリングまで、本格的CG制作に取り組みます。

写真

撮影技術だけでなく、写真でしか残せない色彩や空気感、瞬間の美しさを表現する能力を追求。デジタル一眼レフや大判のフィルムカメラ、現像室、山形の豊潤な文化と自然など環境も充実しています。

◀ 映像学科の作品は 89 ページに掲載

日常で遭遇する全てが
映像の制作の面白さにつながる。

アニメーションの作品発表会を東京で開催

教員と在学生で立ち上げた活動「TOHOKU ANIMATION LAB.」の作品発表を2013年に東京のアートスペース、SuperDeluxeで開催。プロのクリエイターを中心に100名以上の入場者が訪れ、作品には高い評価を頂きました。（岩井天志 准教授）

NHK「あまちゃん」の音楽監督が講師に

話題と成ったテレビドラマ「あまちゃん」の音楽監督を務めた大友良英氏が映像学科の非常勤講師として就任。映像と音楽を融合させた作品の制作を通じて、音楽を考える基本の発想や考え方や、BGMや効果音についての授業を行っています。

インターネット放送局「やまがたChannel」

山形県の情報を発信する「やまがたChannel」の映像制作を、2010年から官学連携で実施。映像学科2年の学生を中心に山形の魅力を独自の目線で捉え、ユーモア溢れる短編動画を制作し、山形県のHPから発信しています。（前田哲 准教授）

左：撮影した映像を編集する編集室には、高性能なMacがずらり。 FinalCutProなどの専門的なソフトも基礎から学びます。 右：映像学科の試写室「サクラダシネマ」。 76の座席、240インチのスクリーンを備え、音響機器も映画館と遜色有りません。 またこの隣には大きな撮影スタジオも備えています。

4年間のカリキュラム

全学教養科目 / 全学専門科目　全ての学生共通の全学教養科目と全学専門科目は151ページに掲載。

CURRICULUM

1 年

1年次から撮影や録音などの基礎技術を積極的に学習。グループでのコマ撮りのアニメーション制作、デジタルビデオカメラでの動画制作、個人でのCG制作、ピンホールカメラの体験など様々な授業を展開。集中講義では個人で一本の作品制作にも挑戦。1年時に全ての映像分野に触れる事でその広がりを知ると共に、自由な発想力や企画力を養います。

映像基礎演習2／ビデオカメラを使いこなす技術として、ライティング、レンズ、絞り、サイズとカメラポジションなど、撮影の基礎を体験しながら修得します。（選択）

メディア基礎演習1 ／映像学科の教員が順番に映像分野の特性や、発想方法などの講義をします。 また作品を鑑賞し、優れた点や面白さを感じる理由を考え、意見を交わします。（必修）

映像基礎演習1／レンズや絞りなどマニュアルカメラの使い方と、現像方法を習得します。 また、小型ビデオカメラを、自由に使いこなせるように撮影の基礎を体験します。（必修）

【選択科目（1～4年次）】写真史／絵画・デッサン／教育美術史／メディアアート論／アニメーション史【必修科目（1年次）】映像基礎演習3／メディア基礎演習2・3／デジタル表現演習

映像編集基礎／素材を選び、切り、繋ぐという編集作業によって、映像の質は飛躍的に向上します。 公開された映画から編集を学び、パソコンソフトで編集を体験します。（必修）

映画史／アクションやアニメーションなど、世界の映画史の中から話題作を実際に鑑賞します。 現代作品も組み合わせ、映画とは何か、我々との関わりや影響を考えます。（選択）

研修旅行／映画撮影に使われたロケセットが組まれた庄内映画村や羽黒山などを巡る研修旅行を1泊2日で実施。教員自身の経歴などの紹介も有り、仲間との交流を深めます。

2 年

山形県の依頼で山形をPRするCM制作「やまがたチャンネル」が目玉。企画発表から制作、編集、完成後の試写会までの流れを体験します。また合成、編集、音のミックスの技術の基礎を、アフターエフェクトとプロツールスを用いて学習。後期は就職活動を意識した授業も開始。具体的に仕事をイメージしながら、より専門的な技術を身に付けます。

【選択科目（2～4年次）】映像プランニング概論／映像文化史／画像処理論／インターンシップ【必修科目（2年次）】制作演習／メディア演習／鑑賞批評

映像演習2（CG） ／海外の映像作品を毎回鑑賞します。 CGの特質を意識し、MayaやMAXなどのソフトを学びながら、各自の感性を映像の中に反映した作品制作を目指します。（必修）

映像演習1（アニメ）／アニメーションの楽しさは、観たことのない映像作品を作ること。手描きや人形などから自分の手法を見つけ、アニメーション作品の制作に挑戦します。（必修）

3 年

アニメーション、CG、実写映画・写真の3コースの中から一つ選択。映画の撮影やアニメ、CGなどのプロを特別講師として招き、就職活動も意識しながら、幅広い表現方法を学びます。またアニメでは3・4年が合同でラボを立ち上げ、教員と学生が共に映像制作に取り組み世界への配信を目指す活動も展開。自主制作に取組む学生も少なくありません。

【選択科目（3～4年次）】写真演習／メディアアート演習／音楽演習【必修科目（3年次）】映像演習4／映像研究1／展示構成論

映像演習3／提示されるテーマを元にシナリオやコンテを書き、学内か大学周辺に限定した撮影で、5分以内の映像をグループの中でスタッフの割当を考え制作します。（必修）

WEB演習／HPを作る際に必要なHTMLやCSSなどを理解し、Dreamweaverなどのソフトを用いてHPのデザイン、構築から公開、運用まで一連の作業を学びます。（選択）

4 年

ゼミに分かれ、自らの専門性を本格的に深めます。地域に密着した実写映像やアニメーション制作に取り組むほか、下級生をスタッフに、自らが監督となって映画作品に取り組む機会も。さらに教員のネットワークを活かし、CM制作会社など映像の現場でのインターンシップも可能。卒業制作は山形市内の映画館を使用し、一般の方にも公開予定です。

資格取得

【卒業時取得可能資格】小学校教諭一種免許（中学校教諭一種免許取得者が、指定の通信科目を受講することで取得できます）、中学校教諭一種免許（美術）、高等学校教諭一種免許（美術）、学芸員

卒業研究（映像） ／集大成として、自身の表現力、独自性を最大に発揮した作品を仕上げます。 映画の場合、長編又は中編の映画を企画し、監督として撮影、編集を行ないます。（必修）

映像研究2／卒業制作へ向けて、自らの制作に対する考えをまとめ、作品テーマや使用する映像分野などを決定。 教員との対話を重ね、質の高い作品制作を目指します。（必修）

※2013年度のもので、2015年度開講科目とは異なる場合が有ります。

1

2

7

6

3

プロダクトデザイン学科

PRODUCT DESIGN

1. 菊地宏太「Arion -Aerodynamics for range extension-」電気自動車の航続距離を延長するエアロダイナミクスを活用した車両の提案。／ **2.** 柏倉未来「Chromatime」障子紙に毛細管現象で水が引き上げられ、美しい色の変化を楽しみながら時のうつろいを感じられるプロダクトの提案。／ **3.** 三田卓「Blocco」鍵となる構造の、防犯性を高めた自転車の提案。 盗むために鍵を壊すと乗れなくなる構造を取り入れたデザイン。／ **4.** 鈴木天明「Feel Motion OLED」H80×W80×D3mm 手元のコントローラーと光が連動して変化する、光と人の相互作用を生み出す有機ELの照明デザイン。／ **5.** 田中えみ「分数つみき」H30×W120×D120mm円柱状の積み木を２～10分割した、分数を学ぶ導入及び計算に使える教材の提案。／ **6.** 宮崎千里「solid／surface 可変する家具」テーブル：H700×W750×D400mm / ミラー:H1800×W1170×D25mmフラットな状態から機能が出現（可変）する：家具の提案。／ **7.** 大屋彰「AirRing」H400×W400mm東北パイオニアが開発した薄型スピーカーユニットを利用した、新たなスピーカーの提案。／ **8.** 斎藤千尋「Chimaki bag」粽をイメージし、経木を用いた鞄の提案。

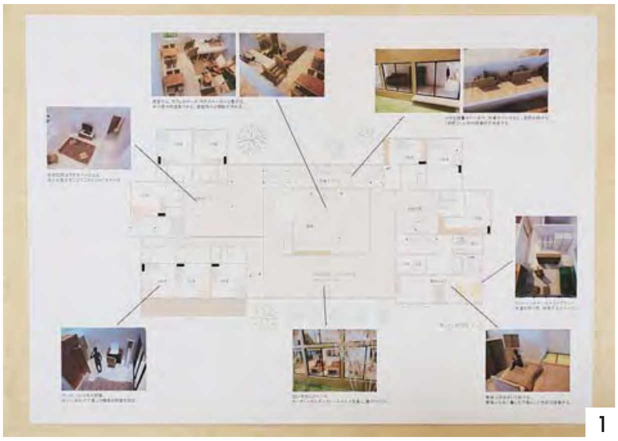
4

4

5

1

8


1

建築・環境デザイン学科
ARCHITECTURE AND ENVIRONMENTAL DESIGN

1. 五十嵐和恵「下宿のいまとこれから～隙間に団らんと集中の居場所をつくる～」ゆるやかな空間の繋がりや人々の繋がりが、気ままなコミュニケーション、快適な生活を生む下宿の提案。 ／ **2.** 米田菜奈子「環境の中の住宅 ー農地と住宅地ー」建築の知識のない人でも興味が持てるように表現し、住宅設計の面白さを伝えるための研究。 ／ **3.** 小澤絵莉奈「水を汲み取り、受容する住まいの提案」水路の利用、雨水の浸透、排水に重点を置いた水路付き住宅の提案。 ／ **4.** 荒川紗穂「単身者のリタイア後の暮らし方について～生きがいをシェアする町づくり～」身寄りのない単身者であっても孤独を感じずに暮らすための選択肢の一つとして、リタイアメントシェアハウスの提案。

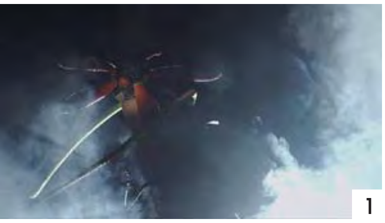
3

2

2

3

4



1

ニッポン男児

2

3

4

1

3

2

Endangered Species

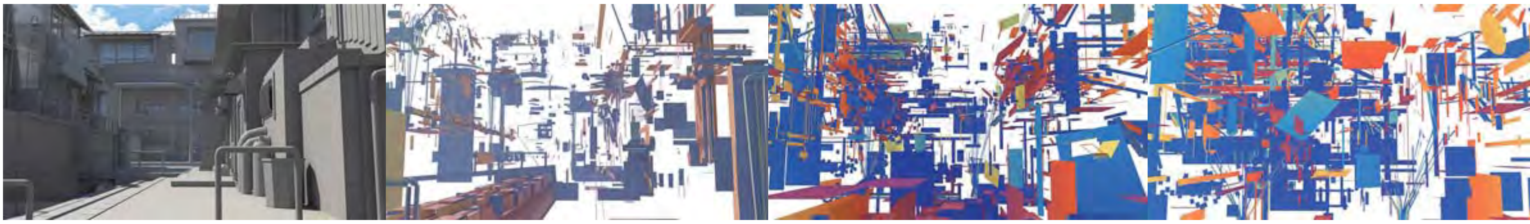
4

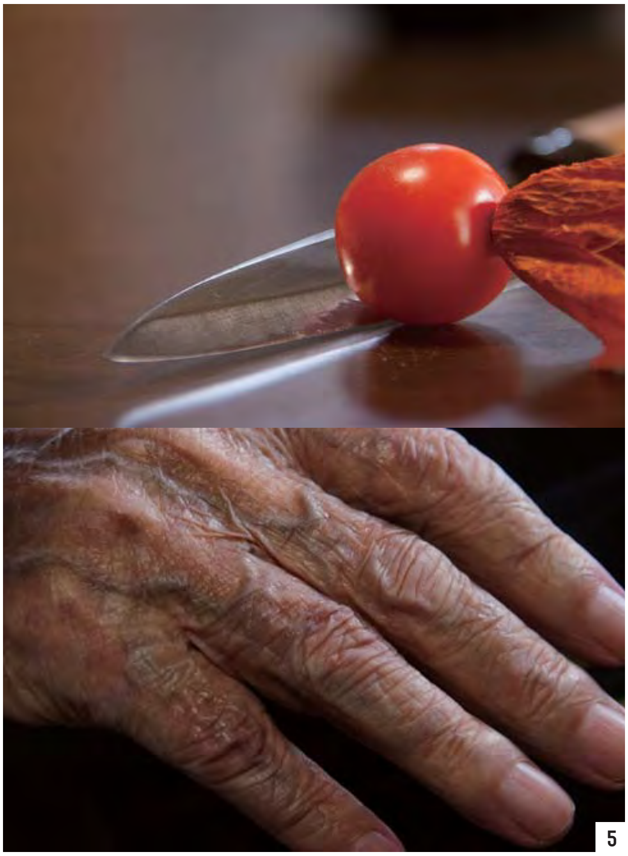
白雪姫
Snow White
毒りんご

6

Engage
Rings
&
Pictures

5




5

映像学科
FILM AND MEDIA

1. 広井砂希「ドロセラ」劇映画／ 2. 五十嵐英祐「ニッポン男児」劇映画／ 3. 齋藤香「深呼吸のオノマトペ」アニメーション／ 4. 山内大治「はりぼてCG」CGアニメーション／ 5. 我妻莉奈「西浦字38-2」大判プリント９点

グラフィックデザイン学科
GRAPHIC DESIGN

1. 藤田淑子「Drapes」キャンバス、木製パネル、アクリル絵具／ 2. 手塚紗織「わすれたものはなに?」絵本32p、ゴム版画／ 3. 三浦 保奈美「死にまつわるあれこれ」インスタレーション／ 4. 荒春奈「Endangered Species of the mammals in Yagiyama Zoo」冊子、ポスター、Tシャツなど ／ 5. 山口かれん「engage Rings & Pictures」H320×W280mm ビジュアルブック、64p ／ 6. 遠藤可奈子「ストーリーおりがみ」H386×W241mm、×8点、冊子

ART OF "CHI"

「知」の芸術

文化財保存修復学科
※名称変更届出中

歴史遺産学科

文芸学科

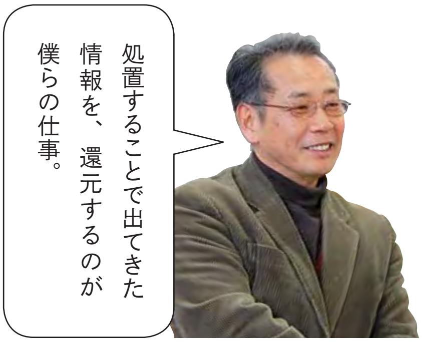
作品を未来へ継承する文化財保存修復学科と伝統文化の価値を再発見していく歴史遺産学科。

藤原徹 × 北野博司

藤原　文化財保存修復学科の魅力は、常識的には考えられないほど近い距離で本物の美術文化財に触れられること。その作家が描こうとした真実や感触、その時代の空気を実感できるっていうのが幸せですね。

北野　歴史遺産学科は、地域社会が伝えて来た知や技の世界に触れながら、それを現代にどう継承するかを考えることを柱にしています。実際に現場に行って本物を見て、身体と五感を総動員して物事の本質に迫る姿勢を重視しています。

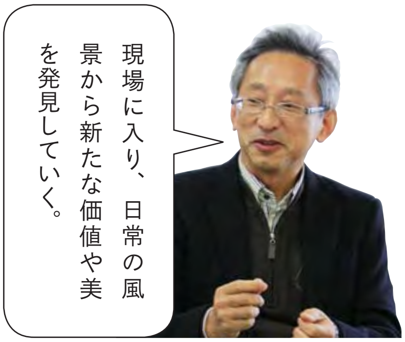
藤原　北野先生はいつも土の近くにいますけど、やっぱり土の持つ力って凄いですよね。土の上でシャベルを持って仕事ができるというのは羨ましい。僕らはいつも部屋の中でじーっと座って作業してるから（笑）。



藤原徹／文化財保存修復学科教授（学科長）

北野　でも藤原先生は、時には大きな屋外彫刻でも、雪の中でもガンガン直しますよね（笑）。私は、藤原先生は科学と手技をフルに使って直している修復家という気がします。最先端の機械や科学も必要ですが、いろんな条件の中で修復方法を選択し、実践するのは人間ですから、修復家の自然や人に対する深い理解が大切だと思うんです。

藤原　なるほどね。確かに小さい頃は海と山で遊びまくってたからなぁ。学校から帰ったらカバン放って、山に行くか、海に行くかみたいな。



北野博司／歴史遺産学科教授（学科長）

北野　使われている素材が複雑だから、現代美術の修復は様々なアイデアや応用性が問われるんですよね。価値とか「知」というのは、教えられるもの・書いてあるものだと思っている学生も多いけど、大学は「知」を創造するところ。だからこそ本物に触れる現場感覚が凄く大事だと思います。

藤原　山形には、土も木も砂もちゃんとあって恵まれてますよね。あと、山形の静かさも、ものを集中して考える上で非常に大事。

北野　東京にいると放っておいても情報がダイレクトに入ってきて、必要な情報がうまく選択できずに、流行モノに目が奪われて、本質を洞察する目が育ちにくいと言いますよね。

両学科は大学の研究機関と連携した実践的な授業が大きな特長。歴史遺産学科では山形県立博物館との連携も。

藤原　その点、山形は情報に翻弄されずに済むから、そこが良いんじゃないかな。それから、うちの学科は理系的な部分もあるんですよ。日本の教育は文系・理系という分け方をしてしまったんだけど、それはバランスの問題であって、人生を文系・理系の二つに分けられる訳がない。そのせいか、修復を女性の仕事と思っている人も結構多いんです。でも実際は足場を登ったり分析機器を使ったりすることもあるので、私は是非、文系・理系二つの要素をうまく学びたい人に来てほしいな。

北野　うちは、歴史好きだけでなく、地元やそこで暮らす人に思い入れがある生徒にも来て欲しい。自分が社会に巣立つ時、暮らす場所が歴史的にどうやって形成され、他とは違う、どんな魅力が有って、人々が豊かさや幸せを感じながら生きていくために自分ができることは何か。それをしっかり言える人を育成して行きたいと思います。

北野博司

きたのひろし／石川県出身。富山大学人文学部卒業、文学士。専門は考古学。実験考古学や民族考古学の手法を用いて、先史・古代の土器作り技術や使用実態を研究する。日本考古学協会東北ブロック委員、考古学研究会全国委員。

藤原徹

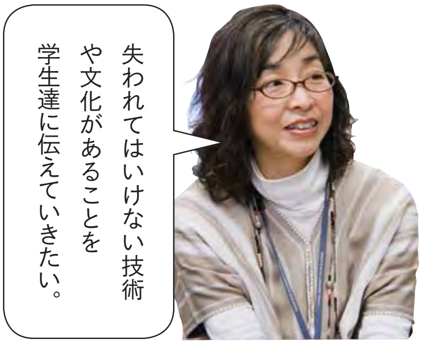
ふじわらとおる／広島県出身。東京造形大学卒業、フランスツールル美術学校修士課程修了。1996年、フランス立体保存修復士資格認定合格。古代エジプト、中世彩色木彫、近代彫刻など西洋・日本の立体作品の保存修復に数多く携わる。

一人ひとりに感じてほしい、あらゆる視点から物事を見つめ、形にして繋いでいく大切さ。

藤原千尋 × 謝 黎

藤原　私は普段、ライターや企画編集を仕事にしていて、ここ十年ぐらいはNPOやNGOといった国内外の市民活動を個人的な取材のテーマにしています。それから、モノを買うことで途上国の生産者を支援する『フェアトレード』も実践しています。毎年大学祭でフェアトレードショップを開店しているんですが、皆さん凄く関心を持ってくださって。最近ではネパールやバングラデシュまで出向いて、生産現場を取材する機会も増えてきました。

謝　私は主に民族衣装を切り口に、伝統文化と外来の文化が出会った時、人々の生活がどんな風に変わっていくのかを調べています。一つは物質文化。民族衣装以外にも、民具のような生活が色濃く反映されているモノに興味があります。もう一つは精神文化ですね。信仰儀礼や伝承、あと、モノに象徴されている意味とか。常に、一つの視点でなく、色々な視点から調べるようにしています。



藤原千尋／文芸学科講師

謝 黎／歴史遺産学科講師

藤原　謝先生はよく集落に出向いて聞き書き調査を行っていますよね。私が普段やっている取材とどんな違いがあるんでしょう？

謝　最初から目的を持って相手を取材するわけではないところですね。まずは、相手のことを「どういう人なんだろう」と探りながら、できる限り相手と同じようなところに自分も入っていくんです。そして、内側から見たり外側から見たりしながら、時間をかけてじっくりその地域に関わっていきます。なので、取材というよりも、会話という感じですね。

藤原　以前、謝先生に、なぜ人類学を学んでいるのかをお聞きした時、「人が好きだから」と仰ってましたよね。それを聞いて、とても感動したんです。人類学の奥深さを感じました。

謝　好きなんですよね、人間が（笑）。いい人達とばかり出会ってますし、ありがたく思っています。ただ、最近の学生を見ていると、行動する前から躊躇してしまって動けずにいる人も結構多いので、これから受験しようとする高校生には、「失敗を恐れないで」と言いたいですね。失敗することは絶対無駄じゃないし、十年後か二十年後かもしれないけど、きっと自分のモノになりますから。

民族衣装や小物などの共通点で盛り上がる謝講師と藤原講師。謝先生の研究室にも研究活動で集めた貴重な品が。

藤原　私も同感です。芸工大には色んな授業や機会が提供されていますから、色んな所に行ったり、色んな先生に会って話を聞いてみたりしながら、縦横無尽に四年間を楽しんでほしいですね。ちなみに私は、学生と共に地域の方々を取材して、山形の魅力を再発見し、その情報を発信する冊子を作っていきたいと考えているんですが、謝先生の今後は？

謝　私は新たに、東南アジアの華人にとっての民族衣装とは何か、またその生活や、関わっている文化について、現地に行って調べる予定です。早速、今年の春から。それから世界遺産になった、雲南省の元陽にある棚田にも行くことにしています。

藤原　凄い。忙しくなりますね。

謝　倒れないように頑張ります（笑）。

藤原千尋

ふじわらちひろ／フリーライター・編集者。著書に『フェアトレード@Life』『イイこと生活12カ月』など。ライフワークとして途上国の生産者を支援するフェアトレードを実践、現場や活動を紹介する小冊子「エシカル」を発行。

謝 黎

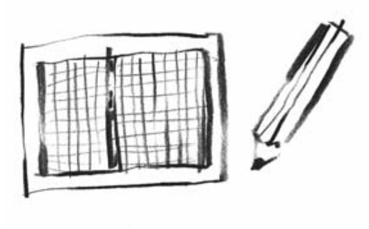
しゃ れい／文化人類学的な視点から、中国の「民族服」や「伝統服」を研究。その魅力を伝えつつ、アジア地域の「近代化」における「民族」の生存、融合や消滅、伝統のあり方などの研究を、物質文化の観点から進めている。

目指せる代表的な職業

例えば下記のような職業が、知の芸術の分野で学ぶ専門性を活かして、目指せる代表的なもの。もちろん、この一覧に無い職業にも就くことが可能です。

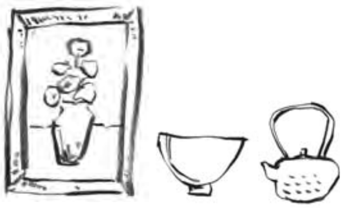
公務員、団体職員

市民や県民の暮らしを想像し、より良い社会を創造していくことが目的。地域の問題を発見し、解決していく能力が求められています。



ライター、文芸作家

豊かな語彙や表現力と、日常の気付きが必要。取材を基に記事をまとめたり、想像力を活かして小説などの文芸作品を制作し、出版に繋げます。



美術館、文化施設

学芸員に限らず、史料の管理や広報など業務内容は多岐に渡ります。民俗や文化に対する深い理解とコミュニケーション能力も必要です。

旅行、観光、ブライダル

旅行者や新郎新婦が思い出に残る楽しい時間を過ごせるようプロデュースする職業。相手の気持ちを十分に理解した提案が必要です。

ホームページ・雑誌編集

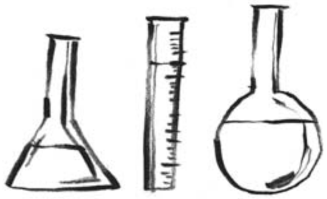
企業や自治体のホームページや、雑誌など書籍の制作・編集。視覚的な美しさだけでなく、情報の価値を見極め、適切に纏める力も問われます。

広告代理店、マスメディア

社会への影響力が特に強い分野。テレビやHPなどで、より多くの人にニュースやイベント、製品などの情報・広告を発信します。

販売、商業施設

コミュニケーション能力はもちろん、顧客のニーズに応え、満足いく時間と空間の創出も重要。最新トレンドを予測する情報収集も必要です。



化学、材料、環境

化学や物理など自然科学の基礎知識や機材による調査分析技術を活かし、文化財の保存修復や商品開発、環境保全などでの活躍が期待できます。

金融機関

地域への理解力を持って、人と人を結ぶ信頼関係の構築が大切。企業への資金融資による地域社会の活性化や、産業振興にも結びつく分野です。

NPO(芸術、教育)

芸術活動や芸術教育で、一人ひとりの心を豊かにするワークショップやイベントを企画・運営。芸術を通じた社会的な自立支援にも寄与します。

学芸員

作品や作家の魅力を読み取り、多くの人に伝えるのが使命。美術館や博物館などが活躍の場です。

学校教員(学科によって取得可能資格が異なります)

生徒の思いを想像し、個性を尊重しながら、将来必要な知識や人間性を育む教員。個々と日々向き合い、共に成長できる、やりがいのある分野です。

PROPERTY CONSERVATION

文化財保存修復学科

※名称変更届出中

学科と連携した文化財保存修復研究センターには、大きな彫刻作品も内部調査として撮影できるレントゲン室も備えています。

通常では経験できない、価値ある美術品の修復作業を、専門的な機材を使用しながら学生も関わる事ができるのが、この学科の最大の魅力。

大切なものを、いつまでも守り続けていきたい。美術作品や文化財は、今を生きる人たちが寄り添ってこそ後世へと伝えていくことができる、かけがえのない存在です。文化財保存修復学科では「絵画修復」「立体作品修復」「保存科学」の3分野を専門的かつ横断的に学び、正しい知識と技術を身に付けていきます。研究センターと連携することで、本物の作品と出会い、感動を得られる機会が多い点も特長の一つです。全国の美術館などから研究センターへ寄せられる作品の修復に実際に携わることも可能な演習は、芸術の奥深さを理解できる貴重な時間。守り、直し、支え、繋げる保存修復の分野は、人間の心を満たしていく上で不可欠な存在と言えます。ここで得た知識や技術は、学芸員や保存修復技術者としてはもちろん、生活や社会をより快適なものに変え、永く伝えていくことにも役立っています。

ON AIR TUAD TRIP!

http://www.tuad.ac.jp/trip

上記URLで全学科コースの学生を追ったムービーを公開しています。 スマートフォンもOK!

豊かな日本文化を物語る、掛け軸や曼荼羅図が並ぶ東洋絵画修復室。畳敷きの空間で、じっくりと日本の美術品に向き合うことが可能です。

学べる分野

絵画修復（西洋・東洋）

様々な素材の組み合わせで描かれ、絵具や材料の性質、構造の正しい理解が求められる絵画修復。絵画の扱い方など基礎的な部分から、調査・記録方法、処置の必要性や方法の検討、修復まで、西洋と東洋絵画の各分野で学びを深めます。センターに寄せられる本物の作品に携わることも可能です。

立体作品修復

修復研究の対象は彫刻や工芸品など様々。仏像や寺院といった伝統的な文化財の修復技法はある程度確立されている一方で、近現代の美術作品は技法も材料も多種多様。細部を観察できる高精度の立体顕微鏡やレーザーメスなどの専門機材を使用しながら、現代に求められる修復方法を習得していきます。

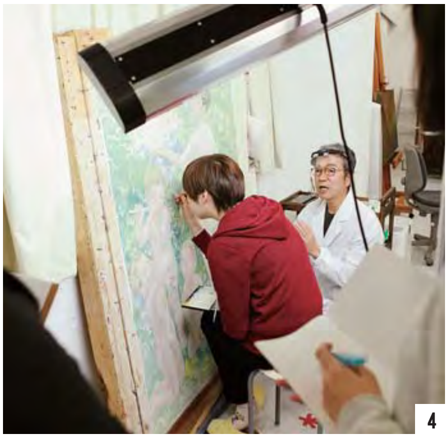
保存科学

美術作品や文化財資料を、最新の科学技術の援用によって調査・分析し、保存修復の分野に情報提供する保存科学。作品の構造や状態をX線や電子顕微鏡で調べたり、材質を科学分析したりすることは、現代の保存修復に必要不可欠です。美術館や博物館の環境保全などにも力を発揮することができます。

2

1

5



4

3

6

1.さまざまな材料や保存状態に於かれていた美術品を、適切に修復するには、科学的な見地で現状や材質を分析、検証することも欠かせません。

2.プロの修復家でもある教授陣の指導を受けながら、適切な状態の理解と修復方法を基礎から実践的に学んでいきます。

3.美術館や博物館などから修復を依頼された美術品。 教授の指導のもとで知識と技術を身につけ、卒業研究では実際にそれらの修復を担当します。

4.油絵を中心とした西洋絵画の修復分野も基礎から学ぶことができます。 作家の想いと時間の経過をくみ取りながら、修復を仕上げた作品は、さらに後世へとその輝きを残します。

5.虫に食われて穴の空いた和紙の補修などの修復技法も基礎から習得。 視野を広げるために、伝統工芸品の作家や職人を訪ねる機会も設けています。

6.修復が終った作品は美術館や寺院などにお戻しします。 卒業研究で取組んだ作品は、卒業制作展に出品し発表します。

保存科学で状態を知り、
平面と立体の各分野で修復する。

文化財保存修復学科の様々な取組み

ACTIONS

被災した仏像を学生３人の力で修復

福島県伊達市にある明福院の大日如来像は、東日本大震災にて被災。 学生の久保田玲央さん、橋本彩さん、藤澤明穂さんの３名が卒業研究として担当し、欠落箇所の補填や、剥落を抑え、汚れを軽減するなどの処置を実施しました。明福院まで足を運び、住職や地域の方が望む仏像の姿を認識しながら慎重に修復を行ないました。

文化財保存修復研究センター（ICCP）との連携

全国初の大学附属文化財保存研究機関で、東北各地の文化遺産を守り伝える研究拠点として、文化財の保存修復を行っています。 センターでの活動は文化財保存修復学科を中心に各学科へ還元しており、センターが受託する数多くの修復研究案件を通じて、学生が社会や市民とのつながりを実感する貴重な体験の場となっています。

宮城県美術館 柳原義達の「道標」「鴉」を修復

宮城県美術館からの依頼を請け、柳原義達によるブロンズ作品「道標」「鴉」の保存修復を藤原教授と学生とで実施しました。 ブロンズの表面の高水圧洗浄、劣化した部分の修復などの作業には、学生も積極的に参加。 どのように手を動かし、どこまで手を入れるか、体験を通して保存修復の定義を再確認しました。

重要文化財「木造十一面観音立像」の調査

文化財保存修復研究センターでは、山形市の宝積院が所蔵する国の重要文化財「木造十一面観音立像」の調査を受託。 研究員の作業補助として在学生も参加し、移動が可能なレントゲン機材を宝積院へ持ち込み、表面の目視調査に加えて内部状態の調査を行ないました。 今後分析を行ない、修復の必要性などを検討予定です。

震災で被災した文化財の応急処置の実施

文化財保存修復研究センターでは、東日本大震災で被災した文化財の応急処置の対応をしています。 文化庁の協力依頼もあり、宮城県の高校や美術館、岩手県の博物館などから引き受けた文化財は約5,000点。 教員の指導のもと、絵画、立体作品、歴史的な研究資料や書籍類などの作業を、学生中心のボランティアが進めています。

様々な素材が使われたポップアートの修復

石井千裕さんと宮城加奈子さんが卒業研究として手がけた、青森県立美術館所蔵の『とある玩具店のショーウィンドウケース』。 この作品には錆びた水道の蛇口、崩れそうなメザシの干物、戦闘機の写真など、様々な素材が使用されています。 それら一つひとつの劣化を抑える処置を、素材に合わせて検討を重ね、施しました。

4年間のカリキュラム

全学教養科目 / 全学専門科目　全ての学生共通の全学教養科目と全学専門科目は151ページに掲載。

CURRICULUM

1 年

現代の保存修復の倫理、考え方など、実例を見ながら、保存修復の本質を学びます。美術の神髄と本質を理解すると同時に、化学や物理といった自然科学についての基礎も身に付けます。更に東北の美術館や寺社仏閣を巡り、その味わいと価値を再認識。全学年を通して、調査、修復処置のプレゼンテーションは必ず行い、意見を述べる力も養います。

美術史・文化財保存修復調査演習1／［東北研修旅行］東北の寺社仏閣、美術館などを巡り、本物の文化財を観察する1泊2日の研修旅行。先生や美術館の学芸員による解説もあります。（必修）

美術史・文化財保存修復入門／文化財の保存修復の概要を捉え学修方法を明確にするため、各専門の担当教員が毎回交替で講義します。各分野の基礎を知り、自らの興味と対照させます。（必修）

研究センター受託活動／地域文化財の保全活動として、研究センターでは仏像が安置されている白鷹町のお堂や、宮城県美術館の屋外彫刻の修復に参画。学生も参加しています。

【選択科目（1～4年次）】保存修復基礎科学1／東洋史概論／西洋史概論／芸術色彩学／考古学概論／文化財保護法【必修科目（1年次）】芸術鑑賞の喜び／美術史基礎演習／日本美術史概説／西洋美術史概説／芸術文化と自然の遺産

保存科学概論／文化遺産は、世界共通の存在として認識され、また国内の法律で保護されています。現在の文化財保存の考え方に合わせ、文化財の保存環境を学びます。（必修）

平面技法演習／水彩やテンペラ、油彩など様々な絵具を制作し、西洋絵画の材料の特性を理解します。また画布を張り、地塗りを施すなどの制作実習で技法を理解します。（必修）

立体技法演習／技法、素材、構成などから作品の理解を深めるため、文字以外の自己表現として、立体物のデッサン、着彩、模写などの基礎的な技法を身につけます。（必修）

2 年

現代の保存修復の倫理、考え方など、実例を見ながら、保存修復の本質を学びます。美術の神髄と本質を理解すると同時に、化学や物理といった自然科学についての基礎も身に付けます。更に東北の美術館や寺社仏閣を巡り、その味わいと価値を再認識。全学年を通して、調査、修復処置のプレゼンテーションは必ず行い、意見を述べる力も養います。

【選択科目（2～4年次）】保存修復基礎科学2／東洋美術史／西洋美術史／平面修復論／立体修復論／日本近代近世美術史／現代美術史／美学／埋蔵文化財保存学／インターンシップ【選択必修科目（2年次）】日本美術史文献購読／保存修復演習1・2・4／英語で学ぶ美術【必修科目（2年次）】美術の見方

保存修復演習3／絵画の保存修復の一段階として、作品調査の基礎を理解しレポートとしてまとめる力を養います。調査の要点を学び、美術館で鑑賞実習も行ないます。（選択必修）

美術史・文化財保存修復調査演習2／［関東研修旅行］首都圏への研修。東京国立博物館や国立西洋美術館などのバックヤードを見学し、美術館の裏側、博物館の管理現場を知ります。（必修）

3 年

西洋絵画、東洋絵画、立体作品、保存科学の中から専門分野のゼミを選択。実際の美術品や文化財に直接触れる機会を得ながら、各分野を深く学びます。状態の観察や判断から、修復処置の計画、実施、経過の記録や報告書の作成まで、処置の基本的な手順も習得。また、ゼミ毎に研修旅行に行く機会も豊富。広く日本の文化財や美術品の現状を調査します。

【選択科目（3～4年次）】保存科学特講／日本美術史特講／西洋美術史特講／保存修復技法特講／文化財環境・材質特講【選択必修科目（3年次）】日本美術史演習／日本美術史応用演習／西洋美術史演習／西洋美術史応用演習／立体保存修復応用演習1／東洋絵画保存修復応用演習1・2／西洋絵画保存修復応用演習1・2／保存科学応用演習2【必修科目（3年次）】美術史・文化財保存修復調査演習3／キャリア課題研究

保存科学応用演習1／微小な試料の取扱いに有効な断面観察の方法や、走査電子顕微鏡などの使用法を学びます。また基本的な保存処理方法や光に弱い材料の特徴を学びます。（選択必修）

立体保存修復応用演習2／美術作品の洗浄、接着、仕上げまでの基礎的な修復の実技を通して、修復技術の初歩を学びます。素材を扱うための科学、物理的な知識も学習します。（選択必修）

4 年

いよいよ、博物館や美術館などから提供される作品や文化財を対象に、自らの研究として保存修復処置に取り組みます。教員のアドバイスを受けながら、1年かけて修復処置を実施。途中経過を記録しながら、報告書を作成し、卒業論文とします。そして自分の研究、調査計画や成果を明確にし、相手に伝える確かなプレゼンテーション能力も鍛えます。

資格取得

【卒業時取得可能資格】
学芸員

専門課題研究／3年間を振り返り卒業研究のテーマを決定し、必要な情報や資料の収集を進め、目的や手法を確認して研究計画を立てて卒業研究論文を完成させます。（選択必修）

専門応用演習／自らテーマを決め、必要な資料収集、目的や手法を確認し、具体的な修復計画を策定します。修復や技術の情報を集めて作業を実践し、卒業論文とします。（必修）

※2013年度のもので、2015年度開講科目とは異なる場合が有ります。

HISTORIC HERITAGE

歴史遺産学科

入学後に初めてフィールドへ出向く演習は、1泊2日の小旅行。1年次から積極的に様々な体験を重ねる事で、地域の価値や魅力を見いだす力を鍛えていきます。

ON AIR TUAD TRIP!

http://www.tuad.ac.jp/trip

上記URLで全学科コースの学生を追ったムービーを公開しています。 スマートフォンもOK!

〝祖先は昔どんな暮らしをしていたのだろう?〟〝自分が住む地域は今後どうなるのだろう?〟という過去や未来への思い。歴史遺産学科では、人々が培ってきた歴史や民俗に触れながら、人類の軌跡と未来の姿を追い求めていきます。地域の文化に秘められた価値や魅力を発見するため、1年次からフィールドワークを実施。大学近隣地域から東北各地まで足を運び、村の人の語りに耳を傾け、実際に目と手で資料に触れながら、文化の独自性と地域で生きる豊かさを見いだします。狩猟文化や生業技術、考古学、城郭史やアジアの民族文化など、幅広い専門分野を持つ教授陣と過ごす驚きと感動と発見に満ちた日々。また石器や土器の製作体験や街並み探索などの課外活動も盛んです。これら「東北学」の実践を通して養われるコミュニケーション能力や本質を見る力、調査分析能力は、社会で大いに役立つことでしょう。

岩手県の世界遺産、平泉中尊寺の「米納め」に学生も参加。中尊寺経蔵に米や薪などを奉納する行事で、地元の方と共に一関駅から街中を練り歩きます。東北各地に残る文化に触れる機会も豊富です。

築後数百年の歴史を持つ上山市の古民家での実測調査。構造や間取りを調べたり古い民具のスケッチを描くことで、調査方法の基礎を学ぶと共に、住宅や暮らし方から地域の歴史や文化に迫ります。

学べる分野

歴史学

過去の出来事や人々の暮らし、精神を史料から探り、自らの歴史像を組み立て、現代の生き方を考える歴史。山城などを歩く体験から歴史を肌で感じ、古文書や古地図などの史料を読み解くことで、新たな歴史の側面や物語を紡いでいきます。

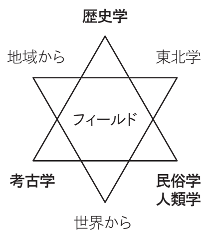
考古学

発掘現場や考古資料に触れるフィールドワークを通じて、分析調査の技術を実践的に習得します。土器や石器を作り、使うことで当時の暮らしを知る取り組みも特徴。夏期に行う古墳や縄文遺跡の発掘調査合宿も魅力です。

民俗・人類学

民具や生業技術の「もの」「わざ」と、祭りや信仰などの「こころ」から、東北の「人」に迫ります。自然や動植物などの基礎知識を学びつつ、聞き書き調査や民俗行事の参加など、文化を理解し、で現代の暮らしを未来に結ぶ手がかりを探ります。

東北文化研究センター



体験的なアプローチで
社会人基礎力を高める

文化財保存修復研究センター

2

1

4

3

6

5

1-2. 地域に伝わる古文書や絵図を自らの手でひも解く機会も豊富。 そこに書かれ、描かれた世界を読み解くには、自ら現地で歴史の舞台に立って考えることが大切です。 調べた成果はまとめ、発表し、地域の方と共に歴史を未来につなげていきます。

3-4. 山形県内外の遺跡で、実際に発掘作業をする機会も豊富です。 事前に発掘に関する知識、測量機器の扱い方、記録の方法などを学び、古墳などの発掘調査に挑みます。 調査した遺跡や出土品を研究し、その成果を「調査報告書」にまとめ、最後にはプレゼンテーションを行います。

5-6. 地域の生活を知るには、現地に行って、実際に自分の目で見なくてはなりません。 地域の人から昔の暮らしぶりや、現在の生業などについて、直接お話を伺うことも重要な調査。さらに成果として、冊子「東北一万年のフィールドワーク」を学生自らが編集作業に関わり発行する機会もあります。

地域を歩き本物に触れ、
問いを発見する。
フィールドで出会う
数々の驚きと感動。

ACTIONS

歴史遺産学科の様々な取組み

国内最大規模の可能性も。縄文草創期「日向洞窟」発掘調査

長井謙治講師を団長に歴史遺産学科の学生など23名が調査団を組織し、2013年8月30日〜9月13日に「国指定史跡日向洞窟」周辺部の発掘調査を行いました。 調査の結果、国内の洞窟遺跡群の中でも最大規模である可能性があることが分かり、今後、年代測定などで科学的な検証を進める予定です。

東北文化研究センターとの連携

東北を舞台に、縄文以来1万年の歴史や文化を掘り起こし、日本、アジアに問いかけ、東北ルネサンスへの道を拓くことを目指しています。 その研究成果は、歴史遺産学科を中心に各学科へ還元。 学部生はセンター研究員による授業や公開講座、水上能楽堂「伝統館」での公演などを通じて、最新の研究を実践的に学ぶことができます。

高畠まちあるき調査

山形県高畠町で古くから生活に密着してきた高畠石。2011年以降は採掘されていませんが、高畠石の石塀で整えられた町並みは個性的な景観をつくり出し、価値が見直されています。北野准教授は『高畠まちあるき』を主催し、月に一度、学生と共に高畠石利用の実態を調査。一軒一軒歩いて訪ね、地域住民に聞き書きを行っています。

地域民俗誌「東北一万年のフィールドワーク」の制作

山形県を中心に各地域へフィールドワークに出向き、人と触れ合いながら土地の環境や伝統文化、生活習慣などを調査する研究活動をしています。 その成果として、冊子「東北一万年のフィールドワーク」を学生が執筆から編集までを担当し発行。 自らの調査成果が冊子になり、地域の人に読んでもらうことは、大きな喜びにも繋がります。

山形県小国町での「またぎ」体験

毎年2月、山形県小国町のマタギの村へ出かけ、先輩や地域の方と共に食事を作り自然観察をし、ウサギ狩りにも参加します。 マタギから雪山歩きに欠かせないカンジキ作りを学び、自分で作ったカンジキを履いて山野を歩き、自然と村の人々との関係を考えます。 人と自然の、深く豊かな関係との新たな出会いの機会です。

美しく艶やかなチャイナドレス約150点を展示

謝黎（Sha Rei）講師が所蔵する19〜20世紀のチャイナドレス約150点によるコレクション展「北と南の混淆〜旗袍に隠された近代中国の歴史〜」を2013年10月に本館ギャラリーで開催。 歴史と文化の混合を象徴するチャイナドレスの時代と共に変化するデザインから、生活の変遷や異文化交流の歴史が垣間見られる展示となりました。

4年間のカリキュラム

全学教養科目 / 全学専門科目　全ての学生共通の全学教養科目と全学専門科目は 151 ページに掲載。

CURRICULUM

1年

歴史遺産は、人と自然との関わりの中から生まれる地域固有の文化や伝統です。それを理解するため、座学で全体の基礎知識を習得。1年次から教員とフィールドに出かけ、川の岩石や山の植生観察をし、遺跡や民俗資料、古文書などが複合的に存在する現場の実態を学びます。住民との関わり方や、フィールドワークの基礎的な知識を身に付けます。

歴史遺産学総論／考古、歴史、民俗それぞれの視点から日本の歴史や文化を見直します。 歴史遺産を継承する意義を理解し、地域で起こっている諸問題の背景を学びます。（必修）

歴史遺産調査演習Ａ／入学後に初めてフィールドへ出向く演習で、1泊2日の小旅行です。 地域の歴史遺産や自然に関する事前調査や実地調査を行い、その実情に触れます。（必修）

東北学Ａ～Ｃ／歴史、考古、民俗それぞれの教員による講義。民俗の場合は、羽越国境と信越国境地域の事例を取り挙げ、東北に顕著に見られるマタギ文化を考えます。（選択）

【選択科目（１～４年次）】デッサン初級／考古学概論／地誌／東洋史概論／西洋史概論／地理学概論／社会文化環境論／民俗・人類学概論／社会学日本史概論／アジア文化論【必修科目（１年次）】芸術鑑賞の喜び／芸術文化と自然の遺産

世界遺産総論／国内外の世界遺産や自然遺産から「世界遺産とは何か」を学びます。 世界遺産の登録と地域に生きる人々の関わり方をとらえ直し、世界遺産の意味を考えます。（選択）

フィールドワーク演習１／文献などを活用した事前学習を行った上でフィールド調査を実施し、最後に調査内容をまとめ、成果をプレゼンテーションしてレポートを作成します。（必修）

歴史遺産基礎演習1・2／考古、歴史、民俗分野それぞれの研究手法の基本を学び、野外調査のための地形図の見方、簡単なスケッチ、古文書史料の読解などに取組みます。（必修）

2年

歴史、考古、民俗・人類、各分野の応用演習を開始。3分野の中から自分の興味で2つを選択し、幅広い知識や調査方法を学びます。主体的に地域に入り、合宿形式で聞き書き調査を実施するなど実践的なフィールドワークの方法を学びます。古文書の目録作成や発掘調査、資料保存に必要な記録方法、多様な民俗誌の読解など、各分野の基礎を身に付けます。

【選択科目（２～４年次）】民俗・人類学特講Ａ・Ｂ／考古学特講Ａ・Ｂ／歴史学特講Ａ・Ｂ／インターンシップ／生業技術論【選択必修科目（２年次）】／歴史学応用演習１・2／考古学資料論／歴史学資料論／民俗・人類学資料論【必修科目（２年次）】現代社会解剖学１／フィールドワーク演習２

民俗・人類学応用演習1・2／調査研究の手法を習得するために、文献を読み込みます。実際に幾つかの課題をグループで調査し、聞き書きを行ない、成果をまとめて発表します。（選択必修）

考古学応用演習1・2／遺跡から出土した資料を観察・分析し、実測図や文章で記録・報告する能力を養います。 顕微鏡や分光測色計などの分析機器による調査法も習得します。（選択必修）

3年

専門分野を一つ選択し、調査の企画立案、現地に出向いての調査の実施、資料や報告書制作を自主的に実施。教授の専門に合わせたゼミに分かれ、読解力や文章表現力などを身に付け、プレゼンテーション力も高めます。また、研究センターと連携した地域研究プロジェクトも大きな特徴。学びの社会的な意味を理解するとともに、就活力にも活かします。

【必修科目（３年次）】現代社会解剖学２／歴史遺産文献講読１・２

歴史遺産調査演習Ｂ／専門分野毎に国内外へ１週間程の研修旅行に出かけ、多様な自然や文化の中で育まれて来た固有の歴史遺産の実態を調査し、卒業研究につながる問題意識を養います。（必修）

フィールドワーク演習3／民俗学専攻では山形県小国町五味沢地区で山菜採りやノウサギ狩りなどの狩猟採集活動を体験しつつ、農山村における生活参加型の調査方法を具体的に習得。（必修）

4年

自ら研究対象のフィールドを決め、卒業研究に取り組みます。例えば民俗学なら、地域に1年間入り込んで調査を行うなど、専門分野を軸に、多角的な視点で問題を見る力、地域を総合的に理解する力を育成します。また卒業研究と平行して、研究センターと連携したプロジェクトのリーダーとしてチームを引率。チームをまとめる力も身に付けていきます。

資格取得

【卒業時取得可能資格】小学校教諭一種免許（中学校教諭一種免許取得者が、指定の通信科目を受講することで取得できます）、中学校教諭一種免許（社会）、高等学校教諭一種免許（地理歴史）、学芸員

卒業研究（歴史遺産）／卒業論文は大学4年間の集大成。 研究テーマに沿った資料収集と分析を行って結論を導くという、方法論の明快さと矛盾のない論理の展開が求められます。（必修）

歴史遺産研究／教員の専門ゼミに分かれ、学生自らテーマを設定し、研究スケジュールを立て、卒業研究に向けて資料収集や調査を行います。（必修）

※2013年度のもので、2015年度開講科目とは異なる場合が有ります。

LITERARY ARTS

文芸学科

どんなに落ち込んだ時にも
誰にも八つ当たりしない。

（奥井隆大／４年）

書きすぎることで
失われる概念もある

（井上陽能人／４年）

清々しさや優しさ、
暖かさ、そういう
気持ちを伝えたい。

（山本悠祐／４年）

わけわから
ないけど、
野心はある。

（匿名希望／４年）

人間の器は
何度も破壊され
徐々に大きくなる。

（田中千尋／４年）

自分の価値観の軸は
事実を知りたいと思う気持ち。

（飛塚弥知佳／４年）

喪失と再生を
テーマに、
生涯書き続けて
いきたい。

（笠原伊織／４年）

読んだ人の心に
「しみ」をつくるような、
そんな本を作りたい。

（矢吹知佳／４年）

他人との関わりで
自分自身が
変化していく、
そんなイメージを
伝えたい。

（柿沼千紘／４年）

揺さぶられて
突き動かされて
小説を書きたい

（池尻佳保里／４年）

女の子に
褒められると、
すごく嬉しい。

（安保裕耶／４年）

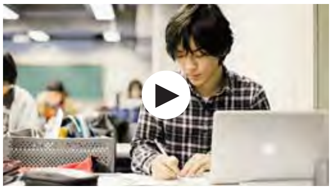
キャラクターの抱える
悲しみを大切にしたい。

（荒川匠／４年）

世界は自分が決めるもの。

（樋渡一馬／４年）

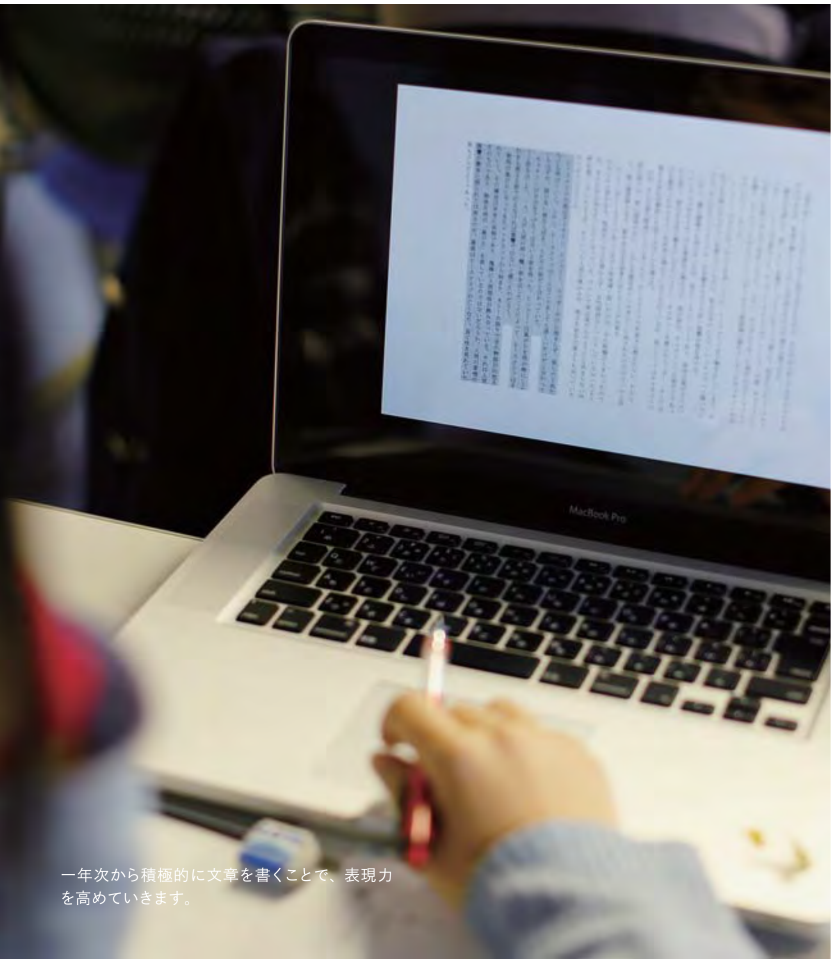
ON AIR TUAD TRIP!



http://www.tuad.ac.jp/trip

上記URLで全学科コースの学生を追ったムービーを公開しています。 スマートフォンもOK!

自らのイマジネーションを言葉で綴り、魅力的に人に伝える。友達とのメールや日記代わりのSNSなど、手軽に情報を発信できる時代だからこそ、個性的で訴求力のある言語表現が求められます。文芸学科では、現役作家などの教授陣の指導のもと、基本的な作文から始め、より複雑で高度な短編小説やエッセイなど、1年次から積極的に文章を書き、表現力を高めていきます。また作品を生み出す企画力、作品を作り上げる編集力も段階的に養っていきます。市場分析や取材、資料調査といった準備段階から、プレゼンテーションやグループディスカッションを経て、記事の作成、DTPソフトを使った組版、校正校閲といった様々な実作業を通じて実践的に習得していきます。これらの力は、作家やライター、企画や編集といった出版関係の仕事だけでなく、幅広い職種や業種で役立つものとなるでしょう。



一年次から積極的に文章を書くことで、表現力を高めていきます。

地域紙の制作のために、大学近隣の平清水で日本酒の製造販売をする六根浄さんへ取材をした様子。 地域との関わりを持ちやすい点は芸工大ならでは。

学べる分野

ライティング

文芸作品や新聞・雑誌の記事、エッセイなどを書くために必要な技能と感性を養います。また文章の読解や相互批評、グループ討議などを通じて、異文化への理解力、創造力、強い意志力を育みます。

編集

さまざまな才能や要素を結びつけ、作品として編み上げていくのが編集です。そのために必要な幅広い知識と教養、美的センス、コミュニケーション能力を講義や制作を通じて学び、養います。

文芸学科で身に付ける3つの力

書く力

「書く」授業は2つの柱で成り立っています。ベーシックな日本語をきちんと書くことと、独自の表現力を獲得すること。わかりやすく美しい日本語を活用でき、規範的な日本語に「自分らしさ」を持ちこんで他者を感動させる、文章力を身につけます。

『400文字の作文を繰り返し書く』

作品を創るための基礎的な文章力を400字の作文を繰り返し書くことで養います。原稿用紙を使い、一語一語丁寧に手で綴るうちに言葉の役割や重み、感触が身体でわかってくるはずです。記憶、場所、友人、音楽、夢想、歓喜。様々なテーマで言葉との関係を深めていきます。

『マンガの場面を言葉にする』

描写のトレーニングをします。マンガのカット割りでの「視点」の扱いには、ときに全体を俯瞰したり、対象へと一気にズームしたり、視点の主体を適時切り替えたりと、実に様々な工夫が見られます。そんな操作を文章に移し替えることで、ダイナミックで躍動的な描写の作法を学びます。

『昔話を「小説」にする』

昔話と小説とは決定的に違います。昔話は物語のほぼ骨格だけなのに対し、小説は登場人物の内面、葛藤などが加わります。昔話の骨格を的確に見極めて「小説化」する作業を通し、物語における不変の要素（物語構造）への感覚、および細部に渡って登場人物を肉付けする作法を学びます。

編集する力

編集は、書籍や雑誌を作成する技術の前に、世界をどんな視点で見るかという哲学。未知の視点の発見によって新しい世界の創造が可能になります。視点は言葉の力で成り立ちます。「言葉」をキーワードに、創作や企画とつながりながら編集を学びます。

『写真を物語にする』

編集は「世界」を独自の視点で切り取り、再構築する作業。例えば、与えられた1つの写真から2通りの物語を考えます。題材は同じでも、力点の置き方や連想の方向性や注目する細部の違いによって、全く異なる「世界」が生まれます。編集の基本的なセンスは、こんなところから身につきます。

『類書チェック（リサーチ）』

編集企画を考える際には、似たコンセプトの既刊本を複数調べることが不可欠です。書名や目次立て等の内容のほか、どんな読者層にどの程度支持されたのか、評判はネットで広まったのかクチコミなのか、などを可能な限り調べ、その上でどんな企画が新鮮で魅力的かを考察します。

『インタヴューして文章にまとめる』

文字で記された歴史が歴史の全てではありません。語り伝えられる歴史の重要性が近年、再認識されています。口承を記述することも文芸の大切な役目の一つ。人から話を聞き、言葉にして書き記す。そのために必要な心構えから技法まで実践的に学び、理論的に整理していきます。

企画・出版する力

作家が「発語」することで小説やノンフィクション、評論などの作品は生まれます。作品をどう見せ、どんな方法で流通させるのか？それを考えるのが「企画し、出版する力」。書店に置かれる本からネット配信の電子書籍まで出版の形は多様です。

『読者の顔を思い浮かべる』

企画のターゲットとなる読者の年代、性別、嗜好、ライフスタイルなどを詳しく、具体的に思い描く作業をグループワーク形式で行ないます。様々な意見や知恵を出し合い、よりリアルで客観的な読者像を想定し、訴求力のある見出しをつけ文体を選び、レイアウトを作っていきます。

『タイトルバンクをつくる』

小説やエッセイなどの作品のタイトルは、作家固有の視点であり哲学であり、同時に商品のキャッチコピーでもあります。毎日の生活の中で、できるだけ多方向に好奇心のアンテナを張りめぐらせて作品タイトルを考え、常に20程度はストックしておく習慣を身につけます。

『聖地巡礼―現実と虚構の狭間を巡る』

ライトノベルやコミック、アニメに登場する場所が、愛好者によって「聖地」とされ、多くの巡礼者を呼び寄せています。「聖地巡礼」を切り口に現実と虚構の関係を考え、社会に力を持つ作品制作へ応用します。また、東北の地域性や文化をツーリズムの視点から捉える試みも行ないます。

文芸学科の様々な取組み

2014年度の創刊に向けて文芸誌を準備中

それぞれが現役の作家・評論家・編集者である教員の可能性を発揮できるメディアを考えており、学生作品で優秀なものは躊躇なく掲載予定です。 未知の読者に読んでもらう緊張感を経験する機会でもあります。 また雑誌は、編集者や執筆者だけで作ることはできません。 他学科のクリエイターとの交流も積極的に進めていきます。

佐藤浩市客員教授による特別講義を開催

俳優の佐藤浩市氏は、文芸学科の客員教授に就任しています。 2013年1月30日には第1回特別講義が文芸学科の学生に加えて全学生対象で開催されました。 これまでの演技経験を通じて得られた「表現」や「芸術」の核について自身の考えを情熱を込めて語り、学生たちの創作への意欲と勇気を大いに鼓舞しました。

在学生が企画・取材した書籍2冊が発売

1冊は、3年の笠原伊織さんが企画した、東日本大震災後をインタビューと写真で描き出すノンフィクション作品『アノヒカラ・ジェネレーション』。 もう1冊は、本学で心理学を講じる有賀三夏講師の著書『女子大生に超人気な美術の教室』。 草野真衣さんと樋口早紀さんがライターとして参加しています。 2014年夏、刊行予定です。

幻冬舎から在学生が続々、作家デビュー

文芸学科3年の荒川匠さんと高橋佳奈さんの作品が幻冬舎文庫から出版されることが決定しました。 在学生の小説家デビューは今後も続きます。 荒川さんの作品『ガンスミス』はハードボイルドタッチのライトノベル。 2014年5月頃に刊行予定です。 高橋さんの作品には、少女の繊細で瑞々しい感性が息づいています。

知的書評合戦「ビブリオバトル」を普及・推進

「ビブリオバトル」は、数人の発表者（バトラー）がお勧めの本を持ち寄り、5分の持ち時間で紹介したのち、聴衆を含めた参加者全員が一番読みたい本に投票し、「チャンプ本」を決めるゲームです。 演習での実施や大学図書館で開催される大会への参加のほか、高校生に向けた普及活動も行っています。

出版局「藝術学舎」より関連図書を刊行

「藝術学舎」は、2012年に芸工大と京都造形芸術大学の出版局として、東京の外苑キャンパス内に設立。 山川学科長が編集長に就任し、両大学の建学の理念「藝術立国」を出版で具現化していきます。 大学の講義や演習、研究から生まれた成果を本として結実させ、また文芸学科の学生が企画した書籍も刊行していく予定です。

4年間のカリキュラム

全学教養科目 / 全学専門科目　全ての学生共通の全学教養科目と全学専門科目は151ページに掲載。

CURRICULUM

1年

文芸創作や編集を行うために必要な基礎的な知識や教養、技術の習得を目指します。文学の歴史、小説の成り立ち、文学理論、哲学、人文科学などを講義で学び、演習では独自のメソッドによる課題に取り組むことで文章力や読解力、鑑賞力を鍛えていきます。編集では概論を学び、アイディアを形にしていく力やコミュニケーション能力を養います。

日本語表現1／どのように発語するか、たとえば深い絶望から発語し、どのように小説を展開するのか。文学とは何か、文学者とは、など文学の精神に重点を置いた演習です。（必修）

日本語表現基礎1／さまざまな小説技法の実践、書評の執筆、提出作品の講評を行い、最終的には短編課題に挑戦。 講義と演習を往復しながら、小説の面白さを追求します。（必修）

初年次研修旅行／1泊2日で月山や盛岡など東北地方の文学者ゆかりの地を巡ります。 文化や風土と文学の関係を考察し、またワークショップを通じて学びと交流を深めます。（課外）

【選択科目（1～4年次）】美術解剖学／工芸論／工芸史／工芸文化論／版画史／文芸論1～3【選択科目（1年次）】デッサン初級／芸術色彩学【学部共通科目（1年次）】芸術鑑賞の喜び／芸術文化と自然の遺産

文芸論4／企画の発想や立案から原稿依頼までの流れ、原稿整理や校正、印刷製本や装丁デザインの基本、さらに著作権やプライバシーの侵害など、編集者の基礎知識を学びます。（選択）

日本語表現2／1文の小説を場面に書き起こしたり、登場人物の組み合わせでストーリーを変化させたり、さまざまなメソッドで創作に必要な文章力と発想力の増強に努めます。（必修）

日本語表現基礎2／数人のグループに分かれて取材し、1年生のフレッシュな視点でフリーペーパーを制作。 効果的な構成、記事の書き方、写真の扱い、PC操作などを学びます。（必修）

2年

レベルアップした課題に挑戦。文学理論を本格的に学び、小説の創作にも応用します。後期の最終課題では30枚の原稿を自由に書き「青果展」を実施します。編集の授業ではグループ毎に編集会議を行い、小冊子の制作を行う他、本の魅力を独自の切り口で紹介する「ブックフェア」を開催。また、電子書籍のコンテンツ制作の基本的な思想と技術も学びます。

【選択科目（2～4年次）】映像コンテンツ史／日本美術史概説／西洋美術史概説／西洋近代美術史／アート・デザイン史論／世界遺産総論／社会文化環境論／知的財産論／インターンシップ／文芸論5・6／表現基礎1～7【選択必修科目（2～4年次）】表現論1～6／WEBデザイン演習（初級）（上級）／創作技法演習1～6／創作演習1・2・4

創作演習3／現場を歩き、人から話を聞き、資料を読み込んで記事を書き、編集します。 実践的な演習を通じて、柔軟な思考や鋭敏な感受性、他者への想像力の養成を目指します（必修）

DTP演習／出版業界で利用されているページレイアウトソフトの演習を中心として、出版物制作のための組版や印刷の基礎知識、関連ソフトウェアの基本操作を習得します。（選択必修）

3年

ライティングと編集のコースに分かれ、専門性を深めます。個人指導が中心となり、教員の専門に合わせて創作や編集を本格的に学びます。ライティングで重要なのは、その人の文体を持つこと。文章表現の彫琢を重ねることで、個性を発見します。また、講評会や輪読も実施。編集コースでは、テーマに基づいて高度で実践的な作品編集に挑戦します。

【選択科目（3～4年次）】エディトリアルデザイン論／ゲームシナリオ構築【選択必修科目（3年次）】ライティング演習1・2／【必修】セルフポートレイト研究

クリエイティブ演習1・2／100枚の作品を書くことと、直すこと（実作）が中心です。分析力、構成力、構想力などを養うために、さまざまな作品を対象として「物語」（論）を研究します。（必修）

エディトリアル演習1・2／編集に必要な知識と技能をクラスごとに異なるメニューで学びます。 分析や企画を主とするクラス、実作中心のクラスなど目的に応じて選べます。（選択必修）

4年

これまでに経験・体得した知識と技能を結実させ、公刊可能な水準を目指して作品を制作します。ライティングコースでは、文章表現力や作品構成力、高度な批評性、自己を対象化する力、文学理論などを総動員して卒業制作に取組みます。また編集コースでは、自ら企画立案から編集作業までを行ない、制作物を完成させ、未来を切り拓く力を培います。

資格取得

【卒業時取得可能資格】
学芸員

卒業制作／4年間の集大成として、各自のテーマと問題意識で一つの作品を完成させます。 ライティングコースは文芸創作に、編集コースは自主企画の制作に取り組みます。（必修）

文芸研究／3年までに培った力を基に自主的に制作を進めます。 ライティングコース、編集コースともに、卒業制作を見据え、個別指導に力を入れた演習です。（必修）

※2013年度のもので、2015年度開講科目とは異なる場合が有ります。

ART OF "BI"

「美」の芸術

総合美術コース／日本画コース

洋画コース／版画コース

彫刻コース／工芸コース

テキスタイルコース

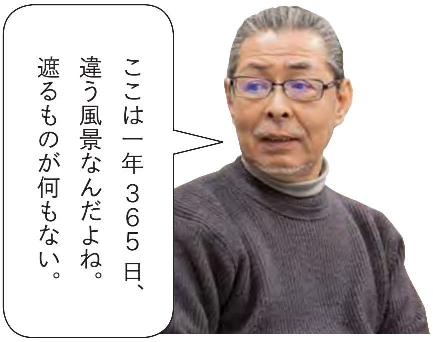
コースの垣根を越えて存在する、内側にある全てを拾い出すという行為。

石井博康 × 辻けい

石井　芸工大の美術科は、とにかく大学に入ってからの伸び率が凄い。入学時はそれ程レベルが高くなくても、卒業時には全国トップレベルになっている。特に四年生の秋以降、年末からお正月にかけて、学生は劇的な変化で急成長するけど、作品の変化ってまさに人間の変化ですよね。

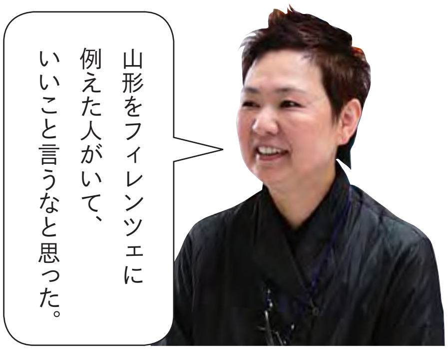
辻　そうですね。その元々誰もが持っていると思われる力をひょいと後押しすることが我々の役目かと。

石井　洋画コースの場合、一年次のコンセプトは「観察を基本に」なんですが、二年次になったら、個々の内部の問題を掘り起こしてアウトプットする演習があります。例えば、自分で思いついたことや原体験、過去の記憶を付箋紙に全て書き出して、それをどんどん貼っていくんです。それを系統立てて貼り変えて、それまで養ってきた観察力を基本に、一気に発想と表現を深めていく授業などです。



石井博康／美術科洋画コース教授

辻　美術科は素材や技法によってコース分けがされてはいますけど、創造の基本はテキスタイルも根本は同じ。とにかく自分のネタを拾い上げる、自分の種と言っても良いですね。それが芸術大学の教育の現場なのかなと思います。



辻けい／美術科テキスタイルコース教授

石井　よく、内面を描きたいって言う高校生がいるけど、そう簡単には描けないよね。でもここで訓練することで、カタチにする方法が見つかっていくはず。それから、この山形という土地が醸し出す呼吸と合わせるように、時間をかけてじっくり制作に取り組めるというのもとても大事ですね。

辻　私も、ダイナミックで美しい夕焼けが西の空に出てくると、学生達に「皆、窓開けてー！見ないと勿体無い！」って言うんです。そういう環境で学べるというのは本当に幸せだと思います。

石井　一般的な座学の授業は、テキストから学び、知識として身に着けて応用していくけど、美術科の場合はテキストそのものを自分で作らないといけませんからね。

入学後の「高い伸び率」を紹介したパンフレット「だれでもはじめはヘタクソ」を配布中。受験生向けの大学HPでもご覧頂けます。

辻　実は、テキストという言葉は、テキスタイルの語源になっていると考えています。いつも「テキスタイルって何？」と問われた時には、「地球儀の緯度と経緯を思い出してみて。漢字でどう書く？経(たて)糸と緯(よこ)糸って書くでしょ？だから皆はテキスタイルの上に乗っかってるんだよ」って言うんです。すると考え方は何でもありになるでしょ？って(笑)。

石井　とにかく、上手い、下手というのはどうでもいいんだよね。まずは「好きです！何か作りたいんです！」とさえ言ってくれれば。

辻　そう。人というのは、自分が思った通りになっていくもの。だからこそ、こうなりたい、あれをやりたいという夢や憧れを強く持っていてもらいたいですね。

石井　あとは「自分を変えてみたい」という人に来て欲しいな。

辻　それから、「見たことのない世界を見たい」という人にも是非来て欲しいです。

辻けい

つじけい／1953年、東京都生まれ。多摩美術大学大学院美術研究科修了。高校時代、紅花の色と出会ったことがきっかけで染織の世界へ。これまで国内外のあらゆる地域で空間作品の個展・インスタレーションを行う。

石井博康

いしいひろやす／1952年、岡山県生まれ。東京藝術大学油画科卒業。FRPを使った立体作品の制作から油画に移行。これまで、現代日本美術展をはじめ多くのグループ展、またギャラリー58（東京）などで個展を開催。

山形の自然、そして自分と対峙する時間が確固たる自我と創造の力を育んでいく。

三瀬夏之介 × 吉賀伸

吉賀　僕は実家が山口の焼き物屋だったので、もともとは陶芸家を目指して美大に進みました。そこで初めて彫刻の世界に触れ、その奥深さに魅了されていきました。その後、東京から山形へ活動の拠点を移し、近年は年一回のペースで個展を開いています。

三瀬　私は関西の生まれで、京都や奈良のような古都が近く、生活に日本的な文化が深く根付いている環境で日本画を学びました。山形は五年目になりますが、言葉や風土、人、何もかもが違うから関西と同じやり方は通用しないんですよね。この東北で生み出されるアートの意味や、この地で描く必然性みたいなものを学生と一緒に考えながら、制作活動を行っています。

三瀬夏之介／美術科日本画コース教授

吉賀伸／美術科彫刻コース講師

吉賀　山形で学ぶ意義って凄く大きいと思うんです。僕はこういうものを作りたいって思う感覚を東京で養ってから芸工大に来たんですけど、その感覚が山形での自然と結びついて、最近は自然の形象をテーマにした作品に取り組んでいます。山形の風景に出会わなければ、やろうと思わなかったかもしれない。

三瀬　既存の枠に捉われないスケールの大きな作品を生み出せる土壌がありますよね。一方でこれほど圧倒的な自然と真っ向から対峙しながら描き続けることって、かなり怖いことでもあります。けれど、それを乗り越えることが必ず後に自分の強みになっていくはず。在学中にはなかなか気付けないことかもしれないけど。

吉賀　確かに自分と向き合う時間がたっぷりと確保できるのは、首都圏の美大にはない魅力ですよね。

三瀬　ただ、自分の中だけで燃え尽きてしまっては本末転倒なんですよね。自分の作ったものがいろんな人と共有できなければ意味がないから、まずは自分の可能性を拡張することから始めることが大切。そのためにも、大学から一歩踏み出して地域と関わったり自ら作品発表の機会を拓いたり、一方アトリエでは内省的な時間を持つ、という往復が重要だと思います。

左：三瀬夏之介教授によるTV番組 未来世紀ジパング背景「だから僕はこの一瞬を永遠のものにしてみせる」／右：吉賀 伸 講師の作品「曙光の水田」

吉賀　地域との関わりで言えば、一昨年の「アフィニス夏の音楽祭」では彫刻と日本画の学生が共同でアート作品を制作し文翔館に展示しましたが、作品の規模にしてもアイデアにしても、全員の協力なしでは成し得ないものでしたから、学生にとっても貴重な経験になりましたよね。

三瀬　学生も教授も、学科やコースの垣根がないところが芸工大の面白さですよね。色んな分野を学生が周遊しながら学んでいるような、理想の芸術家村みたいな雰囲気が漂っている。ゆっくり自分のペースでものを考えたい人には最適な場所です。現代は社会も経済も凄くサイクルが早いけれど、そうした流れに惑わされずに自分の価値観を打ち出していくことが必要ですから。

吉賀　彫刻コースは経験がなくてもモノを作るのが好きな人なら大歓迎。例え不器用でも、コツコツ根気強く続けられる人に来てほしいですね。

三瀬夏之介

みせなつのすけ／1973年、奈良県生まれ。京都市立芸術大学大学院美術研究科絵画専攻修了。既存の日本画の枠に捉われない多様なモチーフや素材、時にコラージュを施した作品の圧倒的な表現力が高い評価を得ている。

吉賀伸

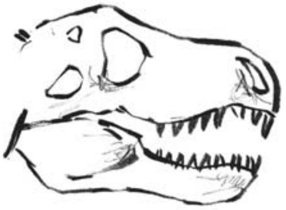
よしかしん／1976年、山口県生まれ。東京芸術大学大学院美術研究科修了。素材の制約と概念を超越した陶による大型の彫刻作品を制作。近作では古代から現代に受け継がれる日本人固有の美意識の発現を試みている。

目指せる代表的な職業

例えば下記のような職業が、美の芸術の分野で学ぶ専門性を活かして、目指せる代表的なもの。 もちろん、この一覧に無い職業にも就くことが可能です。

公務員、団体職員

市民や県民の暮らしを想像し、より良い社会を創造していくことが目的。 地域の問題を発見し、解決していく能力が求められています。



美術館、博物館

学芸員に限らず、作品や資料の管理、広報など業務内容は多岐に渡ります。 作者や歴史背景に対する深い理解とコミュニケーション能力が必要です。

商品企画、開発

世の中の動向を探り、ニーズに見合った商品をチームワークで生み出します。 豊かな発想力とアイデアを実現するための提案力が活きる仕事です。

販売、商業施設

コミュニケーション能力はもちろん、顧客のニーズに応え、満足いく時間と空間の創出も重要。 最新トレンドを予測する情報収集も必要です。

旅行、観光、ブライダル

旅行者や新郎新婦が思い出に残る楽しい時間を過ごせるようプロデュースする職業。 相手の気持ちを十分に理解した提案が必要です。

雑誌・地域紙制作

取材を基に、国内外や地域の様々な出来事を紹介したり、これからの動向を予測。 独自の視点で情報を編集し、記事にして多くの人に伝えます。

美術・工芸作家

オリジナルの表現手法やテーマで作品を生み出し世界に発表。 技術力はもちろん、作品を売り込むコミュニケーション能力や社会性が欠かせません。

イラストレーション

描画力を発揮し、写真や文字では生み出せない視覚的な世界を描き出します。 伝えたい情報を理解し、形にする柔軟性と独自の表現力が必要です。

アパレル、ファッション

流行を作り出すと共に、民俗や地域風土の知識も問われる分野。 人々の動作や機能性を理解した上で、素材や色、フォルムを組み合わせていきます。

学校教員

生徒の思いを想像し、個性を尊重しながら、将来必要な知識や人間性を育む教員。 個々と日々向き合い、共に成長できる、やりがいのある分野です。

NPO（芸術、教育）

芸術活動や芸術教育で、一人ひとりの心を豊かにするワークショップやイベントを企画・運営。 芸術を通じた社会的な自立支援にも寄与します。

学芸員

作品や作家の魅力を読み取り、多くの人に伝えるのが使命。 美術館や博物館などが活躍の場です。

GENERAL ART

美術科 総合美術コース

社会教育主事とは、美術館、博物館、公民館などの社会教育・文化施設などでの事業に指導や助言を与える専門職員です。この任用資格を取得して、アートの楽しさを人々に伝えるアートエデュケーターになりましょう。

総合美術コースの様々な取組み

ACTIONS

さくらんぼみこしの制作活用

山形県から日本一のさくらんぼ祭で使用する「さくらんぼみこし」の制作を依頼。お祭りの創造と地域活性化につなげていくために、造形表現を活かした地域づくりを示して、「社会教育主事」資格課程の授業の題材として取上げています。（松田道雄 教授）

スイカドームの壁画制作

地域の農業や商業などに関わりながら「地域をアートで元気にしていく」沢山の活動を作り出します。写真の様にスイカ産地の物産店にペイントしたり、さくらんぼ祭りのみこしを作ったり、地域とアートを繋げていきます。（松田道雄 教授）

こども芸術大学でのワークショップ

親子が一緒に学ぶ芸術とデザイン活動を核とした幼児教育機関が「こども芸術大学」。この学内に有るこども芸大と連携して子ども達と創作活動をし、素直なものの見方や表現、人間の本質などを学び取っていきます。（松村泰三 准教授）

和菓子デザイン体験

社会の現場からアートの活かし方を学ぶ実践的な授業を展開しています。地域の和菓子屋さんから日本文化としての和菓子の技法を学び、実際に和菓子をデザインするなど社会でのアートの可能性を体験していきます。（松村泰三 准教授）

ON AIR TUAD TRIP!

http://www.tuad.ac.jp/trip

上記URLで全学科コースの学生を追ったムービーを公開しています。 スマートフォンもOK!

芸術の楽しさを伝え、地域や社会に役立てたい。社会の課題解決に芸術を活かしたい。そんな人のための総合美術コースでは、美術館や公民館などの社会教育・文化施設で活躍する教育者「アートエデュケーター」を目指します。美術の経験より、やる気と元気があれば大丈夫。平面や立体、写真やアニメなど様々な表現を幅広く学び、芸術の基礎を習得すると共に、社会への関心と問題意識を深めます。特徴は、美術系大学ならではの授業展開で国家資格の「社会教育主事」と「学芸員」の資格取得を目指すこと。こども芸術大学や社会教育施設などでのアートワークショップ、産学連携プロジェクトなど、社会と関わりながら芸術を社会に還元する知識と方法を学修します。また、社会的活動者としてのコミュニケーション力や企画力も習得。文化的な生活や地域社会を活性化する新たな人を輩出します。

◀ 美術科 総合美術コースの作品は142ページに掲載

芸術で社会や地域を もっと楽しく変えていく

地域や社会をより良くして行くため、アートの持つ力を自分なりの表現力や企画として発揮。 人と人とを結びつける場づくりもその一つです。

アートワークショップのための知識などを身につけるため、平面、立体などの造形表現を含めて、様々な美術表現の基礎を体験していきます。

企画したワークショップを開催。大学の近隣には公民館や文化施設が点在しており､実際の子どもたちとのやり取りを通じて､教育的な力も養うことが可能です。

光の明滅と回転などの動きを使ったアートアニメーション作品など、従来の美術の枠を超えた様々なジャンルに触れる事が出来ることも特長の一つです。

コースの特長

社会教育主事の資格を取得可能

「こども芸術大学」や地域の公民館、美術館など様々な社会教育施設と連携しながら、社会教育主事と学芸員の資格取得が取得可能。造形表現の美術を活かした授業やインターンから、確かな進路意識を培います。

様々な表現を基礎から学ぶ

平面、立体などの造形表現から写真やアニメーションなどのメディア表現まで、様々な美術表現の基礎を学修。取り組むプロジェクトやワークショップに合わせて柔軟に対応できる表現技術を身につけます。

ワークショップ学習の確立

実践的にコミュニケーション力とファシリテーション（協調・誘導）力を高めます。加えて、他者に活かす新たな美術教育の方法としてのワークショップ学習の計画から実践、評価までを総合的に学びます。

美術の心と技でまちづくり参加

感動や驚き、安らぎなどの美術の心と表現技法は、まちづくりの幅広い分野に役立ちます。まちをフィールドに、行政や地域住民などと対話しながら、美術を生かした活動や仕事づくりを開拓します。

4年間のカリキュラム

全学教養科目 / 全学専門科目　全ての学生共通の全学教養科目と
全学専門科目は151ページに掲載。

CURRICULUM

1年

初年度は生涯学習の全体像を理解すると共に、基礎的な技術習得が中心です。町を歩きイラストマップを制作しながらフィールドワークの方法を学び、様々な素材体験など造形の基礎技術を習得します。後期は写真、アニメーションなどメディアを使った表現や基礎技術を学びます。また、場やものを生み出す発想法や社会との関わり方を習得していきます。

総合美術基礎演習1／ドローイングなどを通して描画の基礎や木工、アクリルなどの素材体験とその表現技法を基礎から学びます。

イラストマップ作り／2人1組で山形を歩き、街の風景を描いたり、店舗での聞きとりなどからイラストマップを作成。そのマップは、山形の会報誌に掲載されています。（必修）

生涯学習概論1「3学年合同演習」／1～3年生が合同で行う4月の名物演習です。 学年混合のグループを組んで、先輩達と協力しながらフィールドワークや制作を行います。（必修）

【選択科目（1～4年次）】美術解剖学／工芸論／工芸史／版画史【選択必修科目（1～4年次）】工芸文化論【選択必修科目（1年次）】デッサン初級／ミュージアム概論／ミュージアム教育論【必修科目（1～4年次）】芸術色彩学【必修科目（1年次）】芸術鑑賞の喜び／芸術文化と自然の遺産／芸術思考論／総合美術基礎演習2・4

生涯学習概論2／発想力を基礎から徐々に鍛えます。 ものの「考え方」を、発想法などを紹介しながら実践し、柔軟な発想力を身につけます。（必修）

総合美術基礎演習3「メディア表現基礎演習」／写真、アートアニメーション、電子工作などメディア表現の基礎を学修。 各分野のプロを非常勤講師としてお呼びし、様々な作品を制作します。

コミュニケーション学習／二者・三者関係など人間関係の基本原理を学び、ミニ寸劇も取り入れて、徹底したコミュニケーション学習を行い、社会で美術を他者に活かす対話力を鍛えます。

2年

より深く専門性を高めた授業を展開します。社会教育計画の授業では、美術館や公民館、地域での授業を訪ね、そこで得た発想から芸術を用いた活動の企画から実践までを行います。また、こども芸大と連携しワークショップを開催したり、地域プロジェクトでのアート表現など学外での実践的な活動も行ない、実際に社会とつなげる方法を学びます。

【選択科目（2～4年次）】素材学／衣服論／染色論／インターンシップ／先端的コンテンツとアートシーン／クリニカルアート演習【選択必修科目（2～4年次）】日本美術史概説／西洋美術史概説／アート・デザイン史論／知的財産論／社会文化環境論／現代美術史／世界遺産総論【選択必修科目（2年次）】美術科共通演習（絵画A～C）（彫刻A～C）（工芸A～C）／ミュージアム経営論／ミュージアム資料論／ミュージアム資料保存論【必修科目（2年次）】美術の見方／芸術と社会力

社会教育計画1・2／創造的な実践的な活動を生み出せる知識を学びます。コーディネート論や、実践例なども取り入れて、柔軟で適応力のある考え方を身につけます。（必修）

フィールドワーク基礎1・2／表現活動は制作だけでなくワークショップやプロジェクトを含みます。共通するキーワードは行動することで生まれるコミュニケーション創りです。（必修）

3年

1、2年の学習を踏まえて、フィールドワークで地域や街を調査し、問題を解決していくプロジェクトの企画や実践を行ないます。また、創作活動を通したコミュニケーションの場づくりや、芸術教育普及としてのワークショップ技術を習得。芸術と社会との関わり方など、各自がテーマを設定し卒業制作へとつなげていきます。

【選択科目（3～4年次）】アートマネジメント概論【選択必修科目（3年次）】ミュージアム情報メディア論／ミュージアム展示論／地域社会方法論【選択必修科目（3～4年次）】ミュージアム実習1【必修科目（3年次）】ポートフォリオ作成／社会教育課題研究／現代社会と社会教育／社会教育演習

社会教育課題研究／公民館の手芸の会に参加して地元の方から編み物を学び、編み物で地場産業のニット工場の残糸を混ぜた糸玉を制作するなど幅広い活動に関わります。（必修）

3年生展／これまでの学習の成果を踏まえ、各自が教育現場や地域に入り活動や制作を行い、3年生展として展示を企画、開催して発表します。

4年

各自のテーマに沿って立脚点を確認し、既存の枠を越えた芸術を社会に活かすワークショップや教育活動(アートエデュケーション)を展開。自身の活動の記録や広報活動も含め、ワークショップを実現できる技術、社会と美術を結びつける提案力などを養います。芸術活動の先にある、人の喜びや笑顔を常に念頭に置き、卒業研究に取組みます。

資格取得（予定）

【卒業時取得可能資格】学芸員、社会教育主事任用資格（申請中）
※総合美術コースでは、教育職員免許（教職課程）は取得できません。

卒業研究／4年間の集大成として、社会に活かせる自分なりの美術の姿を研究し、発表を行ないます。 プロジェクトの実施やワークショップ、論文など形態は様々です。（必修）

ミュージアム実習2／社会教育主事を目指し、各自が企画したワークショップを公民館や美術館で実践します。コミュニケーション力を磨き、施設運営に関わる知識も得ます。（必修）

※2013年度のもので、2015年度開講科目とは異なる場合が有ります。

JAPANESE PAINTING

美術科 日本画コース

150号以上の画でも床に寝かして描けるほど広いアトリエが自慢の日本画コース。卒業制作では自身の背丈よりも大きく、幅数メートルにもなる大作に挑む事もできます。

日本画コースの様々な取組み

ACTIONS

日本を再発見する、海外スケッチ旅行

ヨーロッパやインド、中国など色々な国を歴訪。スケッチはもちろん、各国の風土や文化との対話は、新たな自分の発見にも繋がります。現地の人々や友人との触れ合いを通して、様々な美意識を育む有意義な時間です。（番場三雄 教授）

素材の原点に触れる岩絵具づくり

自ら石を砕き、粒子の大きさを分けて天然の岩絵の具を製作。素材の原点に戻る事で、自然の奥深さや現代人の我々が忘れかけている大切な事に気付くはず。また描くパネルも自分で木材から制作し、画面の大きさを体感します。（長沢明 教授）

緊張の金箔・銀箔実習

外部講師をお招きし、本物の金箔や銀箔を使った実習を開催。箔の厚さは僅か1000分の３ミリ程度なので、簡単にしわができたり、破れてしまいます。繊細な箔の取扱に緊張しながら、表現の幅を広げる技法の一つを習得します。（谷善徳 准教授）

温故知新の伴大納言の古典模写

限られた絵具の色から、幅の広い色彩表現に挑む、伴大納言の古典模写。また、日本の風土と共に育まれて来た日本画材とその技法体験を通じて、和紙や膠（ニカワ）、筆、色彩（鉱物、植物、動物性）の特色を学びます。（末永敏明 教授）

四季豊かな日本を、自然環境に恵まれた山形に身を置き描く。日本の風土と描き手の熱意で育まれてきた日本画は、伝統美と現代芸術が織りなす可能性に溢れています。自然の岩や鉱石から顔料を作り、視野一杯に広がる画面に自分の表現を描き出す。芸工大を取り囲む雄大な自然の中で描画と真摯に向き合う時間は、優れた表現力と強い精神力を養うと共に、描くことの素晴らしさに改めて気付く貴重な経験となるでしょう。また幅広い分野の教授陣が、学生一人ひとりの意見や表現を丁寧にサポートする体制も特長。他学科との交流も多く、互いに響き合うことで、既存の枠にとらわれない表現を追求できる環境が整っています。ここで育まれる豊かな思考力と表現力を備え、美術の目と精神をもって次代を見据える力を持つ人は、これからの社会において大切な存在となるはずです。

ON AIR TUAD TRIP!

http://www.tuad.ac.jp/trip

上記URLで全学科コースの学生を追ったムービーを公開しています。 スマートフォンもOK!

◀ 美術科 日本画コースの作品は 143 ページに掲載

自然と向き合い 独自の表現で描く。

大学の裏手に広がる西蔵王高原と、更に続く奥羽山脈。 車で数分走れば、想像力と創造力がかき立てられる、四季の表情豊かな東北の自然と出会えます。

日本画材の扱い方の基礎から、箔実習など様々な技法の習得と共に、自らの表現の幅を大きく広げることができるように、様々な演習を設定しています。

演習課題の他にも、公募展の出品を目指して自主的に制作をする学生も少なくありません。 1～2年次から大作に挑むことが可能です。

学生と教員との距離が近いことも日本画コースの特長。 時には皆で車座になり、お互いの表現に対する意見や悩みを交わし合うことも。

コースの特長

東北・山形の自然と対峙

山形にゆっくり流れる時間、そして大学を取り囲む山河や天空のダイナミックさを全身で感じながら制作に向き合うことで、この土地でしか得られない経験や感覚を画面へ表現する力に繋げていきます。

画壇を牽引する教授陣

前衛的な作家から日本画の精鋭までが揃う教授陣。学生との距離も近く、個々を尊重した丁寧な指導を行うことで、在学中から幅広い公募展で入選を果たす、実力ある学生を多く輩出しています。

大作に挑戦できるアトリエ

大作でも床に寝かせて思い切り描ける、十分な広さのアトリエを備えています。 2年次に50号、3年次に100号、そして4年次には150号の課題に挑戦。卒業制作となると、サイズ制限もありません。

生命、自然、心象のテーマ別ゼミ

3年次では、生命、自然、心象の3つからテーマを選択し、少人数で対話を重ねながら制作。数回ゼミを選び直しながら、自身の方向性を見い出していきます。 対外的な作品発表も学生主体で行ないます。

4年間のカリキュラム

全学教養科目 / 全学専門科目　全ての学生共通の全学教養科目と全学専門科目は151ページに掲載。

CURRICULUM

1年

最初に合宿旅行で4年間を過ごす仲間と交流を深めます。日本画の画材や素材に初めて触れる人も多く、基本的スキルを養い、デッサン力を鍛え、基礎を身に付ける授業が中心。植物のデッサンから日本画に起こしたり、動物園でのスケッチを元に動物の日本画を制作するほか、パネルの制作方法も習得。また日本画の考え方を各先生に聞く授業も。

日本画基礎演習2／日本画顔料、膠、和紙等の扱い方を学び、風景デッサンを基にした30号程の制作。写生、小下絵、大下絵、本画制作へと段階を踏みながら進めます。（必修）

日本画基礎演習1／観察写生を基にした細密素描の課題。仮張り、様々な和紙、墨、胡粉などの違いにより表現方法は多岐に渡るので、数多くの画材の研究を行ないます（必修）。

日本画考／「日本画とは?」という問いに対して、それぞれの作家の視点や歴史的な移り変わりから多くを学び、自らの制作に反映させることが目的です。（必修）

【選択科目（1～4年次）】美術解剖学／工芸論／工芸史／版画史【選択必修科目（1年次）】デッサン初級【選択必修科目（1～4年次）】工芸文化論【選択必修科目（1年次）】【必修科目（1～4年次）】芸術色彩学【必修科目（1年次）】芸術鑑賞の喜び／芸術文化と自然の遺産／芸術思考論／日本画基礎演習3

スケッチ旅行／2泊3日の研修旅行。月山や羽黒山など山形の名所を訪ね、国宝の五重塔や雄大な自然の写生を行なうことで柔軟な感性を養います。宿坊に宿泊し、交流も深まります。（課外）

日本画基礎演習4／テーマを人物に限定した30号の制作を行います。制作に欠かすことのできない基礎的な描写力を、人物を通し感動をどのように表現するかを学びます。（必修）

動物園でのスケッチ／数多くの画材の研究をすると共に、仙台市の八木山動物園へ行き、動物の写生、クロッキーなどを行います。造形感覚を育成し30号の作品を仕上げます。（必修）

2年

技法をさらに発展、応用させる期間。前期は基礎を確実にし、絹本という絹の画面に描く古典的な技法にも触れます。後期は古典模写として、昔の絵具から炭の幅、色の重ね方など、限られた素材で幅広い表現に挑戦します。また金箔や銀箔の実習もあり、古典から応用まで技術を固めるほか、「それぞれの山形」というテーマで50号の絵を制作します。

【選択科目（2～4年次）】素材学／衣服論／染色論／インターンシップ／先端的コンテンツとアートシーン／クリニカルアート演習【選択必修科目（2～4年次）】日本美術史概説／西洋美術史概説／アート･デザイン史論／知的財産論／社会文化環境論／現代美術史／世界遺産総論【選択必修科目（2年次）】美術科共通演習（絵画A～C）（彫刻A～C）（工芸A～C）【必修科目（2年次）】美術の見方／日本画演習2／素材学／芸術と社会力

日本画演習3／50号の制作を課題に、柔軟な感性を養い、今後の幅広い意欲につなげていきます。また伝統素材である金箔や銀箔を用いた箔演習で、高い技術を学びます。（必修）

日本画演習1／観察写生を基に絹本制作を行います。特徴を的確に捉え、美しく描くことを学びます。日本の伝統技術を通して、今日の日本画制作への応用を考えます。（必修）

3年

「動物や生命」「風景や自然」「コンセプト系や抽象」の3グループに分かれて絵を制作。テーマを自由に決め、形にしていきます。後期はさらに完成度の高い絵を1枚仕上げます。自由制作として、100号以上の制作にも挑戦。6月には全員で2泊3日のスケッチ旅行へ。神々しい羽黒山に行き、感受性にリンクする風景との出会いが期待できます。

【選択科目（3～4年次）】アートマネジメント概論【必修科目（3年次）】ポートフォリオ作成／日本画演習5･6

日本画演習7／自由制作として自らテーマを設定し、100号程度の制作を行います。グループ内での意見交換の機会も多く持ち、言語での理解と表現力も高めます。（必修）

日本画演習4／動物や生命、風景や自然、コンセプト系や抽象系の3テーマ別で分かれ、100号程度の制作を行います。自身の進むべき方向性を見出す契機とします。（必修）

4年

自分の自由が利くようになり、枠を超えた制作に挑戦。全教員で全生徒を見る指導が特長です。卒業制作は「大いなる失敗でも構わない。自分が思う以上の作品が生まれることもある（教授談）」。150号以上の巨大な制作も意図を明確にすれば可能。自分の体以上に大きい絵の制作ができる環境は、芸工大ならではです。

資格取得

【卒業時取得可能資格】小学校教諭一種免許（中学校教諭一種免許取得者が、指定の通信科目を受講することで取得できます）、中学校教諭一種免許（美術）、高等学校教諭一種免許（美術）、学芸員

卒業制作／集大成となる作品として、150号以上の日本画を制作。各自の感性、技術を活かし、様々な試行錯誤をしながら、4年間の中での最高の作品を目指します。（必修）

日本画演習8･9／最後の1年をどう制作するのか、真剣に問い直し、あるべき姿に自己を近づけることが目標。卒業制作を考え、下絵の準備段階からじっくり腰を据えて取り組みます。

※2013年度のもので、2015年度開講科目とは異なる場合が有ります。

OIL PAINTING

美術科 洋画コース

広く開放的なアトリエが特長の洋画コース。 描く大きさを気にせずに思う存分作品と向き合い、自らの表現を高める環境が整っています。

洋画コースの様々な取組み

ACTIONS

100点ドローイングのアーティストブック

100枚ものドローイングを行うことで、思考と連動して手を動かし、バリエーションに富んだアーティストブックを制作。枚数のノルマをこなすことで固執していた殻を破り、自己表現の幅を獲得することが目的です。（青山ひろゆき 講師）

食事の時間を明るく、壁画制作

仙台市のNPOからの依頼で、エスパル仙台店の社員食堂に飾る壁画を制作。瑞々しい緑が印象的な「サラダの森」、心が華やぐ「フルーツの池」、静寂と感化が同居する「白樺の林」の３作品を描き好評を得ています。（木原正徳 教授）

フレスコ／テンペラ演習

漆喰へ石灰水に溶いた顔料で描くフレスコ、もしくは鶏卵などの乳化剤を用いるテンペラの古典技法を習得します。絵画の歴史や現代の表現との繋がりを知り、幅広い技法を知ることで、表現の幅を身につけ、自身の制作に活かします。（瀬島匠 准教授）

五感をフル活用した写真ワークショップ

特別講師をお招きした写真体験。何百枚もの写真を撮り、厳選した枚数を並び替えながら製本し、世界に１冊のオリジナル作品集をつくります。この授業をきっかけに写真に目覚め、コンペ入賞者も多数輩出しています。（鴻崎正武 准教授）

織細で大胆なマチエールと豊かな色彩表現で、人々の心を動かす油彩の世界。ここでは油彩の基礎となるデッサンから、フレスコなどの古典技法や素材の研究、立体制作から写真実習など幅広い分野を習得します。自由な環境の中で、1年次で100号を超える自主作品に挑むことも可能。試行錯誤を重ね、新しい表現の可能性を追求していきます。そして日本画や版画の学生との距離の近さや、姉妹校の京都造形芸大との交流制度も魅力。多方面から刺激を受け、他に埋もれない感性を磨きます。近年は公募展や卒業制作展でチャンスを掴み、気鋭の作家として活躍する卒業生も少なくありません。

作品と向き合い、自分の想いを丁寧に塗り重ねていく過程は自身を見つめ続ける行為。迷いや葛藤を乗り越え、作品を仕上げる中で得られる忍耐力と思考力は、自らの社会性を豊かにするものです。

ON AIR TUAD TRIP!

http://www.tuad.ac.jp/trip

上記URLで全学科コースの学生を追ったムービーを公開しています。 スマートフォンもOK!

◀ 美術科 洋画コースの作品は144ページに掲載

自分とは何かを問いながら、広いキャンパスに描く。

画面の組立て、素材や色の効果、世界観などが問われる大作。 自主的な制作計画を立てながら、自己の表現を探求します。

作家や評論家など美術関係者を招いての後援会や特別授業、ギャラリートークなども開催。 学生にとっては描くことと同じくらい、貴重な体験です。

卒業制作では、幅数メートルにも及ぶ大作を描く事もできる広いアトリエが自慢。 じっくり自分と対峙しながら、制作できる環境が整っています。

大学院生の田中望さんが現代美術の登竜門「VOCA 2014展」でVOCA賞を受賞したほか、公募展などに出品し高い評価を得る学生も多数輩出しています。

コースの特長

多彩な教授陣

現役の教授陣が、学生達の作品を具象・抽象を問わず丁寧に指導。教員と学生との距離も近く、教員の研究室やお互いのアトリエを行き来し、刺激を受けながら制作に打ち込むことができます。また、自分自身とじっくり対峙する時間を生み出す、芸工大ならではの豊かな自然環境も魅力です。

大作に挑めるアトリエ

大作や立体に挑戦できる広いアトリエは、3年次から個々の空間が割り振られます。卒業制作で幅9mに迫る大作を描いた学生もいるほど。また、天井が高く真っ白なデッサン室は実習のほか、自主制作で一時的に利用することも可能です。作品展やレビューを行うギャラリーも併設されています。

作品展と講評会の開催

山形市内や首都圏のギャラリーを会場に、作品発表を積極的に実施。多くの人に作品を鑑賞してもらうことで、制作に対する自覚や目的意識を育みます。また、活躍する作家や評論家、ジャーナリストなど著名な美術関係者を招いての講演会や特別授業、作品講評会なども定期的に開催しています。

4年間のカリキュラム

全学教養科目 / 全学専門科目　全ての学生共通の全学教養科目と全学専門科目は151ページに掲載。

CURRICULUM

1年

「観察を基本に」をコンセプトに基礎から学習。前期にデッサン、人物・静物油彩のほか、版画（銅版か木版）の体験授業を実施。黒い大量のモチーフを探し、大判の木炭紙に描くという課題も。後期は立体的なものの捉え方を体得するために、粘土で頭部を塑像制作します。また人体3部作として、大判のデッサン、ドローイング、油彩に取り組みます。

洋画基礎演習2／［白い静的モチーフとカラフルな動的モチーフ］色彩をテーマに、20号以上の制作を行い、質感、存在感、空間感と共に、豊かな色彩表現を目指します。（必修）

洋画基礎演習1／［黒い大きなモチーフを描く］仲間と協力してモチーフ探しやセッティングを行ない、対象をじっくり観察して、忍耐強く的確に捉える力を養うことが目的。（必修）

フレッシュマンキャンプ／肘折温泉に宿泊旅行。自己・他己紹介などを通じ、グループワークでテーマに沿ったプログラムを実践し、他者との関わりを構築。能動的な学びの姿勢を確立します。

【選択科目（1～4年次）】美術解剖学／工芸論／工芸史／版画史【選択必修科目（1～4年次）】工芸文化論【選択必修科目（1年次）】デッサン初級【必修科目（1～4年次）】芸術色彩学【必修科目（1年次）】芸術鑑賞の喜び／芸術文化と自然の遺産／芸術思考論／洋画入門／洋画概論

京都造形芸術大学との交流／同じテーマで京都と山形それぞれで制作。風土による視点の差が作品に現れる課題です。交流授業を通じて、京都造形大への留学のきっかけにも。（選択）

洋画基礎演習4／［人体三部作］人をテーマに、大判のデッサンとドローイング、油彩の3点制作に取組みます。観察を通して素材に慣れ、ものの捉え方をしっかりと習得します。（必修）

洋画基礎演習3／［塑像制作］基礎過程のまとめとして、2人でペアになって粘土で頭部の塑像制作を行ないます。量感や動きなどの立体感覚と、立体造形力を養います。（必修）

2年

発想を表現として可視化する授業がスタート。他コースの素材や技法も体験して、表現の幅を培います。さらに、フレスコとテンペラの古典技法の体験や、写真実習も実施。またモチーフを画面上で再構築する訓練も行ない、思いを表現する手段を身に付けます。最後には進級制作として60号程度の画面に挑戦。学内に展示し、制作の客観性にも繋げます。

【選択科目（2～4年次）】素材学／衣服論／染色論／インターンシップ／先端的コンテンツとアートシーン／クリニカルアート演習【選択必修科目（2～4年次）】日本美術史概説／西洋美術史概説／アート・デザイン史論／知的財産論／社会文化環境論／現代美術史／世界遺産総論【選択必修科目（2年次）】美術科共通演習（絵画A～C）（彫刻A～C）（工芸A～C）【必修科目（2年次）】美術の見方／芸術と社会力／洋画演習2

洋画演習3／［見ること、見ないこと］モデルにプロジェクターで映像を投影し、観察と記憶を基に、その状況を描くことで単なる写生の意識からの脱却を図ります。（必修）

洋画演習1／［発想と表現］発想を他者へゆだねる課題です。素材や技法への積極的で実験的な取り組みから、自己内部の考えを浮上させ、表現の可能性を探ります。（必修）

3年

ドローイング、細密表現を体験した後、各教員の特徴を表したゼミを6週間選択。3年の後期には、描くだけでは表せない領域を描かずに表現する課題や、4週間で100点以上のドローイングを描きアーティストブックとして発表する課題にも挑戦。3年の最後には100号程度の大作を制作。課題ごとに講評会を設定し、コミュニケーション能力も養います。

【選択科目（3～4年次）】アートマネジメント概論【必修科目（3年次）】ポートフォリオ作成／洋画演習4・6

洋画演習7／［大作制作］新4年生展に向けた大作制作。4年次の卒業制作を見据えた100号大の自主制作で、テーマや世界観など、質の高いものが求められます。（必修）

洋画演習5／［自己啓発／描く描かない］描くことの意味と作品の在り方を考え、新たな表現を模索すると共に、自らの進路と描く事との結びつきを考える機会です。（必修）

4年

前期の終わりには「プレ卒展」と題した作品展を開催。それを踏まえて卒業制作に着手します。これまで培ってきた表現手法を総動員して、自らのテーマに立ち向かいます。4年間を通して課題毎に進路を見据えた課題説明を実施するため、常に将来を意識した制作になります。卒業制作展では著名な美術評論家が、美術界の厳しい目で作品を批評します。

資格取得

【卒業時取得可能資格】小学校教諭一種免許（中学校教諭一種免許取得者が、指定の通信科目を受講することで取得できます）、中学校教諭一種免許（美術）、高等学校教諭一種免許（美術）、学芸員

卒業制作／集大成として確かな造形力や感性を最大限に発揮し、密度のある完成度の高い作品制作を目指します。これ迄の自分を乗り越える力強さが必要です。（必修）

洋画演習8・9／自己の作品と社会の関わりを考え、自己実現を視野に卒業制作に向けた制作を進めます。エスキース、習作等による試行錯誤を重ねて自己のテーマを明確化します。

※2013年度のもので、2015年度開講科目とは異なる場合が有ります。

PRINTING

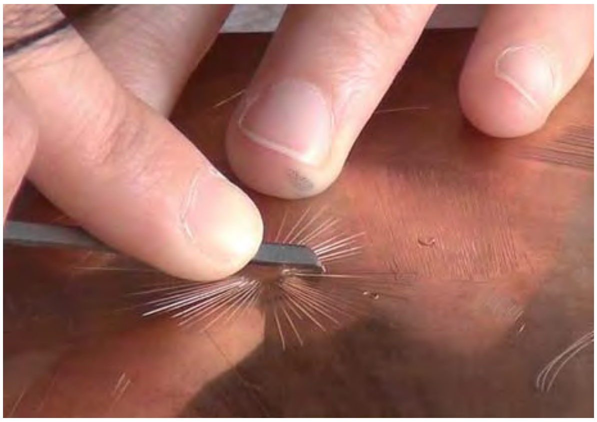
美術科 版画コース

繊細で大胆な手作業を繰り返し、1枚の版から新しい世界観を生み出す銅版画。 鉛筆の様な道具で銅の板に絵柄を描きます。

バレンの圧力や絵具の具合で異なった表情になることも木版画の特長。 充実したアトリエや機材が整い、版表現に向き合うことができる環境です。

版画コースの様々な取組み

ACTIONS



銅版画の原点　エングレービング

銅版画は15世紀初頭にヨーロッパで始まった技法で、写真の様に専用の彫刻刀で直に彫っていました。実は現代のお札の細密的な肖像画も同じ方法で作られていて、気の遠くなる仕事。銅版画の原点を体験する授業となります。（若月公平 教授）

文芸学科と共同の画文集制作

文芸学科と版画コースの学生がペアを組み、感性の往還をします。文芸作品を読み版画制作、版画作品を観て発語。版画と文章を一枚の紙に刷り込んだ作品で画文集とします。個々の感性が集合した一本の樹を作るような協働制作です。（若月公平 教授）

紙を自分で作るのも版画制作

版画は刷ったイメージだけが版画ではなく、紙も含めて作品。その紙まで自分で作る体験です。コットン等紙の繊維を分厚く漉いて凹凸、物質感のある紙を作り、そこに版画で刷る。紙そのものを作品化する自由度の高い授業です。（中村桂子 准教授）

全国大学版画展

美術系大学約60校が参加する全国大学版画展に授業の一環として約10名が出品。約250点の中から町田市立国際版画美術館収蔵賞が30点選出されます。芸工大の学生も毎年1、2名の受賞者を出し、全国の大学から注目を集めています。（中村桂子 准教授）

ON AIR TUAD TRIP!

http://www.tuad.ac.jp/trip

上記URLで全学科コースの学生を追ったムービーを公開しています。 スマートフォンもOK!

刷り上がった瞬間の新しい作品世界との出会いは、版画ならではの醍醐味。自分の想いを込めた一枚の版から紙や布に作品を写し取っていくプロセスには、自身の感性を再発見する驚きや、喜びと感動があります。ここでは、「銅版画」「木版画」「スクリーンプリント」の3技法を1年次から専門的に習得。幅広い素材や表現方法に触れながら、自身に合った表現を探求していきます。また洋画コースと演習科目を共有しながら取り組むデッサンや塑像、画文集ワークショップ、文芸学科との画文集の共作など、多彩な授業を展開。自由な発想で進める幅広い版画技術の修練は、絵画やデザインの垣根なく表現の可能性を発見させてくれるはずです。幾度と試刷りを行い、時間をかけて作品を完成させる版画。その制作過程によって鍛えられる、強い意志や実行力、責任感は社会人の第一歩に繋がるものです。

◀ 美術科 版画コースの作品は145ページに掲載

多様な表現を発見し広がる無限の可能性。

スクリーンの目を通して、図柄を刷るスクリーンプリント。原色を混ぜれば色彩は無限。インクの層を重ね、重厚でシャープな存在を生み出します。

刷り重ねる毎に色彩や表情が変化する木版画。ばれんで刷れば版の凹凸が手に伝わり、細かい線から大きな面の色まで、幅広い作品を仕上げられます。

柔らかいイメージを固い銅板に映すことも、基礎から丁寧に学んでいきます。版を酸性の薬品に浸す時間や彫りの深さなどで、トーンの幅が生まれます。

銅版の凹みに油性インクを詰め､1トンもの力でプレスすると､紙にインクが写し取られます｡プレス機から出た紙をめくる時が､完成した作品との初対面です｡

コースの特長

繊細で深遠な銅版画

絵筆では描けない繊細な線の表情をインクの深い黒で映し出す銅版画。ニードルと呼ばれる針で線を幾本も描き、銅版を酸性の薬品に浸して腐食させて原版を作ります。線の強さと薬品に浸す時間で幾重にも変わるトーンの幅。製版の工程を経て紙に画面が現れた時の感動こそが、銅版画の醍醐味と言えます。

柔らかい表情の木版画

色を何度も重ねることで、柔らかく豊かな色彩表現が生み出せる木版画。紙の湿しや刷毛やばれんの使い方など日本の伝統的な技法の基礎から、油性インクやマチエールを施す現代的な表現まで幅広く習得します。木の素材感を活かした作品や、彫り方やマチエールを工夫すれば、幅広い表現も可能です

自在性のスクリーンプリント

ビビッドでカラフルな色彩を何層も刷り重ね、シャープな仕上りが特徴のスクリーンプリントは、自由度の高い技法。布や金属へのプリントなども可能です。シアン、マゼンタ、イエローなど原色を調色しながら、作品の仕上りをイメージすることは、気持ちが高まる瞬間。写真素材などからの版制作も体験します。

4年間のカリキュラム

全学教養科目 / 全学専門科目　全ての学生共通の全学教養科目と全学専門科目は151ページに掲載。

全学専門科目は151ページに掲載。

CURRICULUM

1年

銅版画、木版画、スクリーンプリントの基礎技法を習得。フィジカルドローイングや塑像制作など、自身の感性を柔軟に広げる基礎造形の練習も行います。肘折温泉の灯籠制作プロジェクトなど、地域の人や仲間と制作に取り組むことで社会との協調性も養います。個の「版画による表現」と協働の「社会との協調性」を柱に、4年間の学びが始まります。

版画基礎演習3「銅版画（凹版）基礎技法」／銅板を酸で腐食させインクを詰め、プレス機で印刷する銅版画。凹版画の基本のエッチング（線的）、アクアチント（面的）技法を習得。（必修）

版画基礎演習3「塑像制作」／粘土の素材感や作品の量感を素手で直に体感し、同級生である対象の存在に迫ります。視覚的な感覚だけでなく五感全てのトレーニング。（必修）

版画基礎演習1·2「フィジカルドローイング」／デッキブラシやほうきを使い、身体を大きく動かすドローイング。細かな技術に捕われず、描く衝動と感覚を自由に解放するトレーニング。（必修）

【選択科目（1～4年次）】美術解剖学／工芸論／工芸史／版画史【選択必修科目（1～4年次）】工芸文化論【選択必修科目（1年次）】デッサン初級【必修科目（1～4 年次）】芸術色彩学【必修科目（1年次）】芸術鑑賞の喜び／芸術文化と自然の遺産／芸術思考論／版画入門／洋画概論

フレッシュマンキャンプ／自然豊かな肘折温泉へのスケッチ合宿。教員や先輩と語り合い、また「ひじおりの灯」プロジェクトに向けて全員で話し合いながら灯ろうを共同制作します。

版画基礎演習4「スクリーンプリント（孔版）基本技法」／フィルムに描いた図像を光で版に焼付けるスクリーンプリント。版の隙間を通しゴムベラで何回も色を重ねる孔版画の原理基本を習得。（必修）

版画基礎演習4「木版画（凸版）基本技法」／版画の技法で一番古い木版画。版木の彫り方や木の素材感、和紙と絵具の相性、色の重ね具合や表情など凸版画の原理基本を習得します。（必修）

2年

前期は、ドローイングのような感覚で版作りができるリトグラフ技法を習得。自由な発想で平面絵画に近い表現に挑戦します。美術科共通演習では、4週間ずつ3期間、他コースの素材や手法を体験し、表現の多様性を自らの感性に取入れます。後期は、更に深く様々な版画技法原理を習得し、進級制作を念頭に自身の感性に合う表現技法を模索します。

【選択科目（2～4年次）】素材学／衣服論／染色論／インターンシップ／先端的コンテンツとアートシーン／クリニカルアート演習【選択必修科目（2～4年次）】日本美術史概説／西洋美術史概説／アート・デザイン史論／知的財産論／社会文化環境論／現代美術史／世界遺産総論【選択必修科目（2年次）】美術科共通演習（彫刻Ａ～Ｃ）（工芸Ａ～Ｃ）【必修科目（2年次）】美術の見方／芸術と社会力／版画演習1

版画演習3「木版画応用技法」／油性インクを使ったりニスなどで版にマチエールを付けたり、伝統技法だけでなく様々な現代技法も習得。多彩なのが木版画の楽しさです。（必修）

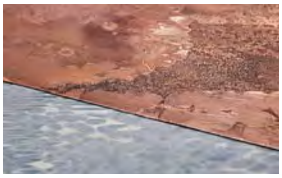
版画演習2「スクリーンプリント応用技法（四色分解）」／自ら撮影した写真を四版分解という技法を使ってリアルに再現。写真を版画にできるのはスクリーンプリントの特徴です。（必修）

3年

前期は、銅版と木版など2つの技法を組み合わせて版の可能性を実験。紙漉きなどでオリジナルの版画制作を行い、素材と技法の応用を広げます。後期は文芸学科の学生と共同で詩画集を制作。自身の絵と他者の詩を合わせる他者相互理解による協働制作を行います。また大作を仕上げ、2年生と共に先輩後輩でひとつの展覧会「ラウンジ展」を開催します。

【選択科目（3～4年次）】アートマネジメント概論【必修科目（3年次）】ポートフォリオ作成／版画演習5・6

版画演習7「大作制作」／これまでの演習で養った様々な感性を反応させ、自由な発想で現時点の自己の表現を出し切り、最終学年へ向けての自己確認の制作です。（必修）


版画演習4「版画併用技法」／銅版、木版、スクリーンプリントの2つ以上の技法を一つの画面に印刷する作品制作。各素材の特徴や可能性を開拓し素材や技法の重要性を思考します。（必修）

4年

前期は「新4年生展」「プレ卒展」の2つの学内展覧会のほか、国際版画コンクールにも積極的に出品。大作制作と並行して4年生全員参加の版画集を出版。全員で一つの形にする事を学びます。後期は4年間の集大成、卒業制作に取りかかります。半年間をかけて仕上げた学生最後の作品を、広い空間で思い切り展示をし、4年間の学修の成果を顧みます。

資格取得

【卒業時取得可能資格】小学校教諭一種免許（中学校教諭一種免許取得者が、指定の通信科目を受講することで取得できます）、中学校教諭一種免許（美術）、高等学校教諭一種免許（美術）、学芸員

卒業制作／4年間の集大成として、一人ひとりの学生が専門性を体得した成果をまとめ、社会に広く強く発信します。学生主体の展示計画と運営も大きな特徴であり、学修となります。（必修）

版画演習8・9「版画集制作」／全員で1点ずつ制作した作品を函に収め版画集に。額以外の装丁形態や複数印刷できるのが版画の特徴。印刷技術もヴァージョンアップ。（必修）

※2013年度のもので、2015年度開講科目とは異なる場合が有ります。

SCULPTURE

美術科 彫刻コース

上から金属彫刻、木彫、石彫。 立体表現の方法を学ぶことで、頭の中の「想像」だった存在や空間をつくり出すことが可能となります。

彫刻コースの様々な取組み

ACTIONS

木こり体験ワークショップ

蔵王連峰を背景とした芸工大ならではの取組みが「木こり体験」。自然の中に身を置きながら、素材の育った場所を知ることも制作には大切なこと。木の樹形や枝振りを見極め、全身で斧を振るって巨木を切り出します。（保田井智之 教授）

彫刻の森美術館への研修旅行

神奈川県の彫刻の森美術館へ、1年生を中心に研修旅行を行ないます。7万平方ｍの敷地に彫刻を配置した日本初の野外美術館で、本物の作品と周囲の環境とを鑑賞しながら、自身の創作意欲を高めるきっかけとしています。（前田耕成 教授）

対話を通じて自己の彫刻を見つめる

彫刻コースの教員と学生が集まり、モダンアートや自身の制作観について意見を交わします。また立体作品の基になるドローイングなどにも挑戦。自己の内面性と向き合い、多面的な表現方法を確認できる力を得ます。（吉賀伸 講師）

吉賀伸講師によるギフトオブネイチャー展

芸術表現に打ち込むアーティストが指導を行なう彫刻コース。東北の美しい風土から得るインスピレーションから生まれた作品展を、大学の施設「やまがた藝術学舎」で開催しました。学生にとっても本物の作品に触れる貴重な経験となります。（吉賀伸 講師）

手のひらで素材を感じ、空間に立体を生み出す。彫刻には、心身の全てで制作し、人間の至上感を味わえるという魅力があります。生命感の溢れる木、表情豊かな石、柔軟に姿を変える金属、石膏やプラスチックなど、多様な素材を順番に体験し理解を深めつつ、表現の幅を広げていきます。学生と教員が真摯に向き合える環境の中で、デッサンや粘土での塑像制作、作品と空間との関係性などの基礎力を1年次から養います。大学近隣の豊かな自然環境を利用した「木こり体験」をはじめ、実践に重点を置いた授業は素材によるクラス分けをしないのも特長です。広いアトリエで素材と向き合い、自身を表現する中で生まれる精神力や自己鍛錬の力は、多方面で可能性を拓く糧となるもの。彫刻家だけでなく、建築家や製品開発、舞台美術など幅広い就職実績へと結びついています。

ON AIR TUAD TRIP!

http://www.tuad.ac.jp/trip

上記URLで全学科コースの学生を追ったムービーを公開しています。 スマートフォンもOK!

◀ 美術科 彫刻コースの作品は146ページに掲載

素材に全身でぶつかり、生命を掘り起こす。

サイズを問わない作品制作に取組める広いアトリエと充実した設備が自慢。 手前は金属アトリエ、奥に見えるのは木彫アトリエです。 授業期間の平日なら、9:00 から 21:00 まで利用できます。

強化プラスチックなどの人工素材を用いた制作も可能。 石や木、金属、石膏など多様な素材を 1 年から体験していきます。

立体造形を塊、面、線などの構成要素として分析しながら、彫刻の骨格となる造形性を理解する基礎力を身に付けます。

半屋外の石彫アトリエ。大きな塊を思いっきり削るダイナミックな作業から、繊細な仕上げに及ぶまで、自己や素材と確り向き合います。機材の使用方法も基礎から学んでいきます。

コースの特長

表現豊かな木彫

独特の風合いや、質感を活かした豊かな表現を探求できるのが木彫の魅力。素材としての木の性質について理解を深めながら、道具の使い方の基礎や伝統的な技法など、一連の造形技術を習得します。

塊から出現させる石彫

石塊に楔を打ち、ハンマーとタガネで刻み出すことで、強い存在感を持った姿を出現させる石彫。切削、研磨技術など、加工法を丁寧に学んでいきます。大きな塊では数トンにも及ぶ石と格闘することも。

自由度の高い金属彫刻

金属は強度がありながらも、実は熱を加えることで変容する柔軟な素材。加工に必要な溶接・溶断・研磨などの技術を習得し、作品として空間に自立させるまでのプロセスを、順を追って会得します。

充実したアトリエ

クレーンやチェーンソー、砕石機、溶接機など、広々とした各アトリエには本格的な機材が揃います。さらに、数トンもの石を扱う石彫アトリエは半屋外型。作品の大きさを気にせず制作に打ち込めます。

4年間のカリキュラム

全学教養科目 / 全学専門科目　全ての学生共通の全学教養科目と全学専門科目は151ページに掲載。

CURRICULUM

1年

石、木、金属、プラスチックの４つの基本的な素材の扱い方や技法を習得。石では、「幾何学形態になった私」というテーマで大理石を扱います。ノミなどの道具作りも行い、素材加工の理解を深めます。金属は加工技術を学び、にぼしの模刻を鉄の素材で制作。粘土では、裸婦モデルの等身像を制作。木は、木取りの仕方、履き古した自分の靴を掘る課題です。

彫刻基礎演習3／ヌードモデルの粘土による等身塑像制作を行います。 人物デッサンを繰り返し、人体の比率、動勢をとらえる力を養い、量感とフォルムの概念を獲得します。（必修）

彫刻基礎演習2／鉄材加工に必要な溶接・溶断・研磨の技術を習得し、煮干しの模刻を鉄材で制作します。 鉄材の基礎知識と、金属彫刻として加工する技術を習得します。（必修）

彫刻基礎演習1／カービングの技法が中心となる石彫に挑戦。 大理石加工に必要な道具作りや、石材の基礎知識を得て、基礎的な加工法と工程を理解し、作品を仕上げます。（必修）

【選択科目（１～４年次）】美術解剖学／工芸論／工芸史／版画史【選択必修科目（１年次）】デッサン初級【選択必修科目（１～４年次）】工芸文化論【必修科目（１年次）】芸術鑑賞の喜び／芸術文化と自然の遺産／芸術思考論

芸術色彩学／海外と日本の色彩の比較など、色の特徴的な代表例を紹介。 色を見分ける事から始め、配色の基本的テクニックと意図を伝える配色を実習を通して身につけます。（必修）

彫刻作法／様々な彫刻家の知識と技術を、スライドを見ながら学びます。 社会での彫刻芸術の在り方について、作家の体験談を聞きながら考察し、レポートにまとめます。（必修）

彫刻基礎演習4／木彫で用いる基礎的な道具の取り扱い方やノミの研ぎ方、木取り方法を習得します。 自分がはき古した靴の模刻を通じて、造形技術を身につけます。（必修）

2年

幾何形態の立体構成、線と面の構成に挑戦。パブリックアートなどの形を理解し、立体に対する感覚を広げます。また友人同士で粘土を使った頭部の像を造り、石膏での型取りを体験。後期は、1年生で扱った４つの素材から1つを選択し、完成度の高い作品を制作。石彫では、言葉から発想を広げる作品を、金属では雲から発想される形を制作します。

【選択科目（２～４年次）】素材学／衣服論／染色論／インターンシップ／先端的コンテンツとアートシーン／クリニカルアート演習【選択必修科目（２～４年次）】日本美術史概説／西洋美術史概説／アート・デザイン史論／知的財産論／社会文化環境論／現代美術史／世界遺産総論【選択必修科目（２年次）】美術科共通演習（絵画Ａ～Ｃ）（工芸Ａ～Ｃ）【必修科目（２年次）】美術の見方／芸術と社会力／彫刻演習２

彫刻演習3／鉄は「雲から発想される形」がテーマ、粘土は裸婦等身像を制作し、石膏やFRPに素材転換して完成させるなど、素材を自ら選択して作品を制作します。（必修）

彫刻演習1「構成演習」／板や筒状の石の素材で、幾何学的構成をします。幾何学の基礎知識を理解して三次曲面の立体を構想し、デッサンで計画を立てて、形態を作る基礎練習です。（必修）

3年

前期は、現代の彫刻史やディスカッションを実施。モダンアートについて仲間と意見を交わします。また立体作品の基になるドローイングやインスタレーションなど、実験的な制作も。更に彫刻の文脈を理解し、自身が何を制作していくのかを再認識します。後期には自分でテーマを決め、素材を選び作品を2点制作。より充実した作品に仕上げます。

【選択科目（３～４年次）】アートマネジメント概論【必修科目（３年次）】ポートフォリオ作成

彫刻演習6・7／自主制作の第一歩として制作テーマの設定と材料の選択を行ない、総合的視野で制作します。 発想から作品完成までの過程を計画し、それを実践します。（必修）

彫刻演習4・5「彫刻思考」／彫刻芸術の命題を、社会との関係に考慮して仮説をたて、表現の幅を広げます。 教員とのディスカッションを重ねて枠にとらわれない作品を制作します。（必修）

4年

作品発表の機会として彫刻展「かたち展」を開催。外部目線で作品評価を得る機会となります。また卒業制作に向けて、前期1点、後期1点の作品を仕上げることを目標に制作。制作の立案、プランニングを早くから重ね、制作に入ります。作品の展示空間を意識した制作を行ないます。さらに卒業後の進路を見据え作品集をまとめ、就職活動も進めます。

資格取得

【卒業時取得可能資格】小学校教諭一種免許（中学校教諭一種免許取得者が、指定の通信科目を受講することで取得できます）、中学校教諭一種免許（美術）、高等学校教諭一種免許（美術）、学芸員

卒業制作／素材と作品と冷静に対峙、造形の要素を常に確認する習慣を再確認しながら、制作スケジュールを立て、空間を意識し、集大成としての彫刻作品を完成させます。（必修）

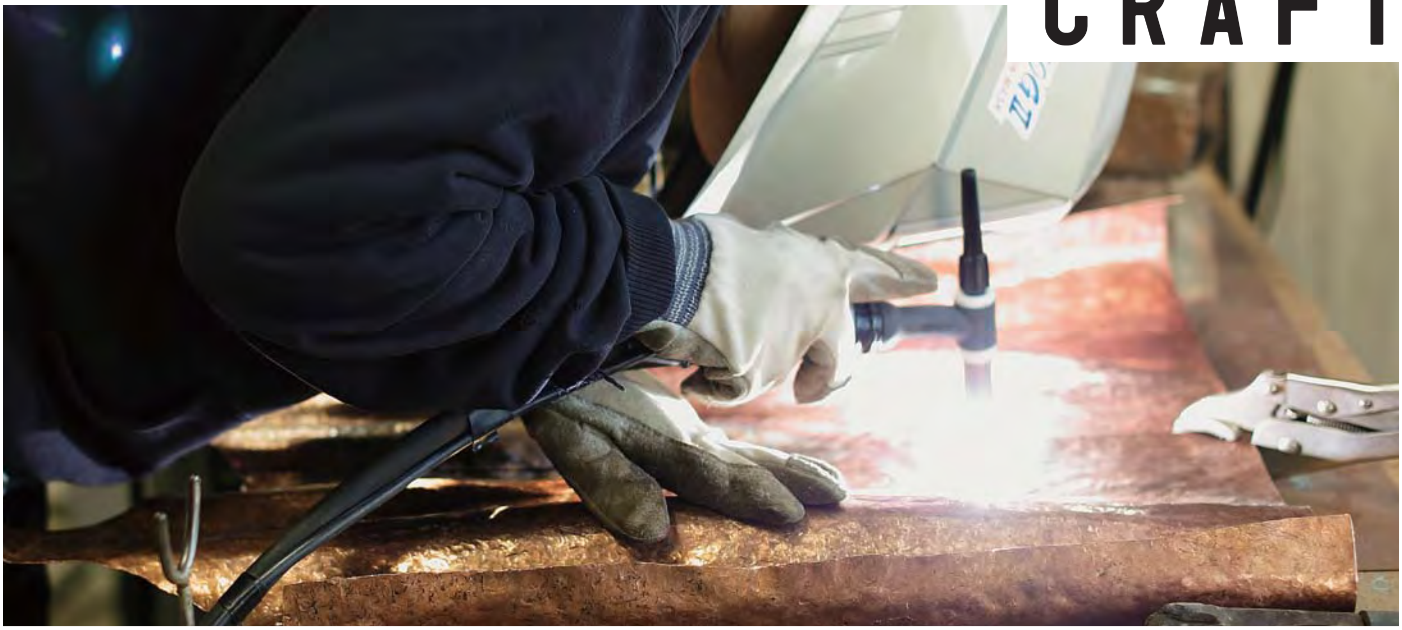
彫刻演習8／3年間培ってきた自分の「いま」を存分に発揮するため、ふさわしい形や素材、技法を自身で判断。 卒業制作を見込んだ作品の計画立案と制作に挑みます。（必修）

※2013年度のもので、2015年度開講科目とは異なる場合が有ります。

CRAFTS

美術科　工芸コース

金工・漆芸・陶芸



工芸コースは金属、漆、土の３つの素材を軸に表現力を高め、感性を磨きます。それぞれの素材別にアトリエと設備が充実しており、分野に適した制作環境が整っています。

工芸コースの様々な取組み

ACTIONS

自ら採取し、作品に活かす

素材が生まれる所を学ぶ事も重要。大学近隣の山地には漆の樹が生えており、地元の方の協力で「漆かき」をし、採取した漆は実際に作品へ使用します。初夏の早朝に森に分け入り、自然の恵みを実感する貴重な機会です。（小林伸好 教授）

ライティングオブジェクト展の開催

開学当時から工芸とテキスタイルコースの目玉企画として開催している合同展「ライティングオブジェクト」。学生の専攻素材を中心に他素材も取り入れ、光を取り込むことを条件に、自由に作品を制作し、学内に展示します。（佐々木理一 准教授）

陶芸作品と和菓子を結ぶ「ニッポン茶茶茶」展

陶芸専攻の学生が山形の老舗和菓子店とコラボレーションし、菓子と器の展覧会を開催。約40点の菓子器を披露し、器に合わせたオリジナル和菓子で茶会も開きました。日本の伝統文化「茶道」に触れる体験にもなります。（深井聡一郎 准教授）

クリスマスイルミネーションの制作

山形駅前商工会から「駅前に飾るイルミネーションを造って欲しい」と依頼があり、学生を中心にシンボルタワーや動物のLEDイルミネーションを制作し展示しました。このような社会的実践を通じて得た喜びや実力は、貴重な経験となります。（小林秀幹 講師）

ON AIR TUAD TRIP!

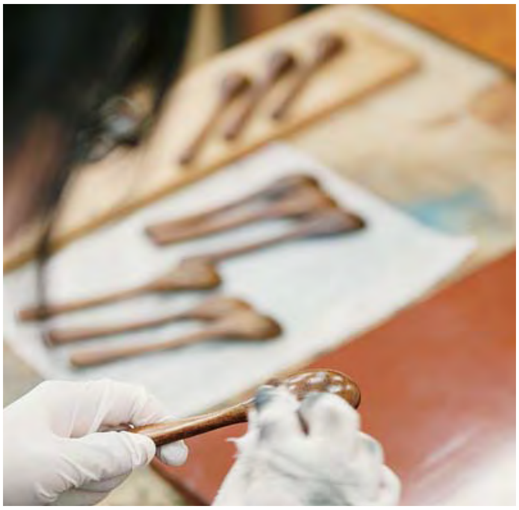
http://www.tuad.ac.jp/trip

上記URLで全学科コースの学生を追ったムービーを公開しています。 スマートフォンもOK!

楽しい食事を彩る箸や茶碗、装いを華やかにするアクセサリー。私たちの暮らしを支えるモノを自らの手で生み出す工芸は、文化としてのモノ作りであり、日常生活に欠かせない芸術分野です。東北、山形の冴え渡る空気の中で、豊かな大地の素材として向き合うのは、「漆芸」「金工」「陶芸」の3分野。自らの専門分野だけでなく、その3素材に複合的に触れられるのも工芸コースの特長です。特に漆芸を学べる大学は少なく、注目を集めています。また、大きな魅力なのが、創作意欲をかき立てる充実した設備とアトリエ。陶芸では、敷地内に登り窯も新設しました。そして作家として活躍する教授陣から学び取る、あらゆる技や知恵はかけがえのないもの。ここで身に付ける感性は、工芸作家としてはもちろん、他分野でもライフスタイルを豊かにし、喜びと感動を与える力として存分に発揮されています。

◀ 美術科 工芸コースの作品は147ページに掲載

時間をかけて素材と向き合い、モノづくりの面白さを知る。



広いキャンパスを利用して2012年に新設した薪窯。広い窯の中で、薪を数日間燃やし続け高温を保つことで、多くの陶器を一気に焼き上げることが可能です。

塗りと磨ぎを何度も繰り返して美しい表面を生み出します。 漆で描き金粉や銀粉で仕上げる蒔絵などの技法も基礎から習得します。

高さ6mの広大な金工のアトリエは、屋外に展示される大型作品も余裕で制作が可能。 全てのアトリエは、通常期は9:00～21:00まで利用できます。

繊細な装飾や文字を打ち込むたがねやハンマーなどは、使いやすい道具として自ら制作。七宝焼や時計、ジュエリー制作にも取り組めます。

ガス釜や電気釜など、作品の量や大きさに合わせた窯が並ぶ陶芸のアトリエ。 釉薬が生み出す深みのある表情は、計算と偶然の融合。

コースの特長

日本独自の漆芸

長きにわたり日本人の食器や家具として使われてきた漆。漆芸の技法を基礎から丁寧に習得した上で、蒔絵（まきえ）や螺鈿（らでん）といった精巧な表現技法のほか、新しい表現にも挑戦します。

暮らしを演出する金工

ライフスタイルの演出など様々に形づくられてきた金工。彫金、鍛金、鋳金の基本技術を基礎からしっかり身に付けた上で、ジュエリーやオブジェなど、個々の自由な発想に基づく造形に挑戦していきます。

土との対話で育む陶芸

私たちの生活に深く関わってきた陶芸。土練りからろくろでの成形、削り、釉薬や絵付け、焼成まで一連の技法を習得します。窯から作品を取り出した時の感動はかけがえのない経験となるはず。

各分野で整った施設設備

実習棟には、登り窯やろくろ、蒔絵室、金属加工を行なう機器など、各専攻の制作を自由に探究できる設備やアトリエが整っており、ここから日々新しいアイデアが形となって生まれています。

4年間のカリキュラム

全学教養科目 / 全学専門科目　全ての学生共通の全学教養科目と
全学専門科目は151ページに掲載。

CURRICULUM

1年

見る、触れる、感じるなど、発見や感動を多彩な体験や素材から受け取り、自由な発想力「イマジネーション」を抱くことが中心。前期は造形の基礎として様々な体験授業を行います。金工ではフライパン、漆では箸、陶器では茶碗などを制作。後期は金属、漆、陶芸の各素材を取り入れ、基礎的な技法習得と共に、豊かな想像力を養う授業を展開します。

工芸演習1（漆芸）／各自のデザインで、伝統技術の蒔絵を現代に生かす蒔絵パネルを制作。ポスターのようなグラフィックから花鳥風月まで、学生達の感性が感じられます。（必修）

工芸基礎演習2／様々な実験的な体験を通して、知識としてではなく直接的に空間や量感、色彩の感覚を身体に感じとる演習と、コンピューターの基本操作を学びます。（必修）

工芸基礎演習1／人間と自然との共存、原点から生まれるエネルギーを実感します。ものづくりの本来の意味から素材、造形について考察することから始まります。（必修）

【選択科目（1～4年次）】美術解剖学／工芸史／工芸特別演習／版画史【選択必修科目（1～4年次）】工芸文化論【選択必修科目（1年次）】デッサン初級【必修科目（1～4年次）】芸術色彩学【必修科目（1年次）】芸術鑑賞の喜び／芸術文化と自然の遺産／芸術思考論／工芸演習2／工芸論

薪窯／陶芸史や現代陶芸、陶芸市場などについて、特別講師を招いての授業も開講。学内に新設した薪窯による、夜通し薪を焚き続ける貴重な焼成体験も可能。

工芸演習1（陶芸）／陶芸の基盤となる素材、造形に取り組みます。磁器、陶器の基本になる2タイプの作品制作を通じて工芸の豊かな表現を体得し陶芸の魅力を実感します。（必修）

工芸演習1（金工）／時計、ペーパーウェイトの制作で、銅や真鍮、亜鉛を素材に金属加工の基本技術を習得。金属に触れて現れる自己の感覚からカタチへ転換させます。（必修）

2年

3専攻に分かれ、素材の特性と技術を学び、組み立てる造形訓練「クリエイション」を、この時期に最も力を入れて習得します。道具作りや素材の見方、成形、組立、仕上げなどの基本工程を、丁寧に学んでいきます。また、金工では七宝やレリーフなどの華飾技法を、陶芸では染め付けや釉薬の研究、漆では指物やろくろ実習などを実施します。

【選択科目（2～4年次）】素材学／衣服論／染色論／インターンシップ／先端的コンテンツとアートシーン／クリニカルアート演習【選択必修科目（2～4年次）】日本美術史概説／西洋美術史概説／アート・デザイン史論／知的財産論／社会文化環境論／現代美術史／世界遺産総論【選択必修科目（2年次）】美術科共通演習（絵画A～C）（彫刻A～C）（工芸A～C）【必修科目（2年次）】美術の見方／芸術と社会力／工芸演習4・5

工芸演習3（陶芸）／粘土や釉薬など、陶芸の原料の基本的な研究から始まり、ろくろ成形や石膏型成形、染付け、上絵など一連の伝統技法などを習得します。（必修）

工芸演習3（金工）／金工で使用する道具作りの後、銅鍋と銅板レリーフの制作を行ないます。銅鍋は使い勝手を考慮して制作。その鍋で料理を作り、パーティーを開きます。（必修）

3年

高度な技術の習得と、自らの成果の発表「プレゼンテーション」に力を入れます。また、複数の素材を用いたライティング（光る）オブジェを制作し展示。周囲の意見にも耳を傾け、作品制作の意味を深め、社会を意識することで卒業後の姿をイメージしていきます。柔軟な思考力と確かな技術力、豊かな表現力、発表力と総合的な力を身に付けていきます。

【選択科目（3～4年次）】アートマネジメント概論【選択必修科目（3～4年次）】陶芸応用演習1～5【必修科目（3年次）】ポートフォリオ作成／複合素材演習

金工応用演習1～5／金工ではより専門性を高めるため3年生より彫金と鍛金という2つの技法の課題どちらかを選択します。銀と鉄では加工法が大きく異なります。（選択必修）

漆芸応用演習1～5／漆の特徴は、様々な素材に塗れること。漆かき体験のほか、木や布、紙、金属、陶磁など素材を生かした表現で、創造的な作品を実現していきます。（選択必修）

4年

より社会を意識した課題を通じて、作品と社会との関わり「コミュニケーション」を考えることが目的です。この時期には個々の研究テーマも明確になり、社会への問題に目を向け、広い視野で自ら解決の糸口を探ります。卒業制作は半期を使い、4年間で得た力を総動員して制作します。立案から設計、制作、発表、展示といった総合力が求められます。

資格取得

【卒業時取得可能資格】小学校教諭一種免許（中学校教諭一種免許取得者が、指定の通信科目を受講することで取得できます）、中学校教諭一種免許（美術）、高等学校教諭一種免許（美術）、学芸員

卒業制作（陶芸）／卒業制作までの陶芸素材での器と表現の可能性について研究制作を行います。各自の社会性を重要視し、自己表現力を更に開発しながら制作します。（必修）

卒業制作（漆芸）／4年間の思いを作品に込めて制作します。伝統を基礎にした精巧な蒔絵技術や大きな彫刻作品等、漆の可能性を求め、作品として完成させます。（必修）

※2013年度のもので、2015年度開講科目とは異なる場合が有ります。

TEXTILE

美術科 テキスタイルコース

初夏の頃には沢山の紅花が咲き誇る、豊かな自然環境の中で、明るく元気な学生たちが集うテキスタイルコース。

テキスタイルコースの様々な取組み

自己との対話「ペルソナ展」

「ペルソナ（仮面）」をテーマに、身体に関わる内面と外面の分析、例えば皮膚を世界の境界に「身体」を考え、素材を限定しない作品制作と展示に挑戦。自身への身体考察は知的好奇心と感情の豊かさをもたらす、感性の現場です。（辻けい 教授）

紅花プロジェクト

紅花と藍を畑で栽培し、染料にして染色するワークショップを、一般の方をお招きし冬至に開催します。種子から植物を育て、花を摘み、染料制作を体験。糸や布を染め、編んだり織ったりして、自然の力を借りながら自らの造形を生み出します。（辻けい 教授）

ライティングオブジェクト展の開催

開学当時から工芸コースと共に目玉企画として開催している合同展「ライティングオブジェクト」。テキスタイル素材を中心に金属や土など他素材も取り入れ、光を用いた作品を自由に制作します。約４ヶ月をかけて大作に挑みます。（柳田哲雄 講師）

コース専用の畑「染料博物館」

テキスタイル演習室の西側、日当りの良い斜面に広がるコース専用の畑です。毎年、学生同士で土を耕し種を蒔き、染色に使う紅花や藍などを栽培します。植物が大地でゆっくりと力強く育つ姿は、自身の作品にも大きな影響を与えます。（柳田哲雄 講師）

日々、多様な広がりを見せているテキスタイルの世界。同時に、テキスタイルは世界の人々の中で古来より、最もオリジナルな生命観を表すものであり、独自の文化と芸術を育んできました。学びの核となるのは、自然素材の研究。そして、それを用いた実験的な芸術表現への挑戦です。大学敷地内にコース専用の畑「染料博物館」を持ち、学生自ら紅花や藍などの染料となる植物を種から栽培。染料としてだけでなく、「生命」を育てる経験を、自身の作品制作へとつなげていきます。さらに工芸コースなどと連携し、分野を越えた制作に取り組むなど、様々な技術や考えを取り入れながら表現方法を高めていきます。ダイナミックな自然と文化に抱かれた山形の、刺激的かつ柔らかな雰囲気が漂うこの環境から生まれる想像力と創造性、新しいテキスタイルの可能性を一緒に探ってみませんか。

ON AIR TUAD TRIP!

http://www.tuad.ac.jp/trip

上記URLで全学科コースの学生を追ったムービーを公開しています。 スマートフォンもOK!

◀ 美術科 テキスタイルコースの作品は148ページに掲載

「種」からはじまる表現の可能性。

紅花はもちろん、藍やタンガラ、カリヤスなどの天然染料に触れていきます。手で摘んだ紅花を丸めて平たくし、乾燥させたものが、写真の紅餅。紅花染料になります。

羊毛や木綿から糸を紡ぐ糸紡ぎ車。指先の加減で糸の太さや風合いが調整できます。自ら紡いだ糸を織り、一枚の布に仕上げる過程を基礎から丁寧に学んで行きます。

「紅花colors」と題し、白鷹産の紅花と地元の蚕桑（こぐわ）小学校の子どもたちが育てた繭で作品を制作。社会と結びついたプロジェクトも展開しています。写真は作品の一つ、「意識のシェルター」の制作風景。

毎年冬に行っている紅花ルネサンスで染色したシルク。 水のアルカリ性や酸性の違いで黄色や桃色にも変化。 自然の染料から驚く程鮮やかな色彩が生まれます。

コースの特長

畑で種から育てる

自然の力との出会いは、造形を生み出す根源となります。学内の畑「染料博物館」に毎年種を蒔き、土地に根ざした植物を種から育てて染料として収穫する経験を経て、自らの表現へと展開していきます。

幅広い素材や色を知る

1年次から積極的に幅広い素材の知識を構築。土や金属、木綿やフェルトによる制作や、言語的な意味と関連性を持たせた「ストライプ・ストーリー」の染織を体験します。また、テキスタイル表現と「色」とは密接な関係。紅花のほかにも、地域風土に関わる色と出会うプロジェクトなども豊富です。

身体考察を深める

2年次では「ペルソナ（仮面）」をテーマに、作品制作と展示を企画。身体考察を深め、知的好奇心と創作への意欲を引き出します。自己を作品に写し出すことで、発想の根源を確立していきます。

地域や文化に触れる

地域文化との協調性を重視し、縄文文化や先端の地場産業の見学・研究を実施。現代舞踏家や様々なアーティストなど、枠を超えて様々な世界観に触れながら、自らの可能性と社会性を豊かにします。

4年間のカリキュラム

全学教養科目 / 全学専門科目　全ての学生共通の全学教養科目と全学専門科目は151ページに掲載。

CURRICULUM

1年

何を作りたいか、という視点から素材に触れていきます。自然界から感じる力を高めるため体を動かすことからスタート。染料畑で土を耕し種を蒔くなど、能動的に動くことで「感じる」下地をつくります。後期は足踏みの糸車などを使い、綿・絹・ウールを紡いで自らの素材のサンプル集とします。更に原始的な機織りや藍染め、絣などの技法も習得します。

テキスタイル・素材トレーニング演習1／［紡ぎ・スピンドル］紡錘車（スピンドル）制作から始め、糸を紡ぐ体験。自然素材を基本に繊維について、伝統的技法を踏まえながら素材を理解します。（必修）

テキスタイル基礎演習2／漆、金属、土の工芸素材と基礎技法を体験し造形力を養います。自ら種を蒔いた紅花や藍の収穫を体験。沈澱藍作りや羊毛をスピンドルで紡ぎ染色します。（必修）

テキスタイル基礎演習1／牧場で羊の毛を刈る様子を観察し、毛の刈られた羊をデッサン。裸で生きている強烈な印象や身体感覚、デッサン力、ものの多角的な見方を獲得します。（必修）

【選択科目（１～４年次）】美術解剖学／工芸史／工芸特別演習／版画史【選択必修科目（１～４年次）】工芸文化論【選択必修科目（１年次）】デッサン初級【必修科目（１～４年次）】芸術色彩学【必修科目（１年次）】芸術鑑賞の喜び／芸術文化と自然の遺産／芸術思考論／工芸論

紅花ルネサンス／全学年で取組む、「紅花」を軸としたワークショップとシンポジウム。大学の敷地で栽培した紅花染料を用い、テキスタイルを通じて私たちの未来を考察します。

テキスタイル・素材トレーニング演習2／［織り］織機の構造や原理を理解していきます。テキスタイル素材と技法、基礎的な技法を習得。最後に紡いだ糸や布をサンプル集として冊子に纏めます。（必修）

テキスタイル・素材トレーニング演習1／［和紙］楮（こうぞ）など植物原料の理解を深めるため、特別講師をお招きし、紙すきを行ない、その紙で大きな人を包む空間づくりを体験します。（必修）

2年

特別講師を招き、フェルトの理解を深めたり、自ら漉いた和紙でパオと呼ばれるテントを作り素材に包まれることを経験。テキスタイルと人との重要な関わりの気付きとするほか、染織も体験します。後期はペルソナをテーマに、身体・心身・身心を考察。造形への関心と自身の特性を探り、その可能性を（再）発見します。ポスター制作や展示準備も行います。

【選択科目（２～４年次）】素材学／衣服論／染色論／インターンシップ／先端的コンテンツとアートシーン／クリニカルアート演習【選択必修科目（２～４年次）】日本美術史概説／西洋美術史概説／アート・デザイン史論／知的財産論／社会文化環境論／現代美術史／世界遺産総論【選択必修科目（２年次）】美術科共通演習（絵画Ａ～Ｃ）（彫刻Ａ～Ｃ）【必修科目（２年次）】美術の見方／芸術と社会力／テキスタイル・素材トレーニング演習３

テキスタイル・身体考察演習1・2／身体表現などを経て自身の特性を探り、身体から紡ぎ出される糸のように、外界（空間）へと創作意欲をつなぎ、自己を開放する作品を制作します。（必修）

美術科共通演習（工芸）／原料のルーツを知り工程を学び、繊維（和紙）造形の可能性を探求。共同制作で、人と社会への積極的な協調性、コミュニケーション力をつけます。（必修）

3年

「ペルソナ」作品の展示や、工芸コースと連動してライティングオブジェクトの作品を制作。また、自身のストライプを考え、ストーリーを持たせてグラフィックとして配色し、６００×６０００ｍｍ以上の織物を織る経験も。後期は、絞り染めなどの技術に特化した授業が中心。伝統的な技術のほか、コンピュータを利用したプリントなど、対極にある技術も理解します。

【選択科目（３～４年次）】アートマネジメント概論【必修科目（３年次）】複合素材演習／ポートフォリオ作成／テキスタイル応用演習３

テキスタイル応用演習2／伝統的な染色技法の習得と同時に、デジタル捺染など先端技術の理解と習得で、新たな独自表現への基礎を構築。「儀礼」をテーマに5mの布を制作します。（必修）

テキスタイル応用演習1／［ストライプストーリー］ストライプ（縞模様）を考え、その物語りを模様として配色。自然染料で染色して、6mの織物を制作します。（必修）

4年

環境造形演習として、肘折温泉のほか地域活性に関わるプロジェクトに参加。社会との結びつきから地域に貢献できる力を育成。相手の意見を聞き出し作品とすることで、独りよがりな作品ではなく地域の意見を取り入れた作品に仕上げます。卒業制作の中間講評では訓練も兼ねて特別講師を招きコメントをもらい、自身の社会からの評価を知る機会とします。

資格取得

【卒業時取得可能資格】小学校教諭一種免許（中学校教諭一種免許取得者が、指定の通信科目を受講することで取得できます）、中学校教諭一種免許（美術）、高等学校教諭一種免許（美術）、学芸員

卒業制作／各自が掲げる制作テーマを確認し、4年間の集大成に相応しい、明確な自分の意志が表現された作品を仕上げます。卒業後の活動にも大きな意味を持つものです。（必修）

テキスタイル環境造形演習1・2／風土や歴史などを意識した「みちのくの色とかたち」を考え、パブリック・アートの可能性に挑戦します。環境と地域住民に配慮した取り組みです。（必修）

※2013年度のもので、2015年度開講科目とは異なる場合が有ります。

WORKS

作品

1

1

総合美術コース

GENERAL ART

1.「自然と人が共感し、創造する丘」をコンセプトとした活動促進企画の依頼をやまがたスポーツパークから請け、自然と芸術文化で子どもたちの感性に働きかけるワークショップ「そらと丘の工作室」を企画。5回シリーズで開催。／ **2.** 東日本大震災の応援として、世界中から寄せられた折り鶴を用いたワークショップを企画。仙台市の小学校や仙台駅前のエスパルなどで開催。／ **3.** 大人も楽しめる企画も用意し悠創の丘で開催したアートワークショップ「秋のワークショップ祭り みんなで多様なワークショップ体験」。準備としてドングリや枯れ枝など、ワークショップで用いる素材集めも学生が担当。

2

3

3

2

2

1

日本画コース
JAPANESE PAINTING

1.永井里枝「雨ざらしのエチカ」H2400×W5502mm　板、岩絵具、その他顔料、箔／ 2.柴田梓「在る魂の流れ」H2050×W2730mm 和紙、岩絵具、水干絵具、箔／ 3.生井知見「畏怖」H2500×W3510mm 和紙、岩絵具、盛上げ胡粉、水干絵具／ 4.財田翔悟「何も言わずに」H2200×W6370mm　綿布、岩絵具、その他顔料／ 5.久松知子「日本の美術を埋葬する」H2260×W4800mm 板、岩絵具、アクリル絵具、他／ 6.松本史子「夢語るモノ達」H2273×W1620mm 和紙、岩絵具、墨、水干絵具、鉛筆、色鉛筆

3

4

6

5

2

洋画コース
OIL PAINTING

1. 金山友美「つちにかえる」H2150×W6500mm 顔料、アクリル、油彩、砂、パネル／ **2.** 泉川なのは「スイムイ」H2997×W5991mm 油彩、アクリル、木炭、パネルにキャンバス／ **3.** 條野千里「ある日の自室（左）、知人と過ごす時間（中央）、夜の客室（右）」H1940×W1620mm（左）H1940×W1620mm（中央）H1940×W1620mm（右）／ **4.** 青木みのり「歓天喜地」H3400×W3400mm アクリル、油彩、パネル／ **5.** 味藤渚「ジャイアントベイビー・くまさん」H1940×W3240mm 油彩、キャンバス／ **6.** 能登美希「ランチ・イン・ワンダーランド」H1940×W3240mm アクリル、油彩、キャンバス／ **7.** 大野彩夏「めがちゃぽん♪」H2273×W5454 油性ペン、アクリル、パネルにミューグラウンド／ **8.** 高橋理美「夜から降る、星のやどり木」H2413×W3762mm アクリル、色鉛筆、オイルクレヨン、油性ペン、パネルにキャンバス

3

1

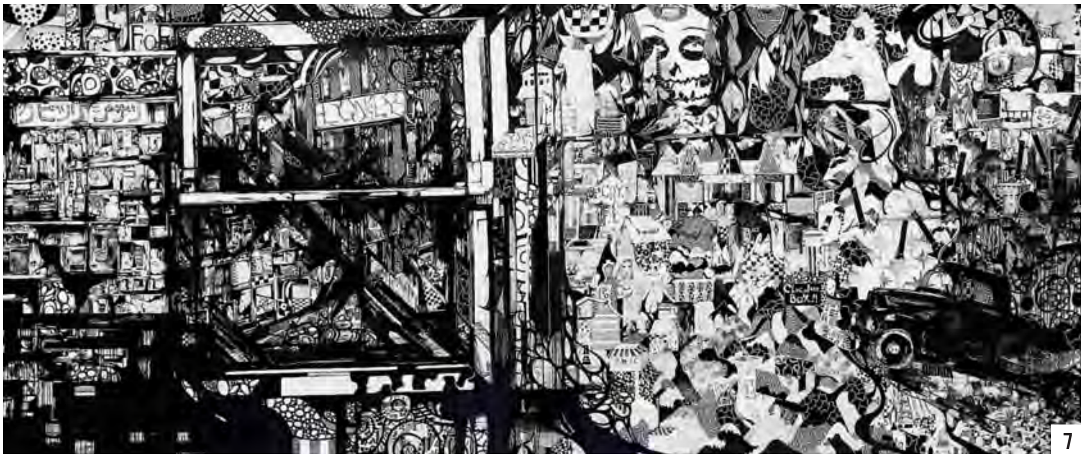
2

5

4

3

1


7

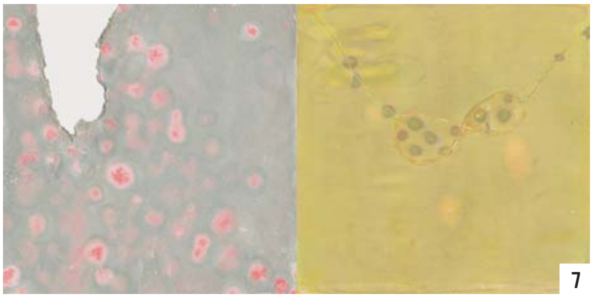
4

5

8

6

9


7

版画コース
PRINTING

1. 平野有花「静厳」H1305×W920mm 水性木版、油性木版／**2.** 大森弘之「寒冷紗の動きNO.3」H590×W1330mm 銅版画／**3.** 佐藤和佳子「phys」H1177×W606mm 銅版画／**4.** 畑まどか「ICE」H765×W557mm スクリーンプリント／**5.** ささきえり「Death」H900×W606mm 銅版画／**6.** 齋藤僚太「静寂」H300×W200mm 木口木版／**7.** ヘンミモリ「collectionism-präparat- 治癒／水玉菌」H350×W700mm(各350×350mm) スクリーンプリント／**8.** 小野早菜子「女図鑑」H440×W440mm(各220×220mm) 木版画／**9.** 森岡麻美「いつもの事」H300×W600mm 銅版画

8

6

彫刻コース
SCULPTURE

1. 沓沢佳奈「私の心地よい感覚Ⅰ、私のベッドと椅子」土･芝･ほか ミクストメディア／ **2.** 靍久鉄男「透過する奥行」H1900×W400×D500 グル―ガン／ **3.** 大井綾香「水の底」H1500×W600×D500mm 楠、アクリル絵具／ **4** 東海林史恵「壊れることのない電球」金彫／ **5.** 林拓也「歴史の断片「捕食」H1550×W1100×D2300mm 楠欅／ **6.** 松谷みき「fino del questomondo」焼物彫刻／ **7.** 瀬戸志保「焔」H2700×W1000×D600mm 御影石

1

4

2

5

5

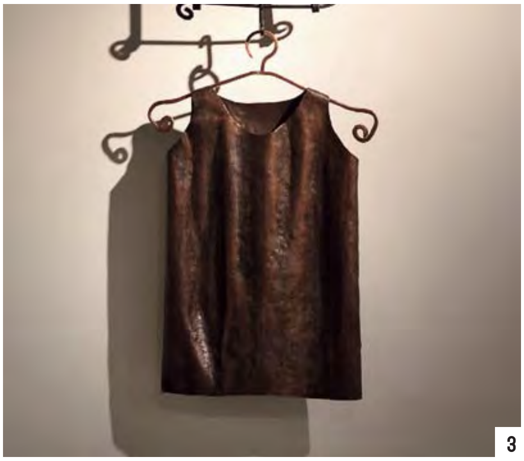
7

6

3

4

2


3

1

8

7

6

工芸コース
CRAFTS

1. 五月女晴佳「丹頂鶴 ―花器―」H1150×W180×D250mm 麻布、木材漆、卵殻、乾漆粉、金粉、竹／ 2. 佐藤智美「夢見た畑の収穫祭」H250×W200×200mm 陶土／ 3. 伊東なつみ「追憶」H800×W580×D100mm 銅、鉄／ 4. 安藤玄太「灯火と共に」H880×W920×D920mm 陶土、鉄、真鍮、蜜ロウソク／ 5. 渡邉友香「自然から得るものとは」H170×W250×D170mm 陶土／ 6. 古市壽賀子「光のみちしるべ」W1100×D150×H1100mm 漆、麻布、青貝、金属粉／ 7. 小野知里「花筥」H30×W150×D150mm 黒味銅、白四分一、上四分一、並四分一、銅、銀950、漆／ 8. 堀瑞希「あなたに贈る色に、春のまぼろし、夏のかがやき、秋のぬくもり、冬のきらめき」H50×W75×D55mm、H35×W85×D75mm、H40×W50×D110mm、H50×W50×D50mm 純銅、純銀、七宝釉薬／ 9. 高妻留美子「なんでもない風景」H1720×W900×D900mm 陶土、鉄

9

6

1

7

5

2

テキスタイルコース
TEXTILE

1. 伊藤早樹子「ヒッキー山荘」H2800×W5000×D4300mm（立体）、W8200×D6700mm（平面）ミクストメディア／**2.** 武田瀬里香「素」サイズ可変 竹（芸工大の竹）／**3.** 吉田紗央里「of/by/for/me」H3000×W2000×D2000mm サテン、針金、刺繍糸／**4.** 大滝葵「ciculation」H2000×W2000×D450mm 古着、糸／**5.** 及川由里恵「擁する楔」H4000×W4000×D630 羊毛／**6.** 内藤春菜「てのひら」H750×W2100×D2100mm／**7.** 石川遥「運ばれていくもの」H7000×W2500 キャンバス地、蝋、染料／**8.** 菅原愛佳「die Füße」H3000×W3000×D3000mm 羊毛

3

8

4

全学教養科目／全学専門科目

GENERAL EDUCATION

身体と心で感じ、考え、
豊かな４年間にする。

基礎科目

「基礎英語」や「基礎国語」、「基礎数学」、「基礎物理学」、「基礎化学」は、不得意分野を不安に思う新入生が、大学での内容を円滑に学修できるよう設定している科目です。事前にプレースメントテスト（学力判断テスト）を行なうため、自分の理解度や弱点分野を確認した上で受講内容を決定できます。

視野を広げる科目群

教養科目は、幅広い視野を持つと共に、社会人としての知的好奇心と批評思考、課題を発見し解決する能力の育成に重要な役割を果たします。 自分の専門分野のほか、卒業後の就職や進学の目標、自分の弱い分野を補うためなど、様々な科目を積極的に学び、より豊かな４年間を自ら組立てていきます。

芸術デザイン基盤／思考基盤科目

芸術とデザインの各自の分野で制作研究活動を進めていく中で必要となる、芸術的教養や、関係する幅広い分野の知識を身につけることが目的です。 また、専攻する学科コースを越えて共通に持つべき基礎的な概念や考える方法について理解を深め、人間と社会を深く理解するための基礎を身につけます。

学習基盤科目

建学理念のほか、想像力と創造力の社会や平和への貢献に関する科目を開講。 また、大学生活と学習法にスムーズに溶け込むための大学入門「教養ゼミナール」、身体表現から体の動きとメカニズムを理解し、創作活動に展開する「身体知入門」などがあります。 就職にも有利な英語のTOEICを、学内で受験可能です。

教養展開科目

学科の枠を超えた横断的テーマに取組む学生などを対象に、課題発見や分析、コンセプト作成など、考える方法や基本的な概念を応用する技法を習得します。 専門講義科目のほとんどを履修することができ、異なる専門を学ぶことで、様々な考え方や知識、技術と出会い、幅広い教員や学生との交流も可能です。

キャリア科目

卒業後、自分はどのように生きるのか、どんな人生を歩むのかを探求することがキャリアデザインです。 卒業後の希望進路を実現させるために、1年次から段階的に自らの将来を展望し、社会で必要とされる人材や能力を理解しておくことが必要。 進路を考えるキャリア関連授業科目を１年次から開講しています。

全学教養科目

学年		1	2	3	4
基礎科目③		基礎英語 基礎数学 基礎国語 基礎物理学 基礎化学	①「芸術平和学」「教養ゼミナール」「コンピュータ基礎演習」「体育運動学演習」は必修。 ②「デザインコンピュータ演習」は芸術学部学生のみ履修可能。 ③基礎科目「基礎英語」「基礎数学」「基礎国語」「基礎物理学」「基礎化学」は卒業要件に算定されない。 ④教養展開科目、単位互換科目は卒業要件に算定される。		
学習基盤科目	理念科目	芸術平和学①			
学習基盤科目	大学入門	教養ゼミナール① コンピュータ基礎演習① 論理思考入門			
学習基盤科目	大学入門	大学生の文章表現			
学習基盤科目	大学入門		ロジカル・シンキング・ライティング		
学習基盤科目	身体知入門	体育運動学演習①			
学習基盤科目	身体知入門	身体表現			
学習基盤科目	言語表現	初級英語 中級英語 上級英語 最上級英語 進学のための英語 英語（Speaking/Writing） 英語（Listening/Reading） 英語（総合）初級中国語１・２ 中級中国語１・２ 初級フランス語１・２ 中級フランス語１・２ 初級ドイツ語１・２ 中級ドイツ語１・２ 上級ドイツ語１・２ 初級ハングル１・２ 中級ハングル１・２ 初級イタリア語１・２ 中級イタリア語１・２ 外国語短期留学プログラム			
学習基盤科目	言語表現	日本語１・２ ※留学生のみ			
芸術デザイン		知的財産論 現代芸術論 美術史入門 芸術色彩学 工芸史 歴史遺産学総論 コンテンツ文化史 アート・デザイン史論 メディアアート論 建築環境概論 世界遺産総論 版画史 広告ビジネス基礎 メディア概論 西洋建築史 生活とグラフィックデザイン 芸術心理学			
芸術デザイン			東洋美術史 西洋美術史 現代美術史 インテリアデザイン特講 日本建築史建築と歴史と自然 映像文化史 デザインコンピュータ演習② 美学 色彩学		
芸術デザイン				アートマネジメント概論	
思考基盤科目		初級線形代数 初級微分積分 線形代数学 化学概論 物理学概論 地球科学概論 地球環境特論 生物学 心理学 統計学 東北と自然環境 臨床心理学 ゲーム理論 情報技術論 健康科学論 科学史 倫理学 哲学 哲学各論 記号論 社会統計学 宗教学 比較文化論 文化史 若者文化論 多性研究 日本国憲法 経済学概論 政治学 国際政治学 法学 社会調査法 社会学 情報学 文化人類学 日本近代史 プロジェクト型演習１～８ 特別教養講座１～８			
キャリア科目			キャリア形成論１・２		
教養展開科目				課題研究ゼミナール	
教養展開科目		実験演習			
単位互換科目		他大学の単位互換制度で取得した科目は、単位互換科目として、リベラル・アーツに加算されます。			

全学専門科目

学年	1	2	3	4
文化財保存修復※1	保存修復基礎科学１　文化財保護法			
文化財保存修復※1		保存修復基礎科学２　日本近代近世美術史　平面修復論　立体修復論　埋蔵文化財保存学		
文化財保存修復※1			保存科学特講　保存修復技法特講　日本美術史特講 文化財環境・材質特講　西洋美術史特講	
歴史遺産	東北学Ａ～Ｃ　考古学概論　地誌　日本史概論　東洋史概論　西洋史概論　地理学概論　社会文化環境論　民俗・人類学概論　アジア文化論			
歴史遺産		民俗・人類学特講Ａ・Ｂ　考古学特講Ａ・Ｂ　生業技術論　歴史学特講Ａ・Ｂ		
美術	美術解剖学　工芸論　デッサン初級			
美術		素材学（日本画）　素材学（洋画）　素材学（版画）　素材学（彫刻）　衣服論　染色論 先端的コンテンツとアートシーン		
文芸	文芸論１～４			
文芸		文芸論５～６		
文芸			ゲームシナリオ構築　エディトリアルデザイン論	
プロダクトデザイン	プロダクトデザイン入門　プロダクトデザイン論１　材料加工技術論　インタフェースデザイン論　応用人間工学			
プロダクトデザイン		インテリアデザイン論　プロダクトデザイン論２		
建築・環境デザイン	建築構法　都市計画　風土形成論			
建築・環境デザイン		建築設計論　エコロジカル建築論　エコロジカル地域論　サステイナブルコミュニティ　インテリア設計論 建築デザイン論　都市空間デザイン　建築設備　地域づくりの実践　生態学基礎　風景の計画　構法デザイン		
建築・環境デザイン			建築計画　建築材料　建築施工　建築法規　生態空間デザイン ポストモータリゼーション　リノベーション建築論	
グラフィックデザイン		コミュニケーションデザイン		
グラフィックデザイン			近代モダニズムとグラフィックデザイン 最新メディアとグラフィックデザイン 文字とグラフィックデザイン	
映像	映画史　写真史　アニメーション史			
映像		映像プランニング概論　画像処理論		
企画構想	企画表現論　場所文化研究　インターネットビジネス論			
企画構想		ベンチャービジネス基礎　マーケティング基礎　ブランドデザイン　コピーライティング　都市人物研究 ロジカルライティング　言語表現研究		
企画構想			ソーシャルデザイン論　現代企業研究　ベンチャービジネス実践	
教職課程	障害者・高齢者の心理と福祉　教育学研究４（子供の学びと遊び）			
教職課程	※ この区分は教職課程に所属する学生のみが対象となる。	教育学研究１（子供の心理）　教育学研究３（児童問題）　教育学研究２（障害者の病理・心理・教育） 教育学研究５（環境教育）		

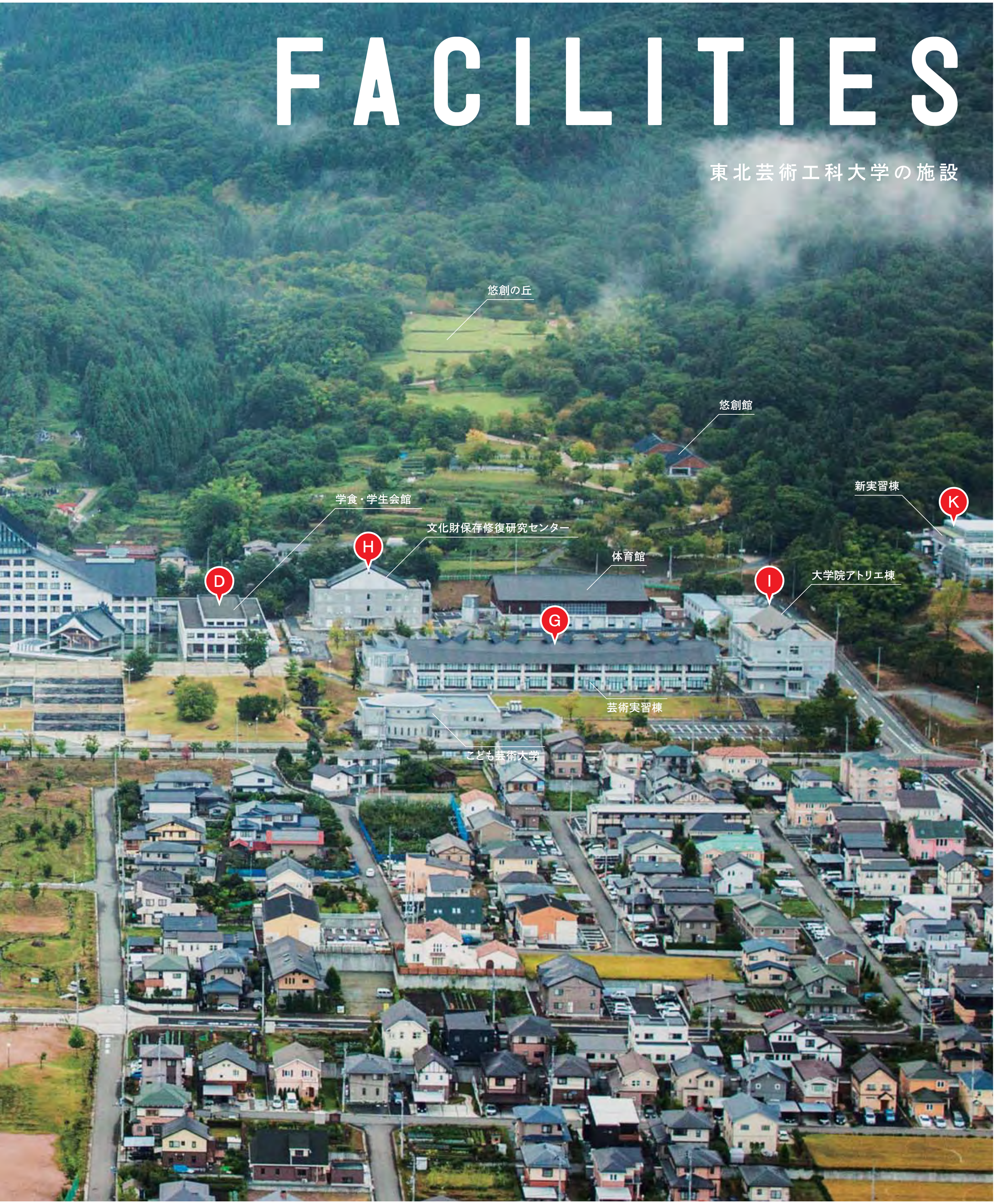
※1 名称変更届出中／※2013年度のもので、2015年度開講科目とは異なる場合があります。
※一部、文芸学科の履修科目とは異なる箇所があります。

全学教養科目／全学専門科目

各学科コースが設定するカリキュラムに加えて、全学生は左記の授業を履修できます。

FACILITIES

東北芸術工科大学の施設



自然を背景に
ソウゾウリョクを育む

雄大な自然に囲まれた、開放的で自由な雰囲気が漂う、南北約１kmの広いキャンパス。三角屋根の本館を中核に、芸術学部、デザイン工学部の施設が集結。充実した学生生活を送る環境が整っています。

大学本館とその周辺

2

3

1

5

4

7

6

10

9

8

A 本館周辺

1 正面の芝生の丘は山形市を一望できて夕日も奇麗。天気の良い日はお弁当を食べる学生の姿も。

2 本館前の池に浮かぶ能舞台「伝統館」。薪能を毎年開催するほか、学生によるイベント会場にも。

3 仙台—上山間の高速バス、山形駅前行きのバス、通学バスの停留所がある芸工大前バスプール。

B 本館

4 本館最大の201講義室には約450名の学生が着席可能。大きな講演会などはこちらで開催。

C 図書館

5 図書館1階の窓際には学習机と個人ブースが。期末試験の時期は集中時間を求めて満席状態に。

6 図書館1階入口には芸術デザイン系の雑誌コーナーも。書店の立読みと違ってゆっくり読めます。

7 図書館の東側には農業体験の畑と古民家が。教養や、建築・環境デザイン学科の演習などで利用。

D 学食・学生会館

8 学生会館1階には幅広い画材や素材、生活雑貨の販売と、大判印刷が可能な売店「彩画堂」。

9 リーズナブルな価格と美味しいメニューが自慢の学食。日替わりランチや季節限定メニューも。

10 2階にはパンや軽食、お菓子類を扱うカフェが。パンを買って芝生の丘で食べるのもアリ。

デザイン工学実習棟と芸術実習棟

11

12

13

E デザイン工学実習棟A

11 演習室が並ぶデザイン工学実習棟A（右）と教員研究室があるデザイン工学研究棟A（左）。

12 デザイン工学実習棟Aの2階、建築・環境デザイン学科の広く開放的なジュリールーム。

14 プロダクトデザイン学科の演習室。よりよい環境のために改修をし、デザインスタジオの様に。

F デザイン工学実習棟B

13 学科コース毎に専門ソフトが入ったMacなどのパソコンを完備。写真は映像学科のもの。

15 デザイン工学実習棟Bの1階にある、東北でも最大級のサイズを誇る映像学科の撮影スタジオ。

16 撮影スタジオの向かいには、中規模の映画館と同等の広さと設備を備えた試写室があります。

17 2階のグラフィックデザイン学科のギャラリー。壁面のほぼ全てがホワイトボードなのが自慢。

14

15

16

17

19

18

20

18 デザイン工学研究棟には屋根付きの中庭があり、講評会や大きな作品の制作などにも利用。

G 芸術実習棟／芸術研究棟

19 学生のアトリエが並ぶ芸術実習棟（右）と教員のアトリエ兼研究室がある芸術研究棟Ａ（左）。

20 芸術実習棟1階には日本画コースの畳敷きの演習室があり、古典模写や金箔自習などを実施。

21 日本画コースでは1年次からアトリエが与えられ、じっくり制作に取組むことができます。

22 学年が上がるごとに一人が使えるアトリエの空間が大きくなり、大作にも挑戦可能です。

23 版画コースには銅版画、木版画、シルクスクリーンの技法に合わせた演習室をそれぞれ準備。

24 広い制作スペースが自慢の洋画コース。高い天井一杯にカンバスを広げ、制作に打ち込めます。

22

21

24

23

新実習棟や附置研究センターなど

25

26

27

28

29

30

31

32

H 文化財保存修復研究センター

25 地域の文化財のレスキューセンターとして機能している、文化財保存修復研究センター。

28 センターの1階には大きな立体作品の修復も行なえる修復室のほか、レントゲン室なども。

29 歴史遺産学科の演習室の一つもセンターの1階に。土器や作業台が学習意欲をかき立てます。

30 センターの3階には西洋絵画と東洋絵画の修復室と、機器分析室や保存化学研究室があります。

I 大学院アトリエ棟

26 大学院アトリエ棟。日本画や洋画を専攻する大学院生が制作に取組む広いアトリエ空間です。

31 美術科共通の演習や卒業制作などで大きな空間が必要な時は、学部の学生が使用する場合も。

J 大学院棟

27 企画構想学科の演習室が入る3階建ての大学院棟。かつて大学院生の研究室が入っていました。

32 アイデアを楽しく引き出せるような仕掛けが施されている、企画構想学科の演習室。

K 新実習棟A、B、C／芸術研究棟B、C

33 工芸コースの金属アトリエ。大きな空間に溶接機や工作機械が並びます。

34 プロダクトデザイン学科の木工室。成形合板家具用のプレス機などで本格的な家具に挑戦可能。

34

33

37

36

35

39

38

35 染料を煮るガス台や乾燥棚が並ぶテキスタイルコースの染色室。その隣には織ニット実習室も。

36 工芸コースの登り窯は、学生がレンガを積み上げた力作。大量の作品を一気に焼成できます。

37 工芸コースの窯場。人が入れるほど大きなガス釜や、手頃な電気釜まで数種類を完備。

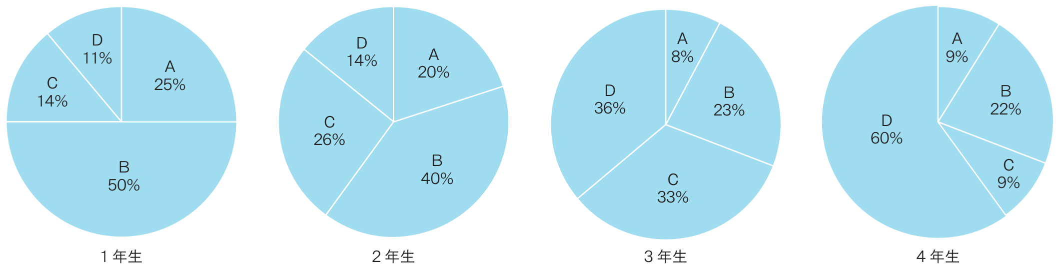
38 彫刻コースの石彫アトリエ。数トンはある大きな石に挑むべく、クレーンや砕石機なども。

39 彫刻コースの木彫アトリエ。道具や機器が並ぶ高い天井の空間には温かな木の香りが漂います。

TUAD CAMPUS LIFE

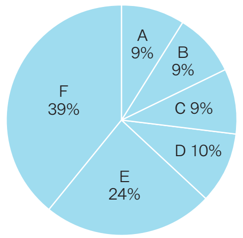
「芸工大での学生生活ってどんな感じなの?」という人にぜひ見てほしい、学生たちの日々の暮らしや心の中。ここでは、先輩たちが普段、何を考え、どんな思いで制作に取り組んでいるのかを公開しちゃいます。　※学年は、取材時のものです。

授業以外で、平日の勉強や制作に費やす時間は？



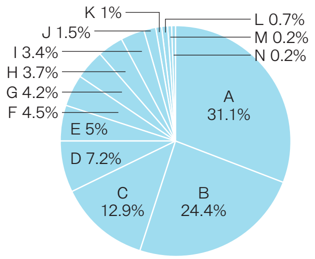
A ほとんどしない
B 1～2時間
C 3～4時間
D 4時間以上

帰宅の時間帯は？



A 17時～18時
B 18時～19時
C 19時～20時
D 20時～21時
E 21時以降
F 不規則／未定

2012年度入学者の出身地域割合



A 山形県
B 宮城県
C 関東地方
D 福島県
E 中部地方
F 岩手県
G 北海道
H 青森県
I 秋田県
J 高卒認定・外国
K 九州・沖縄
L 近畿地方
M 中国地方
N 四国

生活データ（お金編）

自らの夢や目標に向かいながら、充実した生活を送る学生たち。山形は家賃相場がとてもリーズナブルな上に、大学周辺には学生向けアパートやアルバイト先も豊富。賢く安心して暮らせる環境が揃っています。

仕送り（家賃も含む）

29%	4万円未満
22%	4万円～6万円
19%	6万円～8万円
15%	8万円～10万円
11%	10万円～12万円
3%	12万円～14万円
1%	14万円以上

（1ヶ月）

仕送りの金額は4万円未満で約3割、半数以上の学生が6万円未満で、不足分はアルバイトや奨学金で補っています。

家賃（光熱費含まず）

1%	2万円未満
4%	2万円～3万円
36%	3万円～4万円
41%	4万円～5万円
14%	5万円～6万円
4%	6万円以上

（1ヶ月）

山形の家賃は3万～5万円が一般的。大学入学予定者への住居紹介制度もあります。周辺は住宅街で、学生向けのアパートが沢山あります。

生活費

47%	6万円未満
28%	6万円～8万円
15%	8万円～10万円
8%	10万円～12万円
1%	12万円～14万円
0%	14万円以上

（1ヶ月）

6万円未満で生活している学生が半数近く。生活費を抑えた分を交際費や作品制作・研究費に充てているようです。

STUDENT SNAP

3

1

2

1.（右）五十嵐 麻美、（左）筒井 薫子/グラフィックデザイン学科/3年/（五）Forest Hills Northern High School、（筒）宮城県仙台二華高等学校/①課題制作のための資料を見ていました。/③（五）目標は、デザインを勉強してデザイナーになること。（筒）とにかく美術大学に入ること。

2. 伊東 千紘/洋画コース/4年/福島県立福島西高校/①アトリエで自分の背よりも大きい作品を描いていました！/②美術部/③画家になること。/④絵で食べていくこと。/⑤自然豊かで季節によって景色が全然違うところ。/⑥絵の幅を広げたいから。/⑦くまもんが白目の中で目を閉じれること。 小山先生教えて！

3. 金澤 馨/美術史・文化財保存修復学科/2年/北海道札幌月寒高等学校/①文化財センターの４階。立体修復演習で仏像の蓮弁を作っていました。/⑤芸工大の学食はおいしくて好きです。 ⑥他の学校に比べ設備が圧倒的に豊富だったから。/⑦関東調査演習で見た東博やサントリー美術館の漆の工芸品がずっと気になっています。

TUAD CAMPUS LIFE

6

4

8

7

5

6.（右端）阿部 真璃藻、（右中）越中 亜寿美、（左中）堀 瑞希、（左端）古田 航平/工芸コース/主に３年/（阿）山形県立鶴岡北高校、（越）秋田公立美術工芸短大附属高等学院、（掘）山形県立酒田西高等学校、（古）新潟商業高校/①4コマ目の演習の前に、工芸の金工室で友人たちと談笑していたところ。/②（越）バスケ部、彫金部/④（堀）恋してもらえる作品を作って、ごはんを食べていける作家になりたい。/⑤（阿）静かなところ/⑥（古）ものづくりがしたかったから。

4. 高橋 侑弥/建築・環境デザイン学科/2年/仙台市立仙台高等学校/①建築・環境デザイン学科の演習室で店舗設計の授業/②バレーボール部/③建築関係の仕事につきたい。/④ショップのデザインをしたい。/⑤人が少ないところ/⑥インテリアも勉強したかったので他の大学ではなく芸工大を選びました。/⑦けん玉

8. 梅村 卓実/プロダクトデザイン学科/4年/福島県立安積黎明高校/①新実習棟の木工室で木製振り子時計の制作（卒業制作）/③社会人になるまでに何かすごい物を作ること/⑤でかい工房があること。/⑥からくりや木工製品をはじめ色々なデザインの勉強がしたかったので。⑦社会人生活についてと、卒制の完成。

7. 高橋 さとみ/工芸コース/3年/岩手県立盛岡第四高等学校/①釉部屋で自主制作のマグカップに釉薬をかけているところ。/③部活一本!! できるだけ上の大会に行きたい!!/⑥物づくりが好きだったから。/⑦夏休みに海外（インド、カンボジア、ベトナム）に行っているので海外旅行に行くことと。山のぼり。

5. 佐藤 麻衣/企画構想学科/3年/山形県立山形北高等学校/①学科の演習室でゼミの課題をしていました。/②音楽部（合唱）です。/③音楽に関する職業をすること、楽しく生きること!/④おもしろい企画を考える人になること! そして、楽しく生きること!/⑥フィーリングです（笑）何か楽しいことができる気がしました。

QUESTION

① 今いる場所についてと、ここで何をしていたかを教えて下さい! ②高校時代に在籍していた部活を教えて下さい!③高校時代の夢や目標は何でしたか? ④今の夢や目標は何ですか? ⑤芸工大か山形の好きな部分を教えて下さい! ⑥芸工大と在籍学科・コースを選んだ理由を教えて下さい! ⑦今、個人的に気になっていることを教えて下さい!

11

9

10

9. 松田 崇弥 / 企画構想学科 / 4年 / 岩手県立大野高等学校 / ①卒制の打ち合わせが終わり、愛車でアパートに帰るところ。 / ③インターハイに出場することです!! / ④企画構想学科の教授になりたいです。 / ⑤キャンプ、バス釣り、自然を使って何でも出来る。 / ⑥人生の楽しみ方を教えて貰いたくて企画構想学科を選びました。

10. 伊藤 里美 / 彫刻コース / 2年 / 千葉県立幕張総合高等学校 / ①これから授業課題をやろうとしていました。 / ②CIA（漫画研究）/ ③とにかく美術をずっと続けたい。 / ④沢山の人に作ることの楽しさを知ってもらいたい。 / ⑥芸工大は学費が他の美大に比べて安かったので。 彫刻は高校の時に興味を持ち、是非挑戦したかった。

11. 星名 理穂（右）、星名 美希（左）/ 洋画コース / 3年 / 千葉県立松戸高等学校 / ①洋画の演習室でドローイングの課題をしてバスで帰る途中でした。/ ②2人ともアート部でした。/ ③（美）絵を描く仕事。（理）カフェを開いて友だちや自分の絵を飾る。 ⑤（美）空が低くて広いところです。（理）のどかなところが好きです。

15

13

12

16

14

15. 林 崇聖（Ran Chonsen）/プロダクトデザイン学科/4年/Chinese High school Batu Pahat/①4年生教室で卒業制作のクレーモデルを作っています。③高校生時代から物作りと車が大好きで、車のデザインを通して人の生活を良くすることが夢でした。⑦今までの作品をまとめてHPを作っています。ご期待ください！

13. 千葉 朱莉/プロダクトデザイン学科/1年/岩手県立水沢工業高等学校/①学食の 2階でドーナツを選んでいたところです。/②ソフトテニス部/③自立した女性になること。/④デザイナーになること!!!!!/⑥高校時代に学んでいたことをより深められると思ったので。/⑦あたためたロッテのチョコパイ♥

12. 川端 成美/プロダクトデザイン学科/3年/群馬県立伊勢崎高等学校/①プロダクトデザイン学科の準備室で就活メールのチェック。/②美術部、JRC部/③病院の事務員/④たのしいことをつくる人/⑤おそばがおいしい/⑥いろいろな分野のことができるから。/⑦20才になった神木隆之介くんがお酒のCMをやるかどうか。

16. 茅原 ゆきの/グラフィックデザイン学科/4年/栃木県立石橋高等学校/⑥芸工大を選んだのは、地域と関わりながら実践的なデザインができると感じたからです。⑦東北の文化が気になります。山伏の方の案内で月山登山したり、岩手の南部鉄器の工場を見学に行ったりしました。物語のあるものに惹かれています。

14.（右）上遠野 里香、（中）瀬川 千晶、（左）里村 亜璃紗/日本画コース/4年/（上）明秀学園日立高等学校、（瀬）八千代松陰高等学校、（里）千葉県立松戸高等学校/①これから研究会があるので、その話と、これから卒制をどうしようかね、と話していました。/②（上）美術部（瀬）ギター部（里）美術部/③（里）鳥類学者になること！/④（瀬）卒制をしあげること。/⑤（上）いろいろありすぎて…食、人、季節、全部良い。/⑥（里）高校の授業で日本画を初めて学んでからほれて、芸工大とのつながりがあったのでそのまま受験することに決めました。/⑦（瀬）学食前にいた子描が気になる。

QUESTION

① 今いる場所についてと、ここで何をしていたかを教えて下さい！②高校時代に在籍していた部活を教えて下さい！③高校時代の夢や目標は何でしたか？④今の夢や目標は何ですか？⑤芸工大か山形の好きな部分を教えて下さい！⑥芸工大と在籍学科・コースを選んだ理由を教えて下さい！⑦今、個人的に気になっていることを教えて下さい！

最善の選択と自分だけの空間コーディネート

オススメスポット
麺辰 A

芸工大のすぐ近くにあるラーメン屋さん。 いつも多くの人で賑わっていて、大学の先生たちもよくいくほどのうまさ。

日常スナップ
Argent Art Gallery

オーダーメイドもやっているシルバーアクセサリーショップ。 スタッフの人も親切に相談に乗ってくれるのでオススメ。

スケジュール

	0	21	18	15		12		9 / 6
多忙	ねる	課題や読書	バイト	授業	授業	学食	授業	起床準備
普通	ねる	課題や読書 気が向いたら写真を撮る		授業		昼食	授業	起床準備
休日	ねる	友人達と遊んだり食事へ		サークル		のんびり過ごす		起床準備

熊谷　聡太	文芸学科２年
山形県立高畠高校	徒歩で１０分

学生のうちに挑戦出来る事を時間のあるうちにいっぱいやりたい。 となると自炊や通学にかける時間を最小限に減らす。 そう思って選んだのが下宿。 自分だけの本に囲まれた空間と人と関われる空間が自分にとって一番の空間。

1

仙台と山形の往復で、あっという間の毎日

オススメスポット
ドラゴンカフェ B

お洒落で広々とした店内なので居心地が良いです。 ドリンクが充実していてフードの味も抜群ですよ。 ランチにも飲み会にも使えます。

日常スナップ
鍋パーティー

一人暮らしをしている友人宅にて毎年恒例の鍋パーティー。 10人という大所帯ですが、楽しくわいわい女子会をしています。

スケジュール

	予定（左から 0・21・18・15・12・9・6 時）
多忙	ねる ／ ごはん風呂 ／ 帰宅 ／ 居残り制作 ／ 演習 ／ 授業 ／ 昼食 ／ 授業 ／ （空白） ／ 出発
普通	ねる ／ 自主制作 ／ ごはん・風呂 スマホ・テレビ まったり ／ 帰宅 ／ 演習 ／ 授業 ／ 昼食 ／ （空白） ／ 起床準備 ／ （空白）
休日	ねる ／ おうちで自由に ／ カフェでおしゃべり ／ 古着屋さん巡り ／ 友達とランチ ／ 起床準備 ／ （空白）

鶴岡　季歩	グラフィックデザイン学科 ２年
宮城県仙台三桜高等学校	JR と高速バスで 90 分

全体的にアジアンテイストな部屋です。 高校生の頃に描いたアクリル画や大好きな作家さんの作品などが飾られた美大生感満載の空間に身を置いています（笑）。 また大好きな音楽を常に聴ける環境に整えています。

2

オススメスポットの場所は 188 ページの地図に記載しています。

学生への取材と原稿制作は、文芸学科1年の長谷部葵さんと松本春菜さんに協力してもらいました。

部屋のなかに詰め込んだ自分だけのアトリエ

齋藤　綾子	美術科 洋画コース 2年
宇都宮商業高校	自転車で 10 分

3

制作取材の為に必要な物と自分の好きな物を詰めこんで一点集中させた自分だけの空間。何かを生み出しながら外へと繰り出す自分自身のスタイルの為には、この絵の具がついた部屋は欠かせない大切な相棒の様な大切な存在。

オススメスポット C

温泉

八百坊、臥龍温泉など、徒歩で行ける距離に温泉があります。お風呂が寒さで凍結しても安心ですよ。

日常スナップ

屋外でのデッサン

仙台の動物園、山の中など、外でのデッサンが山形は楽しいです。一人になりやすい環境が多く、たまに地域の方が声を掛けてくれます。

スケジュール

0　21　18　15　12　9　6

ねる	バイト	授業	ごはん	授業	起床	ねる			多忙
ねる	課題をやる 映画見たり	自主制作	ごはん	授業	ごはん	授業	起床	ねる	普通
ねる	身支度	ごはん	伊藤若冲を見に仙台へ	移動	起床（ねぼう）	ねる			休日

こだわらずとも創造性溢れる自分空間

大木　琢磨	企画構想学科 1 年
山形県立米沢商業高校情報ビジネス課	電車とスクールバスで 80 分

4

米沢からの通学は大変だけれど、電車やバスの中も貴重な創作時間。疲れた自身を迎えてくれるのは窓からのぞく吾妻山と昔から変わらない自分の部屋。インテリアに手を加えずともそこはどこよりも落ち着く自分空間。

オススメスポット D

Daizy café

昼はカフェで夜はバー兼ライブハウスになるお店。店内の雰囲気も凄くよくて、つい長居をしてしまうことも…。

日常スナップ

有賀先生のチュートリアル

毎週一回、活動テーマを元に様々な学科の先輩や友だちと活動。時々お菓子の差し入れもあり、和気藹々とした雰囲気のチュートリアル。

スケジュール

0　21　18　15　12　9　6

就寝	課題	授業	授業	昼食	授業	通学	多忙
就寝	音楽を聴く ネットサーフィン	チュートリアル 図書館で読書	授業	昼食	授業	通学	普通
就寝	読書 ドライブ 音楽を聴く など		授業	昼食	起床 準備	起床 テレビを見る	休日

5 季節を楽しめる眺めの良い四階の部屋

本間　かりん	歴史遺産学科 2 年
山形県立鶴岡北高校	スクールバスと徒歩で 30 分

買い物も通学にも便利な駅近くの四階の一室。 広々としたベランダで夏は涼みながら物思い。 冬は床に敷いたラグに包まれながら過ごしつつ山の向こうに沈んでいく夕日に見とれる。 季節それぞれの楽しみ方がある部屋。

オススメスポット E
いつもの場所

七日町にあるカフェです。 学生には高いけど料理はとってもおいしい！ 店員さんもとても気遣い良く、素敵なお店です。 女子会にぜひ（笑）

日常スナップ
ウサギ狩り

学科の関係でウサギ狩りに参加。 命のありがたみと自然界の厳しさ等を直に感じてきました。 狩りの後のおにぎりが人生で一番美味しかった！

スケジュール

（6 → 9 → 12 → 15 → 18 → 21 → 0）

多忙	気合いで起きる／授業／学食／授業／課題とか／風呂 ネット テレビ等／寝る
普通	寝る／起きる／授業／学食／授業／風呂 ネット テレビ等（友人と深夜までスカイプも）／寝る
休日	寝る／2度寝 目覚める／家事（洗濯 掃除等）／街を散策したり 友達と遊んだり／絵を描いたり…／寝る

---

6 車をフル活用！ フットワークの軽い生活

栗原　直史	建築環境デザイン学科 3 年
山形県立山形工業高校	車で 20 分

車通学なのでバスの時間に縛られず、自由な移動が可能です。 よく友達を乗せてランチに出掛けたり、時には県外のライブや展示を観に行く事も。 演習で作った大きめの模型を運搬できたりするのも羨ましがられます。

オススメスポット F
西蔵王

大学から車で数分で到着します。 夜になれば柔らかな灯りが広がる山形市を一望できます。 写真は昼ですが、夜景がオススメです。

日常スナップ
ライブ

軽音サークル、ジャズ研究会で定期的にライブを行っています。 校外のスタジオで開催することも。（写真は大学近くのサンセットスタジオ）

スケジュール

（6 → 9 → 12 → 15 → 18 → 21 → 0）

多忙	就寝／起床・準備／通学／授業／ゼミ／昼食／演習／自主制作／帰宅・夕食 入浴／自主制作 ← 朝方まで
普通	就寝／起床・準備／通学／読書／自主制作／昼食／講義／自主制作（友達と話しながら）／サークル／帰宅・夕食 入浴／まったり／就寝
休日	就寝／起床 まったり／車で仙台へ／服やCDを見る／ライブを観る！／夕食／帰宅／入浴／就寝

オススメスポットの場所は 188 ページの地図に記載しています。

好きな物とやりたい事を詰め込んだ自分空間

石羽澤　夏希	プロダクトデザイン学科１年
宮城県仙台三桜高校	徒歩で１５分

7

初の一人暮らしにホームシックになったりもするけれど、最近はインテリアに凝って少ない出費で真っ白なタンスをシールでアレンジしてみたり、料理に挑戦したり。 大学で作った物を使って忙しさをより充実させる部屋。

オススメスポット

近所

私の住んでいるアパート周辺は、ツタヤ、ツルハドラッグ、コンビニなどが集まっていてとても便利です。 銀行と郵便局も目の前。

日常スナップ

農ゼミ

前期の農ゼミでは野菜をたくさん育てました！ 自分たちで一から世話をした野菜たちは、美味しさもひとしおです。

スケジュール

	0 → 21 → 18 → 15 → 12 → 9 → 6
多忙	自由時間 / 課題・読書 / 入浴など / 料理 夕食 / 演習 / 昼休み / 授業 / 朝食・身支度 登校 / ねる
普通	ねる / 自主制作 / 入浴など / 料理 夕食 / 演習（図書館で課題や読書） / 授業 / 朝食・身支度 登校 / ねる
休日	ねる / 課題・読書 / 入浴など / 課題 / 料理 夕食 / バイト / 朝食 身支度 登校 / ねる

シンプルな部屋でも自分らしさを

小田桐　孔誌	文化財保存修復学科２年
青森県立黒石商業高校	徒歩で２０分

8

家具を置かず、すっきりと整理されたモダンな部屋。 さりげなく置いてあるのはガチャガチャで取った「遮光器土偶」。 今に繋がるきっかけにもなった、そんな自分らしい小物と共にゆったりと過ごせる空間。

オススメスポット

とんかつ竹亭

山形市に来て初めて入った飲食店です。 とんかつも大きくボリュームがあり、男性は満足できると思います。 女性にはカロリー高めです。

日常スナップ

平泉

平泉が世界遺産として登録されたことを機に、旅行で足を運びました。 その時に毛越寺の庭園がとてもキレイだと思い、撮影した写真です。

スケジュール

	0 → 21 → 18 → 15 → 12 → 9 → 6
多忙	就寝 / TV・読書 イラストを描く / 食事 / 授業 / 授業 / 授業 / 起床 準備 / ねてる
普通	就寝 / TV・読書 イラストを描く / 食事 / 図書館で勉強・読書 / 授業 / 授業 / 起床 準備 / ねてる
休日	就寝 / 勉強をする / 食事 / 書道をする（通信教育） / TVを見る 食事 / 起床 準備 / ねてる

買付から責任をもっておいしいものを届けます。

美味しくて、ボリューム満点。しかも安い。そんなクチコミで一般の方も多く訪れるほど評判なのが、芸工大の学食です。その料理を支えているのが、良い食材を入手するためにシェフの長田さん自らが毎日続けている市場での買付け。「旬のものが一番ですから、自分の目で確かめて仕入れています。社会に出て過ごしていく中で、ふと学食の料理は美味しかったな、と思い出してもらえたら嬉しいです」。その言葉通り、つけあわせに至るまで新鮮な野菜が使われ、中には学食とは思えないほどのこだわりメニューも。また、昼食以外に朝食と夕食も授業期間中は提供しており、学生達の学ぶ意欲を心と胃袋の両面からサポートしています。

学食は、今日も学生たちで大にぎわい。

塩ラーメン

サッパリした味付けが好きな人にオススメ。お好みで酢を加えると更にスッキリ。(370円)

C ランチ

A/Bランチはちょっとボリュームが多いかな、という人向けの手頃なCランチ。鍋や炊き込みごはんなど季節もののメニューも。(370円)

朝定食(和 / 洋)

7:30 〜 9:00 に提供している定食は和食と洋食の2種類。元気な1日の始まりは美味しい朝ご飯からです。(200円〜 250円)

坦々麺

ちょい辛コクありスープが決め手!鶏そぼろとの相性バツグン!麺もモチモチ。(370円)

夕定食

5コマ目の授業が終わるのは16:50。ここからもう一踏ん張り、という時の腹ごしらえ。17:00から提供しています。(370円)

A ランチ/ B ランチ

メインのおかずがお肉系のAランチと、魚系のBランチは、授業期間中は毎日日替わりで提供。売れ切れ必至の美味しさです。(410円)

山菜そば

野菜とお肉、どっちも食べたいならこれで決まり!濃いめのツユが美味しい。(280円)

食材は毎日新鮮

安全で美味しい食事を提供するために、毎朝市場へ。

早朝、料理に使う野菜や鮮魚などを仕入れに、長田シェフが市場に向かいます。

メニューに合わせて新鮮な食材を自らの目で見て選び、その場で買い付けます。

食材は学食に持ち帰り、シェフやスタッフの手で調理。毎日が手作りです。

かき揚げ丼

学生考案の裏メニュー。 サクサクのかき揚げとあったかいご飯が最高。（130円）

ミートソース

たっぷりのミートソースにたっぷりのチーズがかかっていてオススメ。（320円）

カツハヤシライス

ルーのトマトの酸味がカツの脂と上手く調和し、見た目より軽く食べられます。（420円）

カレーライス

ホテルの高級カレーのような上品な辛さ。 その辺の専門店より圧倒的に美味しい！（320円）

チキンパニーニ

パンのパリパリ感とチキンの柔らかさ、レタスのシャキシャキ感がたまらない！（230円）

スープ

具だくさんのミネストローネとコーンの甘みそのままの濃厚なコーンスープ。（150円）

スープスパゲティ

スープ代わりにツルっといける。 ペペロンチーノはにんにくの香りで食欲3倍増！（250円）

パン

サクサク、もちもち、食感様々な焼きたてパンが勢揃い。（80～160円）

小鉢

左から／鮪の生姜焼き、マヨ味噌和え、昆布サラダ柚子風味、サラダ、ひじきの煮物、切昆布の煮物、サラダスパゲティ、かき揚、麸の煮物など、種類豊富なサイドメニュー。 その日の気分で、いつもの食事にプラス一品。（50～100円）

おいしく活用！

学生に楽しんでもらう為に様々なイベントを催しています。

冷やしラーメンはじめました

山形発祥「冷やしラーメン」を夏季限定で提供。 秋には山形名物の芋煮や、冬期には鍋ものもメニューに。

60円のドーナツの日

木曜日はドーナツが1個60円になる「ドーナツの日」。 数日分を買い貯めするハングリーな学生も多数いるとか。

週替わりのパンケーキ祭

スイーツ好きにはたまらない「パンケーキ祭」を不定期で開催。 抹茶アイス＋小豆など、味も量も納得の一皿。

SHOP

さまざまなものが揃う、彩画堂へようこそ！

彩画堂

市内に本店を構える山形屈指の画材店。店頭に無いものもカタログで取寄せてくれます。

1. 生活雑貨

ふとした時に必要になる雑貨類を手頃サイズで。価格各種

2. 画版

キャンバス下地に使うパネル。各サイズが揃います。346円〜

3. プリザーブドフラワー

建築模型などで使用する素材。使い方は様々です。263円〜

4. トーナルカラー

色彩の授業などで使う色紙。トーン毎にも選べます。157円〜

5. アクリル絵の具

渇きが早く発色が良いため幅広い用途で使えます。320円〜

6. オイル

油絵を描くとき、補助的な役割を担うアイテムです。550円〜

7. コピック

イラストやデザイン画の彩色に便利な揮発性マーカー。362円〜

8. 絵筆

日本画、油彩画用など各種豊富に揃います。 420円〜

9. ねんど（クレイ）

彫刻などの立体造形に。硬度もいろいろ選べます。714円〜

10. スケッチブック

言わずと知れたスタンダード。各種サイズが揃います。 315円〜

11. ピカール

金属にツヤを出す研磨剤です。使いやすさに定評あり。934円〜

12. 岩絵の具

鉱物を砕いた顔料の一種。主に日本画で使われます。599円〜

INTERNATIONAL

山形から世界へ。

世界には、まだまだ
知らないコトがたくさん！
人や文化に触れ、肌で感じることで
新たな視野を広げてみませんか？

海外へ留学する

交換留学制度

コンストファックとの交換留学制度

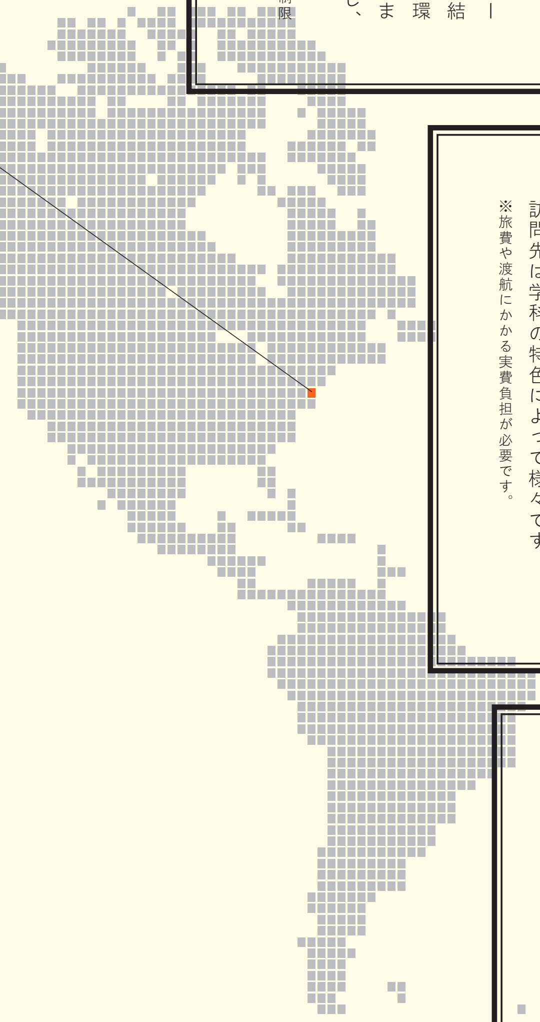
スウェーデン国立芸術工芸デザイン大学（通称：Konstfack）と交流協定を締結しています。両大学の教員交流のほか、1999年度より交換留学制度をスタートし、双方の大学で学生の派遣・受け入れや共同研究も実施しています。

※一定の英語力や芸工大での取得単位数、学年による制限などがあり、渡航や生活費などの実費負担が必要です。

デンマーク王立美術アカデミーとの交換留学制度

デンマーク王立美術アカデミー建築スクールと、教員・学生の交流に関する協定を締結し、プロダクトデザイン学科および建築・環境デザイン学科との交流活動を行っています。本学からも交換留学生として派遣し、1～2名を受け入れます。

※一定の英語力や芸工大での取得単位数、学年による制限などがあり、渡航や生活費などの実費負担が必要です。



研修旅行で視野を広げる

海外・国内研修旅行

調査・研修として、専門分野と関連が深い地域や国、美術館や博物館、文化遺産を巡り見聞を広める国内外の研修を取り入れています。文化財保存修復学科では、国内各地の美術館や博物館、遺跡を訪ね本物の作品に触れる研修旅行を企画。中国、韓国も研修対象としています。また、歴史遺産学科でも中国やタイでの研修旅行を実施。日本画コースではインド、中国、チベットなどを訪ね画題テーマを探求。洋画コースはイタリア、工芸コースでは東南アジアや日本各地の工芸研究など、各コースに関係の深い地域を中心に開催しています。デザイン工学部でも、プロダクトデザイン学科では県内企業の製造工場へ、グラフィックデザイン学科では印刷工場へ、建築・環境デザイン学科では首都圏の名建築の見学、企画構想学科では大手リゾートホテルなどなど、訪問先は学科の特色によって様々です。

※旅費や渡航にかかる実費負担が必要です。

姉妹校へ留学する

京都造形芸術大学への交換留学

開学以来、東北芸術工科大学は京都造形芸術大学と姉妹校として提携。例年、数名の学生が交換留学を行っています。教員・学生の交流活動を通して、相互の発展や学術・芸術文化の向上に努めると共に、「京都文芸復興＝京都学」と「東北ルネサンス＝東北学」を柱として文化交流を進めています。京都造形芸術大学には「新芸術大学宣言」のもとに、本格的な歌舞伎劇場「春秋座」と小劇場「studio21」を有する「京都芸術劇場」が完成し、芸術文化の重要な拠点となっています。

※留学には旅費や生活費などの実費負担が必要です。

京都造形芸術大学
京都・瓜生山キャンパス
〒606－8271
京都市左京区北白川瓜生山2－116
TEL：075－791－9122（代表）
URL：http://www.kyoto-art.ac.jp/

TUAD CAMPUS LIFE

長い歴史と美しい町並みのデンマーク。 デンマーク王立美術アカデミーとの交換留学制度により、プロダクトデザイン学科と建築・環境デザイン学科の学生は留学が可能です。

デザインの本場であるスウェーデン。 芸工大はスウェーデン国立芸術工芸デザイン大学（通称：Konstfack）との交換留学制度を結んでいます。 自由な発想をする現地の学生たちとの交流や、型に捉われない個性的な作品など、新しい刺激が沢山見つかるでしょう。

韓国では、土器づくり体験や遺跡、博物館巡りなどを通じて異文化交流を行っています。 伝統文化学校と留学協定を締結しており、現地の学生と過ごす時間も貴重な体験となるでしょう。

言わずと知れたアメリカ合衆国。ニューヨークはMoMAやメトロポリタン美術館、グッゲンハイム美術館など、見所も盛り沢山です。

ヒンドゥー教の聖地であるインド。人口は世界第2位を誇り、そこで生きる沢山の「人間」の生活に触れることができます。

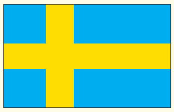
ヒマラヤの麓にあるネパール。 赤いレンガの町の中で育まれてきた寺院と人が共存し合う独特の風土や文化を見ることができます。

東南アジアの南部に位置する国。古くから伝わる舞踊や染物の技術、そして遺跡や寺院など、多くの伝統文化に出会えます。

中国の東側の島国、台湾。 漢文化を基にした伝統要素が色濃く残っており、日本からも近いため、研修旅行などで訪れる機会があります。

海外留学、研修旅行。可能性は海を越える。

SWEDEN



スウェーデン留学

北欧デザインに憧れ、スウェーデンへ。体験したこと全てが、私の糧に。

小さく自然が豊かな町、ストックホルム。週末はメトロやバスを乗り継ぎ、美術館を巡ったり、遠出したりしました。スウェーデンは世界の中でも福祉が充実している国だけあり、公共空間もユニバーサルデザインを意識したものが多く見受けられました。町並みは茶色や黄色の建物が目立ち、そこに控えめなサインや看板が掲げられています。半年間、彼らの生活や文化に触れ、ここに住む人々の美意識や自然に逆らわず暮らす豊かさを感じました。コンストファックでは、Graphic Design & Illustration の学部生対象の授業に参加。スウェーデンの郵政局から「Business mail」というテーマで、学生に来年度の切手のデザイン依頼があり、それをコンペ形式で行いました。切手工場を訪問したり、プレゼンの際、いろんなアドバイスを頂いたり、短期間の中で自分の作品をブラッシュアップすることができました。（大橋沙季／大学院 ビジュアルコミュニケーションデザイン領域）

DENMARK

デンマーク留学

デンマークの文化や景色でのひらめきを今後の研究に繋げていきたい。

建築を学びたい学生が世界各国から集うデンマーク王立美術アカデミーで、私は、特にポルトガルとイタリア、オーストリア、リトアニア、アメリカ、中国、アルゼンチンの友人と親しくなりました。所属する学科は、毎週のプレゼンと並行し複数のワークショップを進めて行く方式。研究内容は、日本人独特の感覚を表現したもので、わかりやすく説明することが課題となりました。言葉で伝えきれない所はスケッチや模型で補い、どうしたら理解してもらえるかを想像します。その工程が最も悩み、同時に楽しかったことでした。デンマーク人はプライベートな時間を大事にし、豊かな過ごし方を知っています。例えば部屋の中の様子をあえて表に見せ、長く寒い冬を鮮やかな風景で彩り、楽しく過ごそうという文化があります。様々な経験を通して蓄積されたインスピレーションを、今後の研究に繋げていきたいと考えています。（斎藤芳子／大学院 環境デザイン領域）

THAILAND

タイ研修旅行

タイの伝統的な土器づくり村の暮らしに触れ、世界遺産を見学した一週間。

日本に比べると一見、雑に見える田園風景。でも木々の落ち葉は田の有機肥料になり、稲刈り後は家畜の牛を放牧して糞を有機肥料にし、そこに集まる甲虫や田にいる魚やカニ、カエルなどを食料にする。タイに行って感じた居心地の良さは、多分、動物と植物と人とがちょうどいい距離を保って生活していたからだと思います。今回の旅では、50～60代の女性たちが土器作りをするというモー村を2日間歩きました。皆温かく迎えてくれ、伝統料理の調理法も教えてくれました。さらに世界遺産アユタヤにはじまり、イサーンではアンコール王朝のパノム・ルンやピマーイなどたくさんの遺跡を見学。それぞれ使用する材料やデザインに特徴がありました。マハサラカム大学でのタイ学生たちとの交流も新鮮で、国は違っても同世代の人間同士、身近に感じることができました。思い切って飛び出したことで出会いや発見に満ちた体験ができ、文字通り世界が広がりました。（高橋里江／歴史遺産学科）

INDONESIA

インドネシア研修旅行

インドネシアに旅して遠い世界と自分がつながっていることを知った。

今回のインドネシアの旅では、遺跡や寺院を見て回り、伝統舞踊の鑑賞やバティック（ロウを使う独特な染物）工場見学などで伝統文化に触れ、また美しい大自然を思う存分満喫しました。神々の島と云われるその地で、南国ならではの湿気を含む空気と、鮮やかな色彩に埋もれ、神秘的な音楽と食べなれないスパイスに包まれる―。それはまさに五感、六感を刺激される旅でした。特に印象に残っているのは世界最大級の寺院遺跡、ボルブドゥール遺跡の頂上から朝日が昇るのを眺めた事。朝日に照らされ、冷たく暗い世界が柔らかな優しい色へと姿を変えていく光景は、今でも瞼の裏に焼きついています。また、村にはのどかな風景が広がり、人も動物も植物も皆がそれぞれの時間を生き、そしてそれぞれの笑顔が、命がとてもキラキラしていました。今回の旅で、同じ時代を生きる人々と、そしてなによりこの地球と共に歩んでいく術を、改めて考えさせられました。（宮本彩佳／美術科 日本画コース）

CIRCLES

サークル活動

出会いと発見のカタチは十人十色。
体育系も文化系も、
芸工大のサークルはひと味違う！

体育会系サークル

サッカー部／初心者も楽しくプレーすることができる部活です。 大学全体を巻き込んで学科対抗サッカー大会を盛大に開催し、反響を呼びました。

東北芸術工科大学ハンドボール部／男女、初心者・経験者関係なく練習しています！部員も少ないのでやってみたければ是非ハンドボール部へ！

卓球部／丁寧な技術指導と動きの観察、遊びを取り入れた練習などを行なっています。 ユニフォームを揃えて団体での大会出場を目標に頑張っています。

基礎スキー部／スキー経験の無い方も、運動が苦手な方も、活動を通じて必ず向上することができます！蔵王で一緒にスキーしませんか？

柔道部／柔道部です！金曜6時から体育館で練習しています。経験者・初心者が混じり楽しく柔道をしています。 初心者大歓迎！

競技スキー部／大会参加をメインに、日々楽しく活動しています。夏場は体育館で基礎トレやバスケをし、冬に備えて力と絆を築き上げています。

硬式テニス部／合宿や部員の誕生日会など、さまざまな楽しいイベントがあります。 テニス初心者も経験者もぜひ大学南側のテニスコートに遊びに来てください！

空手道部／週２回、体育館で１８時～２０時３０分まで練習しています。 時に厳しく、時に楽しく心身共に鍛えています。 見学に来てみて下さい☆

バルーン部／熱気球で空を飛んでいます。 主に冬をシーズンとして、宮城や福島など様々な土地へ行って活動します。 夏はキャンプで冬は温泉と盛り沢山！

スケートボード部／スケボー部はスケートボードを中心に音楽や絵など様々な活動をしています。 個性ある人が沢山。 是非遊びに来てください。

Music Project／ストリートダンスサークルです。 毎週、月火木 楽しく活動しています！初心者大歓迎！音楽好きな人、体を動かしたい人、遊びに来てね～！

パラグライダー部AERIEL／山形県南陽市の十分一山で活動しています。 空を飛んでみたいと思ったことはありませんか？一緒に夢を叶えよう！

バレーボール部／毎週火・木に活動しています。 学年問わず仲良しで、初心者も大歓迎！バレーボール以外のイベントも目白押し。 気軽に覗いてみてね！

居合道部／日本刀による古武術・夢想神伝流居合道の稽古、小笠原流礼法の習得が活動内容。 武道や歴史に興味のある方、お待ちしています！

弓道部／弓道部では経験者はもちろん、初心者の方でも大歓迎です。 弓道に興味のある、弓を扱ってみたいという方は気軽に参加してください。

バドミントン部／体育館で練習しています！初心者大歓迎！大会にも積極的に参加しています。 飲み会やカラオケもあり楽しいですよ！

フットサル／今年から正式にサークル化されました！全学年仲良く、笑いの絶えないサークルです！フットサルが好きならぜひブースへ！

TUAD CAMPUS LIFE

文化系サークル

天文／夜空がとても奇麗な山形で、一緒に天文観測をしてみませんか。

タッチフットボール部／男女一緒に楽しく気軽に体を動かせるスポーツ。 毎週土曜日に芸工大グラウンドで活動してます。 ぜひ見に来てください!

自転車部／「皆で走る、だから楽しい」。 わいわいツーリングする素敵な部活です。

yamacan／みかんぐみで建築家の竹内教授と共に建築や環境を考え、イベントの企画や運営、研修旅行、フリーペーパーの作成まで幅広く活動しています。

コンテンポラリーダンス研究所／日々自分たちの身体と真剣に向き合いながら活動しています。 自分の身体で表現する、そうして人と通じ合える。

軽音楽サークル／こんにちは!軽音部です。気楽に楽しく、自分に合った音楽で一緒に楽しみましょう!学内外での企画も充実。 素人さん歓迎です。

劇団No Name／役者、裏方、演出家、脚本家など、舞台やりたい人募集中。 年3回の公演を行っています。 初心者も大丈夫!

Tshirts Team!／手描きのオリジナルTシャツを描いています。展示、販売が主な活動。 外部とのコラボもあります。 自分の着たいTシャツも描けるよ。

アルルカン／オリジナルの漫画冊子を作成しイベントで配布、販売。漫画やイラストに興味のある方はぜひどうぞ。 過去本の展示等もしています。

チームECO／文翔館でのキャンドルナイトの運営や、森作り活動を実施。 ロウソクの光の中で夜空を見上げ、地球や未来のこと、想像してみましょう。

民族舞踊団「郷」／東北各地の民族舞踏を研究、実践しています。民族舞踏に興味がある人、踊り、笛や太鼓をやってみたい人は、気軽にどうぞ!

ジャズ研究会／ジャズを皆で聴いて、弾いて楽しみましょう。 鑑賞も重視しているので楽器が弾けない人も大募集。学祭でライブをしたりします。

ブラスバンドサークル／ブラバンと名乗ってますが、吹奏楽サークルです。 学内コンサートも開催。 楽器がなくても楽器演奏が好きな方大歓迎!

image bug／映像作品の自主制作・発表、機材講習などを行います。 映像を作りたいと思う方、経験や学科は問いません!是非お越しください。

ウタイビト／歌うことが好きな人で集まった、ゴスペルサークル ウタイビトです。様々なジャンルを歌っています。 みんなで楽しく歌いませんか?

そのほか、キキカイカイ、映画部、洋画研究会、写真部など、未公認サークルや同好会も多数あります。

お茶けん／日本も含めて世界中のお茶を楽しめます。 茶道は先生をお招きしています。 意外と知らないお茶の淹れ方を学べます。 お気軽にどうぞ♪

ともがき～障がい者と共に描き作る会～／障がい者の方たちと物づくりを通して交流しているサークルです。 人と接することが好きな方はぜひどうぞ!

萬企画／年に一度イベント主催を大きな活動に、週一ペースで楽しくイラストを描いたり、好きな作品について語り合ったりしています。

TUTORIALS

チュートリアル

先生と学生が一緒になって同じテーマに取り組む、ユニークな視点による芸工大ならではの課外活動が満載です。

この紙面は、文芸学科3年の柿沼千紘さん、熊谷真帆さん、後藤彩さん、佐藤志保さん、森みどりさんの5名が取材を担当しました。

太悳

和太鼓の継承と発展に努める太悳（たいしん）は教職員3名で構成し、各地での演奏活動の他、学生グループ【太悳学生組】、授業、一般者対象講座の生涯学習プログラム、作曲、研究論文発表などを活動中。 学生グループ【太悳学生組】は、広く在学生が参加する事ができます。（川口幾太郎 教授）

紅花・藍プロジェクトinTUAD

美術科テキスタイルコースの学生を中心に、毎週木曜日の朝に活動しています。 春に種をまき、夏に収穫した紅花と藍を使って、冬に予定される紅花ルネサンスでワークショップを行います。 自分たちで一から育て、山形の自然と触れ合う経験を通し、豊かな感性を育んでみませんか。（辻けい教授、柳田哲雄講師、矢口哲也副手）

バク転倶楽部

あこがれの『バク転』を目指して、マット運動を中心に練習します。 ほかにも鉄棒の『逆上がり』や跳び箱の『開脚跳び』などにも取り組み、運動経験の中で苦手だった課題への動感体験も展開。「できない」と思っていた運動、「できるようになりたい」と思う運動に、自ら取り組むという運動学的な体験です。（柳川郁生 准教授）

Doing Sociology 山形の教育をフィールドワークする

学生の専門性を生かし、新しい学びの場を創り出そう！大江町柳川地区、山形市などをフィールドに実施します。「やながわ自然ファクトリー」の企画・運営、「だがしや楽校」の企画・運営、少年自然教室「瀧下村塾」の運営補助など、活動内容は盛り沢山です。（片桐隆嗣 教授）

石碑と古道研究会

滝山地区に残る石碑と古道の調査を行います。 滝山地区には龍山信仰に関わる多くの石碑が残されており、それらが点々と龍山山頂まで続いています。 調査には地図やGPS、カメラ、メジャーなどを使用し、許可が取れれば拓本なども取っていきます。 石碑と古道をセットで調査して、地元に残る歴史を体感します。（佐藤健治 准教授）

ストーン・サークル

遺跡探索を目的とした野外調査、石器石材を対象としたフィールド調査、石器製作や使用体験、考古資料の製図作業なども行ないます。 学年と分野を越えた学生が協同して、古代の叡智を体得します。 週末などを利用して、石材調査に出かけ、実験テーマ等を設けて共同作業を実施します。（長井謙治 講師）

コム・ミュージアム（LIRG）

主に、フリーペーパーや店舗等で、気軽に作品発表できる場を創作しています。 一般市民や学生が利用しやすく、見る側のニーズを汲み取った、メディアの開発と実践の場です。 店舗「ディマージュ」の運営と、秋に七日町商店街で開催するイベント「コム・ミュージアム」の企画・運営が、アイディア実現の場となります。（松村茂 教授）

どきどき野焼き

土器の成形・焼成・使用の復元実験を通して考古学での土器研究の方法を学びます。 縄文や弥生の土器をモデルに実験土器を野焼きで作ることで、当時の制作技術や使用実態を復元して、実際に鍋料理や炊飯を行ないます。 土や火、水、木といった自然の性質を熟知し、使いこなした先人の知恵と技を再発見します。（北野博司 教授）

広告ラボ

広告が好きな学生を主体として様々な活動をしています。 昨年は、東の麓酒造、グラフィックデザイン学科と共同で日本酒「なんどでも」を企画・開発。 さらにJFN学生ラジオCMコンテストに参加。 メディアや企業と提携した広告づくりの楽しさが体験できます。 活動は大学院棟にて水曜日の17時から。 アイデアを形にしてみませんか。（ボブ田中 教授）

山形国際ドキュメンタリー映画祭を通して映画と山形を考える会

2013年10月に開催される映画祭に向けて、事前の試写会や、監督へのインタビューなど、事前に出来る準備を先行して始めます。映画祭期間中には，他のボランティアのリーダー的な立場で、映画祭の円滑な運営に協力していきます。（加藤到 教授）

東北画は可能か？

共通テーマ「東北画は可能か？」を掲げ、蔵王山麓に位置する独特な気候風土の中で、作家として何を表現できるのか、制作と展示を通じて議論を重ね、それぞれの「東北」を描き、展示します。 共同制作した大作は、第15回岡本太郎現代芸術賞展に入選しました。講評会や音楽企画も開催します。（三瀬夏之介 教授、鴻崎正武 准教授）

福興会議

TRSOが主催する「キッズ・アート・キャンプ山形」や「福しましまフェス」などの復興支援プロジェクトの運営サポートを行なうほか、「ゼンシンラジオ」で被災地で頑張る人を取材し、山形市内のコミュニティFM内で被災地の情報を発信する番組の企画・運営などを行ないます。（宮本武典 准教授）

和紙作り体験ツアー

長い伝統のある手漉き和紙とはどんなものか?手漉き和紙の体験ツアーにて、和紙の原料である楮の刈り取り、加工、紙漉までの一通りの工程を行います。 お世話になる方は長年紙の開発に携わっています。 お話を伺いながら、五感を使って和紙を実感して、自分オリジナルの紙を漉きましょう!!（三浦功美子 准教授）

古文書調査会

昔の人が書き残した「古文書」を解読する講習会を開いています。 解読したものは、成果物として刊行することを考えています。また、地域資料保存の一環として、東日本大震災で被災した古文書のクリーニングを東北大学で行っています。 古文書講習会は毎週木曜日5限終了後。 本物の古文書に触れてみませんか。（竹原万雄 講師）

Art in Life 人生に芸術をどう使おうか？

人間の知能を「IQ」で捉えるのではなく、様々な教育分野の可能性を拓く考え方「芸術思考」で、「人生に芸術をどう使おうか?」を考えていく活動です。 様々なアクティビティやワークショップなどを通じて、芸術とはいったいどんなものなのか?改めて考える機会とします。（有賀三夏 講師）

他に、ハロー！アーツ♪、美大の教養、

ビブリオバトル戦略会議、

ホスピタルアートを考える会、

漆かきワークショップ、

実践！イノベーション塾もあります。

ピアノ音楽表現

互いのピアノ演奏を助言し合って技術と表現力の向上を図り、定期演奏会や大学祭などで演奏することを活動目標としています。 音楽を自由に楽しむ。 このことを念頭に置き、経験や演奏曲のジャンルも問わず、本館201教室が使用可能な時間に随時活動中。 一緒にピアノを楽しみませんか。（米村祥央 准教授）

写生研究会

学生が主体となって写生場所の行き先を決め、予定、計画を立て、写生に行きます。 昨年度は、天候により多少の変更はありましたが、土湯杉群生地、戸沢村とあじさい寺、山形市と仙北市角館、秋田県の田沢湖、鶴岡市の加茂水族館などへ写生に行きました。 また、学内で展示会を開催し作品を発表します。（谷善徳 准教授）

やまがたまちづくりサポーター

山形市内のまちづくりが進行中の地区と提携して、地区の住民の方々とともに、まちづくりの活動に参加します。 まちづくりに必要な情報を収集整理して、地区の方々と話し合いながら、まちづくりの方向を見定めていくお手伝いをします。（相羽康郎 教授）

山形イルミネーション計画

山形市の中心部の駅前通りと、東北中央病院のエントランスにLEDの大きなクリスマスイルミネーションを制作し、展示します。 冬の山形の夜を彩る作品として、地元山形市民に芸術との接点を提供していく活動です。（小林秀幹 講師）

日本の伝統文化を学ぶ — 表千家茶道

表千家茶道教授の佐藤宗遙先生にお点前を習い、総合文化と言われる茶道の基本を学ぶことで日本文化の良さに触れます。 慌ただしい毎日の生活の中で心が安らぐひと時を持ち、お茶の作法を通じて心と体を鍛錬し、日常生活をより豊かなものにしましょう。（斎藤悠紀 主事）

みつけたむぎの

山々に囲まれ独特の時間が流れる、天童市田麦野地区でのフィールドワークや展示活動を通して、自然の美しさや豊かさを体験し、地区住民との間に豊かな人間関係を紡ぎ出していきます。 廃校に宿泊しての取材活動や蛍観賞、餅つきなどの地域の方との交流やワークショップをこれまでに行なっています。（片桐隆嗣 教授）

EVENT CALENDAR

入学前（2014年）

5月
- 春のオープンキャンパス
- 各地で大学説明会
- 高校総体 県大会

7月
- 夏休み

8月
- 夏のオープンキャンパス
- 高校野球選手権大会

9月
- AO入試
- 山形ビエンナーレ

10月
- デザセン決勝大会
- 秋の大学説明会
- 入試合格者対象スクーリング（通学授業）

11月
- 自己推薦入試
- デッサン・小論文特別選抜入試
- AO入試合格者対象入学準備プログラム開始

12月
- 入試合格者対象スクーリング（通学授業）
- 冬休み

1月
- 一般入試（前期）
- 大学センター試験

2月
- 大学センター試験利用入試
- 高校生meets卒業研究・制作展
- 入試合格者対象スクーリング（通学授業）
- 山形市内 アパート・下宿紹介
- パソコン購入相談会

3月
- 一般入試（後期）
- 現役生は高校卒業式
- 一人暮らしの人は引越し

OPEN CAMPUS 01

春のオープンキャンパス

毎年、全国各地から高校生や受験生がキャンパスに集まり、1日芸工大生を体験するオープンキャンパス。例年5月末に開催する春のオープンキャンパスでは、入試相談や模擬授業はもちろん、在学生作品展示や実技体験、学生や先生との交流など沢山の企画を開催します。各地から無料のシャトルバスも運行します。

2014年は5月31日（土）10時30分〜17時の開催予定です！

OPEN CAMPUS 02

夏のオープンキャンパス

春に続いて、更に内容充実の夏のオープンキャンパス。実技体験では丁寧な指導を受けながら、制作やグループワークに取組みます。参加者合同での講評会などもあり、表現力やアイデア力を向上させる絶好の機会。教授や学生とも直接話ができるので、大学の本当の雰囲気や演習内容もしっかり知ることができます。

2014年は8月2日（土）・3日（日）10時30分〜17時の開催予定です！

1年生（2015年）

4月
- プレースメントテスト
- 新入生ガイダンス
- 入学式
- 健康診断
- 前期授業オリエンテーション
- 前期授業開始

5月
- 学科・コースに依っては新入生研修旅行
- 春のオープンキャンパス

7月
- 前期試験
- 補講／前期集中講義

8月
- 夏のオープンキャンパス
- 夏期休暇

9月
- 大学祭「芸工祭」

10月
- 後期授業オリエンテーション
- 後期授業開始
- デザセン決勝大会
- 山形国際ドキュメンタリー映画祭
- 学科・コースに依っては芋煮会

12月
- 冬期休暇

2月
- 後期試験
- 補講／後期集中講義
- 卒業研究・制作展
- 春期休業

前期｜夏休み｜後期｜春休み

UNIV. BRIEFING

秋の大学説明会

AO入試の前後に開催する、秋の大学進学説明会。オープンキャンパスで受験したい学科やコースを決めた方へは、AO入試の受験直前のアドバイス。加えて、教科科目で受験を希望する方向けの入試相談など、より具体的な進学相談の機会です。自分にあった説明会に参加して、受験前に確り疑問や質問を解決しましょう。

2014年の開催日時は大学HPでご案内します。

YAMAGATA BIENNALE

みちのおくの芸術祭 山形ビエンナーレ 2014

東北の魅力をアートの力で掘り起こし、全国へ、世界へ、発信する「みちのおくの芸術祭 山形ビエンナーレ2014」を2014年9月20日から10月19日まで開催。山形県を象徴する壮麗な歴史建築文翔館を舞台に、荒井良二氏ほかアーティストや建築家、ミュージシャン、写真家、ファッションデザイナー、料理研究家などのクリエイターが、山形をテーマにした作品を制作・発表します。

EVENT CALENDAR

2年生（2016年）

- **4月** 健康診断／前期授業オリエンテーション／前期授業開始
- **5月** 春のオープンキャンパス
- **7月** 前期試験／補講／前期集中講義
- **8月** 夏のオープンキャンパス／夏期休暇
- **9月** 大学祭「芸工祭」／山形ビエンナーレ
- **10月** 後期授業オリエンテーション／後期授業開始／デザセン決勝大会／学科・コースに依っては芋煮会
- **12月** 冬期休暇
- **1月** 現役生は成人式
- **2月** 後期試験／補講／後期集中講義／卒業研究・制作展／春期休業

3年生（2017年）

- **4月** 健康診断／前期授業オリエンテーション／前期授業開始
- **5月** 春のオープンキャンパス
- **7月** 前期試験／補講／前期集中講義
- **8月** 夏のオープンキャンパス／夏期休暇
- **9月** 大学祭「芸工祭」
- **10月** 後期授業オリエンテーション／後期授業開始／デザセン決勝大会

前期｜夏休み｜後期｜春休み｜前期｜夏休み

UNIV. FESTIVAL

大学祭「芸工祭」

毎年恒例の大学祭「芸工祭」。サークルイベントや本学ならではの学科・コースの自主企画展、本館の各教室を改装したアートやデザイン作品の模擬店、屋台・カフェなどで盛り上がる２日間です。駅前からのシャトルバスなども運行。オープンキャンパス以外の、素の学生の雰囲気を知るにもうってつけのイベントです。

２０１４年度の開催日時は大学ＨＰでご案内します。

DEZASEN

デザセン

高校生の視点で、社会が抱える問題解決策を提案する「デザセン」。大会の運営にはボランティアとして多数の学生が参加し、大会の運営サポートをしています。この冊子を読んでいる高校生の皆さんも、独自の視点で、社会や暮らしの中から問題や課題を見つけ、解決方法を分かりやすく提案してみてください！

２０１４年度の決勝大会は10月26日（日）に開催予定です。

12月
- 学科・コースに依っては芋煮会
- 山形国際ドキュメンタリー映画祭
- 就職活動の準備
- 冬期休暇

2月
- 後期試験
- 補講／後期集中講義
- 卒業研究・制作展
- 春期休業

3月
- 就職活動開始

（後期／春休み）

4年生（2018年）

4月
- 健康診断
- 前期授業オリエンテーション
- 前期授業開始

5月
- 合同企業説明会
- 春のオープンキャンパス

7月
- 前期試験
- 補講／前期集中講義

8月
- 就職活動が本格化
- 夏のオープンキャンパス
- 夏期休暇

9月
- 大学祭「芸工祭」
- 山形ビエンナーレ
- 後期授業オリエンテーション

10月
- 後期授業開始
- 卒業研究・制作が本格化
- デザセン決勝大会
- 学科・コースに依っては芋煮会

12月
- 冬期休暇

2月
- 後期試験
- 補講／後期集中講義
- 卒業研究・制作展に出品
- 春期休業
- 一人暮らしの人は引越し

3月
- 卒業式

（前期／夏休み／後期／春休み）

GRADUATION EXHIBIT

卒業／修了研究・制作展

芸術学部、デザイン工学部の約500名の学生が、4年間の学びの集大成として個性あふれる作品や研究を発表する「卒展」。講義室やアトリエを会場に変貌させ、作品の展示や研究の発表をするのが大きな特長です。先輩も4年前は皆さんと同じ高校生でした。芸工大で学び大きく飛躍した姿を見れるはずです。

2014年度は2015年2月11日(水)〜15日(日)に開催予定です。

ENTRANCE CEREMONY

入学式

芸工大でこれから学びを共にする約500名の学生が集う、入学式。合格が決まってホッとするのもつかの間、引越や通学準備を済ませて、これからが芸工大での学びでの本番。いよいよ目指す夢や目標に向けての第一歩が始まります。そして式が終ると沢山の先輩芸工大生が、皆さんの入学をお祝いしてくれます。

2015年度は2015年4月5日(日)に開催予定です。

YAMAGATA

Q 山形はどんなところ？

A 自然がいっぱいで季節感がある。大学からの眺めも最高！（文芸3年／山形県出身）時間がゆったりしてて、空が広くて、山が近くて、蕎麦がうまい。（洋画3年／福岡県出身）夕焼けが綺麗。（グラフィックデザイン4年／福島県出身）のんきなところが魅力。（大学院修了生／宮城県出身）断絶されてることがいいこともある。（グラフィックデザイン卒業生／埼玉県出身）山形って綺麗だから、自分にも素直になれる。（洋画教授／長野県出身）自然と文化。食べ物が美味い！（グラフィックデザイン4年／福島県出身）空気の流れる時間が違う。いい意味で遅い。（工芸卒業生／埼玉県出身）みんな自分をしっかり持っていて、目標に向かい勉強に励んでいる。（文化財保存修復2年／山形県出身）出会いが沢山ある。（グラフィックデザイン卒業生／山形県出身）全国から集まってくる人と友達になれる！そしてみんなが純粋。（プロダクトデザイン卒業生／岩手県出身）思い立ったら千歳山。身近に登れる山がある。（大学院修了生／秋田県出身）マイペースに制作ができる。作業スペースが広い！（工芸卒業生／鹿児島県出身）夜が静か。（歴史遺産4年／静岡県出身）空気が澄んでいる。（芸術文化専攻1年／山形県出身）広い！（日本画4年／青森県出身）

YAMAGATA DATA

温泉地	226 カ所 （35市町村すべてに温泉あり）
特産物	さくらんぼ、メロン、枝豆、りんご、かき、西洋なし（ラ・フランス）、米、牛肉 など
主な祭り	山形花笠まつり（8月5～7日：山形市） 新庄まつり（8月24～26日：新庄市） 黒川能王祇祭（2月1～2日：鶴岡市）
姉妹県州 友好県省	コロラド州（米国：昭和61年）、黒龍江省（中国：平成5年）、パプア州（旧イリアン・ジャヤ州）（インドネシア：平成6年）

人口	1,148,524 人 男 550,932 人 女 597,592 人
世帯	392,733 世帯

※平成25年3月1日現在（資料：山形県統計企画課「山形県の人口と世帯数」）

市町村数	35 市町村（13市19町3村）

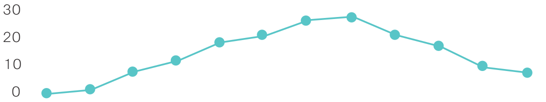
出身）地元が大好きだということに最近気付いた。（総合美術3年／山形県出身）みんな楽しそうにしている。（工芸3年／山形県出身）肌に合う。嫌だと感じたことが一度もない。（芸術文化専攻1年／愛知県出身）みんないい人。（歴史遺産2年／秋田県出身）馬見ケ崎が好き。川の音がすごく良い。（プロダクトデザイン卒業生／山形県出身）蔵王スキー場まで30分。そこで美味しいピザも食べられる！（プロダクトデザイン教授／神奈川県出身）人を迎え入れてくれるホスピタリティーがある。（工芸教授／宮崎県出身）自然のサイクルを実感できる。（企画構想教授／静岡県出身）景色がいい。（彫刻4年／岩手県出身）心が和む。（総合美術4年／山形県出身）にぎやかなところよりも、ゆとりある生活ができる山形が大好き。（版画4年／埼玉県出身）山、川、海。フィールドワークという遊びが四季を通して満載。（映像卒業生／群馬県出身）都市とローカルの差を楽しめる。（建築・環境デザイン教授／東京都出身）開放的な気分になれるところ。自然があって癒される。（テキスタイル4年／山形県出身）都会生活では真似できない暮らしがある。（企画構想4年／宮城県出身）君たちの言葉で、君たちの夢や希望を語れるところ。（東北芸術工科大学前学長／東京都出身）童話の国に来ているような感じ。（工芸教授／兵庫県出身）山形に来て、夜の本当の暗さを知った。そして星空に感動。（建築・環境デザイン4年／京都府出身）映画の町！学生は千円で映画が見られる。山形国際ドキュメンタリー映画祭がある。（映像4年／長野県出身）

さぁ、山形を楽しもう。

最大積雪

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
（cm）	40	45	24	2	0	0	0	0	0	0	5	23

平均気温



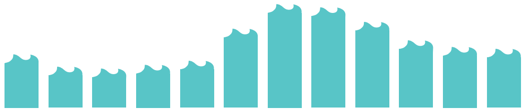
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
（℃）	-0.4	-0.1	3.5	10.1	15.7	19.8	23.2	24.9	20.1	13.6	7.4	2.6

山形県の日本一

ブナ天然林の広さ	150,000 ha	（全国の16.3%／平成12年）
羽黒山の石段	2,446 段	江戸時代以前の石段で最も長い鶴岡市羽黒町手向
石鳥居	2 基	（日本最古の石鳥居と推定／国指定重要文化財）
即身仏の数	8 体	（全国に十数体の内の8体）

※山形県HPより

平均降水量



	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
（mm）	83	62.7	68.6	68.4	75.4	110.5	157	150.8	127.2	92.4	84.5	82.7

※気象データ：国土交通省気象庁HPより

YAMAGATA

YAMAGATA PREF.

YAMAGATA TOWN

地図中の●はこの紙面の紹介番号、●は 158 ～ 161 ページの学生が紹介しているスポットです。

SPRING

1.霞城公園 山形市の中心にある大きな城址公園。桜の名所としても有名で約1500本の満開の桜の下で新入生歓迎会や花見を行うのが芸工大の学生たちの恒例行事に。

桜の花が、一斉に咲き誇る春。散策にぴったりのスポットもいっぱい。

2.西蔵王の大山桜 平安時代から自生していると伝えられる、歴史ある桜。桜を愛した歌人・西行法師も訪れ、有名な句を残したと伝えられています。

3.山形美術館 1964年に開館した美術館で、三角形の外観が特徴。山形ゆかりの作品から日本・東洋美術、そしてフランスの美術作品まで様々な展示を行っています。

4.人間将棋 天童市の名物、将棋にちなんだイベント。約2000本の桜で彩られる舞鶴山の山頂広場で、甲冑を身にまとった人間を将棋の駒に見立て、対局を行います。過去に卒業生も駒として参加しています。

5.メリメロ おしゃれな外観の、かわいいパン屋。素材にこだわった、おいしいパンが常時50種類。世界各国のパンを取り入れています。木のぬくもりが和む2階のカフェスペースでは、絶品スイーツも。

6.馬見ヶ崎の桜 山形市の東側を流れる馬見ヶ崎川。堤防沿いの桜並木は見事で、桜スポットとしても有名です。途中には素敵な喫茶店もあるので、散策にもぴったり。

7.悠創の丘／西蔵王公園 悠創の丘は大学裏山にある公園。「春色たまごをつくろう！」など、ワークショップも数多く開催されます。近くの西蔵王公園は、アスレチックやキャンプ場などの施設が充実しています。

8.千歳山 大学の北西側にある、ピラミッドのような三角形の山で、気軽に登山も楽しめます。山頂の展望台からは山形市街地を一望。春には、登山口周辺の千歳山公園の桜が美しく咲き誇ります。

9.キャラメルフィールド 卒業生がオープンした雑貨屋。手作りアクセサリーや可愛いインテリア小物が揃います。新生活を彩る可愛い雑貨を探してみては？芸工大の学生が手がけた店の外壁にも注目！

熱く盛り上がるイベントに雄大な大自然。心が踊り出す山形の夏。

13.彩画堂本店／八文字屋／御殿堰／七日町通り 大学の画材ショップに無い画材は本町の彩画堂本店へ。近くには洋書や幅広いジャンルの本が揃う八文字屋書店もあります。風情ある御殿堰は休憩におすすめ。

12.飛島 日本海に浮かぶ魅惑のワンダーアイランド。透明度の高いきれいな海やサンゴ礁。ゆっくり散歩して、海に沈む夕日を見るだけでも、行く価値があります。歴史遺産学科のフィールドワークでも訪れます。

11.山形花笠まつり「ヤッショー、マカショ」の掛け声とともに、目抜き通りを踊り歩く東北4大まつり。学生も「男踊り」と「芸工大桜風吹」を披露する「やっ初まかしょ」プロジェクトで参加、熱く盛り上げます。

10.肘折温泉 長い間、親しまれてきた大蔵村の湯治場。温泉街をアートで盛り上げようと、美術科の学生たちが中心となって毎年夏にイベント「ひじおりの灯」を企画しています。

17.鳥海山 山形と秋田の県境にある、標高2236mの独立峰。鉾立展望台から庄内平野や日本海の雄大なパノラマが望めるほか、貴重な高山植物も数多く見られます。トレッキングスポットとして人気です。

16.湯野浜温泉／加茂水族館 海岸沿いに旅館が建ち並ぶ湯野浜温泉。その１つ「亀屋」には学生がリノベーションした客室もあり。海水浴の後は、クラゲの展示種類数世界一の加茂水族館にも足を運んでみては。

15.シベールファクトリーパーク ラスクで有名なパンとお菓子の店「シベール」が経営する食文化と芸術文化をテーマとした複合施設。ホールや図書館も併設し、東北復興支援機構TRSOのイベントも開かれます。

14.文翔館 大正から昭和に使用されたイギリスルネサンス様式の旧県庁舎。漆喰の天井や絨毯、カーテンなど当時のまま復元されています。アフィニス夏の音楽祭とキャンドルスケープもここで開催されます。

冷やしラーメン 山形市発祥の名物ラーメン。氷が浮かぶ冷たいスープとコシのある麺で絶妙な味わい。お店ごとにいろんな味が楽しめます。（撮影協力：栄屋本店）

SUMMER

AUTUMN

18.芋煮会 里芋と牛肉を醤油で味付けした山形の郷土料理。この芋煮をみんなでワイワイと作って食べるのが名物「芋煮会」です。馬見ヶ崎の河川敷が定番スポット。

紅葉の絶景や滋味豊かな味覚。秋を彩る風物誌で身も心もリラックス。

22.モンテディオ山形 山形を拠点に活躍中のプロサッカークラブ。地元サポーターと共に熱い応援を。またチュートリアルを通して試合運営ボランティアとして学生が参加。地域と一緒になって盛り上げます。

21.西川町 月山の麓に広がる西川町。昨年秋には町の廃校を会場に「月山青春音楽祭」という音楽イベントを企画構想学科で開催しました。冬は月山志津温泉の取り組み「雪旅籠の灯り」にも参加しています。

20.日本一の芋煮会フェスティバル 毎年9月第1日曜日に開催される大イベント。6mの大鍋に里芋3t、牛肉1.2t、コンニャク3,500枚、ネギ3,500本などが入り、スケールもおいしる様さも日本一！

19.月山／羽黒山 出羽三山のひとつで、山形県を代表する山として親しまれています。県内のほぼ中央に位置しており、快晴であれば県内各地から見ることができます。大学の研修旅行として定番。

25.ヤマザワ 県内大手スーパーマーケット。学生達もよくお世話になります。企画構想学科ではヤマザワ、UHA味覚糖とのコラボ商品の開発も行いました。秋は道具と食材が揃った芋煮会セットもあり。

24.最上川 米沢の山奥から日本海へ流れ出る、芭蕉の句にも詠まれた最上川。場所や季節により様々な表情が楽しめる日本三大急流のひとつです。舟下りがオススメ！紅葉を楽しみながら、一度体験してみては？

23.山寺（宝珠山立石寺） 約110余年前に慈覚大師が開いたと伝えられる古寺。1015段の石段を登りきった後、眼下に広がる山々は絶景。俳聖芭蕉も訪れ名句を残しました。秋の紅葉狩りもおすすめ。

山形国際ドキュメンタリー映画祭 世界の映画人が山形の地に集まる、2年に一度山形市で開催される映画祭。世界各国の監督や作品が集結。学生も作品の出品やボランティアスタッフとしても参加。

樹氷や霜氷の銀世界に雪見風呂。山形の冬ならではの楽しみが満載！

27.蔵王温泉スキー場 蔵王温泉のすぐ近くにあり、全国各地からスキーヤーが集まります。真冬には樹氷原の中を滑ることが可能。学生も蔵王樹氷まつり「雪と炎の饗宴」で打ち上げ花火を企画しています。

28.夕日と山形の夜景 雪景色が見事な山形。晴れた日は、澄んだ空気が光を反射し、綺麗に辺りを映し出します。中でも大学前の丘は絶景スポット。夕日に照らされた山形の街や、きらめく夜景を一望できます。

29.臥龍温泉 昔から市民に銭湯がわりに愛用されてきた日帰り温泉。熱めの湯が体をほかほかにしてくれるので、勉強の後や、卒業制作期間のリフレッシュとしてもおすすめです。味わいのある建物も一興。

山形そば 山形は各地に「そば街道」が息づき、江戸時代からの老舗も残る、まさに“そば王国”。昔ながらの雰囲気を味わえる、名物板そばや、月山山菜そば、肉そばなど地域色豊かなそばも堪能できます。

30.小国町 歴史遺産学科のフィールドワーク、マタギ体験で訪問する雪深い町。マタギの村に宿泊し、かんじきを履いて雪山自然観察や、ウサギ狩りなどを体験。自然や野生動物との共生について考える機会に。

31.庄内映画村 月山山麓の88ヘクタールの広大な敷地で、映画撮影に使用したオープンセットをそのまま見学できる映画のテーマパーク。映像学科では、卒業制作の撮影などで利用することも可能です。

32.居酒屋 大山 大学近くにあり、3～4年生たちが開く打ち上げの定番のお店。新鮮な刺身や焼き魚などのほか、鶏唐など充実のメニューで、どれもたっぷりのボリューム。芸工大生のアルバイトも多数。

33.蔵オビハチ／大⍁ 芸工大を中心とした「ヤマガタ蔵プロジェクト」が最初に再生させた蔵づくりのカフェ。ギャラリーやライブハウスとしても使用されています。市内には同じく再生した蔵ダイマスも。

26.蔵王温泉 開湯1900年の歴史があり、美肌の湯としても知られます。蔵王温泉スキー場もあり、冬はスキーと一緒に楽しめます。名物玉こんにゃくも欠かせません。

WINTER

大学院 GRADUATE SCHOOL

博士後期課程 芸術工学専攻

修士課程 芸術文化専攻／修士課程 デザイン工学専攻

4年間で得た知識や術を、より深く追求していきたい。将来、地域・日本はもちろん世界中で活躍できる表現者、研究者を目指して。

東北芸術工科大学の理念である「芸術文化の中心として広く知識を授けると共に、深く芸術学、デザイン工学に関する専門の学芸を研究し、『術』と『学』の一本化による『もの』を形づくることを喜びとする人材の育成、学術文化の向上及び産業の振興に貢献すること」は、大学院芸術工学研究科においても、最も重要な目標であり、より具現化し、さらなる試みを挑んでいくところです。

この東北、そして山形だからこそ静かに生き続けるアイデンティティー。その息吹を感じながらの創作活動は、きっと探し求める何かを見いだすことができるのではないでしょうか。若々しい活力に満ちた時代を切り拓く力が、ここ山形から全国、そして世界へと飛び立っています。

大学院修士課程 芸術文化専攻では、人間の「精神」の充足に寄与する芸術の存在意義を探求し、文化の担い手として研究・創作に取組み続けられる人の育成を、デザイン工学専攻では、現代社会が直面する諸問題の解決を図り、健やかな生活の実現を目指す「用」のデザインを志向し、実践し続けられる人の育成を目指しています。

また大学院博士後期課程 芸術工学専攻では、学究的態度、批評的態度、及び利他的態度を備えた、創造的なる人間のための研究者の育成を目指しています。

大学院で研究できる分野

博士後期課程 芸術工学専攻
芸術文化／歴史文化／文化財科学／デザイン方法論／環境計画

修士課程 芸術文化専攻
保存修復／歴史文化／日本画／洋画／彫刻／工芸／芸術総合／美術教育学

修士課程 デザイン工学専攻
プロダクトデザイン／環境デザイン／グラフィックデザイン／映像

※大学院仙台スクールの教育課程は、「地域のコンテンツ・ビジネスの育成振興にかかる連携協定」の満了に伴い、2014年度以降の募集を行ないません。

２０１４年度　学科、教養教育センター所属教員

※記載は所属学科／あいうえお順としています。

学長

根岸吉太郎 教授　映画監督・映像制作

副学長

片上義則 教授　プロダクトデザイン

宮島達男 教授　現代アート

芸術学部

芸術学部長　木原正徳 教授

文化財保存修復学科

長坂一郎 教授　日本彫刻史

藤原徹 教授　西洋彫刻修復

森直義 教授　西洋絵画修復

安發和彰 准教授　西洋中世美術史（スペイン美術）

三浦功美子 准教授　保存修復

米村祥央 准教授　保存科学

歴史遺産学科

北野博司 教授　日本考古学

田口洋美 教授　民俗学、文化人類学、環境学

佐藤健治 准教授　歴史遺産

謝黎 講師　服飾人類学、東アジア比較文化論、近・現代中国史

竹原万雄 講師　日本近世、近代史

長井謙治 講師　考古学

美術科 日本画コース

末永敏明 教授　日本画

長沢明 教授　日本画

番場三雄 教授　日本画

三瀬夏之介 教授　日本画

谷善徳 准教授　日本画

美術科 洋画コース

石井博康 教授　油彩

木原正徳 教授　油彩

山田修市 教授　油彩

青山ひろゆき 准教授　油彩

鴻崎正武 准教授　油彩

瀬島匠 准教授　油彩

小田志保 助教　油彩

美術科 版画コース

若月公平 教授　版画（銅版画）

中村桂子 准教授　版画

美術科 彫刻コース

保田井智之 教授　彫刻

前田耕成 教授　彫刻

吉賀伸 講師　彫刻

美術科 工芸コース

小林伸好 教授　漆総合技術、漆造形

佐々木理一 准教授　陶芸

深井聡一郎 准教授　陶芸

小林秀幹 准教授　金工

美術科 テキスタイルコース

辻けい 教授　テキスタイル

柳田哲雄 講師　テキスタイル、染色

美術科 総合美術コース

松田道雄 教授　社会活動論、フィールドワーク論、コミュニティ教育論

松村泰三 准教授　アート・アンド・テクノロジー

文芸学科

石川忠司 教授　日本語表現、文芸評論

川西蘭 教授　日本語表現

山川健一 教授　日本語表現

池田雄一 准教授　文芸評論

藤原千尋 講師　日本語表現、編集

デザイン工学部

デザイン工学部長　片上義則 教授

プロダクトデザイン学科

上原勲 教授　プロダクトデザイン、クラフトデザイン、カーデザイン

片上義則 教授　プロダクトデザイン

三橋幸次 教授　プロダクトデザイン、商品企画

日野一郎 教授　プロダクトデザイン

柚木泰彦 教授　プロダクトデザイン

早野由美恵 准教授　インテリア・空間デザイン

エマニュエル・ムホー 准教授　インテリア・空間デザイン

酒井聡 講師　プロダクトデザイン

藤田寿人 講師　家具・インテリアデザイン

建築・環境デザイン学科

志村直愛 教授　建築史、都市史、都市景観、まちづくり

竹内昌義 教授　建築・家具・都市デザイン、空間の造形に関する一切のこと

山畑信博 教授　建築設計、建築構法

吉田朗 教授　都市・地域計画、都市交通計画、交通行動分析

田賀陽介 准教授　建築

西澤高男 准教授　建築、メディアアート、プロダクトデザイン

馬場正尊 准教授　建築、リノベーション、都市生活提案

三浦秀一 准教授　都市環境、地域環境

渡部桂 准教授　ランドスケイプ

グラフィックデザイン学科

近藤一弥 教授　エディトリアル・ブックデザイン、ポスターデザイン

田中康博 教授　グラフィックデザイン、CG、webデザイン

中山ダイスケ 教授　現代美術、グラフィックデザイン

赤沼明男 准教授　アートディレクション、グラフィックデザイン

大竹左紀斗 准教授　エディトリアルデザイン

澤口俊輔 准教授　グラフィックデザイン

原高史 准教授　現代美術、グラフィックデザイン

坂東慶一 准教授　現代美術、グラフィックデザイン

相原健二 准教授　クリエイティブディレクション

映像学科

今村直樹 教授　CMプランナー

加藤到 教授　映像表現（実験映画、ビデオアート、インスタレーション、パフォーマンス）

西村宜起 教授　コンピュータ映像

根岸吉太郎 教授　映画監督・映像制作

林海象 教授　映画監督

岩井天志 准教授　ビデオ、アートプロデュース

前田哲 准教授　映画監督、映像制作

屋代敏博 准教授　写真、現代芸術

企画構想学科

- 軽部政治 教授　プランニング
- 小山薫堂 教授　脚本、プランニング、ディレクション
- 関橋英作 教授　ブランディング
- ボブ田中 教授　プランニング
- 松村茂 教授　e-ビジネス、起業化支援、地域活性化、まちづくり、地域経営、都市工学
- 山下英一 教授　情報デザイン研究、近代から20世紀にかけての美術・デザイン研究
- 夏目則子 准教授　広告企画
- 本吉裕之 准教授　実践経営

コミュニティデザイン学科

- 山崎亮 教授　コミュニティデザイン
- 岡崎エミ 准教授　コミュニティデザイン・編集
- 出野紀子 講師　コミュニティデザイン・建築設計
- 丸山傑 講師　コミュニティデザイン・映像制作

教養教育センター

教養教育科目

- 相羽康郎 教授　都市デザイン、住宅地計画
- 小林敬一 教授　都市計画
- 古藤浩 教授　都市地域解析学
- 久保田力 教授　インド宗教思想史、仏教学、宗教学
- 白神浩志 教授　ゲームデザイン・システムプログラミング論、WEBサイトエンジニアリング論
- 白杉悦雄 教授　中国思想史、中国科学史、日本科学史
- 山口雅克 教授　英語学、英語教育（TOEIC指導、テキスト作成）、近現代ジェンダー史
- 川口幾太郎 教授　体育学（方法）、運動学
- 吉田正高 准教授　歴史学、コンテンツ学研究
- 柳川郁生 准教授　体育学、スポーツ運動学、体操競技
- 高田隆太 講師　ドイツ語、ドイツ文学

教職課程

- 池田正 教授　教職課程
- 片桐隆嗣 教授　教育社会学、社会教育、社会学、教職課程

大学院

研究科長 白杉悦雄 教授

- 白杉悦雄 教授　中国思想史、中国科学史、日本科学史
- 酒井忠康 教授　彫刻美術史
- 宮本武典 准教授／学芸員　学芸員、展示企画

2014年度非常勤講師

※記載はあいうえお順としています。着任時期の都合で掲載のない方が居ます。

文化財保存修復学科

石澤晴典
及川規
岡部信幸
小林俊介
坂本雅美
佐藤琴
佐藤庄一
成瀬正和
松崎俊之
山崎真紀子
山田烈

歴史遺産学科

思沁夫
原賀治

美術科

日本画コース

梅原幸雄
岡村桂三郎
小野寺啓
齋正機
清水由朗
土屋礼一
米谷清和

洋画コース

秋山さやか
小林裕児
椎葉聡子
芝章文
高松和樹
津上みゆき
長谷川健司
水野暁
吉川民仁
吉武研司

版画コース

大塩紗永
佐藤妙子
鈴木吐志哉
馬場知子
廣澤仁
筆塚稔尚
辺見海
三浦一之

彫刻コース

伊藤恵夫
海崎三郎
金沢健一
高野浩子
坂田啓一郎
田中圭介
平井一嘉
松岡圭介
和田直人

工芸コース

安藤泉
奥窪聖美
桂盛仁
川合純司
川原龍美
椎名勇
東海林晴美
杉浦康益
田口義明
手島敦
外舘和子
中井川由季
西川雅典
橋本昌彦
長谷川奈津
長谷川泰子
冨士原文隆
古瀬静子
増田尚紀
村野隆男
柳橋歩季
山口みちよ
山瀬年史
横倉晋也
吉田宏信

テキスタイルコース

五十嵐真弓
影山のり子
ジョンソン ジョリー
中島洋一
畑野渡
原口良子
平山素子
藤原大
山岸幸一
山崎和樹

総合美術コース

伊藤尚未
河合規仁
小岩勉
作田弘治
高橋三紀子

文芸学科

栗原康
越水利江子

プロダクトデザイン学科

天羽慎之介
井上貴詞
遠藤和紀
久世祥三
篠崎幸恵
谷浩二
降旗英史
若井正一

建築・環境デザイン学科

荒木和夫
坂口大洋
志賀秀一
武田吉弘
堤和司
西脇智哉
羽原松明
樋口進
平岡善浩
本郷智大
三辻和弥
宮城聡
目黒初雄
八色宏昌
八重樫直人
渡辺農

グラフィックデザイン学科

石井一十三
萩原尚季

映像学科

稲葉まり
梅木駿佑
越後谷出
大友良英
加藤律昭
河合政之
川島章正
志鎌康平
藤山武
水野健一郎

企画構想学科

上野滋
河尻亨一
樋口恭一
村山秀明

教職課程／学芸員課程

片岡杏子
黒木仁
鈴木強太
野口一雄
宮崎昭
山本和弘

教養科目

伊勢博
阿部定治
伊藤悟
海老名郁夫
奥野誠一
小熊正久
加々島慎一
梶尾悠史
栗山恭直
是川晴彦
佐藤駿
杉山朋子
滝口克典
津留俊介
中島和夫
永幡嘉之
松本邦彦
丸山俊明
元木幸一
板垣和良
ウェア エスター
宇津まり子
大谷嘉芳
金子淳
亀山博之
小林惠
齋藤真理子
佐々木蕗子
佐藤博晴
鈴木宏三
曽睿
ソマーズ リサ
ディステファノ ジョン
中台優子
布川裕行
ネルムス ジョン
日向由子
プライス ポール
ブラシェ フィリップ
降籏美佐子
古澤弘美
横沢由実
赤川新一
清水有
菅谷昌弘
加藤由美
竹田隆一
山内賢

大学院

岡村多佳夫

TOHOKU UNIVERSITY OF ART AND DESIGN DATA 2015

東北芸術工科大学 2015年度 データ

1 オープンキャンパス …… 197
2 2015年度入試概要 …… 197
3 AO入試 …… 198
4 入試問題集 …… 198
5 アドミッションポリシー …… 198
6 入試の質問 …… 198
7 学生出身高校一覧 …… 199
8 学費／初年度納付金 …… 201
9 パソコン教育と環境 …… 201
10 学生支援体制 …… 201
11 就職支援 …… 202
12 卒業生の主な就職先 …… 202
13 大学の主な事業と附置機関 …… 205
14 東北芸術工科大学概要 …… 207
15 交通アクセス …… 207

1 オープンキャンパス

見る！知る！話す！体験する！

東北芸術工科大学 オープンキャンパス２０１４

東北芸術工科大学ってどんなところ?各学科の企画やイベント、学生や先生との交流を通して、肌で芸工大を感じよう！楽しい企画やイベントを用意して、皆さんの参加をお待ちしています！

春のオープンキャンパス
5月31日（土）10時30分～17時

夏のオープンキャンパス
8月2日（土）・3日（日）10時30分～17時

入退場自由、申し込み不要、午後からの参加もOK！

当日は各地より無料バスを運行、学内駐車場の利用も可能です。

●企画、イベント、バスについての詳細は芸工大のホームページに随時掲載します。

2 2015年度 入試概要

東北芸術工科大学では受験生の方が自分の特性や得意科目で積極的にチャレンジできるように、様々な入試方法を用意しています。

※左記試験日程などは変更する場合がありますので、後日発行する「学生募集要項」で改めてご確認ください。

入試パターン

面接／センター試験／教科科目／提出課題／ワークショップ／小論文等／実技

試験名	試験のポイント	出願期間	試験日	合格発表	試験会場
AO入学試験 他大学併願×	●「東北芸術工科大学で学びたい！」という強い意志と目的意識を持った方を求める専願の入試。●ミニ講義や体験授業への参加・面接などにより、多角的な評価で選考。●受験時の実力だけでなく、これまでの取り組みや活動も評価。●合格の場合、入学辞退は不可。	2014年 8月22日(金) 〜 9月4日(木)	学科・コースにより 9月13日(土)・14日(日)	9月24日(水)	山形
自己推薦入学試験 A.小論文／実技型　B.教科科目型 複数学科併願〇 他大学併願〇	●出願条件は、以下のいずれか。「調査書の評定平均値が3.3以上、または各教科の評定平均値で4.0以上の教科が1つ以上あること」または「AO入試に出願した者」。●【A小論文／実技型】小論文または実技系試験＋人物評価（出願書類と面接試験）の総合評価で判定。【B教科科目型】教科1科目＋人物評価（出願書類のみで面接試験なし）で判定。いずれも第三志望の学科・コースまで併願可能で、A、B両試験への同時出願も可能。	10月17日(金) 〜 10月28日(火)	11月9日(日)	11月17日(月)	山形 東京 札幌
小論文特別選抜試験／デッサン特別選抜試験／面接型特別選抜試験 複数学科併願〇 他大学併願〇	●「小論文」、「鉛筆デッサン（静物）」、「鉛筆デッサン（手）」、「面接」のいずれかで合否を判定。●3つ試験への同時出願も可能。	11月14日(金) 〜 11月27日(木)	12月9日(火)	12月22日(月)	山形
一般入学試験（前期） 1 2 複数学科併願〇　他大学併願〇	●以下の2つの受験パターンから選択 （学科・コースにより異なる） 1．得意な教科2科目 2．得意な教科1科目＋小論文又は実技系試験 ●同じ試験日の「大学入試センター試験利用入学試験」にも出願することで、合格のチャンスが広がる。	2015年 1月9日(金) 〜 1月22日(木)	1月31日(土)	2月11日(水)	山形　札幌 東京　仙台 ※試験科目により仙台での受験不可
一般入学試験（専願型） 複数学科併願× 他大学併願×	●小論文または実技系試験＋人物評価（出願書類と面接試験）の総合評価で判定。●合格の場合入学辞退は不可。●同じ試験日の「大学入試センター試験利用入学試験（1科目利用）」との同時出願は可能。その場合、実技系試験は同一を選択すること。	1月9日(金) 〜 1月22日(木)	1月31日(土)	2月11日(水)	山形
大学入試センター試験利用入学試験（1科目利用） 複数学科併願〇 他大学併願〇	●大学入試センター試験の成績上位1科目の点数と、本学の小論文または実技系試験の合計点で判定。●小論文または実技系試験は、一般入試（前期）と同日に実施。●一般入試（前期）にも出願することで、合格チャンスが2倍に。※事前に大学入試センター試験を受験してください。過年度の成績は利用できません。	1月9日(金) 〜 1月22日(木)	1月31日(土) センター試験 1月17日(土) 18日(日)	2月11日(水)	山形　札幌 東京　仙台 ※試験科目により仙台での受験不可
大学入試センター試験利用入学試験（2科目利用） 複数学科併願〇 他大学併願〇	●大学入試センター試験の成績上位2科目の点数で判定。 ※事前に大学入試センター試験を受験してください。 過年度の成績は利用できません。	前期 1月9日(金) 〜 1月26日(月) 後期 2月20日(金) 〜 3月9日(月)	センター試験 1月17日(土) 18日(日)	前期: 2月11日(水) 後期: 3月20日(金)	
一般入学試験（後期） 複数学科併願〇 他大学併願〇	●小論文または実技系試験のみで判定。	2月20日(金) 〜 3月9日(月)	3月15日(日)	3月20日(金)	山形 東京

3 AO入試

東北芸術工科大学のアドミッション・オフィス入試（AO入試）は、一般的な大学入試のように「機械的に点数の低い受験者を落とす」だけの選抜型とは、全く異なります。選考の際は、アドミッション・ポリシー（項目5参照）やカリキュラムなどを理解していただき、ワークショップやミニレクチャーに参加したうえで、面接を行います。これらを通して、受験時点での実力だけではなく、教わろうとする意欲や取り組む姿勢、集中力、将来性など、個々の幅広い魅力と能力を見い出し、多角的な評価で選考する点が大きな特徴です。東北芸術工科大学のAO入試は、大学と受験生の相互理解を深め、通常の入試では評価されにくいあなた自身の発見につながる、ワクワクするチャレンジになるでしょう。さらに、合格者の皆さんは、『ミニ芸工大生』にふさわしい「入学準備プログラム」に取り組みます。これは、入学までの時間を、楽しく有意義に過ごすための厳選プログラムです。（合格の場合、入学辞退はできません）

4 入試問題集

年度毎に、過去の入試問題（教科科目試験も含む）および参考解答を、カラー写真を豊富に使用して掲載しています。また、今年度より実施する新科目の概要も掲載しています。芸工大のホームページから請求できますので、お気軽にお取り寄せください。

入試情報についての問合せ先：入試課
TEL：0120-27-8160
FAX：0120-57-2154
E-mail: nyushi@aga.tuad.ac.jp

AO入試の流れ

出願
出願期間：2014年8月22日（金）〜 9月4日（木）
○芸工大生になりたいと思ったら、まずはエントリー！

選考
選考日：9月13日（土）または14日（日）
○レクチャーなどを受け、もっと芸工大や学科のことを知って納得！
○ワークショップで教員のアドバイスを受けながら、モノをつくったり、コトを考えたりする楽しさや喜びを実感！
○芸工大で学びたいという熱い想いを表現しよう。

合格発表
合格発表：9月24日（水）
○『ミニ芸工大生』の誕生！
○このAO入試で、入学予定者の約50%を入学させたいと考えています。

入学準備プログラム
11月〜3月
○単に基礎学力を高めるための課題に取り組むものではありません。『ミニ芸工大生』から『リアル芸工大生』になるために必要な教養や専門領域の知識・技術を習得できるようなプログラムに参加してもらいます。

入学
2015年4月上旬入学式
○晴れてリアル芸工大生の誕生！
○AO入試を突破し、入学準備プログラムで鍛えられたあなたは、確実に一歩リードしています。自信をもって大学生活に臨もう。

全国各地で進学相談会を開催します！

芸工大の進路ナビゲーターが皆さんの街で進学相談会を開催します。入試に関する質問はもちろん、学生生活や進路に関する質問など個別にお答えします。保護者の方もお気軽にご来場ください。

都市名	月/日	曜日	時間	会場	
札幌	8/5	（火）	13:00 〜 17:00	札幌ガーデンパレス	★
青森	6/11	（水）	14:30 〜 18:00	青森国際ホテル	
八戸	5/16	（金）	14:30 〜 18:30	八戸プラザアーバンホール	
弘前	6/12	（木）	14:30 〜 18:30	ベストウエスタンホテルニューシティ弘前	
秋田	5/19	（月）	15:00 〜 18:00	アルヴェきらめき広場	
	6/13	（金）	14:30 〜 18:00	アルヴェきらめき広場	
	9/2	（火）	15:30 〜 18:30	アルヴェきらめき広場	
	11/20	（木）	15:00 〜 18:00	アルヴェきらめき広場	
盛岡	5/15	（木）	14:30 〜 18:30	ホテルメトロポリタン盛岡	
	6/30	（月）	15:00 〜 19:30	ホテルメトロポリタン盛岡ニューウイング	
	9/3	（水）	15:30 〜 18:30	ホテルメトロポリタン盛岡	
	11/19	（水）	15:00 〜 18:00	岩手県民情報交流センターアイーナ	
北上	5/19	（月）	15:00 〜 18:00	北上市民交流プラザ	
仙台	4/23	（水）	14:30 〜 18:00	仙台サンプラザ	
	8/10	（日）	10:30 〜 15:30	せんだいメディアテーク	★
	5/17	（土）	13:00 〜 17:00	TKPガーデンシティ	★
	5/20	（火）	14:30 〜 18:00	仙台市情報産業プラザ AER	
	6/24	（火）	15:00 〜 18:00	仙台サンプラザ	
	7/12	（土）	13:30 〜 17:30	仙台市情報産業プラザ AER	
	7/16	（水）	14:00 〜 18:00	仙台サンプラザ	
	8/10	（日）	10:30 〜 15:30	せんだいメディアテーク	★
	9/5	（金）	15:00 〜 18:00	ホテルメトロポリタン仙台	
	11/18	（火）	15:00 〜 18:00	仙台市情報産業プラザ AER	
石巻	6/23	（月）	15:00 〜 18:00	石巻グランドホテル	
山形	4/22	（火）	15:00 〜 18:00	山形国際ホテル	
	5/23	（金）	14:30 〜 18:00	山交ビル	
	6/25	（水）	15:00 〜 18:00	山形国際ホテル	
	9/4	（木）	15:30 〜 18:30	ホテルメトロポリタン山形	
酒田	5/24	（土）	13:30 〜 16:00	酒田市総合文化センター	
福島	5/9	（金）	15:00 〜 18:00	MAX ふくしま Aoz	
郡山	5/8	（木）	15:00 〜 18:00	ホテルハマツ	
	7/25	（金）	12:00 〜 16:00	郡山市民文化センター	★
	11/26	（水）	15:00 〜 18:00	郡山ビューホテルアネックス	
会津	5/12	（月）	15:00 〜 18:00	会津若松ワシントンホテル	
宇都宮	5/10	（土）	13:00 〜 17:00	マロニエプラザ	★
新潟	7/31	（木）	12:00 〜 16:30	新潟県民会館	★
東京	5/24	（土）	12:00 〜 17:00	新宿 NS ビル	★
千葉	6/28	（土）	13:00 〜 17:00	幕張メッセ	★
つくば	4/23	（水）	14:00 〜 18:00	つくばカピオ	★
埼玉	5/3	（土）	13:00 〜 17:00	大宮ソニックシティ	★
静岡	7/10	（木）	14:00 〜 19:00	ツインメッセ静岡	★
長野	8/1	（金）	13:00 〜 17:00	メルパルク長野	★
宮崎	7/24	（木）	14:00 〜 19:00	宮崎スカイタワーホテル	★
沖縄	7/6	（日）	10:00 〜 17:00	那覇市民会館	★

★印の会場では、入試参考解答などの作品を展示します。※上記以外にも開催することがありますので、本学HPでご確認ください。※日程や会場が変更になる場合があります。ご来場前に本学HP等でご確認ください。

5 アドミッションポリシー

本学では建学の理念に基づいて、次のような資質や可能性を感じさせる入学希望者を求めています。

【芸術学部】

芸術は人間の美を求める至高の精神と限りない知に基づくものであり、それは人々に夢や希望を与える力を持っています。従って、そこに携わる者には人間としての豊かさが求められ、芸術学部ではそのような資質や可能性を感じさせる入学希望者を下記の観点から募集します。

①自己のことだけでなく、広く社会を見渡すなかで芸術が担う可能性や歴史認識を伴った時代性を、アートを通して思考する力
②美の探究や創造について思索するだけでなく、手を通して実践する能力
③真摯な学習意欲、基礎的な造形力、自己表現力と独創性、想像力と創造力

【デザイン工学部】

デザインとは単なる視覚的な美しさや技術的なことだけでなく、人間のライフスタイルや生き方そのものを提案できるような「考え方」を含めたものです。従って、21世紀の課題である社会との共生、自然との調和といった大きな目的を達成するため、デザインを表現方法や自己表現レベルに留めることなく、自らの創造力と感性によって人間社会の真の豊かさについて考え、体現しようとする入学希望者を下記の観点から募集します。

①真摯な学習意欲、基礎的学力、思考力、表現力
②人間や社会、自然環境の諸問題を幅広い視野から考察する力
③物事のあるべき姿、なすべきことを構想し、提起する力

6 入試の質問

Q1 美術系・デザイン系の大学に進学しても、ちゃんと就職できるの？

大学卒業生に求められる採用条件は、決して学部の専門性や資格に偏ったものではありません。社会には、専攻にとらわれない「その人自身」を活かせる職業が数多くあります。「学部の専門＝仕事に活かす内容」と限定し、「美術・デザインの分野は就職に不利」と考えるのは誤りです。卒業後に希望の仕事に就けるのか、どんな仕事に就くのかは「本人次第」です。東北芸術工科大学の卒業生には、美術科の卒業生でIT系の会社を立ち上げた人や、銀行で働いている人もいます。「美術」の場合は、「大学で学ぶ＝作家の勉強をする」という意味もあります。「作家」は「作家活動で収入を得る人」だけを指すものではありません。学校の先生をしながら絵を描く、会社に勤める傍ら文章を書くなど、

表現することが好きな人が、生涯共にする活動が「作家」です。また、「描く、作る、表現する」ということは、数多くあるデザイン作業の一部に過ぎません。デザインを学んで身につけられることは、今の社会で求められている問題発見、調整、企画、提案力など様々です。そして「人や社会」における「美術・デザイン」という視点の重要性は、今日ますます高まっています。

Q2 受験雑誌の「偏差値」はどのように考えたらいいの？信憑性はあるの？

「偏差値」は、自分の学力が入学試験で通用するかを判断する、数多くの材料の中の一つに過ぎません。偏差値の算出方法は簡単には、「前年度に模擬試験を受験した生徒が、その年度に大学を受験して、合格したかどうか」を根拠としています。前年度の結果を基準にして、模擬試験の受験者全体の中で自分がどの辺りに位置しているのか、という数字です。しかし模擬試験によって、画一的に5教科6科目で算出したり、大学ごとの入試に必要な教科数だけで算出するなど、計算根拠が統一されていません。また実際の入試でも、教科科目のみで実施しているところでも、受験科目数は様々です。教科科目に加えて、実技や小論文の試験を課し、その合算点で順位付けを行っている場合もあります。そして、本人が受験する時点の受験生の学力レベルは、誰にもわかりません。これらを考えると、「偏差値」のみを信用してしまうのは、自分の可能性と選択の幅を狭めることにつながります。「偏差値」が「ものさし」になることは確かですが、あくまでも尺度の一つとして、本人の成長にどう活かしていくかを考えることが大切です。

Q3 大学の専門と「仕事」が結びつかない。学んだことは仕事に活かすべき？

無理に結びつける必要はありません。「大学では音楽を専攻したいが、音楽や楽器に携わる仕事に就きたいわけではない」「社会学を専攻したいが、卒業後は仕事でそれを活かせるのだろうか？」など、このような内容で進路を悩んでいる人は多くいますが、「学部の内容＝将来の仕事に役立たせるもの」にとらわれる必要はありません。特定の職種を除いて、企業や団体、自治体などが採用条件に専攻学部を指定しているところは少数です。社会では、色々な特徴を持った者同士が、個性を活かしながら一つの課題に取り組んでいきます。限られた価値観・考えを持った人だけを採用するメリットはないため、学部を採用条件で指定していない場合もあります。学生生活を通じて養われた魅力的な人間性、つまり「人間力」に期待しているからです。何を感じて、どう考えて過ごしたのか、社会でこれからどう生きたいのか、専攻学部での研究・制作のほか、教養教育や課外で何を得てきたのかなどによって、就職後にどれだけその人材が伸びる可能性があるのかを評価しているのです。

Q4 受けたい学科は実技試験が必須。これからの実技試験対策は時期的に難しいですか？

この質問を寄せる方は、「覚悟を決めていない方」がほとんどです。秋頃から1月中旬頃までが一番質問が多い時期ですが、受けたい大学の入学試験に実技対策が必要ならば、限られた時間でやる、というのがベスト。本当にやりたいことを目指しているのなら、「今年がダメでも来年にチャレンジする」との考え方もあります。もしあなたがセンター試験対策一本に絞りこんで悩んでいるのなら、実技ではなく「教科科目のみで受験できる大学」「小論文を選択できる大学」などを堂々と選ぶこと。「私は、入試方法で選んでその大学を受験する」という考え方は、間違いではありません。

Q5 「芸大・美大」には憧れているけれど、自分は「絵」が下手だから無理？

「無理」とあきらめる前に、今の自分の思いを冷静に判断しましょう。

（1）大学で学びたい分野は？
（2）その理由はなぜ？
（3）その分野を学ぶことのできる学校は？
（4）その中で自分の希望する学校はどこ？
（5）それらの学校の試験内容は？
（6）その試験日程は？
（7）試験方法に挑む力が身についている？

ポイントは、（7）。このことを自分で診断するのは難しいですから、入試の過去問題集や合格作品例を手に入れたり、高校や予備校の先生に相談したり、大学スタッフに相談するなど、自分の力を客観的に判断してもらうことが大切です。基礎的な造形力、表現力の習得が必要なら、練習あるのみ。最初から上手い人はいません。また、「芸術・美術系＝実技試験」という考えはやめましょう。特に、デザイン系は「描くことがデザインではない」と理解することです。例えば、ポスターを制作するには、色彩力や造形力も必要です。しかし、ポスターはそれ自体で「情報を人に伝える」という機能があります。その目的やテーマ、使いたい色やイメージなどの打合せを、依頼者としなければなりません。その情報交換をする時は、描くこと以上に、分析力やコミュニケーション能力が必要です。困っている人がいる、こんな目的がある、それを解決・実現するにはどうするべきか？「デザイン」はその全てに関わること。ですから大学によっては、教科科目試験、面接試験、小論文試験など、「実技」以外の試験を課している場合も多いのです。あきらめる前に、もっと情報を集めてみましょう。

7 学生出身高校一覧

これまでの東北芸術工科大学の学生は、こんな高校を卒業しています。

【北海道】釧路工業高専／函館工業高専／札幌東／札幌西／札幌南／札幌北／札幌月寒／札幌啓成／札幌北陵／札幌手稲／江別／札幌西陵／札幌白石／千歳／野幌／恵庭南／恵庭北／有朋／札幌旭丘／札幌開成／札幌藻岩／札幌清田／函館中部／函館西／函館水産／函館工業／八雲／江差／桧山北／長万部／南茅部／小樽潮陵／小樽桜陽／小樽工業／小樽商業／倶知安／岩内／岩見沢東／岩見沢西／夕張／栗山／岩見沢緑陵／滝川／沼田／滝川西／旭川東／旭川西／旭川北／富良野／鷹栖／おといねっぷ美術工芸／留萌／羽幌／稚内／北見北斗／網走南ケ丘／遠軽／紋別北／雄武／室蘭栄／室蘭清水丘／室蘭東翔／苫小牧東／苫小牧西／苫小牧南／苫小牧工業／虻田／静内／平取／帯広柏葉／帯広三条／帯広工業／清水／音更／帯広南商業／釧路湖陵／釧路江南／釧路東／根室／中標津／標茶／釧路北陽／北広島／札幌新川／札幌平岸／札幌南陵／帯広緑陽／上ノ国／札幌真栄／札幌厚別／札幌稲西／札幌東豊／北広島西／函館稜北／旭川凌雲／北見緑陵／伊達緑丘／函館／札幌稲雲／大麻／札幌篠路／札幌国際情報／札幌白陵／釧路明輝／札幌市立高専／北海／札幌光星／北海学園札幌／立命館慶祥／北海道尚志学園／札幌第一／藤女子／北星学園大学附属／北星学園女子／札幌大谷／海星学院／北嶺／遺愛女子／函館白百合学園／函館大学付属柏稜／北星学園余市／駒澤大学附属岩見沢／旭川藤女子／旭川龍谷／旭川実業／帯広大谷／帯広北／札幌日本大学／クラーク記念国際／星槎国際

【青森県】青森／青森西／青森東／青森北／青森南／青森中央／弘前／弘前中央／弘前南／八戸／八戸東／八戸北／八戸西／木造／五所川原／黒石／野辺地／七戸／百石／三本木／田子／六戸／三沢／田名部／大湊／三戸／五所川原農林／三本木農業／青森工業／弘前工業／五所川原工業／十和田工業／弘前実業／黒石商業／北斗／青森戸山／八戸南／十和田西／尾上総合／東奥義塾／弘前学院聖愛／青森山田／弘前東／青森明の星／八戸聖ウルスラ学院／光星学院／五所川原第一／松風塾／八戸工業大学第二

【岩手県】盛岡第一／盛岡第二／盛岡第三／盛岡第四／盛岡北／杜陵／盛岡工業／盛岡商業／沼宮内／平舘／雫石／花巻北／花巻南／大迫／黒沢尻北／北上翔南／黒沢尻工業／西和賀／水沢／水沢工業／水沢商業／金ケ崎／一関第一／一関第二／一関工業／花泉／大東／千厩／千厩東／高田／大船渡／遠野／宮古／宮古商業／久慈／大野／軽米／福岡／一戸／盛岡市立／宮古北／盛岡南／不来方／釜石／岩谷堂／釜石祥雲支援／岩手／盛岡白百合学園／岩手女子／江南義塾盛岡／盛岡大学附属／盛岡スコーレ／盛岡中央／一関修紅／専修大学北上／花巻東

【宮城県】仙台高専／仙台第一／仙台第二／仙台第三／仙台向山／古川／角田／築館／佐沼／白石／石巻／気仙沼／塩釜／名取／泉／多賀城／岩ケ崎／宮城第一／仙台二華／仙台三桜／石巻好文館／古川黎明／涌谷／登米／志津川／村田／中新田／女川／松島／本吉響／小牛田農林／加美農業／黒川／柴田農林／宮城県工業／古川工業／石巻工業／白石工業／米谷工業／石巻商業／大河原商業／仙台南／仙台／石巻市立女子／仙台工業／石巻市立女子商業／貞山／名取北／泉松陵／仙台西／泉館山／宮城広瀬／利府／石巻西／気仙沼西／柴田／仙台東／富谷／宮城野／迫桜／東松島／仙台大志／仙台青陵／仙台商業／美田園／仙台育英学園／東北／東北学院／東北学院榴ケ岡／宮城学院／仙台白百合学園／尚絅学院／常盤木学園／聖和学園／東北生活文化大学／明成／聖ウルスラ学院英智／聖ドミニコ学院／仙台城南／古川学園／秀光中等教育学校

【秋田県】秋田工業高専／秋田／秋田北／秋田南／秋田工業／花輪／十和田／大館鳳鳴／大館桂／能代／能代北／本荘／由利／由利工業／西目／矢島／大曲／角館／角館南／横手／横手城南／雄物川／増田／湯沢／羽後／秋田明徳館／仁賀保／秋田中央／秋田商業／雄勝／秋田西／男鹿工業／新屋／大館／平成／御所野学院／男鹿海洋／横手清陵学院／大館国際情報学院／秋田北鷹／湯沢翔北／明桜／聖霊女子短期大学付属／国学館／秋田和洋女子／秋田公立美術大学付属高等学院

【山形県】鶴岡工業高専／山形東／山形南／山形西／山形北／山形工業／山形中央／山形市立商業／天童／山辺／寒河江／寒河江工業／谷地／左沢／楯岡／東根工業／新庄北／新庄南／金山／真室川／米沢興譲館／米沢東／米沢工業／米沢商業／置賜農業／高畠／長井／長井工業／荒砥／小国／鶴岡南／鶴岡北／鶴岡工業／庄内農業／庄内総合／山添／酒田東／酒田西／遊佐／北村山／南陽／上山明新館／霞城学園／鶴岡中央／新庄神室産業／酒田光陵／山形城北／山形学院／日本大学山形／山形明正／山形電波工業／山本学園／東海大学山形／新庄東／九里学園／米沢中央／基督教独立学園／羽黒／鶴岡東／天真学園／酒田南／和順館

【福島県】福島（県立）／橘／福島西／福島商業／福島工業／福島北／川俣／保原／安達／二本松工業／本宮／安積／安積黎明／郡山東／須賀川／須賀川桐陽／岩瀬農業／白河／白河旭／田村／会津／葵／会津学鳳／会津工業／喜多方／大沼／川口／田島／磐城／磐城桜が丘／いわき総合／好間／湯本／小名浜／勿来／勿来工業／双葉／浪江／双葉翔陽／相馬／新地／相馬東／原町／相馬農業／安達東／あさか開成／郡山北工業／郡山／福島東／福島南／清陵情報／いわき光洋／光南／郡山萌世／喜多方桐桜／福島（私立）／福島成蹊／桜の聖母学院／聖光学院／郡山女子大学附属／帝京安積／尚志／日本大学東北／東日本国際大学附属昌平／石川（私立）／若松第一／会津若松ザベリオ学園／福島県磐城第一

【茨城県】茨城工業高専／高萩／日立第一／日立第二／多賀／太田第一／太田第二／佐竹／水戸第二／水戸第三／緑岡／水戸農業／水戸工業／水戸南／勝田／勝田工業／笠間／鉾田第二／麻生／土浦第一／土浦第二／土浦工業／石岡第二／下館第一／下館第二／下館工業／下妻第一／下妻第二／鬼怒商業／水海道第一／水海道第二／古河第三／境／東海／友部／竹園／牛久／日立北／水戸桜ノ牧／並木／取手松陽／佐和／那珂／小川／中央／牛久栄進／大子清流／高萩清松／磯原郷英／石下紫峰／明秀学園日立／茨城キリスト教学園／茨城／大成女子／常磐大学／水戸啓明／水城／土浦日本大学／霞ケ浦／東洋大学附属牛久／清真学園／江戸川学園取手／茗溪学園／常総

学院／聖徳大学附属取手聖徳女子／水戸葵陵／鹿島学園／つくば秀英／岩瀬日本大学／つくば開成／第一学院（高萩校）

【栃木県】宇都宮／宇都宮東／宇都宮南／宇都宮女子／宇都宮中央女子／宇都宮白楊／宇都宮工業／宇都宮商業／鹿沼／今市／石橋／小山／小山城南／栃木／栃木女子／栃木工業／佐野／佐野女子／足利／足利南／足利女子／足利工業／真岡／真岡女子／茂木／烏山／大田原／大田原女子／那須清峰／黒磯／黒磯南／矢板東／宇都宮北／鹿沼東／上三川／宇都宮清陵／小山西／さくら清修／栃木翔南／作新学院／文星芸術大学附属／宇都宮文星女子／宇都宮短期大学附属／宇都宮海星女子学院／國學院大學栃木／足利工業大学附属／日々輝学園

【群馬県】群馬工業高専／前橋（県立）／前橋南／前橋女子／前橋商業／前橋清陵／高崎／桐生／桐生南／桐生女子／桐生工業／伊勢崎清明／伊勢崎工業／沼田／沼田女子／館林／館林女子／渋川／渋川女子／藤岡工業／富岡／富岡東／吉井／中之条／嬬恋／西邑楽／前橋（市立）／伊勢崎／伊勢崎（県立）／高崎北／桐生西／前橋東／前橋西／太田東／高崎東／高崎経済大学附属／中央／共愛学園／藤岡中央／桐生第一／新島学園／東京農業大学第二／樹徳／前橋育英／明和県央

【埼玉県】熊谷／松山／川口（県立）／浦和第一女子／熊谷女子／川越女子／春日部女子／松山女子／深谷第一／常盤／浦和西／不動岡／本庄／児玉／越ケ谷／久喜／草加／朝霞／久喜工業／春日部工業／進修館／与野／鴻巣／上尾／豊岡／越生／桶川／八潮／志木／川口北／深谷／熊谷西／川越南／大宮中央／羽生／富士見／羽生第一／春日部東／白岡／川口総合／川口（市立）／大宮北／浦和南／鷲宮／坂戸西／妻沼／大宮東／桶川西／所沢中央／大宮南／狭山清陵／新座総合技術／川越初雁／入間向陽／伊奈学園総合／大宮光陵／越谷総合技術／久喜北陽／鳩ケ谷／芸術総合／上尾鷹の台／鶴ケ島清風／聖望学園／淑徳与野／本庄第一／山村学園／大宮開成／本庄東／武南／東京成徳大学深谷／浦和実業学園／星野／城西大学付属川越／埼玉栄／浦和学院／栄東／秀明／昌平／春日部共栄／西武台／西武学園文理／秀明英光／早稲田大学本庄高等学院／花咲徳栄／開智／川越東／東京農業大学第三／自由の森学園／東野／栄北

【千葉県】千葉（県立）／千葉女子／千葉東／検見川／千葉北／若松／船橋（県立）／鎌ケ谷／市川工業／国府台／国分／行徳／松戸（県立）／小金／柏（県立）／柏南／我孫子／佐原／匝瑳／東金／長生／大多喜／大原／長狭／安房／木更津／君津／市原／銚子（市立）／姉崎／磯辺／市川東／佐倉西／津田沼／柏陵／船橋芝山／松戸六実／船橋二和／稲毛／実籾／松戸向陽／白井／千葉西／市川西／市川昴／流山北／四街道北／柏の葉／幕張総合／成田／昭和学院／千葉敬愛／文理開成／千葉黎明／和洋国府台女子／千葉明徳／国府台女子学院／専修大学松戸／柏日体／日本大学習志野／千葉日本大学第一／二松学舎大学附属柏／中央学院／東海大学付属望洋／横芝敬愛／八千代松陰／暁星国際／東京学館浦安／志学館／渋谷教育学園幕張／市原中央／西武台千葉／東京学館船橋／千葉国際

【東京都】東京工業大学附属科学技術／お茶の水女子大学附属／足立／井草／板橋／上野／江戸川／園芸／大泉／大崎／大森／大山／片倉／国立／小岩／小山台／工芸／江北／鷺宮／石神井／昭和／神代／杉並／高島／竹早／立川／田無工業／田園調布／豊島／豊多摩／永山／東／東村山／東大和／光丘／日比谷／広尾／富士／府中東／保谷／三田／三鷹／武蔵丘／紅葉川／八潮／雪谷／両国／小平西／城東／成瀬／武蔵野北／小川／田柄／松が谷／小平南／田無／南平／晴海総合／つばさ総合／芦花／杉並総合／美原／大泉桜／日野台／小金井北／国際／新宿山吹／小石川／桜修館／板橋有徳／葛飾総合／八王子桑志／九段／世田谷総合／総合芸術／町田総合／大妻／共立女子／錦城学園／女子学院／二松學舎大学附属／和洋九段女子／日本橋女学館／麻布／広尾学園／頌栄女子学院／正則／高輪／戸板女子／東京女子学院／東洋英和女学院高等部／普連土学園／学習院女子高等科／保善／早稲田／青山学院高等部／関東国際／國學院／実践女子学園／東海大学付属望星／桐朋女子／郁文館／京華女子／京北／駒込／獨協／日本大学豊山／岩倉／順天／女子聖学院／聖学院／成立学園／瀧野川女子学園／北豊島／日本大学第一／安田学園／足立学園／潤徳女子／江戸川女子／小野学園女子／品川女子学院高等部／朋優学院／品川エトワール女子／文教大学付属／東京学園／トキワ松学園／日出／目黒学院／多摩大学目黒／八雲学園／東京／東京実業／田園調布学園高等部／鴎友学園女子／科学技術学園／恵泉女学園／国士舘／駒澤大学／下北沢成徳／東京農業大学第一／東京都市大学付属／日本工業大学駒場／和光／玉川学園高等部／日本大学第三／実践学園／杉並学院／文化学園大学杉並／女子美術大学付属／日本大学鶴ケ丘／十文字／豊南／本郷／帝京／日本大学豊山女子／東京女子学院／富士見／自由学園高等科／東星学園／工学院大学附属／聖パウロ学園／八王子／明星／日体桜華／明治学院東村山／桐朋／日本放送協会学園／吉祥女子／成蹊／藤村女子／明星学園／中央大学附属／武蔵野女子学院／東海大学菅生／明治大学付属中野八王子／多摩大学附属聖ケ丘／サレジオ工業高専

【神奈川県】横浜立野／霧が丘／金井／瀬谷／川崎（県立）／川崎北／横須賀大津／追浜／平塚江南／鎌倉／七里ガ浜／藤沢西／小田原／鶴嶺／津久井浜／秦野／厚木東／伊志田／大和／大磯／足柄／金沢／戸塚／東／高津／川崎総合科学／逗葉／寒川／二宮／橋本／和泉／大楠／茅ケ崎西浜／大和東／上矢部／大船／大井／有馬／愛川／麻生／厚木西／深沢／大和西／秦野曽屋／相模田名／横浜南陵／横浜清陵総合／横浜旭陵／藤沢総合／中央大学横浜山手／橘学苑／鶴見大学附属／法政大学女子／桐蔭学園／武相／横浜／山手学院／湘南学院／三浦学苑／三浦／横須賀学院／サレジオ学院／鵠沼／湘南工科大学附属／湘南学園／藤嶺学園藤沢／聖園女学院／向上／相洋／アレセイア湘南／聖和学院／神奈川大学附属／横浜隼人／桐光学園／森村学園高等部／横浜翠陵／公文国際学園高等部／自修館

【新潟県】新潟／新潟中央／新潟南／新潟江南／新潟西／新潟工業／新潟商業／新潟向陽／巻／巻総合／西川竹園／新発田／西新発田／新発田農業／村上／村上桜ケ丘／中条／新津／白根／五泉／長岡／長岡大手／長岡工業／見附／三条／三条東／加茂／小千谷／小千谷西／六日町／十日町／柏崎／柏崎常盤／柏崎総合／柏崎工業／出雲崎／高田／高田北城／高田南城／高田農業／上越総合技術／高田商業／新井／糸魚川／佐渡／佐渡総合／万代／新潟東／新津南／高志／明鏡／新発田南／長岡向陵／国際情報／村上／柏崎翔洋／新潟翠江／燕／直江津／新潟明訓／新潟青陵／北越／中越／帝京長岡／加茂暁星／新発田中央／新潟清心女子／敬和学園／新潟第一／東京学館新潟／日本文理

【富山県】富山高専／入善／上市／富山北部／富山南／小杉／高岡工芸／高岡南／水橋／大門／南砺福野／富山第一

【石川県】加賀／寺井／松任／金沢錦丘／金沢泉丘／金沢二水／工業（県立）／宝達／羽咋／鹿西／輪島／小松市立／野々市明倫／北陸学院／遊学館

【福井県】藤島／高志／羽水／大野／鯖江／武生／敦賀／仁愛女子

【山梨県】韮崎／甲府第一／甲府工業／巨摩／日川／山梨／都留／吉田／甲府東／富士河口湖／甲府城西／甲陵／甲府昭和／白根／駿台甲府／山梨学院大学附属／富士学苑／日本航空

【長野県】長野工業高専／飯山北／須坂東／須坂／長野吉田／長野（県立）／長野西／長野商業／長野東／長野工業／篠ノ井／松代／屋代／坂城／上田千曲／上田染谷丘／上田東／小諸／軽井沢／岩村田／野沢北／野沢南／臼田／諏訪二葉／岡谷南／岡谷工業／辰野／伊那北／伊那弥生ケ丘／赤穂／飯田／塩尻志学館／松本工業／松本美須々ケ丘／松本蟻ケ崎／松本筑摩／豊科／池田工業／大町／長野南／田川／中野西／飯山／木曽青峰／長野（市立）／松商学園／長野俊英／松本第一／長野清泉女学院／長野日本大学／佐久長聖／エクセラン

【岐阜県】長良／岐山／加納／羽島／大垣東／郡上／加茂／東濃／可児工業／多治見／多治見工業／可児／池田／岐阜総合学園／岐阜東／多治見西／麗澤瑞浪／中京

【静岡県】松崎／伊東／韮山／三島南／三島北／御殿場南／沼津西／沼津城北／吉原／富士／富士宮東／富士宮北／清水南／静岡東／焼津中央／藤枝東／島田／榛原／相良／掛川東／袋井／浜松南／浜松工業／新居／静岡市立／浜松市立／富士東／伊豆中央／湖西／富士宮西／伊東城ケ崎／静岡南／浜松湖南／大井川／浜松江之島／三島長陵／小山／静岡中央／下田／科学技術／伊豆総合／不二聖心女子学院／三島／日本大学三島／沼津中央／加藤学園暁秀／清水国際／常葉学園／常葉学園橘／静岡学園／常葉学園菊川／浜松学院／浜松学芸／静岡県西遠女子学園／浜松海の星／浜松日体／誠恵

【愛知県】豊田工業高専／旭丘／惟信／松蔭／昭和／旭野／長久手／東郷／瀬戸／丹羽／稲沢東／大府／武豊／刈谷／刈谷北／知立／安城東／岡崎北／岡崎東／豊田西／衣台／新城東／時習館／豊丘／蒲郡東／小坂井／東海南／菊里／桜台／北／名古屋商業／春日井東／日進／西春／一宮南／豊田北／豊田南／日進西／豊田／安城南／名古屋南／瀬戸北総合／豊野／新川／御津／海翔／名古屋経済大学高蔵／東邦／同朋／名古屋／名古屋女子大学／愛知工業大学名電／愛知啓成／聖カピタニオ女子／岡崎城西／誉

【三重県】桑名／四日市南／四日市西／飯野／津／津東／松阪商業／宇治山田／宇治山田商業／名張桔梗丘／昴学園／三重／皇學館／日生学園第二

【滋賀県】東大津／彦根東／長浜北星／八日市／栗東／能登川／米原／虎姫／河瀬／近江兄弟社

【京都府】乙訓／北桑田／堀川／銅駝美術工芸／農芸／鳥羽／大谷／同志社／京都女子

【大阪府】大阪教育大学教育学部附属池田／豊中／千里／大手前／港／市岡／花園／堺東／刀根山／東／工芸／港南造形／北摂つばさ／追手門学院大手前／大阪学芸／開明／関西大学／北陽／初芝／立命館／桃山学院／大阪／大阪信愛女学院／帝塚山学院／四天王寺／大阪女子短期大学／箕面学園／関西大倉／ＰＬ学園／摂陵／向陽台／八洲学園／長尾谷

【兵庫県】夢野台／柏原／明石／社／福崎／夢前／佐用／山崎／八鹿／西宮今津／尼崎（市立）／高砂南／明石城西／科学技術／龍野北／神戸国際大学附属／夙川学院／神戸国際

【奈良県】桜井／高円／橿原学院／飛鳥未来

【和歌山県】桐蔭／箕島／耐久／新宮／高野山／和歌山信愛女子短期大学附属

【鳥取県】鳥取東／青谷／米子／鳥取城北／米子北斗

【島根県】松江東

【岡山県】岡山操山／岡山芳泉／笠岡／西大寺／井原／勝山／就実／明誠学院／関西／岡山理科大学附属／金光学園／吉備高原学園

【広島県】海田／大竹／呉宮原／呉三津田／府中／福山明王台／基町／安芸府中／廿日市西／祇園北／安芸南／崇徳／山陽／進徳女子／安田女子／鈴峯女子／広島工業大学／武田／広島三育学院

【山口県】光／徳山／萩／下関南

【徳島県】城南／名西／阿波／城ノ内

【香川県】高松工芸／笠田／観音寺第一／三豊工業／高松西

【愛媛県】愛媛大学附属／今治工業／松山東／松山工業／東温／大洲／内子／新田／済美

【高知県】高知追手前／高知小津／高知西／高知北／中村／岡豊／高知南／土佐／清和女子／明徳義塾／土佐塾

【福岡県】京都／小倉／八幡中央／東筑／城南／修猷館／筑紫中央／糸島／明善／三池／朝倉／福翔／福岡西陵／春日／柏陵／小郡／太宰府／博多青松／九州国際大学付属／福岡大学附属大濠／西南学院／筑紫女学園／筑陽学園／中村学園女子／東福岡／福岡女学院／福岡第一／福岡舞鶴／明光学園／九州産業大学

付属九州
【佐賀県】佐賀北／唐津東／小城／鳥栖／佐賀工業／有田工業／龍谷／佐賀清和／東明館
【長崎県】長崎西／佐世保西／佐世保東翔／川棚／猶興館／波佐見／長崎北陽台／海星／活水／創成館／長崎日本大学
【熊本県】第二／熊本西／鹿本／大津／球磨商業／ルーテル学院／熊本マリスト学園／文徳
【大分県】杵築／日出暘谷／芸術緑丘／大分舞鶴／大分雄城台／日田林工／中津南／爽風館
【宮崎県】高鍋／宮崎大宮／宮崎南／宮崎西／日向学院
【鹿児島県】枕崎／川内／松陽／大口明光学園／屋久島おおぞら
【沖縄県】知念／那覇／首里／普天間／コザ／美来工科／浦添工業／首里東／開邦／那覇国際／沖縄尚学／八洲学園大学国際／沖縄カトリック

この一覧に自分の高校名が載っていない？
それを加えるのは、あなたです！

8 学費／初年度納付金／入学後の個人用具等の購入目安

初年度納付金（平成26年度予定）

		年額	入学手続時	後期
芸術学部 文化財 保存修復学科 美術科	入学金	275,000円	275,000円	-
	授業料	1,200,000円	600,000円	600,000円
	保護者会費／学生会費	16,000円	16,000円	-
	学研災保険料（4年分）	4,660円	4,660円	-
	合計	1,495,660円	895,660円	600,000円
芸術学部 文芸学科 歴史遺産学科	入学金	275,000円	275,000円	-
	授業料	1,135,000円	567,500円	567,500円
	保護者会費／学生会費	16,000円	16,000円	-
	学研災保険料（4年分）	4,660円	4,660円	-
	合計	1,430,660円	863,160円	567,500円
デザイン工学部	入学金	275,000円	275,000円	-
	授業料	1,220,000円	610,000円	610,000円
	保護者会費／学生会費	16,000円	16,000円	-
	学研災保険料（4年分）	4,660円	4,660円	-
	合計	1,515,660円	905,660円	610,000円
大学院 芸術工学研究科	入学金	260,000円	260,000円	-
	授業料	1,150,000円	575,000円	575,000円
	合計	1,410,000円	835,000円	575,000円

※本学学部卒業生の修士課程入学金は半額免除（130,000円）。
学研災保険料として、修士課程保険料（2年間）2,430円　博士課程保険料（3年間）3,620円

日本学生支援機構奨学金　奨学金受給状況（平成25年1月現在）

	1年生	2年生	3年生	4年生
第一種奨学金（無利子）	101名	81名	67名	51名
第二種奨学金（有利子）	213名	229名	203名	196名

※予約奨学生含む／※採用人数は、年度により異なる　　計1141名（のべ）

入学後の個人用具等の購入目安

学科・コース	用具等	価格
美術科全て	美術科共通演習にかかる備品	30,000円前後
日本画	日本画用具一式、和紙、墨、硯	82,000円前後
洋画	油彩用具、木炭デッサン用具、鉛筆デッサン用具等	25,000円前後
版画	水彩用具又は油彩用具、木炭デッサン用具、スケッチブック（F6号）、銅版画、木版画、シルクスクリーン用具、版画用額	45,000円前後
彫刻	塑像、石彫、木彫、金属実習用具一式	112,000円前後
工芸 ※3専攻のうちいずれか一つ	陶芸：陶芸用具、素材（粘土、釉薬、石膏等）	80,000円前後
	漆芸：漆芸用具一式、素材（漆、蒔絵用素材等）	100,000円前後
	金工：金属工作用具一式	130,000円前後
テキスタイル	テキスタイル用具一式	70,000円前後
総合美術	演習用具一式	30,000円前後
プロダクトデザイン	作図用具及び工具、材料・消耗品等、CADソフトウェア、木工用具	105,000円前後
建築・環境デザイン	製図用具一式、平行定規またはT定規、CADソフトウェア	40,000円前後
グラフィックデザイン	Nikon D3100レンズキット（デジタル一眼レフカメラ）、新入生スターターキット（画材一式）	65,000円前後

詳細は入学後のガイダンスで説明致します。記載のない学科コースは購入必須となるものはありません。教科書の購入費は、履修する授業や準備するテキストによって異なるため、含まれていません。ノートパソコンやAdobe社のグラフィック系ソフト、Microsoft社のOfficeなどの購入については、2015年2月初旬ごろ、入学予定の方へ詳しい資料をお送りします。

9 パソコン教育と環境

【キャンパスモバイルシステムとは？】本学では、「キャンパスモバイルシステム（以下：キャンパスモバイル）」を導入し、コンピュータ教育を「教養必修科目」としています。就職や進学、作家活動など、卒業後十分に活躍するためには、コンピュータを身近な生活道具として使用できることが不可欠だからです。キャンパスモバイルでは学内のどこからでもインターネットやE-メールを利用できます。授業レポートや課題、履修登録や成績確認、休講や教室使用情報など、大学では様々な情報をインターネットで発信し、学生生活をスムーズに送れるようにしています。また、持ち運び可能なノートパソコンを使用することで、学内に設置している無線LANを通して、大学の演習室や講義室、図書館や学生食堂などの場所でインターネット接続ができます。

【キャンパスモバイルの対応機種】「キャンパスモバイル」を利用するためには、802.11g規格または802.11b規格に対応している無線LANの機器が必要です。

【機種選定（ノートパソコン）の購入】各学科では、それぞれの学習内容を考慮し、必要なソフトウェアが安定して作動する機種を選定して、入学前に案内しています。どこで購入したパソコンでも大学窓口でサポートが受けられますが、本学の販売提携社から購入する場合、学内常駐スタッフによる故障診断、修理期間の代替機手配などのサービスが受けられます。また、マイクロソフト社、アドビシステムズ社とのライセンス契約により、本学生はアカデミック価格よりもさらに安価で、在学中にソフトウェアやバージョンアップ権などの購入が可能です。学科によっては推奨機種をMacなどに限定する場合がありますので、購入前に送付する案内を確認してください。

【費用】ノートパソコンの値段は、目安としてノートパソコン本体が約15～20万円、また、必要なソフトウェアは6～10万円程です。（キャンパスモバイル利用料は無料ですが、自宅、アパート等からインターネットへ接続する場合の回線費用、プロバイダ料は、各人の負担となります。）

【使用開始】4月のガイダンスで、ノートパソコンやLANの使用法に関する説明会を行い、1年生前期必修科目「コンピュータ基礎演習」でノートパソコン等を使用していきます。

10 学生支援体制

【スクールバス】
授業期間中は、大学とJR山形駅前などを結ぶ通学用の市内循環スクールバスを1日25便運行しています。

【アルバイト】
学業中心の生活に配慮し、危険性のないアルバイトを紹介。事務、引っ越し、デモンストレーターなど一般的なものから、似顔絵描きやパソコンインストラクター、カタログ・ポスター制作など、本学の専門が活きる求人もあります。

【カウンセリング】
学生生活を送る上での、学修や人間関係、生き方、進路など多種多様の悩みに、教職員や専門のカウンセラーが相談・助言にあたっています。

【健康管理】
保健室常勤の看護師が、健康に関する相談、医療機関の適切な紹介や、急な病気やけがの応急処置なども行っています。また、毎月1回、校医による健康相談も実施しています。

【アパート・下宿】
入学者は全国から集まり、約7割がアパートや下宿で生活しています。大学の周辺にはアパートが多数あり、家賃は、ワンルームアパート（6～8畳間に台所とバス、トイレ付）で3～5万円程度です。下宿（朝と夕2食付）は、4万5千～7万円程度。入学者には入学前の2月に大学で住居紹介の場を提供しています。

【学生代表会議】
学生代表会議は、学生生活の向上を目的に、各学科やコースの代表で構成される組織です。学生一人ひとりから納付された学生会費は、学生代表会議でその使途について話し合われ、大学祭の実施や公認サークルへの助成などに使用されます。学生の要望を取りまとめ、大学事務局と対等な立場で協議、交渉を行なう役割も担っています。

【委託保養所】
蔵王、朝日町、小国など山形県内6カ所9宿泊施設と委託保養所契約を締結しており、利用時はその料金の一部を大学が助成します。サークルの合宿や仲間同士の親睦、その他課外活動など使い方は自由です。

【首都圏宿泊助成制度】
就職活動や美術館めぐり、旅行などで首都圏に滞在する際、提携ホテルに格安で宿泊することができます。教学事務室からの宿泊予約と申込み手続きが必要です。

【就職活動支援金】
就職活動で遠隔地に行く場合、交通費と宿泊費を助成しています。ただし事前の申請が必要となります。

【校友会（同窓会）】
卒業生による組織で、校友大会や卒業祝賀会等のイベントの実施、ホームページの運営、支部の開設、会員の活動支援事業など様々な活動を行っています。
http://www.tuad.ac.jp/kouyukai/

【日本学生支援機構奨学金】
日本学生支援機構奨学金は、成績や家計を基準に選考され、貸与された奨学金は卒業後に返還していく制度です。
【第一種奨学金（無利子貸与）】自宅通学者：月額3万円・5万4千円から選択自宅外通学者：月額3万円・5万4千円・6万4千円から選択。
【第二種奨学金（有利子貸与・変動金利制）】月額3万円・5万円・8万円・10万円・12万円から選択。なお、高校在学中に、大学入学後の奨学金をあらかじめ申請できる制度（予約奨学制度）もありますので、早めに高校にお問い合わせください。
日本学生支援機構HP
http://www.jasso.go.jp/

【その他の団体による奨学金制度】
日本学生支援機構以外にも各種団体による様々な奨学金制度があり、情報は募集案内が大学に届き次第、入学者に案内しています。

【地方公共団体による奨学金制度】
出身、もしくは住んでいる県や市区町村に、独自の奨学金制度が制度化されている場合がありますので、詳しくは各自治体へお問い合わせください。

【学長奨励賞制度】
功績のあった優秀な活動（研究・制作・課外活動）を行った個人や団体に対して、奨励金（個人5万円／団体10万円）を授与しています。

【保護者会文化活動奨励制度】
入学者の保護者によって組織される「東北芸術工科大学保護者会」から、自主的に社会に向けて文化活動を行った個人または団体（他大学との合同展も含む）に対して、活動に要した経費の半額（最高5万円まで）を助成しています。

【学生教育研究災害傷害保険及び付帯賠償責任保険】
教育研究活動中に起きた不慮の事故に対する災害補償制度として、学生教育研究災害傷害保険（学研災保険及び付帯賠償保険）に加入しており、全入学者に適用されます。

11 就職支援

【就職ガイダンス業界・企業研究セミナー】
就活のノウハウや、業界や企業、実社会を知るために企業から講師を招き、キャリアセンターで就職ガイダンスを行なったり、「進路発見」をサポートします。

【キャリア支援プログラム】
将来に向けて、進路や職業観や人生観などを考える授業を開催。学生の年次に合わせて段階的に就職力を身につけられます。教員・公務員試験対策、筆記試験などの各種講座も開催します。

【個別面談／電話でのアドバイス】
キャリアセンターと教学事務のスタッフが3〜4年生全員に個別面談を行い、それぞれの希望を把握した上で適切にアドバイスします。

【大学主催企業説明会】
いくつもの企業と就職希望者が面談する企業説明会を大学独自で開催。山形、東京で各地の企業をお招きし、大勢の学生が参加します。

【インターンシップ（就業体験）】
実際の現場や会社での就業体験を通して、社会感覚を養い、学修・進路選択に役立てるとともに実践的な能力を身につけます。

【求人情報検索】
企業情報を収録する独自のデータベースを整備。求人・採用情報は、インターネットで学内はもちろん自宅や携帯電話からも検索・閲覧が可能です。

4年間の就職支援体制

学生が自身の進路を考え、目指す将来へ進めるよう、1年次から就職支援プログラムがスタートします。職業観や人生観を養うための授業､企業から講師や卒業生を招いての各種講演会を開催するほか､就職活動のノウハウ､ポートフォリオ(作品集)や履歴書のまとめ方､試験対策など､幅広い内容で卒業まで実施。学生一人ひとり個別にキャリアセンターと学科事務担当がアドバイスを行うほか、就職だけでなく生活面や大学院への進学相談などにも応じています。

1年次

進路ガイダンス
就職活動まで残り30ヶ月。1年次から進路に向けた準備の重要性を理解。

2年次

キャリア形成論
個人やグループ課題から、社会や進路を視野に生活を送る必要性を理解。

進路ガイダンス
2年生でやるべきことを理解

3年次

進路ガイダンス
前期は月1回、後期は月2回の進路ガイダンスで就職活動に備える。

業界マラソン
各企業の担当者や活躍されている方を大学にお呼びした講演会を実施。

三者面談
教員と学科事務の三者面談で進路志望状況を把握し的確にアドバイス。

筆記、公務員、教員対策講座
それぞれの進路に合わせた学修ができる、特別対策講座を開講。

4年次

フォローガイダンス
就職活動の進展具合に合わせたガイダンス。行動への動機づけを強化。

個別対応
教員と学科事務の三者面談で個々に合った進路支援を実施。

学内会社説明会／合同企業説明会
大学や東京に様々な企業を招き、企業による求人説明会を開催。

12 卒業生の主な就職先

美術史・文化財保存修復学科

【団体等】奥州市牛の博物館／奥松島縄文村歴史資料館／清春白樺美術館／庄内町教育委員会／新庄もがみ農業協同組合／多賀城市埋蔵文化財調査センター／東北芸術工科大学／なす風土記の丘資料館／新潟市民芸術文化会館／日本青年奉仕協會ボランティア365／兵庫県教員／真下慶治記念美術館／みどり推進機構（山形県源流の森）／山形美術館／山形県生涯学習文化財団／山形県埋蔵文化財センター

【機械、電器、自動車等】テックエンジニアリング

【金融、保険等】日本生命／山形しあわせ銀行／山形信用金庫

【建設、住宅メーカー等】山忠産業

【家具、装飾、貴金属等】アレックス／パール工芸／山岸織物

【公務員】陸上自衛隊／国立国会図書館／仙台市立図書館／八戸市役所／山形市／山形市立図書館

【出版、印刷、新聞等】三晃印刷／瞬報社写真印刷／中央出版／東洋印刷／山形新聞社／ヨシダ印刷

【放送、音響、映像制作等】NHK山形放送局／山形放送

【その他（製造、サービス、小売他）】アルケ通信社／アルテマイスター／アークベル／一楽荘／ABGグループ／エーピーアイ／オール5／キクチ／きものブレイン／コニシ／コムデギャルソン／金剛株式会社／世界堂／宗家 源吉兆庵／多田木工製作所／第一貨物／大丸藤井／とみひろ／ナウエル／西川物産／ニュートンフィナンシャルコンサルティング／ハイスタッフ／東あられ本舗／ビジョンクリエイツ／フラワー＆グリーンマルソー／平安典礼／ベルグラン／マンパワー／メインキャスト／ムラヤマ／ヤガイ／ライフ／やまや

歴史遺産学科

【学校、施設、団体等】上杉博物館／奥松島縄文村歴史資料館／吉備文化財研究所／清春白樺美術館／小郡市埋蔵文化財調査センター／埼玉県埋蔵文化財調査団／東北芸術工科大学／徳島県埋蔵文化財センター／のぼりべつ文化交流館／花巻農業協同組合／美術院 国宝修理所／船橋市埋蔵文化センター／明治大学考古学博物館／最上徳内記念館／山形県国民健康保険団体連合会／山形県酒類卸売組合／山形商業高等学校／山形県埋蔵文化財センター／山形県立博物館／やまがた農業協同組合／さがえ西村山農業協同組合／北上市立博物館

【金融、保険等】荘内銀行

【家具、装飾、貴金属等】鳳花工芸アルテマイスター

【建築、都市設計、環境、インテリア等】アークビジョン／エスコ／京都科学／トリアド工房／野上建設興業

【公務員】高畠町／天童市／名取市教育委員会／南陽市／西那須野町教育委員会／福島県／福島県河東町教育委員会／宮城県警察／松島町役場／村山市

【出版、印刷、新聞等】農山漁村文化協会／歴史春秋出版

【その他（製造、サービス、小売他）】アカオリゾート公園／いそのボデー／NHK山形放送局／カプコン／共育舎／郡中丸木シーリング／CSI／シベール／ジョイ／セントラルリース／第一貨物／高見屋旅館／トヨタカローラ山形／天童ホテル／中央アルプス観光／東京スタイル／日本クッカリー／日本生命／バーウェル／ハマツーリスト企画／東日本プランニング／ひなの宿千歳／フォトスタジオマンダ／平安典礼／ポンパドウル／松屋フーズ／メディカジャパン／モンベル／レオパレス21／山形駅西口ワシントンホテル／山形トヨペット／山形リコー／ヤマコー／ヤマザワ／大和運輸／山寺風雅の国／ヨークベニマル／リンベル／ローソン／旅館古窯／一の坊

美術科

【デザイン、設計等】アクア／アルファ／イベントプロデュースガッツ／エス・デー／エヌ・デザイン／オペレーションファクトリー／金井大道具／カルチャークラブ／ケニアボラ・デザイン／サーカス／サンフォニックス／シーエスエス総合舞台／じゃぽんデザイン事務所／ジュンプロモーション／スタジオタブ／スタッフエージェンシー／ソフタス／タフゴング／丹青社／ディーテイルズ／デザインコンプレックス／博報堂アイ・スタジオ／マックスマウス／ライツアソシエイツ／A-1 Pictures

【生活用品、家具、装飾、貴金属、専門サービス等】朝日相扶製作所／アニメインターナショナルカンパニー／アルテマイスター／ウェアウッドワーク／ウエスト／花仙陶房富士／北日本花火興業／ケイ・ウノ／北原紙器製作所／樹の音工房／現代造形／工房グリーム／佐藤繊維／ジュリーアベ／浄法寺漆器工芸企業組合滴生舎／青龍窯／多田木工製作所／天童木工／東北川島織物／ナンゴー／新潟煙火工業／パルコモード／プラント／墨仁堂／墨仙堂／ミキモト装身具／モード工芸／モードセンター／和田装備

【学校、施設、団体等】アンデルセンコ公園こども美術館／石川県ロクロ・ヒキ物産業技術センター／江別市セラミックアートセンター／臥牛三敬会／川場村森林組合／岐阜県美術館／共生社／清春白樺美術館／青年海外協力隊美術指導員／仙台市民文化事業団／静岡県立美術館／松風会／天童農業協同組合／天竜厚生会／高澤学園すいどーばた美術学院／町田国際版画美術館／鶴岡アートフォーラム／恵の園／弘前市漆組合／山形県町村会／山形県動物医療センター／悠愛会／米沢上杉文化振興財団伝国の杜／理究／立正会立正保育園

【玩具、文具、ゲーム、映画等】アナロジカル／アニメインターナショナルカンパニー／アルファ・グリッド／ケーブルテレビ山形／コナミ／コナミデジタルエンタテインメント／じゃっく／ス

タジオジブリ／ダイナマイト／ドロップウェーブ／プロダクション・アイ／吉徳／YNK JAPAN

【機械、電器、自動車等】アシーナ／小泉製作所／三栄精機／スズキ／ハヤシゴ／ハリオグラス／本田技術研究所四輪開発センター・二輪開発センター／前田産業

【教員】青森県教員／秋田県教員／茨城県教員／岩手県教員／神奈川県教員／京都市教員／埼玉県教員／札幌市教員／静岡県教員／千葉県教員／東京都教員／栃木県教員／新潟県教員／福島県教員／北海道教員／宮城県教員／山形県教員／山口県教員／和歌山県教員／杭州現代日本語専修学校／郡山アート＆デザイン専門学校／宮城中央学園中央理容美容専門学校

【金融、保険等】日本生命保険／北都銀行／ローズ・コモディティ

【建設、住宅メーカー等】岩田建設／内田内装／小形総建／東北ミサワホーム

【建築、都市設計、環境、インテリア等】NHKアート／小西美術工芸社／筑波ランドスケープ／東京インテリア／山形用地補償研究所

【公務員】茨城県工業技術センター窯業指導所／京都工業試験場／国税局／豊田町／仙台市／月舘町／宮城県警察／山形県

【出版、印刷、新聞等】井上総合印刷／大場印刷／サンパック／セブンクリエイト／大洋印刷／タカノ印刷デザイン／東北紙工／東洋印刷／藤庄印刷／山形新聞社

【その他（製造、サービス、小売他）】青木器械店／アバハウスDC／アライアンスマーケティング／ありのまま舎／医療法人徳真会グループ／エーデルワイス／江川化成／エステック／おーばん／カッパクリエイト／柏屋／きものブレイン／木屋／くまざわ書店／クリケット／クリスタルクロス／劇団かかし座／サンシャイン／ジアス／シュガーマトリックス／ジョイ／資生堂販売／シーアイエー／すかいらーく／すずのき／ダイエー／東都クリエート／天童ホテル／東北マツダ／徳間書店スタジオジブリ事業部／とみひろ／とんでん／ナラカミーチェ／成田デンタル／ニチイ学館／日本サプライヤー／ネットワークケー／ハートマーケット／花幹／HABA研究所／八戸彩画堂／浜友観光／坂東太郎／日向石材／平田金銀店／ビー・エム・ディー／BLUE GRASS／ファイブフォックス／45rpmスタジオ／ブレインチャイルド／ベル・エポック／ホーマック／芳紅庵たかはし／報徳情報技術／ホンダエンジニアリング／ホンダ産業／明治記念館／メガネフラワー／メディアファーム／山形食品／ヨドバシカメラ／ヨークベニマル／吉井画廊／吉運堂／リンベル／ワクシス・エンタープライズ／大沼／六花亭製菓／シベール

プロダクトデザイン学科

【デザイン、設計等】アートナウ／ア・ファクトリー／イオプランニング／エマニュエル・ムホーアーキテクチャー＋デザイン／荻原舞台美術／京映アーツ／小西造型／サクラインターナショナル／Jin Kuramoto studio／スルガ／スペース／セイワ／ダイテックス／デザイナーズユニオン／トーマネ／パーム／ヘルメス／モードセンター／ランドマック／アイデアビューロー／アクシス／泉宣広社／クラフト／さきたまデザインセンター／自遊人／デザインメイト／店装カワムラ／東奥アドセンター／デザインホーム／東北カナメ／トッパンマルチクリエイト／ハイスタッフ／博展／帆風／一建設／ひかり工房／富双合成／文化シャッター／マクロス／モードセンター／山形アドビューロ／ライトパブリシティ／ラックランド／ランドマック／ル・プロジェ

【家具、装飾、貴金属等】アートフォルム／アイリスオーヤマ／朝日相扶製作所／アカクラ／アシックス／As-meエステール／アルテマイスター／アルファベットパステル／インテリアセンター／岩手木アート／エトワール／F.O.インターナショナル／エムケイ前田家具／遠藤照明／奥羽木工所／岡村製作所／オリバー／オンヨネ／カンディハウス／風間椅子店／川奈起立工芸／ケイ・ウノ／佐藤繊維／シャルドネ／シャルマンニット／上越クリスタル硝子／サン宝石／白倉ニット／菅原工芸硝子／スタートゥディ／上越クリスタル硝子／樅楓舎／多田木工製作所／田丸／茅ケ崎紡織／ツルヤ商店／テイクアップ／テラダイ／天童木工／東北館山アルミ販売／日本ベッド製造／卑弥呼／ファイブフォックス／ファーストリテイリング／藤光家具／フットマーク／ヘルツ／北進木工／ホクヨー／三貴／三松／峯田メリヤス／ミリケンジャパン／木香舎／木工房蔵／モビーディック／山形木工／ヤマギワ／レマーク／リーガルコーポレーション／リッチェル／リミヤマモト

【学校、施設、団体等】ざおう福祉会／JA東根／童具館／東北芸術工科大学／松戸市農業協同組

【機械、電器、自動車等】アルテクナ／遠藤照明技研／輝陽工業／キヤノン／小泉産業／小糸工業／サーモス／サクマエンジニアリング／山王テック／サンリット工業／神町電子／スズキ／セイコーインスツルメンツ／セイコーエプソン／セイワ／ソニー／大松工業／大陽工業／タニコー／ツインバード工業／テスコム／デノン／東亜レジン／東栄コンクリート工業／東海理化／東芝／東京マルイ／東北電機／東北パイオニア／東洋テクニコ／長崎船舶装備／日本ミシュラン／パール金属／ピープル／フィアロコーポレーション／日立製作所／ファーストカスタム／富士工業／富士重工業／フジック／文化シャッター／北産興業／本田技術研究所（四輪開発センター・二輪開発センター）／前田製管／松下電器産業／松下冷機／松永製作所／三菱電機／山形プラス／山形カシオ／ヤマギワ／リーガルコーポレーション三菱自動車／ダイハツ／オリンパス／ニコン

【教員】東海大学山形高等学校／日本コンピュータ学園東北電子計算機専門学校／山形県教員／福島県

【金融、保険等】殖産銀行／フジフューチャーズ

【建築、都市設計、環境、インテリア等】愛和建設／ア・ファクトリー／青森サンアイホーム／一条工務店／近江建設／小形総建／カネソ曽根建業／環境土木設計／クリエイト礼文／ササキハウス／スペース／セキスイツーユーホーム東北／ダイワラクダ工業／中央住宅／東北ミサワホーム／ミサワホーム福島／ナブコシステム

【公務員】飯野町／大江町／仙台市消防局／特許庁（意匠審査官）／福島県警察／山形県警察／西村山広域行政事務組合

【出版、印刷、新聞等】大風印刷／大場印刷／コマガタ／進和ラベル印刷／精英堂印刷／第一紙行／大成社／田宮印刷／DNP東北／藤庄印刷／ユニグラフィック／吉野製版印刷所

【その他（製造、サービス、小売他）】アビリティーズケアネット／アリオンテック／イタリアントマト／ACE／エトワール海渡／NKフローリスト／エム・クラフト／オリエンタルランド／菓匠三全／コーセー／広苑社／コンビ／ジャッカル／シャトレーゼ／ジュングループ／セガ／セゾンファクトリー／たかはたファーム／月岡ホテル／セブンイレブンジャパン／テラモト／ツインバード工業／翼システム／天馬／天童ホテル／とみひろ／東京インテリア家具／トゥモローランド／トンボ鉛筆／ナイガイ／ニシムラ／日本サプライヤー／ハリオグラス／ハートマーケット／日比谷花壇／プラス／ブルームグループ／フルキャストテクノロジー／平安グループ／ペイントハウス／ベーカーズストリート／ホテルリッチ酒田／前田製管／マルハチ／マリークワントコスメチックジャパン／丸定／最上世紀／ユナイテッドアローズ／ヤマト／ユニテックス／ヨドバシカメラ／ヨークベニマル／リンベル／アミューズ／ゼブラ／オカモト／名月荘

建築・環境デザイン学科

【建築、都市設計、環境、インテリア等】アーキテクトアソシエイツ横浜／アイクリーン／アクアラボ／アトリエノルド／アルテマイスター／ACT環境計画／アルモア設計／池下設計／石井設計／市浦都市開発建築コンサルタンツ／植小／鵜沼設計／HLS／エース設計／MIT建築研究所／小沢明建築研究室／小野建築設計事務所／カツデンアーキテック／カルマクラフト／環境デザイン研究所／環デザイン／Gallery想庵／蔵設計事務所／クラフト／建設相互測地社／KENT／剛設計事務所／コーエー設計事務所／小西造型／コンテンポラリーズ／蔵王建築設計事務所／佐藤総合設計／三衡設計舎／塩見ホールディングス／秦・伊藤設計／スペース／石正園／瀬古建築設計事務所／船場／創元設計／ソーセツ／タカショー／武田園芸／田村測量設計事務所／店舗照明／東京ジュピタープランニング／都市環境計画／都市環境研究所／都市設計工房／都市創造研究所／内外緑化／中川建築設計事務所／中野積算／中村勉総合計画事務所／ナテックス／ナルサワコンサルタント／日本プロジェクト／庭正庭芸研究所／NOA環境設計／ノースクラフト／ノザワ／羽田設計事務所／早川建築設計事務所／針生承一建築研究所／ハルナ工芸／ビュー環境計画研究所／フォルム／フォレストシップ／福地建築設計事務所／フケタ設計／藤江和子アトリエ／富士総合コンサルタント／プロテックエンジニアリング／ヘルム建築都市コンサルタント／本間総合計画／松本構造設計室／松本純一郎設計事務所／マヌ都市建築研究所／村岡建具／杜設計／柳田石塚建築研究所／山形木工／山新建装／山中山田造形舎／結設計／ユージーン都市・デザイン研究所／ユーツーシステム／夢真ホールディングス／陽光都市開発／養樹園／ヨネヤマプランニングザ・ガーデン仙台／ライブ設計室／ラックランド／リヴァックス／類設計室

【建設、住宅メーカー等】愛和建設／東コンサルタント／伊佐ホームズ／イシカワ／泉ホーミング／石井工務店／市村工務店／茨城センチュリーホーム／いわて中央ホーム／ウンノハウス／エコ・ビレッジ／エステート住居産業／エヌイーエスコーポレーション／エムディアイ／エムテック／大倉建設／近江建設／大垣建築／小形総建／オノヤ／小野建設／鹿島建設／要建設／上山木材住宅事業部グラッデンホーム／カヤバ／川剛／北日本セキスイハイム／キノシタグループ／希望社／県南住設／幸栄建設ハピッシュホーム／後藤組／埼玉西パナホーム／寒河江コンクリート／サカモト／佐藤工務／佐藤秀／ササキハウス／サンクスホーム／シェルター／シオン／清水建設／常総開発工業／殖産住宅相互／シリウス／新成工業／新和ビルド／住友林業緑化／セキスイハイム西東北／積水ハウス／セルコホーム／仙建工業／創建ホーム／大東建託／大和ハウス工業／タカコウハウス／タカヤ／匠設計コンサルタント／タマホーム／千歳建設／千代野建設／中央住宅／土屋ホーム／デザインホーム／東北カナメ／東北ミサワホーム／新潟セキスイハイム／日本住研／東日本建設／東日本ハウス／日立ライフ／桧家住宅／ホウトクハウス／北欧住宅／北海道開発コンサルタント／松井建設／松下電工ホームエンジニアリング／ミサワホーム茨城／ミサワホーム北日本／ミサワホーム新潟／ミサワホーム福島／ミサワホーム北海道／三井ホーム／守屋木材／山形建設／レオパレス21／YKK AP／渡辺建設／渡辺ビーティング

【公務員】青森県／青森市／朝日町／尾花沢市／河北町／川西町／宮城県／山形県／山形市／七ケ宿町／日本郵政郵便事業／自衛隊

【学校、施設、団体等】JA余目／JAみちのく村山農業協同組合／JA山形／長野県立臼田高等学校／山形県建設技術センター／山形県住宅供給公社／山形県スポーツ振興21世紀協会／山形県都市整備協会／山形県土地改良事業団体連合会／山形県みどり推進機構／MOA美術館

【金融、保険等】きらやか銀行／静岡東海証券／日本生命／立花産業／安田生命保険／山形銀行／山形労働金庫

【放送、音響、映像制作等】アニメスポット／NHK鶴岡／オールライトアソシエイト／ケーブルテレビ山形／スタジオ・エス／テレビアルファ／山形テレビ

【出版、印刷、新聞等】ウイズ・ワイ／大風印刷／JTBパブリッシング／ジャパンインターナショナル総合研究所／精英堂印刷／デイリーインフォメーション／ニーズ／販促／不二印刷／山田紙器／理想

【その他（製造、サービス、小売他）】アーネストワン／椏久里／ANAロジスティック・サービス／アネックス／アパグループ／イオン／イオンフォレスト／ウィット・アソシエイツ／上野商

事／ウェルファー／笑顔カンパニー／亀や／クラフト／クレアーズ日本／小泉産業／恒和情報技研／ザ・フォウルビ／サンエーインターナショナル／セゾンファクトリー／セレモライフ／ソラーレホテルズ&リゾートグループ／大和リース／タカラスタンダード／タニコー／鶴屋／デバインコーポレーション／東海旅客鉄道／東洋ワーク／トステムビバ／トランスコスモス／ドリームバンク／Don Don up／中葛西歯科／パレス平安／ピーアールオー／ピュア／ベルティサイトウ／ボー・コンセプトジャパン／ボディワーク／マルヰ／三田村重機／メタフェイズ／山形酸素／山形トヨタ自動車／山形部品／山形ヤナセ／ヤマト／八幡自動車商会／横田医院／ヨックモック／米鶴酒造／リンベル／林友観光／ル・プロジェ／ロイヤルネットワーク／日比谷花壇

グラフィックデザイン学科／映像学科／企画構想学科（旧 情報デザイン学科）

【デザイン事務所、広告等】アカオニデザイン／アーツ／アーサー・ハンドレッド・カンパニー／R2アソシエイツ／アイン企画／赤丸広告事務所／アップル／アドブレーン／アトム／アルファデザイン／アンメディア／イマージュ／インサイト・ディレクション／ウィンウィン・エンターテイメント／ウィンズ／エイエイピー／エージェンシールクス／エー・ディー・ピー／エスデージー／NHN Japan／オムニバスジャパン／カイカイキキ／カルチャークラブ／川路ヨウセイデザインオフィス／クラフト／グループ・タック／ゲッタウェイ／小泉創芸／広美／コミュニケーションアーツ／コモンズ／コレクティブイエローアーティスト／サン・アド／サンライズ／ジー・アイ・ピー／ジェイスリー／JTデザインセンター／シマクリエイティブハウス／信教／進研アド／新村デザイン事務所／スタジオゲット／スタジオゴーゴー／スタジオユー／スタジオ・ユニ／STEILAR C.K.M／第一エージェンシー／第一クリエイティブ／太陽企画／たき工房／タクミコーポレーション／ダンアート／ティ・エー・シー企画／ティ・シー・エー／TDスタジオ／デザインスタジオアド・ツー／デザインメイト／デジタルデザインライツ／永沢建築設計事務所／波デザイン／ネイビス／ハイスクール／ハイスタッフ／バウ広告事務所／ハックルベリー／ビーシンク／ビーズ・アソシエイト／ビオス／ファーストシンボリー／ブラウズ／プロペラアートワークス／マック／Mahiko／ミクプランニング／向井プロダクション／メディアウェイブ／モークワン／モノプロデザイナーズ／山形デザインエージェンシー／ライセンスアカデミー／六七五三一グラフィックス／ワウ／和広エージー／ぴえろ／博報堂プロダクツ

【放送、音響、映像制作等】グランフォート／葵プロモーション／旭プロダクション／アドックス／石森スタジオ／イマジカ／イマジカディオ／SODアートワークス／NHK福島放送局／NHK山形放送局／グレートデーン／クロステレビ／ケーブルテレビ山形／さくらんぼテレビ／佐直写真館／サットン・プレイス／札幌テレビハウス／ディ・ディ・プレイヤーズ／東北映音／パナックスジャパン／ビーシンク／ピークス／ビデオフォーカス／福島映像企画／プロジェクトウィング／メディアネットワーク／山形映像アーカイブリサーチセンター／山形放送／タツノコプロ

【システム、情報通信等】イートス／ソニーインフォメーションシステムソリューションズ／テクマンシステム／ネクスト

【玩具、文具、ゲーム等】フロムソフトウエア／アトラス／コナミ／コンパイル／サンリオ／スクウェア・エニックス／セガ／テクモ／ナムコ／任天堂／バンプレソフト／ヒューマン／ベック

【教員】郡山テクノデザイン専門学校／仙台カレッジof Design／東海大学山形高等学校／東京デザイナー学院／東北芸術工科大学／新潟デザインセンター／村田学園長野美術専門学校／福島学院大学付属短期大学／山形県教員

【金融、保険等】荘内銀行／東北労働金庫／日本生命／山形銀行

【公務員】茨城県／さくら湖自然観察ステーション／鶴岡市／山形県／山形市／和田山町／遊佐町

【出版、印刷、新聞等】アイル企画／アサヒ印刷／アドベックス／イメージパーク／大風印刷／大場印刷／川口印刷工業／共同印刷／共立印刷／桐田印刷／齋藤コロタイプ印刷／トッパンマルチクリエイト／広報社／小松写真印刷／コミュニティ新聞社／今野印刷／札幌凸版印刷／上越タイムス社／新潮プレス／第一紙行／大洋印刷／田宮印刷／東北紙工／東北シルク／日本アート印刷／光印刷／光写真印刷／富士印刷／藤庄印刷／フレーベル館／プレスメディア／細田製本所／丸福／山形新聞社／ユーメディア／ユニグラフィック／フレーベル館

【その他（製造、サービス、小売他）】一楽荘／エイアンドシー／ガトーマスダ／キヤノン／共育舎／京急ステーションサービス／ケイブックス／合田観光商事／ココス・ジャパン／蔵王カンパニー／JA茨城／シベール／ジョバンニ／スズキ自販山形／スルガ／セカンドストリート／ダイヤモンドダイニング／テックエンジニアリング／天童自動車商会／東計電算／富岡本店／とみひろ／トランスコスモス／日研工業／北一硝子／ぱあとわん／ハヤシ／ビー・アドベンチャー／ファイブフォックス／ブルーミコミュニケーション／ブラウズ東京／マルゴ商事／ララ・プラン／リンベル

映像学科／企画構想学科
（旧 メディア・コンテンツデザイン学科）

【玩具、文具、ゲーム等】ゲームパブリック／コナミデジタルエンタテインメント／合同会社はねまん／サンスター文具／セガ／タイトー／ダイナム／トーセ／ナムコ／任天堂／熱中日和／バンダイナムコゲームス／マタハリー

【放送、音響、映像制作等】旭プロダクション／アナロジカル／アドックス／アノン・ピクチャーズ／アンテリジャン／イエスオープン／石森スタジオ／井出プロダクション／IMAGICA／IMAGICAディオ／IMAGICAプラス／ウッドオフィス／映像ボックス／NHK山形放送局／キャディックスメディアラボ／クロステレビ／ゲネプロ／ケーブルテレビ山形／サウンドシティ／サンク／シェフ／スタジオ雲雀／スタジオ4℃／スタジオレック／スプーン／ゼロステーション／太陽企画／ディ・ディ・プレイヤーズ／東北映音／デジタルフロンティア／テレサイト／テレモアドットコム／ナウプロダクション／八峯テレビ／花咲けピクチャーズ／BIS／Vigo FM／ビデオ企画リバティー／ファイブエス／福島テレビエンタープライズ／プリントパック／フロム・ソフトウェア／ベストメディア／モンスターフィルムス／山形総合舞台サービス／山形テレビ／山形放送／有線ブロードネットワークス／ランブル・ビー／ローリング

【出版、印刷、新聞等】アサヒ印刷／アドベックス／荒井印刷／イメージパーク／奥羽カラー現像所／大風印刷／キョウリツ／金羊社／建設新報社／廣済堂印刷／高速美術印刷／坂部印刷／篠田印刷／三晃印刷／サン美術印刷／ジャパン・プランニング・アソシエーション／精英堂印刷／セザックス／第一紙行／大成社／田宮印刷／中央印刷／中央出版／東北シルクスクリーン／東洋特殊印刷／徳島新聞社／白馬堂印刷／針生印刷／福島民友新聞社／藤庄印刷／ポプルス／三浦印刷／山形印刷／山形新聞社／山形製版／ユニグラフィック若月印刷

【デザイン事務所、広告等】アイデアビューロー／アイビー企画／アイプロジェクト／葵デジタルクリエイション／アドックス／インターフェイス／エイエイピー／オオウチ工芸／カッパンプラン／河北アド・センター／カルチャークラブ／サイバード／ザ・マン／ジー・アイ・ピー／ジーエスデザイン／信協／進研アド／スタジオゴーゴー／スパイクフィルムズ／創童舎／タス／ダフネ企画／テクスファーム／デザインルームT2／東北朝日プロダクション／TOKIデザイン室／トッパンアドメディア／錦プロデューサーズ／日本ベリエールアートセンター／ピーアールセンター／びこう社／ビー・アールサーカス／まぐクリック／マックスマウス／山形アドビューロ／ユニグラフィック／ライブレボリューション／ル・プロジェ／レイ・アップ

【システム、情報サービス等】アイソリューションズ／NTT東北電話帳／NTTME山形／NECフィールディング／エヌエスシー／NSプランニング／NDソフトウェア／コメット／ゴールネット／三技協／CEC新潟情報サービス／CSK東北システム／システムニコル／スペースリンク／ソニーインフォメーションシステムソリューションズ／セック／ソフトウェア興業／ソフトウェア情報開発／ソフトバンク／ソリトンシステムズ／DNP情報システム／ティ・エー・シー企画／T・P・U／データ・マネージメント／データシステム米沢／テクノ・マインド／東海ソフト／トーテックアメニティ／東北システムズサポート／苫小牧情報計算センター／トムスシステム／新潟キャノテック／日外アソシエイツ／日本GISコンサルティング／日本マイクロコンピュータ／ハイテクシステムズ／東日本計算センター／日立テレコムテクノロジー／パナナ／ピクトリーサーカス／ピーアールオー／フィーメール／富士インフォックス・ネット／富士通東北システムエンジニアリング／富士通新潟システムズ／フロム・ソフトウェア／プライムキャスト／ベンチャーセーフネット／バーズ情報科学研究所／山形リコー／有線ブロードネットワークス／ユニシステム／YCC情報システム

【学校、施設、団体等】さがえ西村山農業協同組合／JA南陸／社団法人農山漁村文化協会／新庄商工会議所／仙台・宮城NPOセンター／仙台市農業協同組合／東南村山農業共済組合／東北芸術工科大学／東根市農業協同組合／最上川中流土地改良区／本泉保育園／山形おきたま農業協同組合／山形県視聴覚障害者協会／山形県土地開発公社／山形市開発公社／山形市健康福祉医療事業団／山形電波工業高等学校

【金融、保険等】秋田県信用組合／桐生信用金庫／荘内銀行／殖産銀行／住友生命保険／東北労働金庫／日本生命保険／安田生命保険／山形銀行／山形しあわせ銀行／山形県スポーツ振興21世紀協会山形信用金庫／山形県労働金庫／山形日本信販

【建設、住宅メーカー等】アート／朝日測量設計事務所／阿部建設／エステート清水／環境計画研究所後藤組／後藤組／コロナ／デザインホーム／東京器具販売／東北ミサワホーム／トステム／トラストネットワーク／日本プランニング／BHIS／東日本ハウス／山本組／米沢電線

【公務員】小国町／大江町／防衛庁陸上自衛隊／水沢市／米沢市

【その他（製造、サービス、小売他）】アイタックル／アイリスオーヤマ／エターナルブライダル／エドウィン／オートバックスセブン／大沼／菓匠三全／かみのやま温泉日本の宿古窯／カワチ薬局／神戸レザークロス／北日本商品／キタムラ／キコエ補聴器／銀座めがね／グッドウィル／幸楽苑／コーア／こまつ書店／ジャムコ／産業編集センター／三峰／ジャパン・メディア・システムズ／ジュエリーアベ／JTB／酒巻電気商会／スズキ自販山形／スターバックス／ストロベリーコーンズ／セコム／セゾンファクトリー／仙台ターミナルビル／セントラルリース／ダイエー／大自然生活館／タリーズコーヒージャパン／中央薬局グループ／土屋歯科商店／天童自動車商会／でん六／東京インテリア家具／東北ロイヤルパークホテル／東洋システム／巴商会／トヨタカローラ山形／トリンプ・インターナショナル・ジャパン／ナウエル／ニーノ・ニーナウェディング／西尾レントオール／日本トイザらス／日本パック／日本リゾートシステム／光通信／ファイブフォックス／ファーストリテイリング／富士鉱油／双見商会／プラザスタイル／平安グループ／ベルーナ／豊栄産業／鳳花工芸／北進木工／丸松青果／マルヨシ商店／みよし／名月荘／ヤガイ／安川情報エンベデッド／ヤマザワ薬局／山形ダイハツ販売／山形鉄道／山形ナショナル電機／山形教育用品／山形部品／山寺風雅の国／郵便事業株式会社／ライセンスアカデミー／LIXILビバ／リンベル／ロイヤルネットワーク

大学院芸術工学研究科 芸術文化専攻

【教員】青森県教員／静岡県教員／福島県教員／北海道教員／宮城県教員／山形県教員／山形工科短期大学校

【専門機関・美術館】阿佐ケ谷美術専門学校／茨城県近代美術館／桂文化財修理工房／国立文

化財機構／吉備文化財修復所／埼玉県埋蔵文化財調査団／埼玉美術学院／瀬戸市埋蔵文化財センター／地場産業振興センター／すいどーばた美術学院／東京国立博物館／福岡市埋蔵文化財センター／文化財保存計画協会／北海道埋蔵文化財センター／本間美術館／目白漆芸文化財研究所／盛岡市教育委員会歴史文化課／山形県埋蔵文化財センター

【デザイン事務所、工房】アマルメ工芸社／イサワ・インテリア／木曽アルテック社／建築工房邑／采樹窯／作谷沢工房／サンデーブース／スタジオ33／風占工房／デザインルームネオ／半田九清堂

【公務員】小国町

【その他（製造、サービス、小売他）】安積愛育園／エス・デー／岡崎医療／兼六ホーム／サンリオ／精英堂印刷／セガ／童具館／TOKIOエンジニアリング／酉島製作所／山形仏壇センタ／ミクロスソフトウェア／山形総合ビジネス専門学校／山形デザイン専門学校

大学院芸術工学研究科 デザイン工学専攻

【デザイン、設計等】アーキテクトキューブ一級建築事務所／ア・ファクトリー／オークヴィレッジ／河内建築設計事務所／鈴木建築設計事務所／ジャパンデザイン工芸社／ネイチャークラフトガーデン／ルーデンス

【デザイン事務所、広告等】旭プロダクション／アートフォルム／アトム／アマナ／アレフ・ゼロ／アル・テクナデザイン／エヌケーテック／デザインメイト／金沢国際デザイン研究所／グレープシティ／コミュニケーション・エンジニアーズ／コロングラフィック／ドリームファクトリー／ナブラ／デジタル情報開発／ぴえろ／横浜ハイテクプリンティング／ミレニアム・エンタテイメント

【システム、情報通信等】ISIDインターテクノロジー／イートス／ウェルコム／Jストリーム／綜合警備保障／ソリトンシステムズ／東日本チェスコム／富士通東北システムエンジニアリング

【学校、施設、団体等】愛知産業大学／宇都宮ビジネス電子専門学校／仙台カレッジ of Design／JA宮城経済連／湘南美術学院／仁泉会医学研究所／東北芸術工科大学／文化財建造物保存技術協会／山形デザイン専門学校／山形県住宅供給公社

【機械、電器、自動車等】岡村製作所／菅原工芸硝子／積水樹脂／三菱自動車工業

【教員】山形電波工業高等学校

【建設、住宅メーカー等】NTコンサルタント／大石組／シェルター／デザインホーム／中山産業／バウハウス／富士ハウス

【建築、都市設計、環境、インテリア等】アトリエ響／エース設計／パスコ／フォーサイト／環境計画研究所／蔵王設計事務所／中央図研／類設計室

【公務員】大石田町／松山市

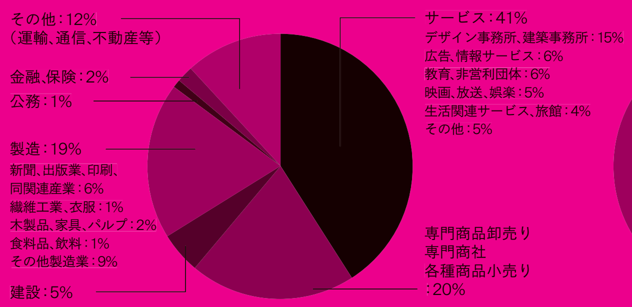
【出版、印刷、新聞等】講談社／田宮印刷／凸版印刷

【放送、音響、映像制作等】東北映音／メディアラボ・インターナショナル／山形映像アーカイブリサーチセンター

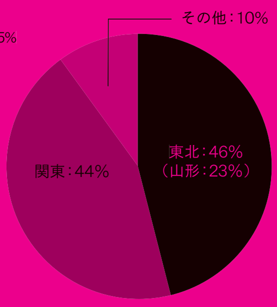
【その他（製造、サービス、小売他）】インターセクト／三共硝材／新日鉄ソリューションズ／コム・デ・ギャルソン／ゼブラ

※過去に採用のあった企業、団体から抜粋

主な就職内容



就職先地域



13 大学の主な事業と附置機関

東北文化研究センター

「東北学」の更なる追究

東北とは、何か。

東北がこれからの日本やアジアに対して果たすべき役割とは何か。

これは東北文化研究センターが設立以来、「東北学」のなかで一貫して取り組んできたテーマです。

いま、東北は東日本大震災や少子高齢化などによって、地域の再編を余儀なくされるほどの重大な局面に立っています。しかし、東北の人々はこれまでも、縄文以来、一万年におよぶ東北の大地に埋もれた歴史、文化、精神文化、また、自然との共生原理をとおして、様々な難局を乗り越えてきました。実は、そこには、東北に限らず、人類が未来に生きるための叡智がたくさん含まれています。

本研究センターでは、これらを学術的に調査研究し、東北が人々の未来に何をなしえるのか、その解明に取り組んでいます。

また、同時に、「若者たちの東北」をテーマに掲げ、本学生にも調査に加わってもらうことによって、地域の現状を切り開いてゆける若者の育成にも取り組んでいます。

田口洋美教授（センター長）／安斎正人教授／蛯原一平専任講師／中村只吾専任講師

共創デザイン室

共に創り出す地域デザインの場

共創デザイン室は、製造業・建設業・農業・観光などの産業を、東北芸術工科大学のデザイン力・企画力でサポートする連携窓口です。1997年に産学連携窓口として学内に開設された「総合研究センター」を、2011年春にリニューアル。大学と地域との結節点として開設された「やまがた藝術学舎」（山形市松見町）に活動拠点を移し、地域の企業や行政、金融などとの連携活動に取り組んでいます。共創デザイン室には専任スタッフが常駐し、年間100件を超える企業などからのデザイン相談に対応し、地域と大学の専門家との橋渡し役を担っています。共創デザイン室に寄せられるテーマは、製品デザイン、建築・空間デザイン、CI、パッケージデザイン、企画・プランニング、映像制作、学術調査など多岐にわたります。これら地域や企業などから寄せられるテーマを授業や卒業研究にも積極的に取り入れており、大学にいながら実践的なデザイン業務を体験する機会も豊富です。また、企業や行政を対象とした実践的な産学連携セミナー『共創のテーブル』の開催やこれまでの産官学連携の成果を紹介するショールームとしての機能を通じて、デザインによる産業振興について共に語り合い、創り出す地域デザインの共創の場となっています。

上原勲 教授（室長）

美術館大学センター

「美術館」と「大学」の融合を目指して

東北芸術工科大学では、"芸術の心や文化を大切に思う心が、混沌とした現代社会を切り拓く大きな力を持つ"とする建学理念のもとで『東北ルネサンス』を掲げています。21世紀の世界情勢や環境問題を見据えながら、日本の芸術文化を担う人材育成の場として、キャンパスの建つ蔵王周辺の自然や、豊かな地方文化を色濃く残す山形は、フィールドとして理想的な環境です。『美術館大学構想』では、キャンパス内の展示施設だけでなく、そうした周辺の環境全体を、地域社会に開かれた「オープン・エアー・ミュージアム」と捉え、民俗学や地域学、建築デザインとも連動しながら、地域密着型のプロジェクトを展開しています。その活動を担う『美術館大学センター』は、専任の学芸員が年間を通して様々なアート・プロジェクトを運営しています。キャンパス内のギャラリーで開催するアート展の他、中心市街地や中山間地域での地域活性化プロジェクトや、廃校や湯治場などで学生や招待アーティストが滞在制作を行うアーティスト・イン・レジデンスなど、東北の風土に根ざした草の根的な芸術運動を展開しています。

山田修市 教授（センター長）／宮本武典准教授（主任学芸員）

こども芸術大学

芸術を通して平和を
希求する心を育てるために

本学には、3歳から小学校入学までの子どもとそのお母さんのための「こども芸術大学」があります。子どもは自分の中に限りない可能性を抱え、日々少しずつ成長していきます。その一つひとつに、喜びや驚きが詰まっています。こども芸術大学では、芸術を志す人々の温かさと雄大な自然の中で、子どもたちの「感じる心」「感じあう心」「つながりあう心」を育てています。この心の根底には、東北芸術工科大学の「平和を希求する」理念があります。子どものそばに寄り添い目線を合わせると、いろんなことに気づかされます。その元気な姿は、私たちに希望さえ与えてくれます。こども芸術大学は〝こどもこそ未来〟を合言葉に、たくさんの人の愛情のもとに、社会の未来を創る子どもたちを見守り育てる、運動体でもあります。学生たちが、真剣に制作に向き合い創造する姿は、子どもたちに勇気を与えます。同時に、子どもたちの純粋でひたむきな姿は、学生たちに何かを思い出させてくれるきっかけにもなります。こども芸術大学があることで、東北芸術工科大学のキャンパスは、子どもからお年寄りまでが集う小さな地域になりつつあります。いろんな年代の人たちが、お互いのことを思いやり、共存する、そんな気持ちが広がっています。

文化財保存修復研究センター

文化財を保存・継承し、
知と技を世界へ発信

文化財保存修復研究センターは、「文化財保存修復の受託研究事業」「研究事業」「教育事業」「技術開発」を大きな柱として、山形を中心に東北各地域の文化財を守る中核を担っていきます。これまで蓄積された知や技を国内のみならず世界へ発信していくことで、文化財の保護・継承へ貢献できると考えています。東北初の「文化財保存修復研究センター」は、2001年4月に設立。文化財保存修復の受託事業と、これを本学の教育に還元することを中心に、保存修復の啓蒙や生涯学習、情報発信など、本学が持つ教育研究のマンパワーやノウハウ、情報資源を最大限に活かした、他大学にはできない文化財保存修復専門の研究機関としてスタートしました。これは、いわば「文化財の病院」です。伝統を見直し、様々な地域文化遺産を次世代へ継承していく気運の高まりとともに、ますます増加する文化財保存修復の受託・研究事業へのニーズに応え、社会的な貢献を目指していきます。東北の文化財保存修復の中心的な存在として、海外との技術交流やインターネットなどの様々な媒体、ワークショップを通じて、国内外に研究成果の公開や情報発信も行っていきます。

澤田正昭 センター長／岡田靖 講師／大山龍顕 講師／大場詩野子 研究員／長田城治 ポスト・ドクター

東北復興支援機構 TRSO

東日本大震災後の
「新しい社会・東北」を創造

TRSO（東北復興支援機構）は、東日本大震災後の「新しい社会・東北」を創造するプロジェクトルームとして、2011年5月に設立しました。本学で教鞭をとるクリエイターの造形ワークショップ、南相馬の子どもたちを山形に招待するアート林間学校、福島の子どもたちとそのご家族を対象とした「食とアート」の交流ピクニックなど、被災したコミュニティへの〈教育リソース〉提供を軸に、複数の支援プロジェクトが継続中です。復興までのプロセスを次の東北を担う人材育成につなげていくために、アート、建築、映像、民俗学など幅広い学域が協働し、多くの学生が現地の支援活動に参画しています。

アーティストやデザイナーによる復興プロジェクトをマネジメントすると共に、学生有志（福興会議）や市民によるボランティア活動、企業やNGOと連携した教育振興事業を推進し、今後も被災地のニーズを踏まえた「アートとデザインによる復興支援アクション」を継続的に展開していきます。

宮本武典 准教授（主任学芸員）

全国高等学校デザイン選手権大会

「創造力」による社会の変革

芸術を学ぶ若者に、人類危機の時代を克服しようとする強い意志をどう植えつけるか。他者の痛みに想像力を働かせ、多くの人々の幸せのために芸術の力を用いる姿勢をどう養うか。困難な問題を解決し社会を変革する創造力をどう身につけさせるか。開学当時から構想した「全国高等学校デザイン選手権大会」は、2012年に開催した第19回大会では、89の高等学校から934チームが参加するまでになりました。社会の矛盾や現代の諸問題の解決を競う高校生たちの真摯な姿、それを支える大学生たちの熱心な姿は、我々に大きな希望を与えてくれます。人間がどうすれば幸せになれるのか。その問いから生まれたのが「デザイン」であったにもかかわらず、現状を見る限り必ずしも人を幸せにはしていません。世界の矛盾の中で苦しんでいる人たちの苦しみや悲しみに思いを馳せ、自分自身の苦しみや悲しみとともに、その解決を考えていくデザイン。そのような心のデザインを志すことが、今求められています。この運動を日本の隅々にまで行きわたらせ、デザイン哲学の再構築をはかりながら、人間の「想像力」と「創造力」こそ人類の危機を克服する鍵であることを、強く社会に訴えていきます。本大会は、独創的であること、社会・文化的な価値を誘発していること、人と人との新しいコミュニケーションを提案していることなどが評価され、2006年度のグッドデザイン賞 新領域デザイン部門を受賞しています。

デザセン

GOOD DESIGN

創造性開発研究センター

小中高生の生きる力を育む芸術・
デザイン思考の可能性を探究

ますます複雑化する現代社会の中で生きる私たちは、多地域多世代に対応することができる柔軟性のある思考と行動力、人間精神力の豊かさが必要とされています。当センターでは、小中高生を対象として「生きる力」（豊かな人間性・問題解決力）を育むための「芸術思考」及び「デザイン思考」に基づく教育方法を総合的に研究し、確立することを活動目的としています。小中高の教員や教育委員会からの協力を得ながら、研究の成果を教育現場に還元していく仕組みを研究していきます。加えて、地域のこどもたちのための参加体験型プログラム研究として、それぞれが体験、体感しながら芸術・デザインとの新しい関わり方を発見するきっかけを提供するとともに、こども芸術大学や全国高等学校デザイン選手権大会などと連携を図りながら、本学の創造性教育の有効性を実証していきます。また、当センターの研究活動の拠点となる「やまがた芸術学舎」は、こどもたちが未来へ向かい多くの希望と可能性を創出し、芸術・デザインの力をもって地域社会と真摯に向き合える「場」を目指します。

担当：片上義則 教授（センター長）／片桐隆嗣 教授（副センター長）／有賀三夏 専任研究員

14 東北芸術工科大学概要

東北芸術工科大学概要

創設者	山形県・山形市（日本初の公設民営）
1991年12月	学校法人東北芸術工科大学設立 東北芸術工科大学設置
1992年 4月	東北芸術工科大学開学 芸術学部・デザイン工学部
1996年 4月	大学院開学 芸術工学研究科（修士課程）
1997年 9月	総合研究センター設立（現 共創デザイン室）
1999年 4月	東北文化研究センター設立
2001年 4月	文化財保存修復研究センター設立 東京サテライトキャンパス開設
2003年 4月	東アジア民族文化アーカイブ ／研究センター設立／韓国事務所開設
2004年 4月	こども芸術教育研究センター設立 ／卒業生支援センター開設
2005年 4月	大学院芸術工学研究科博士後期課程設置 ／大学院仙台スクール開設 こども芸術大学開学／デザイン哲学研究所設立 ／仙台事務所開設
2006年 4月	東アジア芸術文化研究所設立
2009年 4月	教養教育センター設立 美術館大学センター設立
2010年 7月	京都造形芸術大学・東北芸術工科大学 外苑キャンパス開設
2011年 5月	やまがた藝術学舎開設
2012年10月	文明哲学研究所開設

法人役員一覧（平成26年4月1日現在）

理事長　徳山詳直
副理事長　古澤茂堂 弁護士
専務理事　徳山豊
常務理事　五十嵐眞二
総務担当常務理事　野村真司
財務担当常務理事　高久正史
特命担当理事　坂元徹
理事　根岸吉太郎 学長／片上義則 副学長・デザイン工学部長／白杉悦雄 研究科長／木原正徳 芸術学部長／本間利雄 株式会社本間利雄設計事務所代表取締役／寺脇研 東アジア芸術文化研究所担当理事／熊谷眞一 株式会社シベール特別顧問／北村誠 京都造形芸術大学事務局長／高山克英 弁護士／細谷伸夫 弁護士
監事　遠藤栄次郎 遠藤商事株式会社代表取締役会長／長谷川吉茂 株式会社山形銀行代表取締役頭取／金澤忠一 山形県議会議員
常任顧問　千歳 栄 株式会社千歳建設代表取締役会長／大久保義彦 山形国際ドキュメンタリー映画祭理事長

大学役職一覧（平成26年4月1日現在）

学長 根岸吉太郎教授／副学長 片上義則教授／副学長 宮島達男教授／芸術学部長 木原正徳教授／デザイン工学部長 片上義則教授／芸術工学研究科長 白杉悦雄教授
芸術工学研究科 芸術文化専攻長 三瀬夏之介教授／芸術工学研究科 デザイン工学専攻長 宮本武典准教授／美術史・文化財保存修復学科 学科長 藤原徹教授／歴史遺産学科 学科長 北野博司教授／文芸学科長 山川健一教授／美術科 学科長 小林伸好教授／プロダクトデザイン学科 学科長 柚木泰彦教授／建築・環境デザイン学科 学科長 竹内昌義教授／企画構想学科 学科長 小山薫堂教授／グラフィックデザイン学科 学科長 中山ダイスケ教授／映像学科 学科長 林海象教授／コミュニティデザイン学科 学科長 山崎亮教授
教養教育センター長 白杉悦雄教授／教務部長 片桐隆嗣教授／学生部長 志村直愛教授／入試部長 石井博康教授／就職部長 井上尚
［研究機関］東北文化研究センター所長 田口洋美教授／文化財保存修復研究センター長 澤田正昭教授／文明哲学研究所所長 井原甲二／創造性開発研究センター長 片上義則教授

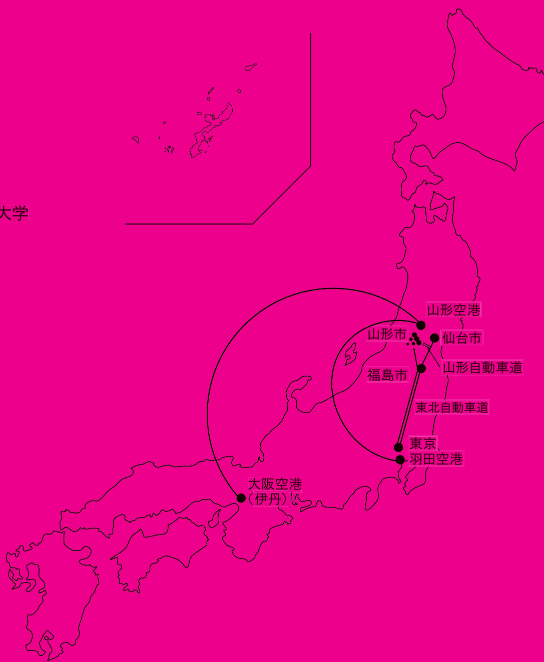
15 交通アクセス

全国からのアクセス

航空機利用の場合（2014年4月現在）
羽田空港 ……✈…… JAL／1日1往復 60分…
大阪空港 ……✈…… JAL／1日3往復 75分…
…山形空港 …〔バス40分〕… 山形駅 …〔バス20分〕… 東北芸術工科大学

山形新幹線利用の場合
東京駅 …〔直通150分〕… 山形駅 …〔バス20分〕… 東北芸術工科大学
※山形駅前5番バス乗り場「芸術工科大学前ゆき」乗車

高速道路利用の場合
浦和IC…〔東北自動車道200分〕… 村田JCT
…〔山形自動車道40分〕… 山形蔵王IC
…〔10分〕… 東北芸術工科大学



仙台からの通学は、高速バスが便利

山形交通と宮城交通が運行している高速バス「仙台〜上山線」が、大学前を経由し、1日8往復しています。仙台駅前から60〜70分で通学が可能です。仙台駅前〜山形駅前間の高速バスなら、1日約75往復運行しています。

仙台〜上山線運行ダイヤ　バス時刻表

仙台駅前	→	芸工大前	芸工大前	→	仙台駅前
07:10	→	08:23	06:47	→	07:55
09:15	→	10:18	07:17	→	08:25
10:50	→	11:53	10:17	→	11:25
14:30	→	15:33	11:47	→	12:55
16:45	→	17:48	14:07	→	15:15
17:55	→	18:58	15:37	→	16:45
19:45	→	20:48	17:07	→	18:15
21:05	→	22:03	18:57	→	20:05

※最新の運行ダイヤなどは山交バスHPをご覧ください。
http://www.yamakobus.co.jp/

学生向け市内循環スクールバスを運行

地球温暖化などの環境問題への意識の啓発と、通学の利便性を高めることを目的に、市内を循環するスクールバスを25便運行しています。運行時間は講義の開始・終了時間に合わせ、携帯電話で現在の走行位置の確認も可能です。仙台駅前からの高速バス乗り場（山形センタービル前など）とのアクセスも良好で、多くの学生が仙台圏から通学しています。

THIS GUIDEBOOK IS CREATED BY TUAD GRADS.

DIRECTOR
中嶋健治（TUAD）

宮城県泉館山高等学校卒業 1998年度 プロダクトデザイン学科卒業
2002年度 大学院 プロダクトデザイン領域修了

ART DIRECTOR & DESIGNER
小板橋基希（akaoni design）

群馬県立中之条高等学校 2000年度 映像学科卒業

DESIGNER
小谷拓矢（akaoni design）

山形県立山形南高等学校卒業 2009年度 グラフィックデザイン学科卒業 2012年度 大学院 VCD研究領域修了

PHOTOGRAPHER
志鎌康平（akaoni design）

山形中央高等学校卒業 2003年度 東北芸術工科大学 映像学科卒業

ILLUSTRATOR
梅木駿佑（akaoni design）

大検取得 2008年度 グラフィックデザイン学科卒業

WRITER & COPYWRITER
渡辺志織（book mark）

1979年山形県生まれ。山形市立商業高等学校出身。某大学人文学部卒業。入ってみたい学科は、文芸学科 or 映像学科。

BUDGET & PRINTING MANAGER
海保圭（Fujisho Printing Co., Ltd.）

東京都八王子高等学校卒業 1995年度 企画構想学科卒業

EDITOR
歌丸唯斗（Fujisho Printing Co., Ltd.）

1983年生まれ。山形県立長井高等学校卒業。某大学外国語学部中退。入ってみたい学科はプロダクトデザイン学科or彫刻コース。

Publishing : TOHOKU UNIVERSITY OF ART AND DESIGN
Printing : Fujisho Printing Co., Ltd.

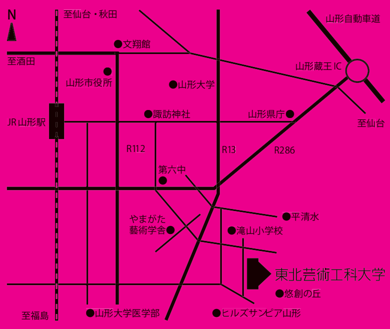
We are deeply grateful to all the people who helped to create this book.

TOHOKU UNIVERSITY
OF ART & DESIGN

東北芸術工科大学

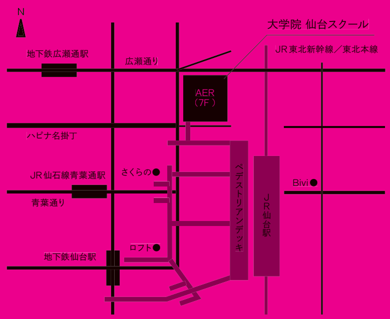
東北芸術工科大学 入試課
TEL：0120-27-8160 FAX：0120-57-2154
E-mail：nyushi@aga.tuad.ac.jp
ホームページアドレス：http://www.tuad.ac.jp

Copyright 2014 TOHOKU UNIVERSITY OF ART AND DESIGN.
Printing in Japan 2014



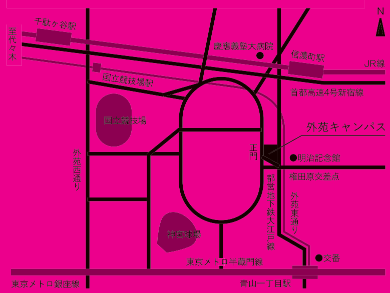
東北芸術工科大学

〒990-9530 山形県山形市上桜田3-4-5
TEL：023-627-2000（代） FAX：023-627-2081
ホームページアドレス：http://www.tuad.ac.jp/
携帯電話用アドレス：http://www.tuad.ac.jp/m/



大学院仙台スクール／
東北芸術工科大学仙台事務所

〒980-6107 宮城県仙台市青葉区中央1-3-1 AER7F
TEL：022-716-6377 FAX：022-716-6378
ホームページアドレス：http://www.tuad.ac.jp/sendaisc/
E-mail：sendai@aga.tuad.ac.jp
※JR仙台駅から徒歩2分



京都造形芸術大学・
東北芸術工科大学 外苑キャンパス

〒107-0061 東京都港区北青山1-7-15 外苑キャンパス
TEL：03-5412-6106 FAX：03-5412-6112
E-mail：t-office@aga.tuad.ac.jp
※JR総武線「信濃町」駅から徒歩5分
※東京メトロ半蔵門線・銀座線・都営地下鉄大江戸線「青山一丁目」駅から徒歩10分

東北芸術工科大学韓国事務所

〒120-012 3F, MIRAI BD,65-12,
Chungjeongno2-ga, Seodaemun-Gu, Seoul, Korea
TEL：82-2-543-6222 FAX：82-2-517-7277

TRIP OPEN CAMPUS!

オープンキャンパスで、見る！知る！話す！体験する！

春のオープンキャンパス　5月31日（土）10時30分～17時
夏のオープンキャンパス　8月2日（土）・3日（日）10時30分～17時

**東北芸術工科大学のオープンキャンパスは説明会や施設見学はもちろん、
作品展示や個別相談、おもしろワークショップなどの体験イベントが盛りだくさん。
進路を決めた人も、考え中の人も、入場無料、申込不要、誰でも参加OKです！**

当日は各地より無料バスを運行予定です。イベントなどの詳細は、東北芸術工科大学HPに追って掲載致します。

お問い合わせ
東北芸術工科大学　入試課
〒990-9530 山形市上桜田3-4-5
TEL：0120-27-8160
FAX：0120-57-2154
E-mail：nyushi@aga.tuad.ac.jp
http://www.tuad.ac.jp

TOHOKU UNIVERSITY
OF ART & DESIGN

TUAD TRIP!

TOHOKU UNIVERSITY OF ART & DESIGN
GUIDEBOOK 2015

NOW ON AIR

トリップムービー絶賛公開中。

楽しい芸工大での在学生の様子を追った、各学科コースのムービーを大学HPにて公開しています。
パソコンのほか、スマートフォンでももちろんOK。ぜひご覧ください！
ブラウザで「TUADTRIP」を検索するか、右のQRコードを読み取ると簡単にアクセス可能です。

www.tuad.ac.jp/trip